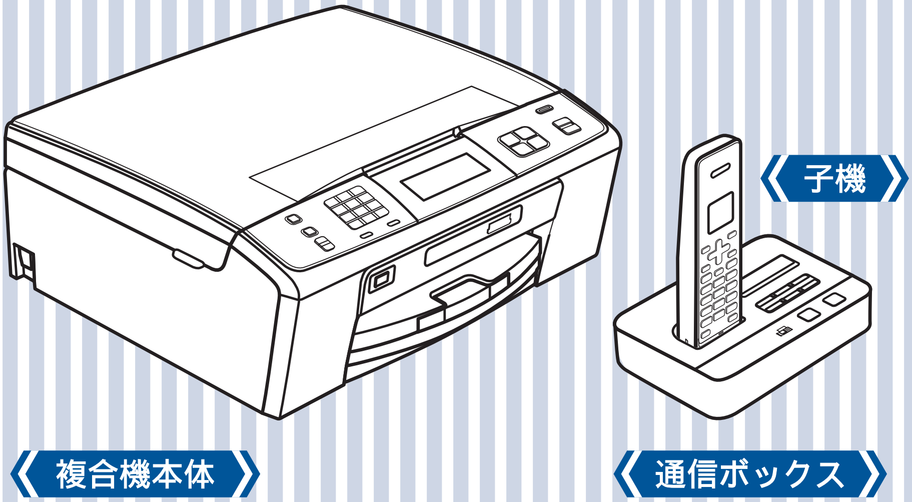
brother

MFC-J805D/J805DW MFC-J855DN/J855DWN ユーザーズガイド －基本編－

MyMio Free



第1章 ご使用の前に

第2章 電話

第3章 ファクス

第4章 電話帳

第5章 留守番機能

第6章 コピー

第7章 デジカメプリント

第8章 こんなときは

付録（索引）

CD-ROM収録のユーザーズガイドもご活用ください

付属のCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが収録されています。
あわせてご覧ください。

・ユーザーズガイド　パソコン活用編
・ユーザーズガイド　ネットワーク知識編
・ユーザーズガイド　ネットワーク操作編

1ページ

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 第8章「こんなときは」で調べる 169ページ

2 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

サポート ブラザー　検 索　▶ http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version A JPN

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	付属
2. かんたん設置ガイド（冊子） お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。	付属

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	付属
4. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	付属 CD-ROM内のユーザーズガイドの見かた ⇒ 1 ページ
MFC-J855DN/J855DWN のみ **5. ユーザーズガイド ネットワーク知識編（PDF 形式）** ネットワークに関する基礎的な情報を記載しています。	
MFC-J855DN/J855DWN のみ **6. ユーザーズガイド ネットワーク操作編（PDF 形式）** 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

MFC-J855DN/J855DWN のみ **モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式）** Android や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	サポートサイト http://solutions.brother.co.jp/
画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3 ～ 6 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、⇒ 233 ページ「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは

付属の CD-ROM には、下記のユーザーズガイドが PDF 形式で収録されています。

- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク知識編（MFC-J855DN/J855DWN のみ）
- ユーザーズガイド ネットワーク操作編（MFC-J855DN/J855DWN のみ）

Windows® の場合

付属の CD-ROM からプリンタードライバーをパソコンにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされます。
スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-XXXX[*1]］－［ユーザーズガイド］の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

*1 「XXXX」はモデル名です。

プリンタードライバーをインストールしない場合は、次の手順で CD-ROM から直接、PDF 形式のユーザーズガイドを見ることができます。

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

トップメニューの画面が表示されないときは、「マイ コンピュータ（コンピューター）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 ［ユーザーズガイド］をクリックする



3 ［画面で見るマニュアル　PDF形式］をクリックする



収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。

4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする



ユーザーズガイドが表示されます。

Macintosh の場合

1 付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 [ユーザーズガイド] をダブルクリックする



3 [top.pdf] をダブルクリックする

4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする



ユーザーズガイドが表示されます。

目次

マニュアルの構成
最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？
CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは 1
目次 3
本書のみかた 7
編集ならびに出版における通告 7
本製品のしくみと特長 8
本製品ではこんなことができます 10

第 1 章　ご使用の前に 15

かならずお読みください

各部の名称とはたらき 16
- 全体図 16
- 複合機本体 18
- 通信ボックス 20
- 子機 21

はじめに設定する 23
- 回線種別を設定する 23
- 日付と時刻を設定する 24

電話とファクスの受信設定 26
- お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき 26
- 電話・ファクスの受けかたを変更する 27
- ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信） 30
- 呼出回数を設定する 31
- 再呼出の設定をする 32
- 電話会社の有料サービス利用の有無を設定する 33

記録紙のセット 35
- 使用できる記録紙 35
- 専用紙・推奨紙 36
- 記録紙の印刷範囲 37
- トレイの種類 37
- 記録紙トレイにセットする 38
- スライドトレイにセットする 41
- 記録紙の種類を設定する 44
- 記録紙のサイズを設定する 44

原稿のセット 45
- 原稿の読み取り範囲 45
- 原稿をセットする 45

お好みで設定してください

音量を設定する 46
- 複合機本体のボタン確認音量を設定する 46
- 通信ボックスの音量を設定する 46
- 子機の音量を設定する 48

保留 / 着信メロディを設定する 49
- 保留メロディを選ぶ 49
- 着信メロディを選ぶ 50

画面の設定を変更する 51
- 複合機本体の画面設定を変更する 51
- 通信ボックスの画面のコントラストを変更する 51
- 子機の画面のコントラストを変更する 52

モードタイマーを設定する 53
- ファクスモードに戻る時間を変更する 53

スリープモードに入る時間を設定する 54

第 2 章　電話 55

電話の基本機能

電話をかける / 受ける 56
- 電話をかける 56
- 電話を受ける 56
- 電話帳からかける 57
- 通話を保留にする 57
- 通話を録音する 57
- いろいろな電話のかけかた 58

通話中の各種操作 59

電話を取り次ぐ 60
- 電話を取り次ぐ 60
- 用件を伝えずに電話を取り次ぐ 60

内線通話をする 61
- 子機から子機へかける 61
- 3 人で同時に話す（トリプル通話） 61

キャッチホンで電話を受ける 62
- キャッチホンで電話を受けた場合 62
- キャッチホンでファクスを受けた場合 62

電話の応用機能

迷惑電話を拒否する 64
ナンバー・ディスプレイサービスを利用する ... 65
ナンバー・ディスプレイサービスとは 65
ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能 67
着信履歴を利用する 67
迷惑電話指定する 68
着信鳴り分けを設定する 68
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する 70
ケータイ通話お得サービスを利用する 71
ケータイ通話お得サービスとは 71
ケータイ通話お得サービスを設定する 72
事業者識別番号を変更する 74

第３章　ファクス 75

送信

本製品のファクス送信のしくみ 76
通信ボックスとの接続を確認する 76
ファクスの送りかた 77
ファクスを送る 77
内容を確認してからファクスを送る 79
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る 81
電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る 82
ファクスの便利な送りかた 83
設定を変えてファクスするには 83
画質や濃度を変更する 83
海外へ送る 85
複数の相手先に同じ原稿を送る 86

受信

本製品のファクス受信のしくみ 88
ファクスの受けかた 89
本製品に自動で受信させる 89
電話に出てから受ける 90
電話に出ると自動的に受ける（親切受信） 91
ファクスの見かた 93
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する 93
ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する） 95
ファクスの便利な受けかた 97
自動的に縮小して受ける 97
受信したファクスをパソコンに送る 98
ファクスをメモリーで受信する 99
メモリー受信したファクスを印刷する 99
ファクスメッセージをメモリーから消去する 100

通信管理

発信元登録 101
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 101
通信状態を確かめる 102
通信管理レポートを印刷する 102
送信結果レポートを印刷する 103
着信履歴リストを印刷する 104
送信待ちファクスを確認・解除する 104

第４章　電話帳 107

複合機本体電話帳［ファクス専用］

複合機本体の電話帳に登録する 108
電話帳に登録する 108
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する 110
グループダイヤルを登録する 111
電話帳リストを印刷する 112
パソコンを使って電話帳に登録する（リモートセットアップ） 113

子機電話帳［電話専用］

子機の電話帳に登録する 114
電話帳に登録する 114
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する 115

第５章　留守番機能 117

留守録機能

留守番機能を設定する 118
留守番機能で設定できること 118
メッセージの録音時間を設定する 119
応答メッセージを録音する 120
留守録モニターを設定する 121
出かけるとき 122
留守番機能をセットする 122
留守応答メッセージを選ぶ 122
帰ってきたとき 123
留守番機能を解除する 123

リモコンアクセス

外出先から本製品を操作する 125
暗証番号を設定する 125
外出先から本製品を操作する 126

留守録転送

外出先に転送する 128
留守録転送を設定する 128

第 6 章　コピー 131

基本

コピーに関するご注意 132
コピーする 133
1 部コピーする 133
複数部コピーする 133
設定を変えてコピーするには 135

応用

いろいろなコピー 138
2in1 コピー /4in1 コピー / ポスターコピーする
（レイアウト コピー）.. 138
インクを節約してコピーする 140
ブックコピーする 141
コピーに文字や画像を重ねる 142

第 7 章　デジカメプリント 147

デジカメプリント

写真をプリントする前に 148
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを
セットする 149
動画プリントについて 151
写真をプリントする 152
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー
内の写真を見る／プリントする 152
設定を変えてプリントするには 154
いろいろなプリント方法 157
インデックスシートをプリントする 157
番号を指定してプリントする 158
色や明るさを補正してプリントする 159
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー
内の画像をまとめてプリントする 161
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー
内の画像を自動で順番に表示する 162
写真の一部をプリントする 163
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから
直接プリントする 164
PictBridge とは 164
デジタルカメラで行う設定について 164
写真をプリントする 165

その他の機能

スキャン to メディア 166
スキャンした画像をメモリーカードまたは
USB フラッシュメモリーに保存する 166

第 8 章　こんなときは 169

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 170
複合機本体 170
本体内部を清掃する 173
子機 / 通信ボックス / 子機充電器 174
インクがなくなったときは 175
インクカートリッジを交換する 176
インク残量を確認する 178
印刷が汚いときは 179
定期メンテナンスについて 179
プリントヘッドをクリーニングする 179
記録紙のうら面が汚れるときは 179
印刷テストを行う 180
子機のバッテリーを交換するときは 182

困ったときは

紙が詰まったときは 184
記録紙が詰まったときは 184
画面にメッセージが表示されたときは 187
複合機本体のメッセージ 187
通信ボックスのメッセージ 194
エラーが発生したときのファクスの転送方法 196
子機のメッセージ 198
故障かな？と思ったときは
（修理を依頼される前に）..................................199
動作がおかしいときは
（修理を依頼される前に）..................................218
複合機本体と通信ボックスの通信が
うまくいかないときは 219
通信ボックスとの接続を確認する 219
通信や通話がうまくいかないときに回線環境を
改善する 221
特別な回線に合わせて設定する 221
回線状況に応じて通話音質を設定する 221
安心通信モードに設定する 222
ダイヤルトーン検出の設定をする 223
子機の通信状況を改善する 224
通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し
設置場所を調整する 226
初期状態に戻す 227
目的別に初期化する 228
初期化内容一覧 229
初期化のしかた 230
こんなときは 232
インターネット上のサポートの案内を
見るときは 232
最新のドライバーやファームウェアをサポート
サイトからダウンロードして使うときは 233
はがき（年賀状）に印刷するには 234
子機を増設する / 登録抹消する 235
子機が使用できないときは（臨時着信）.............236
停電になったときは 238

本製品のシリアルナンバーを確認する 238
本製品の設定内容や機能を確認する 239
本製品を輸送するときは 240
本製品を廃棄するときは 241

付　録 243

文字の入力方法 244
複合機本体 244
通信ボックス 246
子機 246
機能一覧 248
複合機本体 248
通信ボックス 260
子機 266
仕様 267
外形寸法 267
主な仕様 268
子機 270
子機充電器
（MFC-J805DW/J855DWN に付属） 270
使用環境 271
用語解説 272
索引 274
関連製品のご案内 280
innobella 280
消耗品 280
リモコンアクセスカード 281
通信ボックス操作早見表 283
消耗品などのご注文について 285
インクカートリッジの回収・
リサイクルのご案内 285
アフターサービスのご案内

その他... CD-ROM

付属の CD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド パソコン活用編」をご覧ください

- ●プリンター
- ●スキャナー
- ● PC-FAX
- ●メモリーカードアクセス
- ●リモートセットアップ
- ● ControlCenter

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷に至る可能性があり、かつその切迫の度合いが高い内容を示します。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
確認	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	参照先を記載しています。

確認

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で使用されているイラスト / 画面

本書では本製品や操作パネルおよび画面の説明に、MFC-J855DN のイラストを使用しています。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J805D、MFC-J805DW、MFC-J855DN、MFC-J855DWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に記載されていますので、ご確認ください。

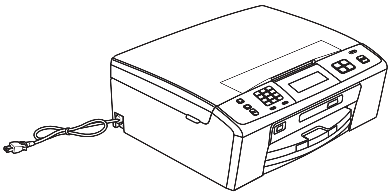
編集ならびに出版における通告

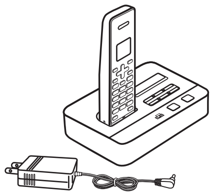
本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

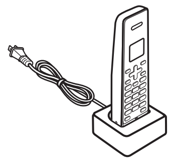
本製品のしくみと特長

本製品は、複合機本体と通信ボックス、子機で構成されています。
(各部の名称については第 1 章で詳しく説明しています。)

複合機本体　　**通信ボックス / 子機**







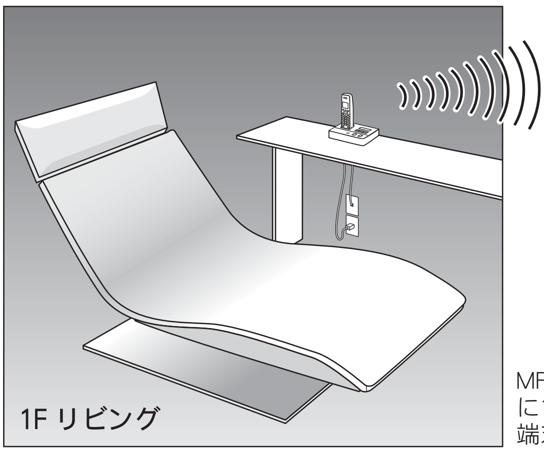
MFC-J805DW/J855DWNには、子機と子機充電器1セットが付属しています

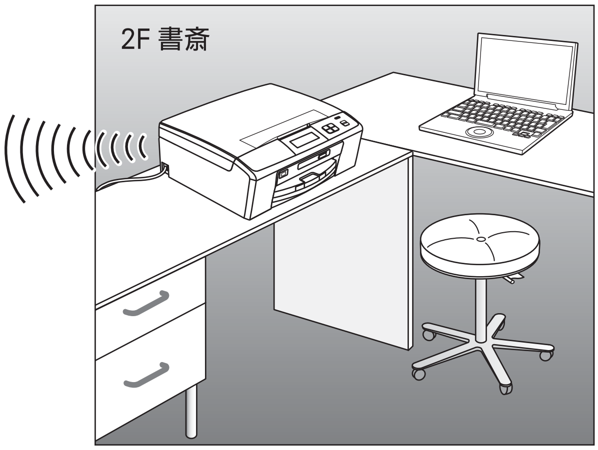
各部が受け持つ機能は次のとおりです。

複合機本体	通信ボックス / 子機	子機
▪コピー	▪電話	▪電話
▪スキャナー	▪留守番電話	
▪フォトメディアキャプチャ (デジカメプリント)		
▪プリンター		
▪ファクス送受信 (設定 / 操作)	▪ファクス送受信 (通信のみ)	

複合機本体の『置き場所フリー』が新しい！

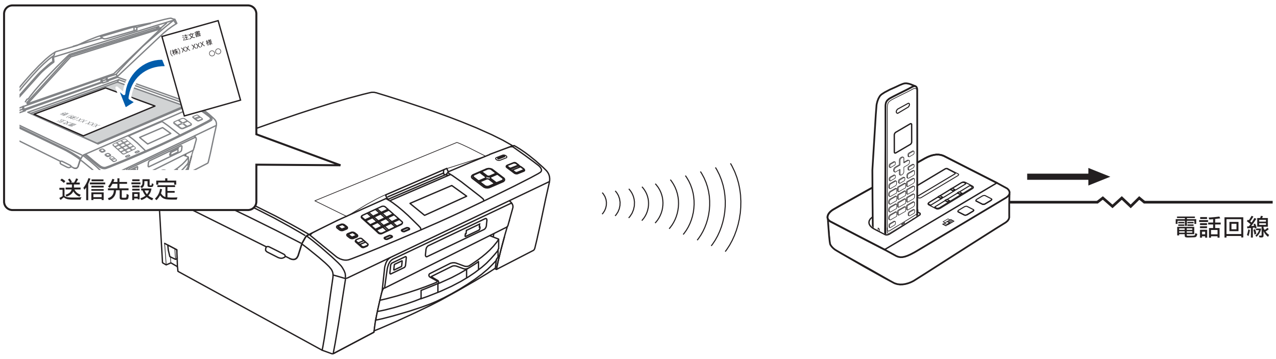
従来のファクス機能付き複合機は、電話回線をつなぐ必要性があり、場所を取る複合機を電話回線差し込み口の近くに置かなければならなかったり電話機コードを延長したりして、設置場所に制約がありました。
しかし、本製品は、複合機本体に電話回線を接続する必要がありません。電話回線は、場所を取らない通信ボックスに接続すれば OK。両者は、ファクスデータを無線通信で受け渡しします。操作は従来のファクスと変わりません。
今後は、電話回線接続から解放された複合機本体を、ご家庭や事務所のどこにでも自由に設置していただけます。





MFC-J855DN/J855DWN は、別途、無線 LAN アクセスポイントにつないで、複合機本体と通信ボックスをそれぞれ無線 LAN 端末としてご使用いただくこともできます。

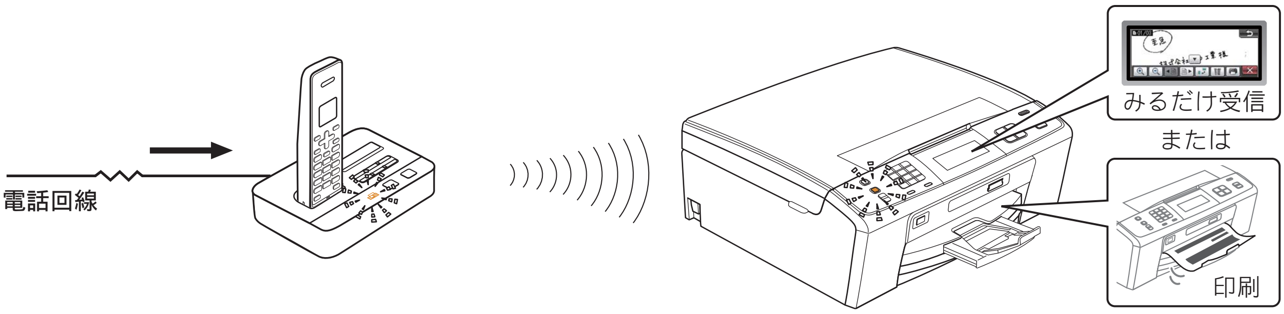
ファクスを送るとき



①原稿データは、複合機本体で読み取っていったんメモリーに保存したのち、自動的に通信ボックスに転送されます。

②通信ボックスが原稿データと送信先情報を受け取り、電話回線を使って送信します。

ファクスを受けるとき



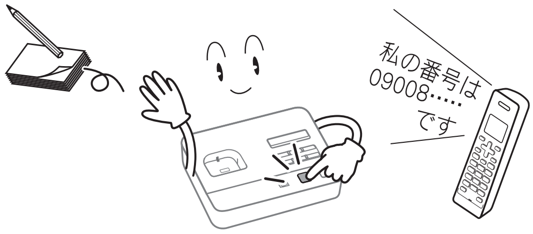
①ファクスが送られてくると通信ボックスで受信して、いったんメモリーに保存したのち、自動的に複合機本体に転送されます。

②ファクスデータを受け取ります。

本製品ではこんなことができます

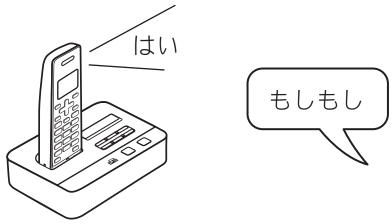
■ 電話を便利に使う

● 通話を録音する



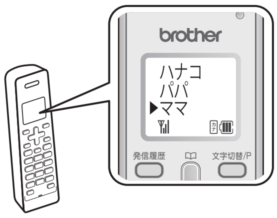
57 ページ

● 子機を持たずに電話する（スピーカーホン）



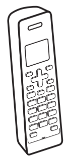
58 ページ

● 電話帳や履歴から電話をかける



57 ページ
58 ページ

● 通話中のいろいろな機能

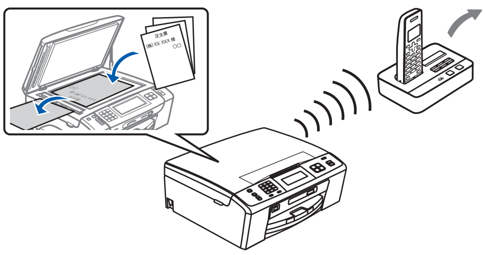


・迷惑電話を拒否する
・スピーカーホンに切り替える
・プッシュホンサービスを利用する
・受話音質を調節する
・内緒話モードにする

64 ページ
59 ページ

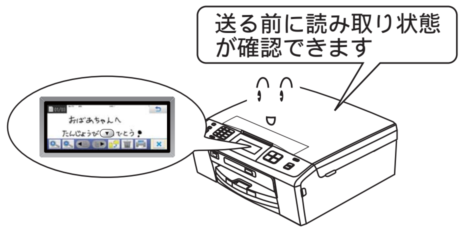
■ ファクスを送る

● 複数枚の原稿をメモリーに読み込んでから送る



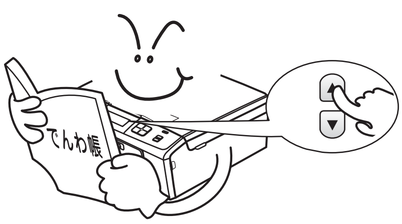
77 ページ

● 読み取った原稿を画面で確認してから送る



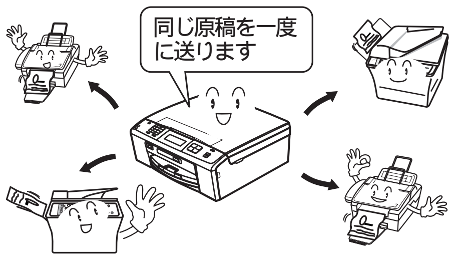
79 ページ

● 電話帳から相手を選んで送る



82 ページ

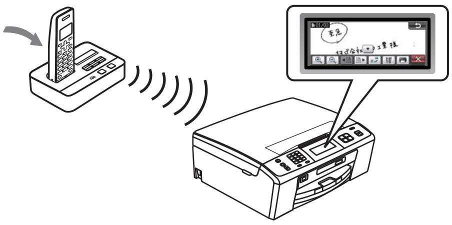
● 一度の操作で複数の相手に送る



86 ページ

■ ファクスを受ける

● ファクスを画面で見る（みるだけ受信）



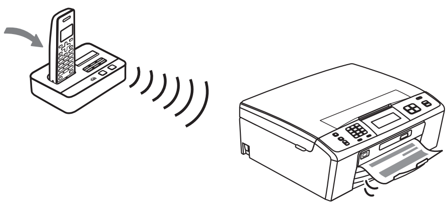
93 ページ

● 着信音を鳴らさず自動で受ける



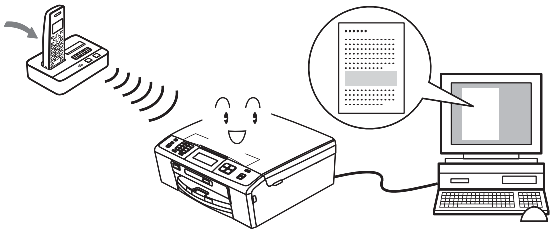
30 ページ

● ファクス受信後、自動的に印刷する
（みるだけ受信しない）



95 ページ

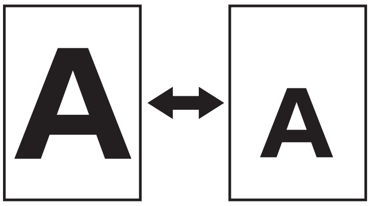
● 受信したファクスをパソコンに転送する



98 ページ

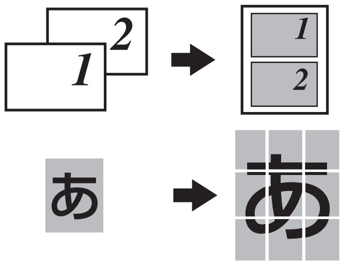
■ コピーする

● 拡大 / 縮小コピーする



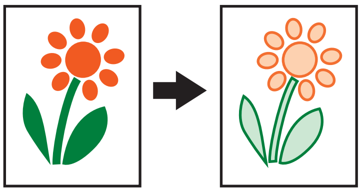
137 ページ

● N in 1 コピー / ポスターコピーする



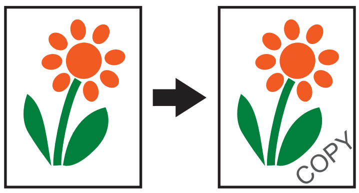
138 ページ

● インク節約モードでコピーする



140 ページ

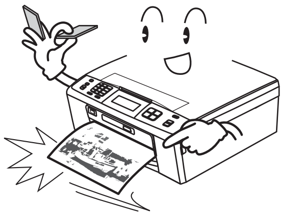
● 文字や写真をコピーに重ねる（透かしコピー）



142 ページ

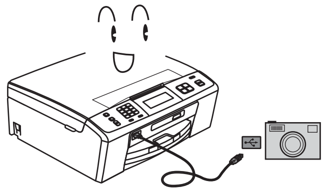
■ 写真をプリントする

● メモリーカードに保存されている写真をプリントする



152 ページ

● デジタルカメラから直接プリントする（PictBridge）



164 ページ

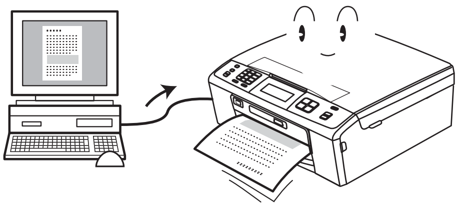
● 動画を 9 分割の写真としてプリントする



151 ページ

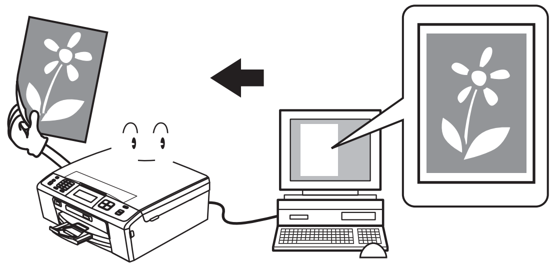
■ プリンターとして使う

● パソコンと接続してプリンターとして使う



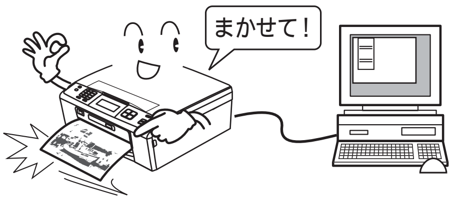
パソコン活用編（CD-ROM）

● 記録紙いっぱいに印刷する（ふちなし印刷）



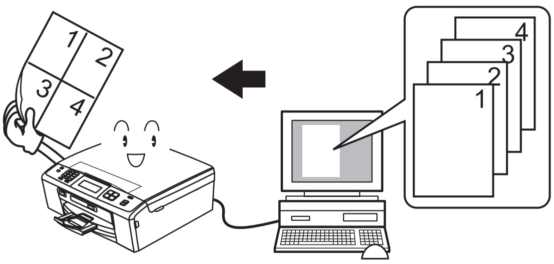
パソコン活用編（CD-ROM）

● 登録されている設定パターンを使って印刷する（おまかせ印刷）



パソコン活用編（CD-ROM）

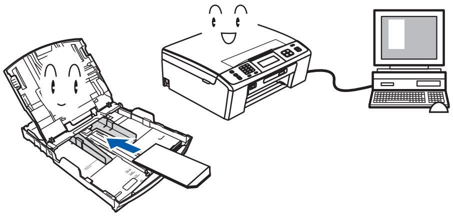
● 1 枚の記録紙に複数ページを並べて印刷する（レイアウト印刷）



パソコン活用編（CD-ROM）

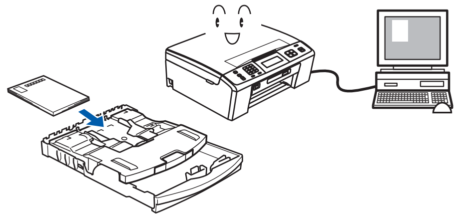
■ 封筒やはがきに印刷する

● 封筒に印刷する



38 ページ

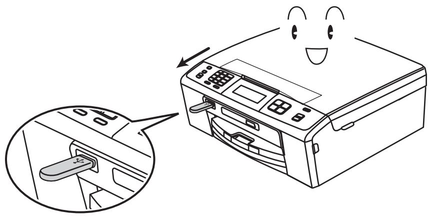
● はがき（年賀状）に印刷する



234 ページ

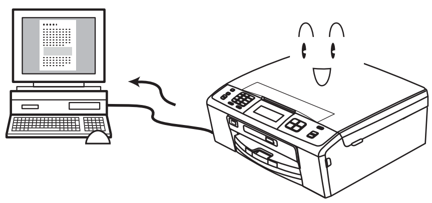
■ スキャナーとして使う

● 原稿をスキャンしてメディアに保存する



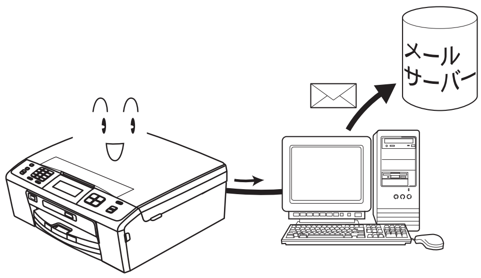
166 ページ

● 原稿をスキャンしてパソコンに保存する



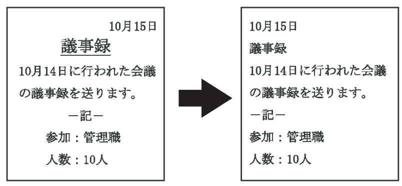
パソコン活用編（CD-ROM）

● 原稿をスキャンして E メールで送る



パソコン活用編（CD-ROM）

● スキャンした原稿の中の文章をテキストデータに変換してパソコンに保存する



パソコン活用編（CD-ROM）

● 複数枚の原稿を一度にスキャンする
（おまかせ一括スキャン）

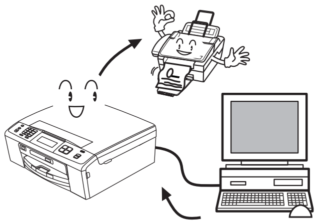


167 ページ

■ その他

● パソコンからファクスを送る
［PC-FAX 送信］

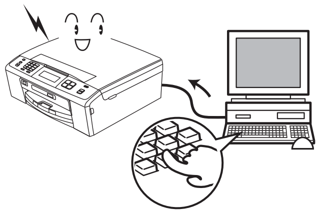
パソコンで作成した書類を、本製品の電話回線を利用して直接ファクスできます。印刷する必要がありません。



パソコン活用編（CD-ROM）

● 本製品の設定をパソコンから変更する
［リモートセットアップ］

パソコンで電話帳を編集したり、本製品の設定を変更したりできます。



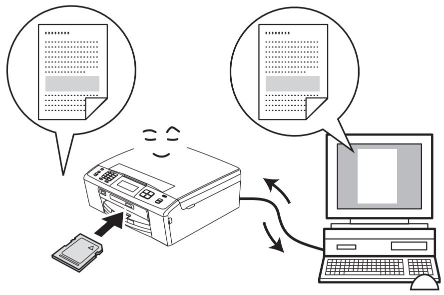
パソコン活用編（CD-ROM）

● 本製品をパソコンの外付けドライブとして利用する
［リムーバブルディスクドライブ］

本製品にセットしたメモリーカードやUSBフラッシュメモリーが、パソコン上で［リムーバブルディスク］として使用できます。

※リムーバブルディスクドライブとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。パソコンから、ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter を使います。

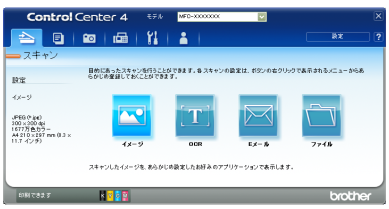
- Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」
- Macitosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macitosh 編」－「Macitosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」



パソコン活用編（CD-ROM）

● スキャナー、メモリーカードアクセスなどを簡単に起動する
［ControlCenter］

スキャナーやメモリーカードアクセス機能などを簡単に起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。



パソコン活用編（CD-ROM）

● 写真をプリント／加工する
［FaceFilter Studio］

写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したりできます。赤目の修正や表情を変化させたりすることもできます。（Windows® のみ）



パソコン活用編（CD-ROM）

第 1 章

ご使用の前に

かならずお読みください

各部の名称とはたらき 16
全体図 16
外観 16
内部 17
複合機本体 18
操作パネル 18
待ち受け画面 19
通信ボックス 20
操作パネル 20
子機 21
操作パネル 21
画面 22

はじめに設定する 23
回線種別を設定する 23
日付と時刻を設定する 24
時計の同期機能について 24
通信ボックスの時計設定 24
複合機本体の時計設定 25
子機の時計設定 25

電話とファクスの受信設定 26
お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき 26
在宅モード（ザイタクモード）：留守番機能がセットされていないとき 26
留守モード（ルスモード）：通信ボックスの[留守]を押して、留守番機能をセットしたとき 26
電話・ファクスの受けかたを変更する 27
ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信） 30
呼出回数を設定する 31
再呼出の設定をする 32
電話会社の有料サービス利用の有無を設定する 33
ナンバーディスプレイ機能を設定する 33
キャッチディスプレイ機能を設定する 34

記録紙のセット 35
使用できる記録紙 35
専用紙・推奨紙 36
記録紙の印刷範囲 37
トレイの種類 37
記録紙トレイ 37
スライドトレイ 37
最大排紙枚数について 37
記録紙トレイにセットする 38
スライドトレイにセットする 41
印刷したあと、はがき、L 判の記録紙を取り出す 43
記録紙の種類を設定する 44
記録紙のサイズを設定する 44

原稿のセット 45
原稿の読み取り範囲 45
原稿をセットする 45

お好みで設定してください

音量を設定する 46
複合機本体のボタン確認音量を設定する 46
通信ボックスの音量を設定する 46
子機の音量を設定する 48
着信音量を設定する 48
ボタン確認音量を設定する 48
スピーカー音量を設定する 48
受話音量を設定する 48

保留 / 着信メロディを設定する 49
保留メロディを選ぶ 49
着信メロディを選ぶ 50

画面の設定を変更する 51
複合機本体の画面設定を変更する 51
通信ボックスの画面のコントラストを変更する 51
子機の画面のコントラストを変更する 52

モードタイマーを設定する 53
ファクスモードに戻る時間を変更する 53

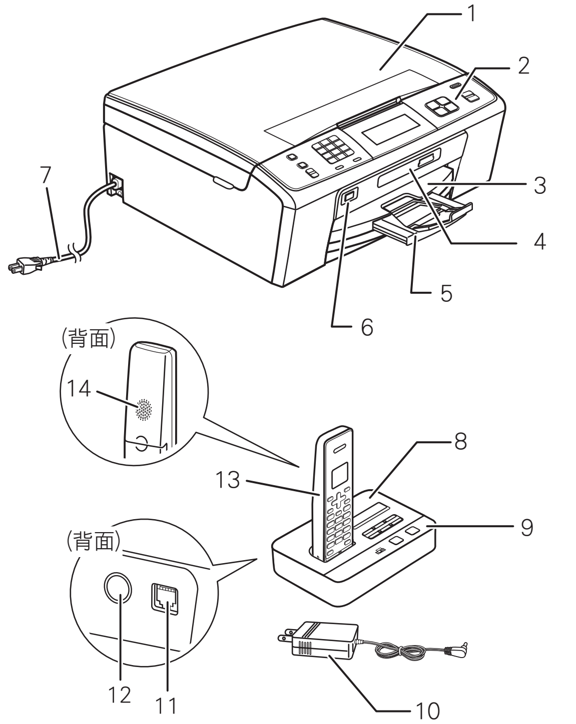
スリープモードに入る時間を設定する 54

各部の名称とはたらき

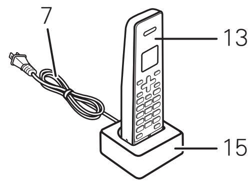
かならずお読みください

全体図

外観



MFC-J805DW/J855DWNには子機と子機充電器1セットが付属します



複合機本体	
1	原稿台カバー
2	操作パネル
3	記録紙トレイ
4	カードスロット
5	記録紙ストッパー
6	PictBridge ケーブル差し込み口 / USB フラッシュメモリー差し込み口
7	AC 電源コード
通信ボックス / 子機	
8	通信ボックス
9	操作パネル
10	AC アダプター
11	電話回線接続端子
12	AC アダプタープラグ差し込み口
13	子機
14	スピーカー
子機充電器	
15	子機充電器

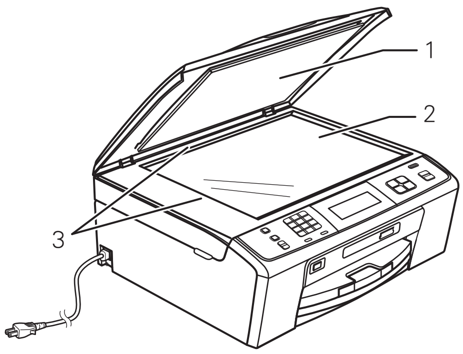
複合機本体の電源が入っていない（操作パネル上の On/Off を押して、電源オンになっていない）場合は、以下の機能が使用できなくなります。

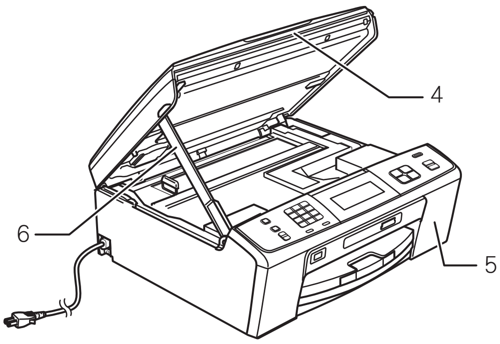
- ファクス
- パソコンからの印刷
- デジカメプリント
- コピー
- スキャン

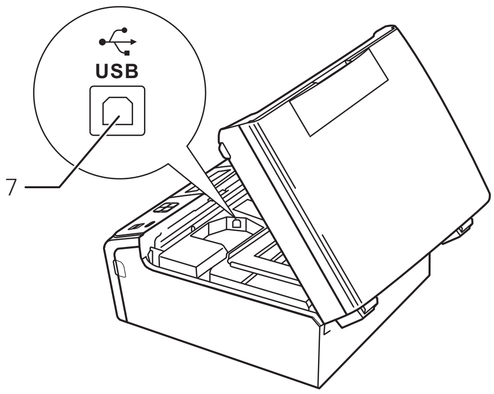
通信ボックスの電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しで行います。電源プラグが抜かれているときは、以下の機能が使用できなくなります。電話機コードが接続されているだけでは電話はつながりません。

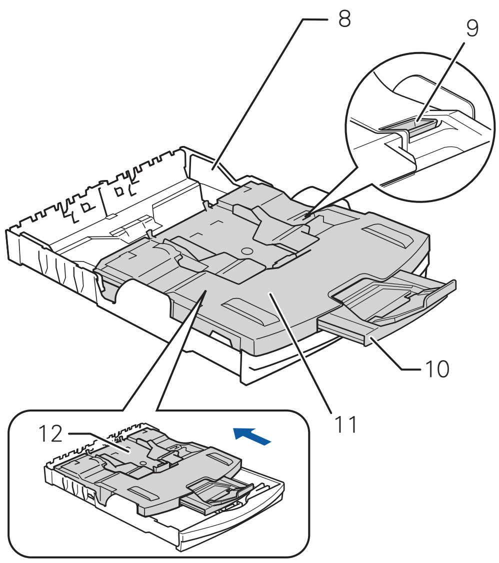
- ファクス
- 電話
- 通信ボックス / 子機操作

内部





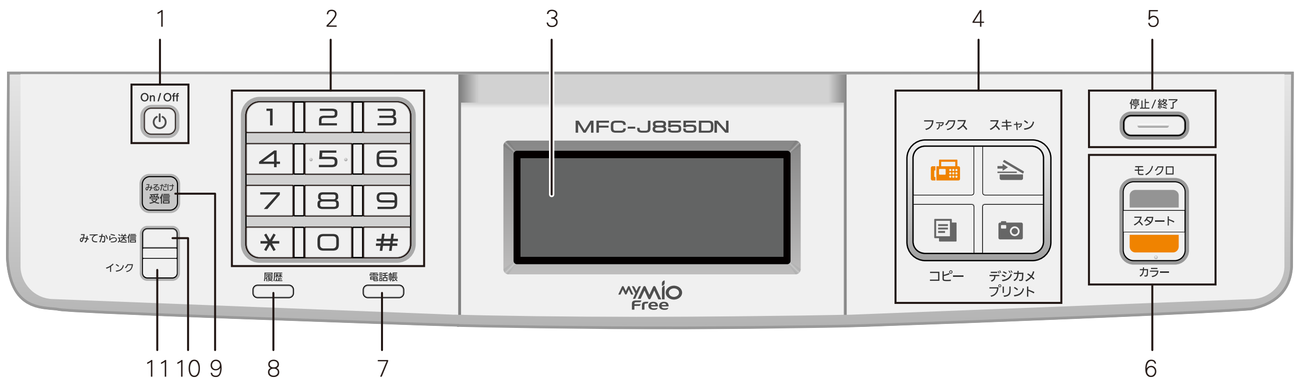




1	原稿台カバー
2	原稿台ガラス
3	原稿ガイド
4	本体カバー
5	インクカバー（インク挿入口）
6	カバーサポート
7	USB ケーブル差し込み口
8	記録紙トレイ
9	リリースボタン
10	記録紙ストッパー
11	トレイカバー 排紙トレイのはたらきもしています。
12	スライドトレイ L 判光沢紙やはがきなどをセットするときに、リリースボタンをつまんでカバー部分を奥にスライドさせます。スライドトレイを使用しないときは必ず手前に戻しておきます。

複合機本体

操作パネル



1	電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。 • オフにする場合は、2 秒以上長押ししてください。 • 電源が入っていない状態でも、印刷品質を維持するために、本製品は定期的にヘッドクリーニングを行います。（ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。）
2	ダイヤルボタン	ダイヤルするとき、コピー部数を入力するときに押します。
3	タッチパネル	各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。 画面に直接タッチして各設定を行います。 4 段階で角度調整できます。
4	モードボタン	ファクス / スキャン / コピー/ デジカメプリントの各モードに切り替えます。 点灯しているボタンが現在選択されているモードです。
5	停止 / 終了ボタン	操作を中止するときや設定を終了するときに押します。
6	モノクロ / カラースタートボタン	ファクス、コピー、デジカメプリントまたはスキャンをスタートするときに押します。
7	電話帳ボタン	電話帳登録や登録済みの相手先リストを検索するときに押します。
8	履歴ボタン	発信履歴、着信履歴（ナンバーディスプレイ機能を契約している場合のみ表示可能）を表示させるときに押します。履歴から直接電話帳に登録したり、ファクス送信したりできます。
9	みるだけ受信ボタン / ランプ	「みるだけ受信」に設定するときに押します。また、「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスを受信するとボタンが点滅します。受信したファクスの内容を確認するときに押します。
10	みてから送信ボタン	画面でファクス原稿の読み取り状態を確認してから送信するときに押します。
11	インクメニューボタン	印刷テスト、ヘッドクリーニングなどインクに関するメニューを表示させるときに押します。

待ち受け画面



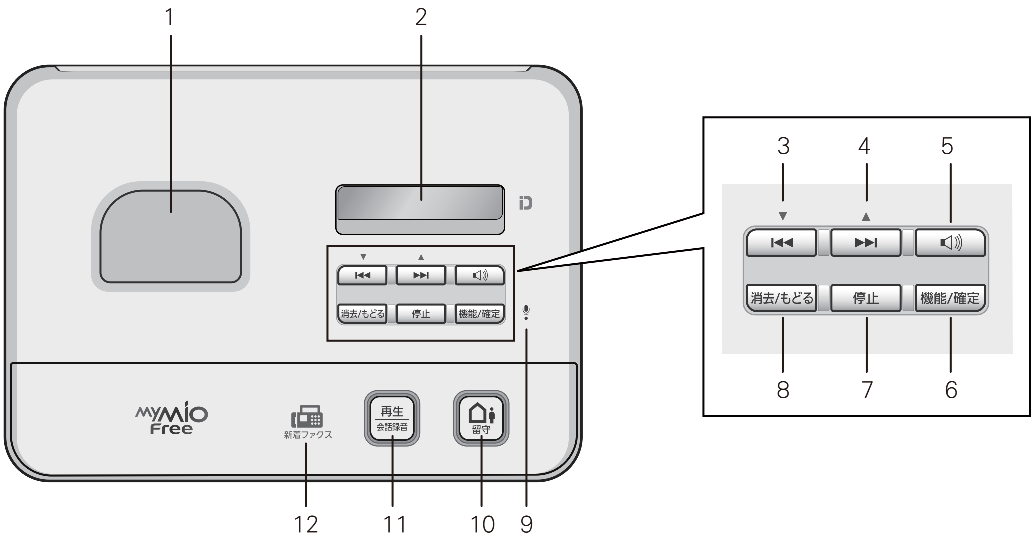
1	日時表示		現在の日時および曜日が表示されます。2 分半に 1 回、通信ボックスで設定されている時刻に合わせる同期機能が働きます。 ⇒ 24 ページ「時計の同期機能について」
2	エラー表示		エラーまたは保守メッセージがあるときに表示されます。表示されたこのマークを押すと本製品の現在の状態や、保守手順を表示します。⇒ 187 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」の手順に従って操作、保守を行ってください。【×】を押すと待ち受け画面に戻ります。
3	無線 LAN 電波強度 （MFC-J855DN/J855DWN のみ）		無線 LAN 接続時の電波強度が 4 段階（ . ）で表示されます。
4	メモリー残量表示		本製品のメモリー残量が表示されます。
5	インク残量表示		ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。
6	メニューボタン		メインメニューを表示させるときに押します。
7	接続状態確認ボタン		複合機本体と通信ボックスの接続状態を確認するときに押します。
8	メモリー保存されている受信ファクス件数の表示		「みるだけ受信」および「メモリー受信」でメモリーに保存された受信ファクスの件数を表示します。
9	メッセージ表示		みるだけ受信設定時に新着ファクスの件数が表示されます。
			エラーがあることをメッセージでお知らせします。

確認

■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。先のとがったもの、ペンなどを使用するとタッチパネルの損傷や汚れの原因になります。

通信ボックス

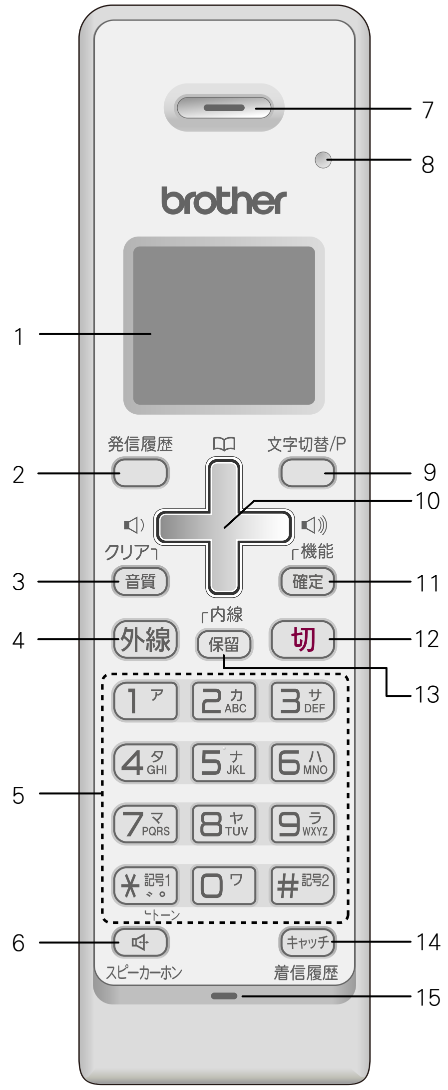
操作パネル



1	充電器	子機を置いて充電します。
2	画面	通信ボックスの各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。 無操作のまま 5 分が経過すると、画面が暗くなり、待機状態（スリープモード）になります。
3	次項目選択またはメッセージ頭出しボタン	メニュー操作時：項目を選択するときに押します。 音声再生時：再生中のメッセージの頭出しをするときに押します。2 度押しで前のメッセージの頭出しをします。
4	前項目選択またはメッセージスキップボタン	メニュー操作時：項目を選択するときに押します。 音声再生時：次のメッセージにとばすときに押します。
5	音量ボタン	音声再生時：再生音量を調節します。 臨時着信時：スピーカー音量を調整します。 ⇒ 236 ページ「子機が使用できないときは（臨時着信）」
6	機能 / 確定ボタン	メニュー操作を開始するとき、また項目選択後、内容を確定するときに押します。
7	停止ボタン	メニュー操作時：操作を中止するときや設定を終了するときに押します。 音声再生時：メッセージの再生を中止するときに押します。 会話録音時：録音を中止するときに押します。
8	消去 / もどるボタン	メニュー操作時：入力中の値を 1 桁消去するときに、項目決定後には 1 つ前の階層に戻るときに押します。 音声再生時：再生中のメッセージを消去するときに押します。 ⇒ 123 ページ「音声メッセージを確認する」 無操作時：メモリー内の音声メッセージを一括消去するときに押します。
9	マイク	応答メッセージの録音や臨時着信用の送話口として使用します。 ⇒ 120 ページ「応答メッセージを録音する」 ⇒ 236 ページ「子機が使用できないときは（臨時着信）」
10	留守ボタン	留守モードにするとき、留守モードを解除して未再生のメッセージを聞くときに押します。 ⇒ 122 ページ「留守番機能をセットする」
11	再生 / 会話録音ボタン	電話中の会話を録音するときや、メモリー内のメッセージを再生するときに押します。
12	ファクス受信ランプ	ファクス受信時に点滅します。

子機

操作パネル

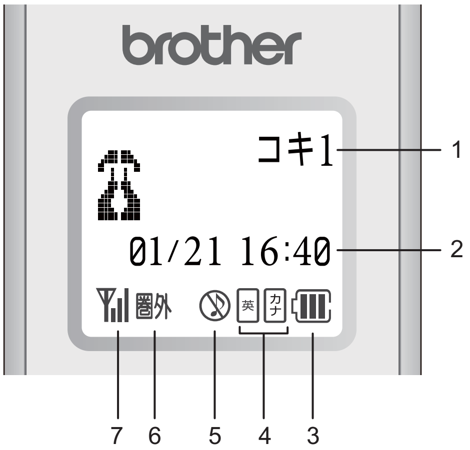


1	画面	子機の状態やメニュー項目、メッセージなどが表示されます。
2	発信履歴ボタン	最近かけた相手にもう一度ダイヤルするときに押します。
3	クリア / 音質ボタン	文字を消すときと、通話中、相手の声の聞こえかたを調整するときに押します。
4	外線ボタン	電話をかけるときや受けるときに押します。

5	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。
	記号 1/ トーンボタン	記号を入力するとき、一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するときに押します。
	記号 2 ボタン	記号を入力するときに押します。
6	スピーカーホンボタン	子機を持たずに通話するときに押します。
7	受話口	相手の声が聞こえます。
8	充電表示ランプ	充電中に点灯します。充電が終わると消灯します。
9	文字切替 /P ボタン	文字入力の種類を変えるとき、またはダイヤル番号入力時にポーズを入れるときに押します。
10	マルチセレクトボタン	上下を押して項目を選択します。
	電話帳ボタン	電話帳を表示するときに押します。
	音量ボタン	着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整するときに左右を押します。
11	機能 / 確定ボタン	各機能を設定するとき、設定内容を確定するときまたは通話中にメッセージを流して通話を拒否するときに押します。
12	切ボタン	電話を切るとき、または操作を途中で中止するときに押します。
13	内線 / 保留ボタン	内線通話をするとき、または保留にして相手にメロディを流すときに押します。
14	キャッチ / 着信履歴ボタン	キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。
15	マイクと送話口	子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときに使用します。

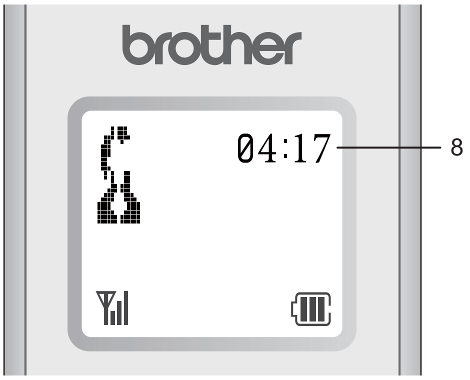
画面

ー非接続中/各種設定中ー



※上図の表示は、すべてが同時に出るわけではありません。

ー外線接続中ー



1	内線番号（子機名）	
2	日時表示	
3		バッテリーの残量の目安を表示します。 〈バッテリー残量の目安〉 ：20%以上　：20%未満 ：10%未満　：要充電
4	英 カナ	現在入力できる文字の種類が表示されます。文字種は文字切替/P を押して切り替えます。 英：アルファベット（大文字、小文字）、数字が入力できます。 カナ：半角カタカナが入力できます。
5		着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
6	圏外	電波の届かない場所にいるときに表示されます。
7		通話中の電波の状態が表示されます。の数が多いほど、電波状態が良好です。
8	外線接続時間の目安（相手につながってからの時間ではなく子機の 外線 を押してからの経過時間）	

はじめに設定する

別冊の「かんたん設置ガイド」に沿って回線種別の設定が完了している場合は、次のページにお進みください。引っ越しなどで電話回線の環境に変更があったときは、設定し直してください。
また、通信ボックスに「カイセンシュベツ　ヲ　セッテイシテクダサイ」というメッセージが表示された場合にも、下記の手順で手動設定を行ってください。

回線種別を設定する

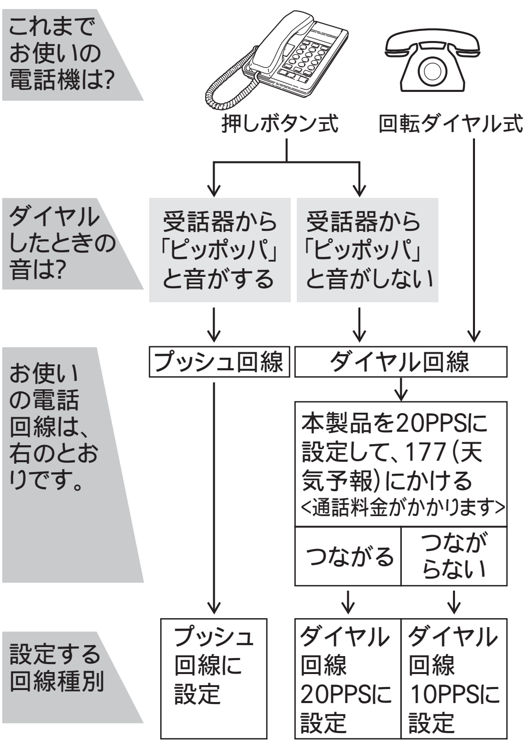
［カイセンシュベツ　セッテイ］

通信ボックスの設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

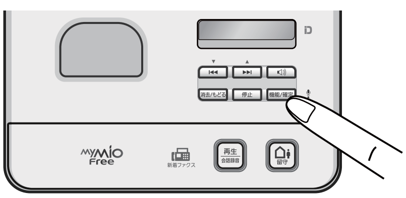
1 通信ボックスから子機を取り「ツー」という音が聞こえることを確認する

- 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
  ⇒かんたん設置ガイド
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 回線種別を確認する



3 通信ボックスの［機能/確定］を押す



4 ［▼⏮］/［▲⏭］で【0. ショキ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

5 ［▼⏮］/［▲⏭］で【2. カイセンシュベツ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

6 ［▼⏮］/［▲⏭］で回線種別を選び、［機能/確定］を押す

> 回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】、【プッシュ　カイセン】、【ダイヤル 10PPS】 の順に設定してみてください。
>
> ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

設定が有効になります。

7 ［停止］を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」（天気予報）などにつながることをご確認ください。（通話料金がかかります）

日付と時刻を設定する

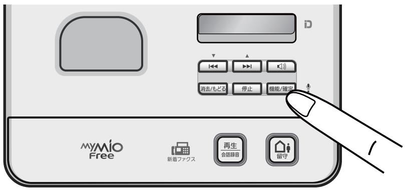
時計の同期機能について

本製品は、複合機本体、通信ボックス、子機のそれぞれが個別に時計機能を持っています。時刻にはそれぞれ下表のような用途があります。必要に応じて設定を行ってください。ただし複合機本体の時刻は、時計設定をしなくても、2 分半に 1 回、通信ボックスの時刻に合わせる同期機能が働きます。

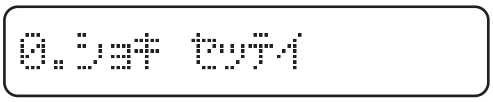
通信ボックス	通信ボックスの時刻表示、電話 / ファクスの着信履歴
複合機本体	複合機本体画面の時刻表示、スキャンした画像に自動で付けられるファイル名の中 6 桁、ファクスの発信履歴
子機	子機画面の時刻表示

通信ボックスの時計設定

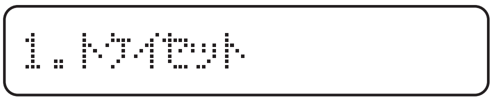
1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ［▼⏮］/［▲⏭］で【0. ショキ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

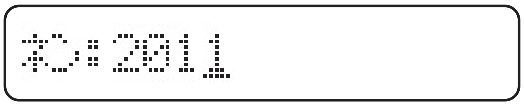


3 ［▼⏮］/［▲⏭］で【1. トケイセット】を選び、［機能/確定］を押す



西暦の下2桁を入力する画面が表示されます。

4 ［▼⏮］/［▲⏭］で西暦の下２桁を設定し、［機能/確定］を押す



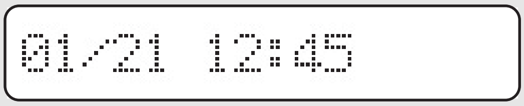
月の入力画面が表示されます。

5 手順 4 と同様の手順で、「月」、「日」、「時」、「分」を入力する

時刻は 24 時間制で設定してください。

6 ［停止］を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



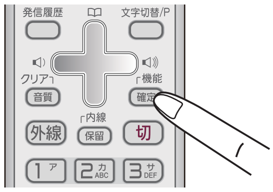
- 時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。
- 発信元登録をしていない場合は、ファクス送信時、相手側の記録紙に日時は印刷されません。
- 巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

複合機本体の時計設定

複合機本体の時計は通信ボックスの時計に同期するため、複合機本体で設定する必要はありません。

子機の時計設定

1 子機の [機能/確定] を押す



2 [十字キー] で「トケイセッテイ」を選び、[機能/確定] を押す

3 日付を入力し、[機能/確定] または [十字キー] を押す

例：2012 年 1 月 21 日の場合

[1] [2] [0] [1] [2] [1] と押します。

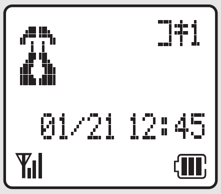
4 時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し、[機能/確定] を押す

例：12 時 45 分の場合

[1] [2] [4] [5] と押します。

5 [切] を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



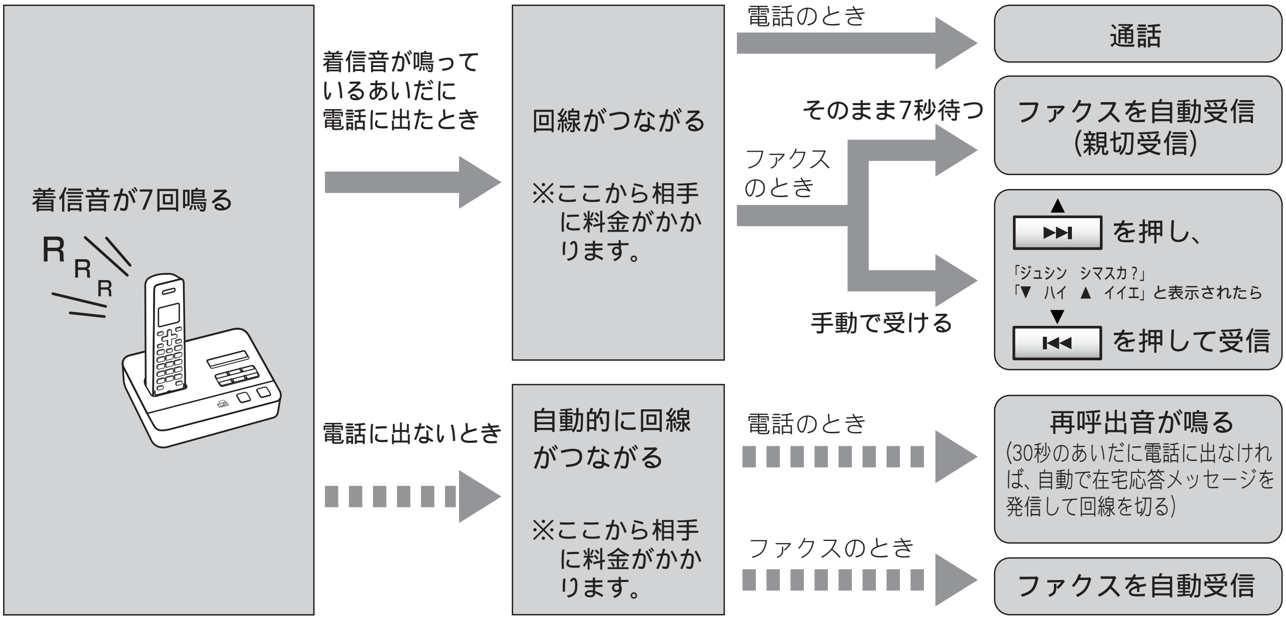
- 数字を入れ間違えたときは、[十字キー] で間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直してください。
- 設定を途中で中止するときは [切] を押してください。

電話とファクスの受信設定

お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき

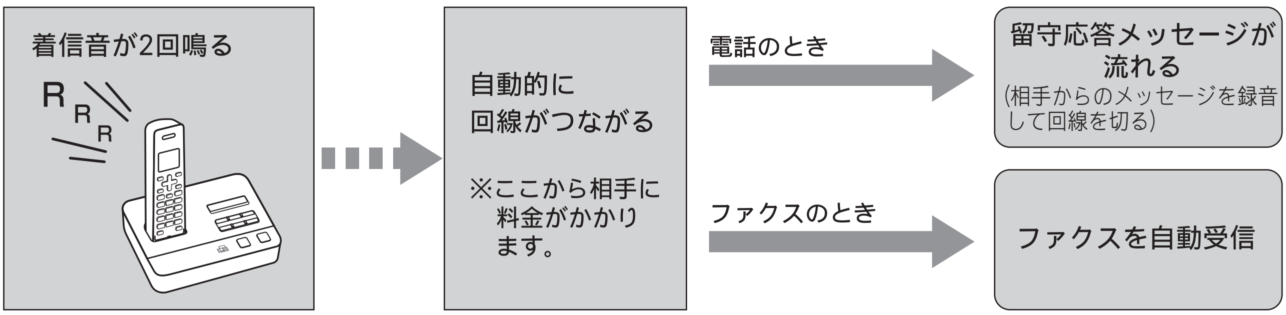
お買い上げ時は、次のように設定されています。留守番機能がセットされていない場合（在宅モード）と、セットされている場合（留守モード）とでは、本製品の動作は違います。27 ページから 32 ページでは、下表、破線部分に関わる流れを、お客様の使いかたにあった設定に変更する手順をご案内しています。

在宅モード（ザイタクモード）：留守番機能がセットされていないとき



- 着信音をメロディに設定しているときでも、回線が再呼出に切り替わるとベル音が鳴ります。
- 7 回の着信音が鳴ったあと自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先には再呼出音が聞こえています。30 秒のあいだ電話に出ないでいると、「ただ今近くにおりません。のちほどおかけ直しください。」というメッセージを流して、数秒後に回線が切れます。

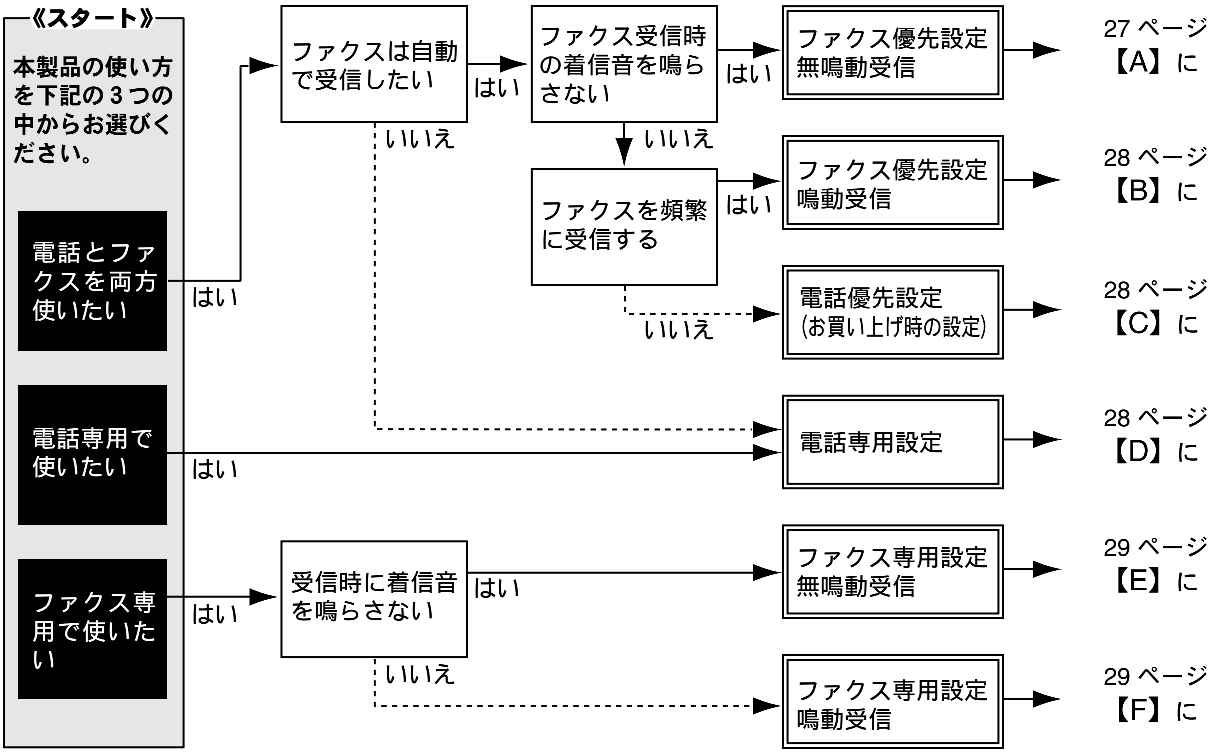
留守モード（ルスモード）：通信ボックスの 留守 を押して、留守番機能をセットしたとき



- 2 回の着信音が鳴ったあとに自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先に「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」というメッセージを流します。相手からのメッセージを録音後、回線が切れます。

電話・ファクスの受けかたを変更する

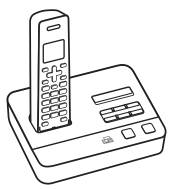
在宅モードに設定しているときの電話・ファクスの受け方を変更することができます。
下記のチャートから用途に合わせた設定を選び、各設定の説明ページへお進みください。



【A】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定無鳴動受信）

無鳴動受信を設定します。
⇒ 30 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）」

着信音は鳴らない



自動的に
回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

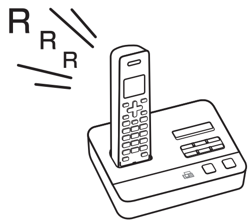
電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが30秒間鳴る）

ファクスのとき → ファクスを自動受信

【B】着信音を鳴らしてファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定鳴動受信）

着信を知らせる呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オン（デンワ　ヨビダシ）】に設定します。
⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 32 ページ「再呼出の設定をする」
例：呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オン（デンワ　ヨビダシ）】、再呼出音を【アイテニ　ベル】、再呼出時間を【20 ビョウ】に設定した場合

着信音が鳴る（2回）



→ 自動的に回線がつながる

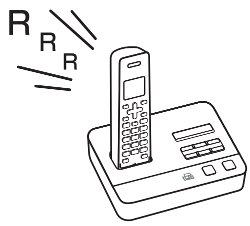
※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが20秒間鳴る）
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

【C】電話を優先的に受ける（電話優先設定）

着信を知らせる呼出回数を 7 ～ 15 回にし、再呼出設定を【オン（デンワ　ヨビダシ）】に設定します。
⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 32 ページ「再呼出の設定をする」
例：呼出回数を 8 回、再呼出設定を【オン（デンワ　ヨビダシ）】、再呼出音を【アイテニ　ベル】、再呼出時間を【70 ビョウ】に設定した場合

着信音が鳴る（8回）



→ 自動的に回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

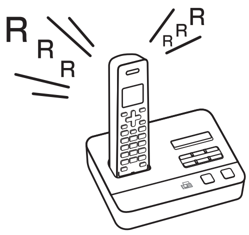
- 電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが70秒間鳴る）
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

回線が自動的につながる前に子機をとって、相手がファクスだった場合は、ファクスを手動で受信してください。
⇒ 90 ページ「電話に出てから受ける」

【D】電話専用として使いたい場合（電話専用設定）

着信を知らせる呼出回数を【ムセイゲン】に設定します。
⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」

着信音が鳴り続く



→ 子機をとる → 回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

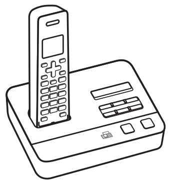
- 電話のとき → 通話
- ファクスのとき → ▲ [▶▶I] を押し、「ジュシン　シマスカ？」「▼　ハイ　▲　イイエ」と表示されたら ▼ [I◀◀] を押して受信

親切受信を【スル】（お買い上げ時の設定）にしていると、子機をとったときに相手がファクスだった場合、子機を上げたまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受けることができます。
⇒ 91 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

【E】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを受ける（ファクス専用設定無鳴動受信）

着信を知らせる呼出回数を 0 回にし、再呼出設定を【オフ（ファクス　センヨウ)】に設定します。
⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 32 ページ「再呼出の設定をする」
例：呼出回数を 0 回、再呼出設定を【オフ（ファクス　センヨウ)】に設定した場合

着信音は鳴らない



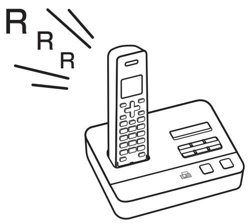
→ 自動的に回線がつながる
※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → 電話に出られません
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

【F】本製品の着信音を鳴らしてファクスを受ける（ファクス専用設定鳴動受信）

着信を知らせる呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オフ（ファクス　センヨウ)】に設定します。
⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 32 ページ「再呼出の設定をする」
例：呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オフ（ファクス　センヨウ)】に設定した場合

着信音が鳴る（2回）



→ 自動的に回線がつながる
※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → 電話に出られません
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）

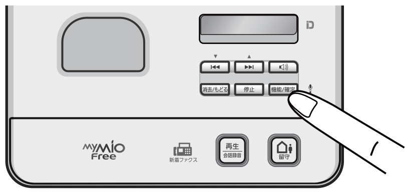
[ムメイドウジュシン]

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。

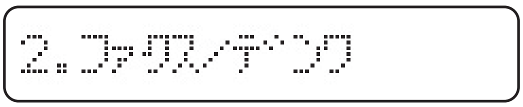
確認

- ■ 無鳴動受信を有効にすると、電話のときはベル音が鳴ります。このベル音はメロディなどに変更できません。
- ■ 無鳴動受信を有効にすると、相手が電話をかけた（ファクスを送信した）時点で、本製品は電話かファクスかを判断するために回線を接続します。したがって、本製品で電話をとらなくても相手側には通話料金が発生します。
- ■ 無鳴動受信を有効にしても、回線状況が悪い場合はファクスの着信音が数回鳴ることがあります。

1 通信ボックスの[機能/確定]を押す



2 [▼ ⏮]/[▲ ⏭]で【2. ファクス/デンワ】を選び、[機能/確定]を押す



3 [▼ ⏮]/[▲ ⏭]で【1. ジュシン セッテイ】を選び、[機能/確定]を押す

4 [▼ ⏮]/[▲ ⏭]で【1. ムメイドウ ジュシン】を選び、[機能/確定]を押す

5 [▼ ⏮]/[▲ ⏭]で【ムメイドウジュシン：スル】を選び、[機能/確定]を押す

- 【ムメイドウジュシン：スル】：
  ファクス受信を優先する無鳴動受信が設定されます。無鳴動受信を設定すると自動的に、呼出回数が【00】、再呼出設定は【オン（デンワ　ヨビダシ）】、再呼出音が【アイテニ　ベル】、再呼出時間が【30 ビョウ】に設定されます。
- 【ムメイドウジュシン：シナイ】：
  無鳴動受信は設定されません。電話、ファクスどちらの場合も着信音が鳴ります。無鳴動受信を設定しない場合は、呼出回数が【07】、再呼出設定は【オン（デンワ　ヨビダシ）】、再呼出音が【アイテニ　ベル】、再呼出時間が【30 ビョウ】です。

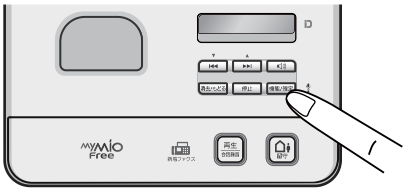
6 [停止]を押して設定を終了する

呼出回数を設定する

[ヨビダシ　カイスウ]

本製品が応答してから回線が自動的につながる（電話かファクスかを自動判定する）までに鳴る着信音の回数を設定します。
お買い上げ時は「ザイタク　モード：7 回」、「ルス　モード：2 回」に設定されています。呼出回数を 0 回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけベル音を鳴らすことができます。（回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも着信音が数回鳴ることがあります。また、電話のときは相手に料金がかかります。）

1 通信ボックスの[機能/確定]を押す



2 [▼⏮]/[▲⏭]で【2. ファクス/デンワ】を選び、[機能/確定]を押す

3 [▼⏮]/[▲⏭]で【1. ジュシン　セッテイ】を選び、[機能/確定]を押す

4 [▼⏮]/[▲⏭]で【2. ヨビダシ　カイスウ】を選び、[機能/確定]を押す

5 [▼⏮]/[▲⏭]で【ザイタク　モード】を選び、[機能/確定]を押す

まず、[留守]が押されていない（留守モードが設定されていない）ときの呼出回数を設定します。

6 [▼⏮]/[▲⏭]で、呼出回数または【ムセイゲン】を選び、[機能/確定]を押す

- 【00 ～ 15（回）】：
  設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります
- 【ムセイゲン】：
  子機をとるまで着信音が鳴り続けます。子機をとると回線がつながります。

7 [▼⏮]/[▲⏭]で【2. ヨビダシ　カイスウ】を選び、[機能/確定]を押す

8 [▼⏮]/[▲⏭]で【ルス　モード】を選び、[機能/確定]を押す

次に、[留守]が押されている（留守モードが設定されている）ときの呼出回数を設定します。

9 [▼⏮]/[▲⏭]で、呼出回数または【トール　セーバー】を選び、[機能/確定]を押す

- 【00 ～ 07（回）】：
  設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります
- 【トール　セーバー】：
  外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。
  ⇒ 31 ページ「トールセーバーを利用する」

10 [停止]を押して設定を終了する

トールセーバーを利用する

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

- 2 回：音声メッセージがある
- 5 回：音声メッセージがない

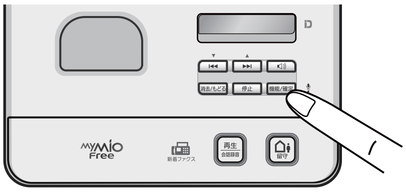
呼出音の 3 回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れば、通話料金がかかりません。呼出音が 2 回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりますが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。
⇒ 125 ページ「外出先から本製品を操作する」

再呼出の設定をする

[サイ　ヨビダシ　セッテイ]

着信を知らせる呼出音が、⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」で設定された回数鳴ったあと、本製品は電話かファクスかを判断するために自動的に電話回線を接続します。留守 が押されているときは、留守モードの場合の設定動作を自動的に行います。ここでは、在宅モード時の、電話回線接続後の本製品の動作を設定します。お買い上げ時は、ファクスの場合はすぐに受信を開始、電話の場合は 30 秒のベル音が鳴ってから電話が切れるように設定されています。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ▼⏮/▲⏭ で【2. ファクス/デンワ】を選び、機能/確定 を押す

3 ▼⏮/▲⏭ で【1. ジュシン セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

4 ▼⏮/▲⏭ で【3. サイ　ヨビダシ セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

5 ▼⏮/▲⏭ で在宅応答のしかたを選び、機能/確定 を押す

- 【オフ（ファクス　センヨウ）】:
  本製品をファクス専用として使うときに選びます。電話は受けられません。
  ファクスは自動的に受信します。
- 【オン（デンワ　ヨビダシ）】:
  電話とファクスの両方を使うときに選びます。電話のときは再呼出音が鳴ります。
  ファクスは自動的に受信します。

> - 【オフ（ファクス　センヨウ）】を選んだ場合：⇒手順 8 へ
> - 【オン（デンワ　ヨビダシ）】を選んだ場合：⇒手順 6 へ

6 ▼⏮/▲⏭ で再呼出音を選び、機能/確定 を押す

再呼出音が鳴っている間に、相手に流す音を選びます。

- 【アイテニ　ベル】:
  「トゥルートゥルー」という音が相手に流れます。
- 【アイテニ　メッセージ】:
  在宅応答メッセージが相手に流れます。お買い上げ時は、「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。
  在宅応答メッセージを自分の声で録音することもできます。
  ⇒120ページ「応答メッセージを録音する」

7 ▼⏮/▲⏭ で切り替え（再呼び出し）時間を選び、機能/確定 を押す

再呼出音を何秒鳴らすかを設定します。
【20 ビョウ／ 30 ビョウ／ 40 ビョウ／ 70 ビョウ】から選びます。

8 停止 を押して設定を終了する

電話会社の有料サービス利用の有無を設定する

電話会社と下記の有料サービスを契約している場合に設定します。電話会社と契約するだけでは、正しく動作しない場合がありますので、契約の有無に従って設定を行ってください。
- ナンバーディスプレイ機能
- キャッチディスプレイ機能

本製品はキャッチホン機能、ボイスワープ機能にも対応していますが、特に設定を必要としません。

本製品はネーム・ディスプレイ機能には対応していません。

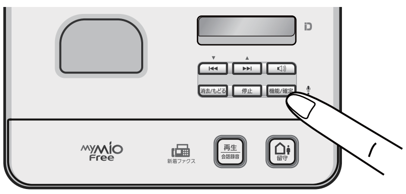
ナンバーディスプレイ機能を設定する

お買い上げ時は、【アリ】に設定されています。契約されていない場合は、【ナシ】に設定してください。ナンバーディスプレイ機能をご契約の上、【アリ】に設定しているときは、各種のオプション機能が利用できます。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 65 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

確認

■ ナンバーディスプレイ機能を契約されている場合は、必ず【アリ】にしてください。【ナシ】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ⏮/⏭ で【0. ショキ セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

3 ⏮/⏭ で【3. ナンバーディスプレイ】を選び、機能/確定 を押す

4 ⏮/⏭ で【1. ナンバーディスプレイ】を選び、機能/確定 を押す

5 ⏮/⏭ で【ナンバーディスプレイ：アリ】または【ナンバーディスプレイ：ナシ】を選び、機能/確定 を押す

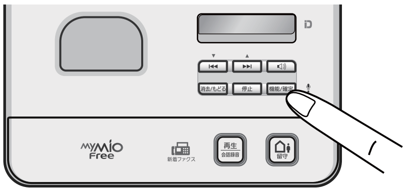
6 停止 を押して設定を終了する

ナンバーディスプレイ機能を利用するときは、呼出回数を 3 回以上に設定してください。2 回以下に設定していると、相手先の電話番号を画面に表示できないことがあります。
⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」

キャッチディスプレイ機能を設定する

お買い上げ時は、【ナシ】に設定されています。
キャッチディスプレイ機能を契約されている場合は、【アリ】に設定してください。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 70 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ［▼⏮］/［▲⏭］で【0. ショキ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ［▼⏮］/［▲⏭］で【3. ナンバーディスプレイ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ［▼⏮］/［▲⏭］で【1. ナンバーディスプレイ】を選び、［機能/確定］を押す

5 ［▼⏮］/［▲⏭］で【ナンバーディスプレイ：アリ】を選び、［機能/確定］を押す

6 ［消去/もどる］を押す

7 ［▼⏮］/［▲⏭］で【4. キャッチディスプレイ】を選び、［機能/確定］を押す

8 ［▼⏮］/［▲⏭］で【キャッチディスプレイ：アリ】または【キャッチディスプレイ：ナシ】を選び、［機能/確定］を押す

9 ［停止］を押して設定を終了する

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。また、記録紙をセットしたときは、本製品の「記録紙タイプ」(⇒ 44 ページ「記録紙の種類を設定する」)またはプリンタードライバーの「用紙種類」の設定を変更してください。(Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」—「印刷の設定を変更する」、Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」—「印刷の設定を変更する」)
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

使用できる記録紙

種類	厚さ	一度にセットできる枚数	サイズ			参照
			コピー	デジカメプリント	プリンター	
普通紙	64g/m^2 ～ 120g/m^2 (0.08mm ～ 0.15mm)	100[*1]	A4 B5 A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5 (JIS) A5 A6	⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」
		100	—	—	リーガル	
インクジェット紙	64g/m^2 ～ 200g/m^2 (0.08mm ～ 0.25mm)	20	A4 B5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5 (JIS) A5 A6 リーガル 2L 判[*3]	
光沢紙	220g/m^2 以下 (0.25mm 以下) [*2]	20	A4 B5	A4 2L 判[*2]		
OHP フィルム	0.13mm 以下	10	A4 B5	—		
封筒	75g/m^2 ～ 95g/m^2	10	—	—	DL 封筒 COM-10 C5 封筒 モナーク 洋形 4 号封筒	
ポストカード	0.25mm 以下	20	—	—	101.6mm × 152.4mm	
インデックスカード	120g/m^2 以下 (0.15mm 以下)	30	—	—	127mm × 203.2mm	
L 判光沢紙	220g/m^2 以下 (0.25mm 以下) [*2]	20	L 判	L 判	L 判	⇒ 41 ページ「スライドトレイにセットする」
はがき(普通紙)	220g/m^2 以下 (0.25mm 以下)	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	
はがき(インクジェット紙)	220g/m^2 以下 (0.25mm 以下)	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	
はがき(写真用光沢はがき)	220g/m^2 以下 (0.25mm 以下) [*2]	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	

[*1] 80g/m^2 の場合

[*2] ブラザー BP71 写真光沢紙の厚さは 260g/m^2 ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。

[*3] 127mm × 178mm

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
住友スリーエム社製 OHP フィルム 型番：CG3410

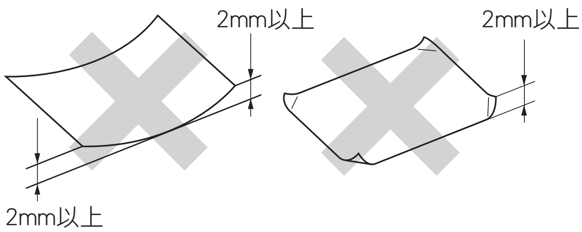
OHP フィルムとブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙に同封されている「取扱説明書」と「取扱説明書ー印刷後の乾燥・保存方法について」をよくお読みください。

確認

- 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
  傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙、すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）
- 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。
- 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

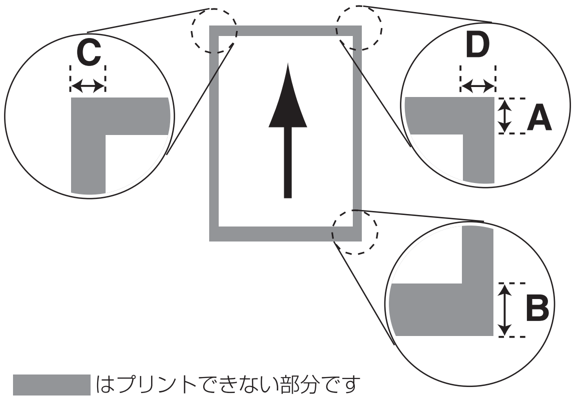
カールしている記録紙について
特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。
カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。



記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

> 下記の数値は、プリンター機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を行っている場合、印刷できる範囲はお使いの OS やプリンタードライバーによって異なります。



（単位：mm）

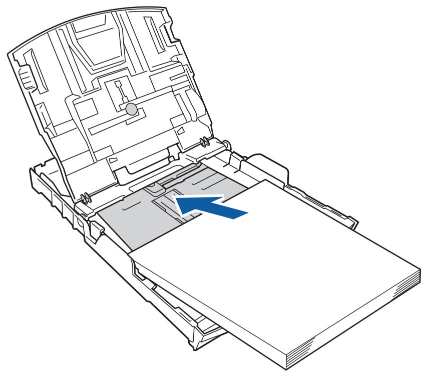
記録紙	A	B	C	D
普通紙 インクジェット紙 光沢紙 OHP フィルム ポストカード インデックスカード	3	3	3	3
封筒	12	24	3	3

※印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。また、この数値はお使いの記録紙やプリンタードライバーによっても変わることがあります。

トレイの種類

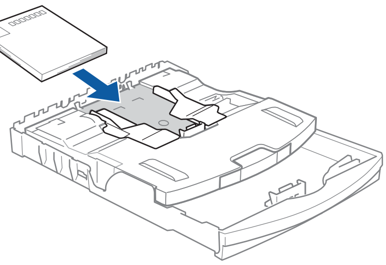
記録紙をセットするトレイは、「記録紙トレイ」と「スライドトレイ」の 2 種類があります。

記録紙トレイ



主に、A4、B5 などの記録紙、封筒などをセットします。
⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」

スライドトレイ



L 判光沢紙、はがき（普通紙）、はがき（インクジェット紙）、写真用光沢はがきをセットします。
⇒ 41 ページ「スライドトレイにセットする」

最大排紙枚数について

厚さ 80g/m^2 の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙できます。
写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

記録紙トレイにセットする

記録紙トレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

- 普通紙
- インクジェット紙
- OHP フィルム
- ポストカード
- インデックスカード
- 光沢紙（L 判以外）
- 封筒

はがきおよび L 判光沢紙は、スライドトレイにセットしてください。

⇒ 41 ページ「スライドトレイにセットする」

確認

■ 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。

■ インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。

■ 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

■ 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。

■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。

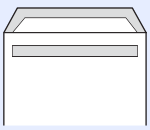
・窓付き封筒

・エンボス加工がされたもの

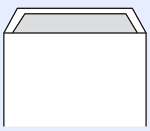
・留め金のついたもの

・内側に印刷がほどこされているもの

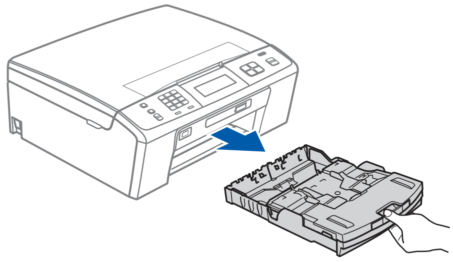
・ふたにのりが付いているもの



・二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）

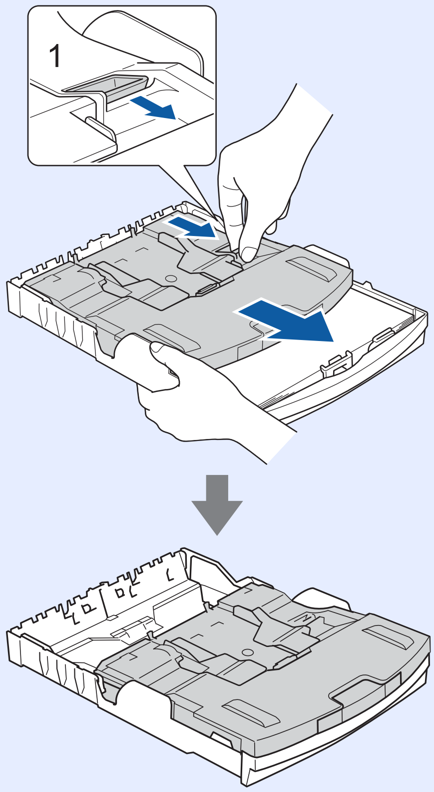


1 記録紙トレイを引き出す



確認

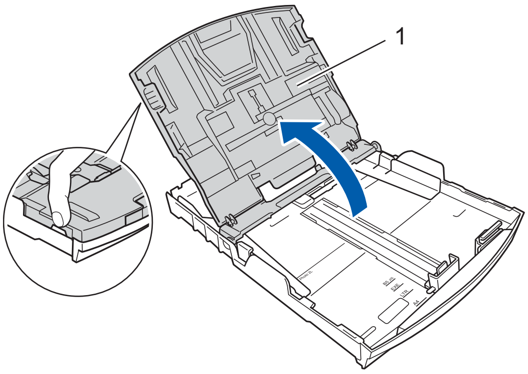
■ 記録紙トレイから印刷するときは、スライドトレイを手前に引いておく必要があります。
リリースボタン（1）をつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



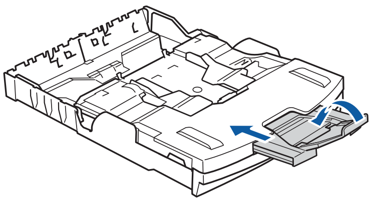
2 トレイカバー（1）を開く

注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

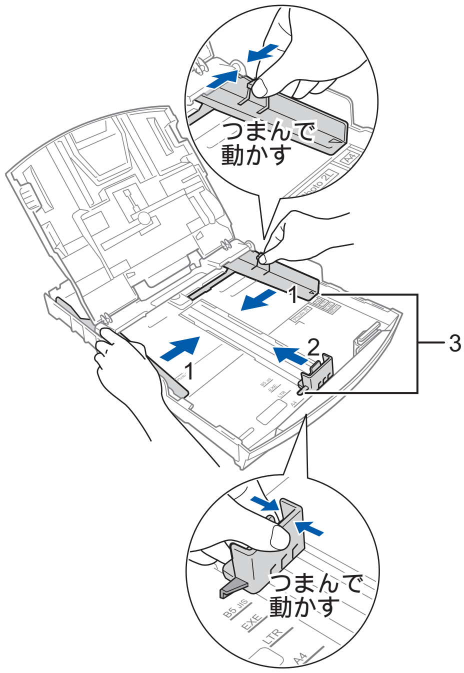


記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてからトレイカバーを開いてください。



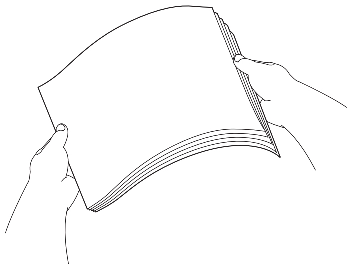
3 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）の△の目印（3）を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。



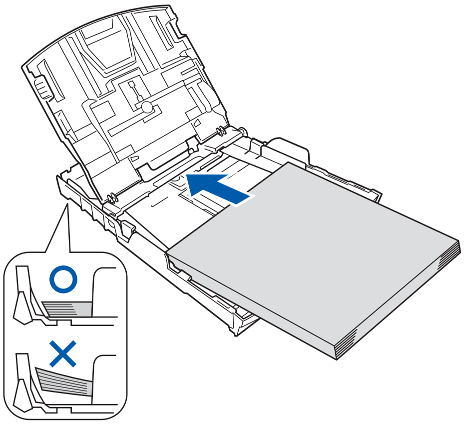
4 記録紙をさばく

紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。
記録紙がカールしていないことを確認してください。
記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。



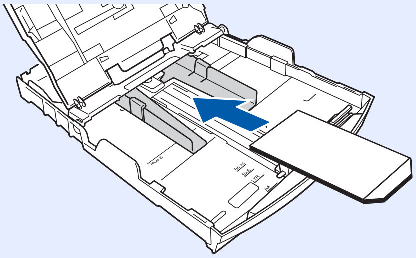
5 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

記録紙は、強く押し込まないでください。
用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

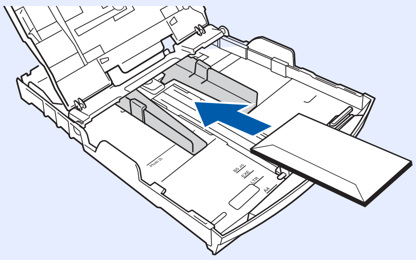


確認

- ■ 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ■ ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- ■ 縦長封筒は、ふたを開いた状態で、ふたのない方向からセットしてください。ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。
  また、上下が反転して印刷されますので、プリンタードライバーの［拡張機能］または［拡張設定］で［上下反転］に設定してください。
  - Windows® の場合
    ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」
  - Macintosh の場合
    ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「拡張設定」



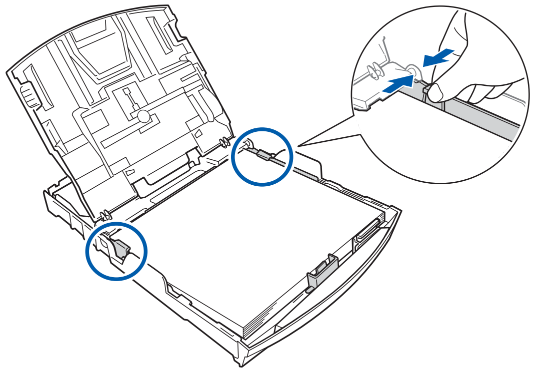
- ■ 横長封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。



6 幅のガイドを、記録紙にぴったりと合わせる

注意

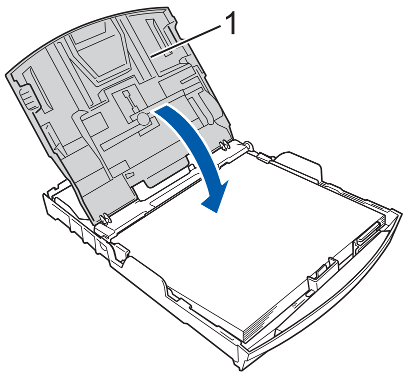
- ● トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- ● トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



確認

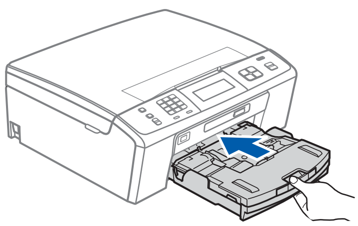
- ■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

7 トレイカバー（1）を閉める

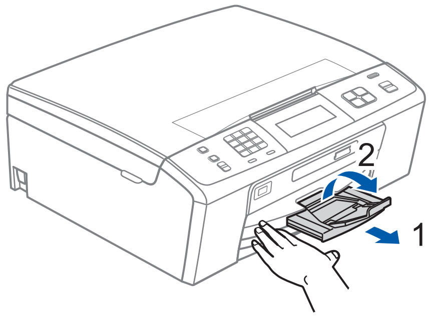


8 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に複合機本体に戻します。
トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。



9 **トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）**



確認

- 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。
- 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。

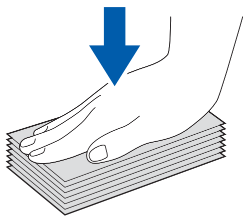
封筒にうまく印刷できない場合は、使用しているパソコンのアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。

スライドトレイにセットする

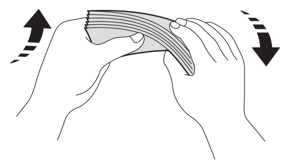
スライドトレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

- はがき（普通紙）
- はがき（インクジェット紙）
- はがき（写真用光沢はがき）
- L 判光沢紙

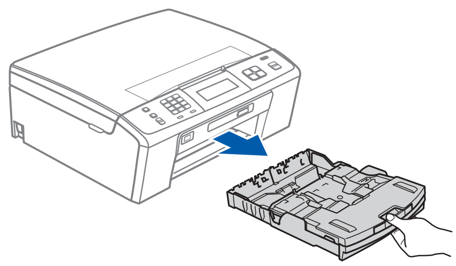
1 **記録紙の端をそろえて、まっすぐにする**



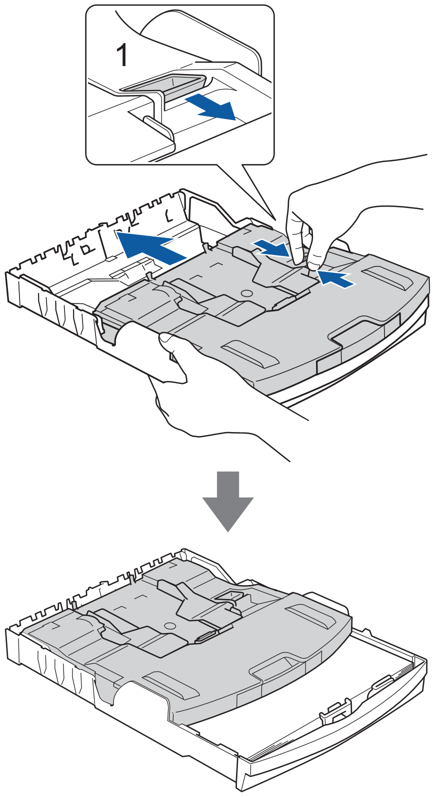
記録紙がそっているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、そりを直します。



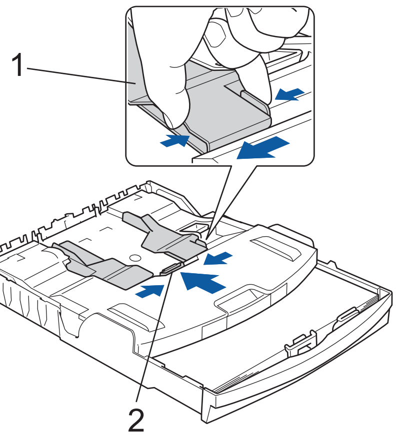
2 **記録紙トレイを引き出す**



3 リリースボタン（1）をつまみ、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に奥にずらす

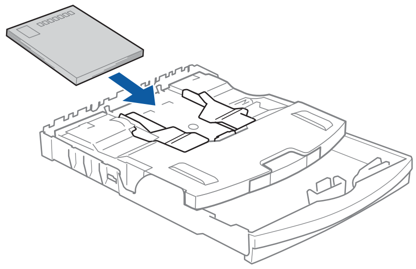


4 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

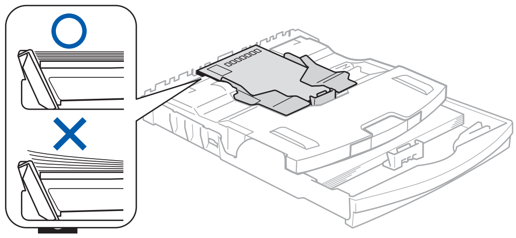


5 印刷したい面を下にして、記録紙の下端から先に、図のようにセットする

はがきを印刷する場合は、上側（郵便番号欄）が記録紙トレイの奥になるようにセットしてください。



記録紙がスライドトレイの中で平らになっていることを確認してください。また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。



確認

■ 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。

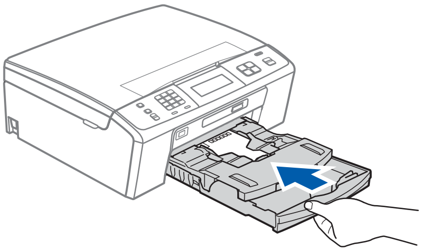
■ ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。

※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

6 記録紙トレイを元に戻す

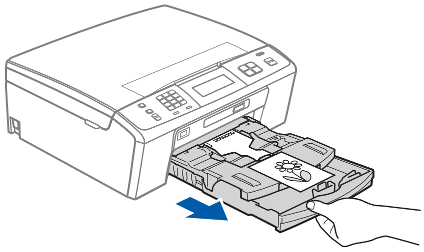
記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。
トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。



> 年賀状や暑中見舞いなど、はがきの印刷の設定方法については下記をご覧ください。
> ⇒ 234 ページ「はがき（年賀状）に印刷するには」

印刷したあと、はがき、L 判の記録紙を取り出す

はがきや L 判サイズの記録紙など、小さなサイズの記録紙に印刷したときは、記録紙トレイを引き出して、印刷した記録紙を取り出してください。



記録紙の種類を設定する

【記録紙タイプ】

セットした記録紙の種類を本製品で設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

> コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙の種類を変更することもできます。
> ⇒ 137 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
> ⇒ 156 ページ「L 判、2L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」
>
> パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙の種類を設定します。
> - Windows® の場合
>   ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
>   「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
> - Macintosh の場合
>   ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
>   「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【記録紙タイプ】を押す

4 記録紙タイプを選ぶ

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】から選びます。

> ブラザー BP71、BP61 写真光沢紙以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。
>
> カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷するときは、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

設定が有効になります。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

記録紙のサイズを設定する

【記録紙サイズ】

セットした記録紙のサイズを本製品で設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

> コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙のサイズを変更することもできます。
> ⇒ 137 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
> ⇒ 156 ページ「L 判、2L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」
>
> パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
> - Windows® の場合
>   ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
>   「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
> - Macintosh の場合
>   ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
>   「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【記録紙サイズ】を押す

4 記録紙サイズを選ぶ

【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】から選びます。

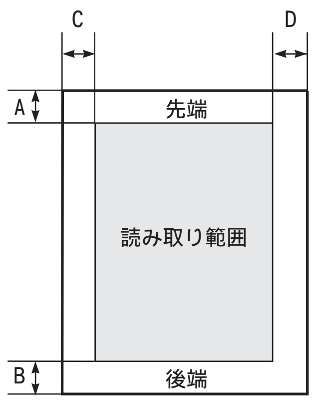
設定が有効になります。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

原稿のセット

原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



（単位：mm）

機能	A	B	C	D
ファクス	3			
コピー	3			
スキャン	3			

原稿をセットする

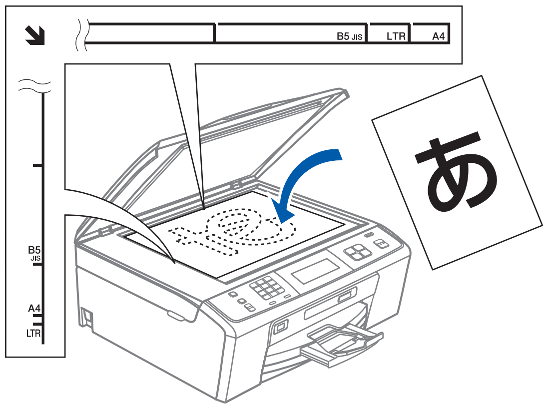
原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

確認

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

1 **原稿台カバーを持ち上げる**

2 **原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする**



3 **原稿台カバーを閉じる**

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

確認

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

■ 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

音量を設定する

お好みで設定してください

複合機本体、通信ボックス、子機それぞれに音量を調整します。

複合機本体のボタン確認音量を設定する

操作パネル上のボタンを押したときに鳴る音の大きさを調整できます。

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【ボタン確認音量】を押す

4 好みの音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

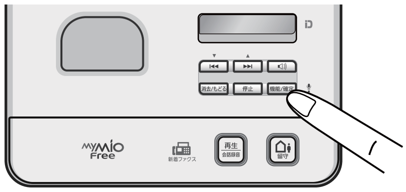
5 [停止/終了]を押して設定を終了する

> ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

通信ボックスの音量を設定する

ボタンを押したときに鳴る音の大きさと留守モードでの応答／録音メッセージ再生音量、留守録モニター音量を調整できます

1 通信ボックスの[機能/確定]を押す



2 [▼◀◀]/[▲▶▶]で【1. キホン　セッテイ】を選び、[機能/確定]を押す

3 [▼◀◀]/[▲▶▶]で【1. オンリョウ】を選び、[機能/確定]を押す

4 [▼◀◀]/[▲▶▶]で【2. ボタンカクニン　オンリョウ】を選び、[機能/確定]を押す

5 [▼◀◀]/[▲▶▶]で好みの音量を選び、[機能/確定]を押す

【オフ／ショウ／チュウ／ダイ】から選びます。

> お買い上げ時は、【ショウ】に設定されています。

6 [▼◀◀]/[▲▶▶]で【3. スピーカーオンリョウ】を選び、[機能/確定]を押す

7 ▼⏮／▲⏭で好みの音量を選び、機能/確定を押す

【オフ／ショウ／チュウ／ダイ】から選びます。

> お買い上げ時は、【チュウ】に設定されています。

8 停止を押して設定を終了する

> スピーカーの音量は、音声再生中に🔊を押しても調整できます。その場合は再生が終わると設定値に戻ります。
>
> スピーカーの音量を【オフ】に設定していても、下記の場合は【ショウ】の音量で音が鳴ります。
> - 留守ボタンを押したときの応答メッセージ、新規留守録メッセージ再生音
> - 再生 / 会話録音ボタンを押したときの録音メッセージ再生音
>
> ボタンの確認音量は【オフ】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

通話中に受話音量を変える

通話中に🔊を押します。

子機の音量を設定する

着信音量を設定する

着信を知らせる呼出音の音量が調整できます。お買い上げ時は、【■■■□】（3 段階目）に設定されています。

1 を押す

2 で音量を選ぶ

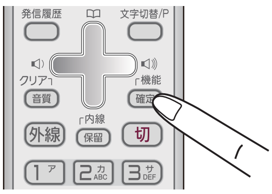
音量はオフ【□□□□】を含めて 5 段階から選べ、オフにすると画面に が表示されます。

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。

ボタン確認音量を設定する

ボタンを押したときに鳴る音の【ON ／ OFF】を設定します。お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

1 子機の 機能/確定 を押す



2 **で【メイドウオンセッテイ】を選び、機能/確定 を押す**

3 **で【3. ボタンカクニンオン】を選び、機能/確定 を押す**

4 **で【ON】または【OFF】を選び、機能/確定 を押す**

5 **切 を押して設定を終了する**

スピーカー音量を設定する

スピーカーホンで通話するときの音量を調整します。

スピーカーホン を押して、「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中に設定できます。お買い上げ時は、【■■□□】（2 段階目）に設定されています。

1 **スピーカーホン を押す**

2 を押す

3 で音量を選ぶ

スピーカー音量は 4 段階から選べます。

4 **スピーカーホン を押して設定を終了する**

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。
>
> 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、スピーカー音量を下げて使用ください。

受話音量を設定する

受話口から聞こえる相手の声の大きさが調整できます。お買い上げ時は、【■■□□】（2 段階目）に設定されています

1 **通話中に を押す**

2 **で音量を選ぶ**

受話音量は 4 段階から選べます。

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。
>
> 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、受話音量を下げて使用ください。

保留 / 着信メロディを設定する

保留メロディは通信ボックスで、着信メロディは子機で設定します。

確認

- 通話中に保留 / 着信メロディを設定することはできません。
- 呼出回数を 0 回に設定していると、メロディに設定していても、回線が再呼出に切り替わりベル音が鳴るため、メロディが聞こえません。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を 3 回以上に設定してください。
⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」

保留メロディを選ぶ

[ホリュウメロディ]

保留メロディは下表にある 30 曲の中から選べます。お買い上げ時は、「花のワルツ」に設定されています。

	曲名		曲名
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダッタン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第 2 番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌（交響曲第 9 番）	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデイ
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷（ふるさと）
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

1 通信ボックスの [機能/確定] を押す



2 [⏮▼] / [⏭▲] で【2. ファクス/デンワ】を選び、[機能/確定] を押す

3 [⏮▼] / [⏭▲] で【4. ホリュウメロディ】を選び、[機能/確定] を押す

4 [⏮▼] / [⏭▲] でメロディを選び、[機能/確定] を押す

現在選択されているメロディが流れます。

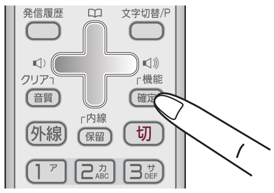
5 [停止] を押して設定を終了する

着信メロディを選ぶ

着信メロディは下表にあるベル音と 6 曲の中から選べます。お買い上げ時は、ベル音に設定されています。
子機は個体それぞれで好みの着信メロディに設定できます。

	曲名
1	（ベル音）
2	アヴェ・マリア
3	大きな古時計
4	ガボット
5	きらきら星
6	四季より「春」
7	花のワルツ

1 子機の［機能/確定］を押す



2 で【メイドウオンセッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

3 で【1.　チャクシンオン】を選び、［機能/確定］を押す

現在選択されているメロディが流れます。

4 で着信音を選び、［機能/確定］を押す

5 ［切］を押して設定を終了する

電話帳登録先の着信音を変える
ナンバーディスプレイ機能を契約しているときは、電話帳に登録した相手の電話番号のみ着信音を変えることができます。 ⇒ 68 ページ「着信鳴り分けを設定する」

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

複合機本体の画面設定を変更する

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【画面の設定】を押す

4 変更したい項目を選ぶ



- 【画面の明るさ】：
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】：
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

5 目的の設定を選ぶ

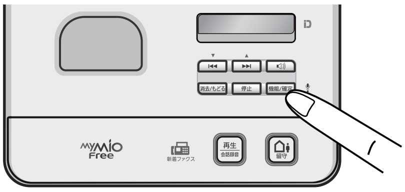
- 画面の明るさ：
  【明るく／標準／暗く】
- 照明ダウンタイマー：
  【切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒】

6 [停止/終了]を押して設定を終了する

通信ボックスの画面のコントラストを変更する

お買い上げ時は、5 段階の中間に設定されています。

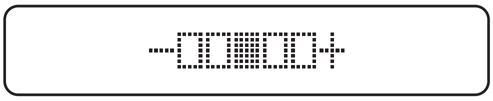
1 通信ボックスの[機能/確定]を押す



2 [▼⏮]/[▲⏭]で【1. キホン　セッテイ】を選び、[機能/確定]を押す

3 [▼⏮]/[▲⏭]で【2. エキショウ コントラスト】を選び、[機能/確定]を押す

4 画面を見ながら、[▼⏮]/[▲⏭]で好みのコントラストを選び、[機能/確定]を押す

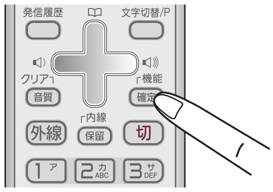


5 [停止]を押して設定を終了する

子機の画面のコントラストを変更する

お買い上げ時は、7 段階の中間に設定されています。

1 **子機の機能/確定を押す**



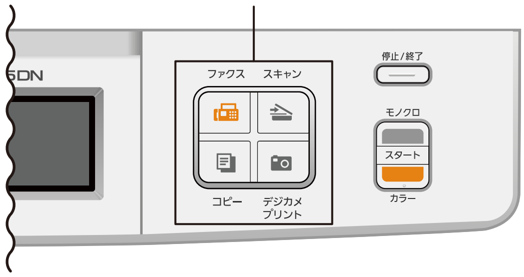
2 **で【ガメンノコントラスト】を選び、機能/確定を押す**

3 **画面を見ながら、で好みのコントラストを選び、機能/確定を押す**

4 **切を押して設定を終了する**

モードタイマーを設定する

複合機本体は、操作パネル上のファクス、スキャン、コピー、デジカメプリントの 4 つのモードボタンを押すことによって、それぞれのモードに切り替えることができます。点灯しているボタンが現在のモードです。お買い上げ時は、各モードの操作終了後 2 分が経過するとファクスモードに戻る設定になっています。



ファクスモードに戻る時間を変更する

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を変更できます。【切】を選んで、最後に使ったモードを維持するように設定することもできます。

お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【モードタイマー】を押す

4 ファクスモードに戻る時間を選ぶ

【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

スリープモードに入る時間を設定する

本製品は、設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに再起動します。複合機本体は、待機状態に切り替わるまでの時間が設定できます。

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【スリープモード】を押す

4 希望の時間を選ぶ

【1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 30 分／ 60 分】から選びます。

目的の時間が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

- お買い上げ時は【5 分】に設定されています。
- 使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押すかタッチパネルに軽く触れれば、すぐに再起動します。

通信ボックスのスリープモードについて

通信ボックスは無操作のまま 5 分が経過すると、自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。切り替わる時間は選べません。
待機状態になると画面が暗くなります。使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押せば、すぐに再起動します。

第 2 章

電話

電話の基本機能

電話をかける / 受ける 56
電話をかける 56
電話を受ける 56
電話帳からかける 57
通話を保留にする 57
通話を録音する 57
いろいろな電話のかけかた 58

通話中の各種操作 59

電話を取り次ぐ 60
電話を取り次ぐ 60
用件を伝えずに電話を取り次ぐ 60

内線通話をする 61
子機から子機へかける 61
3 人で同時に話す（トリプル通話） 61

キャッチホンで電話を受ける 62
キャッチホンで電話を受けた場合 62
キャッチホンでファクスを受けた場合 62

電話の応用機能

迷惑電話を拒否する 64

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する 65
ナンバー・ディスプレイサービスとは 65
ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能 67
電話がかかってきたときは 67
着信履歴を利用する 67
迷惑電話指定する 68
着信鳴り分けを設定する 68

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する 70

ケータイ通話お得サービスを利用する 71
ケータイ通話お得サービスとは 71
NTT コミュニケーションズの 0033 モバイルサービスのご案内 72
ケータイ通話お得サービスを設定する 72
IP 解除番号の入れかた（入力例） 73
事業者識別番号を変更する 74

電話をかける / 受ける

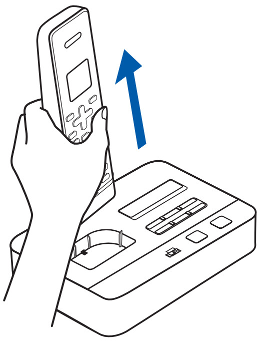
電話の基本機能

電話をかけたり受けたりするときの基本操作です。この章では、特に限定がなければ通信ボックス、子機充電器をともに「充電器」と総称します。

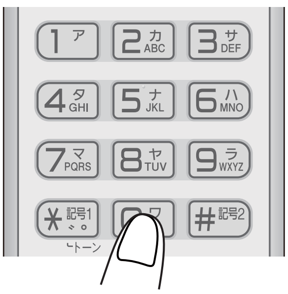
電話をかける

1 充電器から子機をとる

子機を充電器に置いていないときは、
外線 を押します。



2 0ワ ～ 9ラWXYZ を押して相手に電話をかける



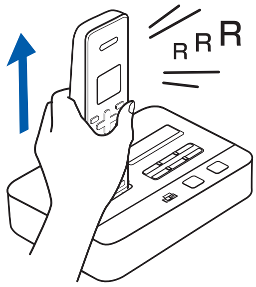
3 通話が終わったら、子機を充電器に戻す

切 を押しても電話を切ることができます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、充電器から子機をとる

子機を充電器に置いていないときは、
外線 を押します。



2 通話が終わったら、子機を充電器に戻す

切 を押しても電話を切ることができます。

電話帳からかける

電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。

1 充電器から子機をとる

2 電話帳 を押す

3 で電話をかける相手を選ぶ

4 外線 を押す

選んだ相手先に電話がかかります。

通話を保留にする

1 通話中に 内線/保留 を押す

保留メロディが流れ、相手にはこちらの声が聞こえなくなります。

2 通話に戻る時は、内線/保留 を押す

通話を録音する

本製品には、通話中の会話を録音する機能があります。通信ボックスで操作します。

- 録音できるのは 180 秒です。180 秒を過ぎると、録音は終了します。
- 録音した内容は、留守録メモリーに記憶されます。再生する場合は、電話を切った状態で 再生/会話録音 を押します。
- 通信ボックスから離れたところで外線通話中のときでも録音は可能ですが、子機では操作できないため、通信ボックスのところまで移動してください。

1 通話中に通信ボックスの 再生/会話録音 を押す

録音が始まります。

2 録音をやめるときは、停止 を押す

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付 録

いろいろな電話のかけかた

再ダイヤルや発信履歴・着信履歴を使って電話がかけられます。

最後にかけた相手にかける（再ダイヤル）

(1) 充電器から子機をとる

(2) [発信履歴] を押す

最近かけた相手にかける（発信履歴）

(1) 充電器から子機をとる

(2) [切] を押す

(3) [外線] が消灯していることを確認し、[発信履歴] を押す

(4) [十字キー] で相手先を選ぶ

(5) [外線] を押す

最近かかってきた相手にかける（着信履歴）

※着信履歴は、ナンバーディスプレイ機能をご契約の場合のみ使用できます。

(1) 充電器から子機をとる

(2) [切] を押す

(3) [外線] が消灯していることを確認し、[キャッチ 着信履歴] を押す

(4) [十字キー] で相手先を選ぶ

(5) [外線] を押す

充電器に置いたままかける（スピーカーホン）

(1) [スピーカーホン] を押す

(2) 相手先の電話番号を押す

(3) 相手が出たら、マイクに向かって話す



※まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器からとって話してください。

(4) 通話が終わったら [切] を押す

通話中の各種操作

通話中の電話のいろいろな使いかたです。

スピーカーホン通話に切り替える

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

(1) 通話中に［スピーカーホン］を押す

◆スピーカーホン通話が始まります。

(2) スピーカーホン通話をやめるときは、［スピーカーホン］を押す

プッシュホンサービスを利用する

プッシュ回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルして、サービスを利用することができます。
ダイヤル回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルする前に、トーンボタンを押してください。

※ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

(1) 充電器から子機をとり、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルする

(2) ダイヤル回線の場合は、［＊ 記号1 トーン］を押す

(3) サービスの指示に従ってダイヤルボタンを押す

※プッシュホンサービスには、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などさまざまなサービスがあります。

受話音質を調節する

相手の声を好みの音質に 5 段階で調節できます。お買い上げ時は 3 段階目に設定されています。

(1) 通話中に［クリア 音質］を押す

◆設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

(2) ［クリア 音質］を押して音質を調整する

◆5 段階から選びます。

※通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

内緒話モードを設定する

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

(1) 通話中に［クリア 音質］を約 2 秒押す

◆「ナイショ：ON」と表示されます。

※設定を解除するには、もう一度［クリア 音質］を約 2 秒押します。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付 録

電話を取り次ぐ

電話を別の子機（MFC-J805D/J855DN は増設した場合）に取り次ぐときの操作方法です。電話の取り次ぎに際しては、子機は互いの内線番号を選んで呼び出します。

内線番号表 (表示名)

機種名 ＼ 子機種類	付属子機		別売り 増設子機 1 台目	別売り 増設子機 2 台目	別売り 増設子機 3 台目
MFC-J805D	コキ 1	ー	コキ 2	コキ 3	コキ 4
MFC-J805DW	コキ 1	コキ 2	コキ 3	コキ 4	
MFC-J855DN	コキ 1	ー	コキ 2	コキ 3	コキ 4
MFC-J855DWN	コキ 1	コキ 2	コキ 3	コキ 4	



内線番号

電話を取り次ぐ

ここでは、「コキ 1 で受け、コキ 2 に取り次ぐ場合」を例として説明します。

1 コキ 1 で通話中に [内線/保留] を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 [十字キー] で「コキ 2」を選び、[機能/確定] を押す

コキ 2 の内線呼出音が鳴ります。

> 呼び出している子機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは、[内線/保留] を押します。
>
> 取り次ぎの内線呼び出しをされたときは、子機を充電器からとります。子機を充電器から外して置いてあった場合は、[内線/保留] または [外線] を押します。

3 コキ 2 が内線に応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて、コキ 1 を充電器に戻す、または [切] を押す

コキ 2 と外線の相手が通話できるようになります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

内線通話をはさまずに、直接別の子機に外線を取り次ぐ方法です。居間で自分が受けた電話を、自分の部屋の子機にまわすなど、ひとりで取り次ぎ操作を完結させたいときなどにも使えます。ここでは、「コキ 1 で受け、コキ 2 に取り次ぐ場合」を例として説明します。

1 コキ 1 で通話中に [内線/保留] を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 [十字キー] で「コキ 2」を選び、[機能/確定] を押す

コキ 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 コキ 1 を充電器に戻す

4 コキ 2 を充電器からとる

コキ 2 と外線の相手が通話できるようになります。

内線通話をする

子機から子機へかける

子機どうしで通話する操作方法です。
外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。
⇒ 60 ページ「電話を取り次ぐ」
ここでは、「コキ 1 からコキ 2 に内線をかける場合」を例として説明します。

1 コキ 1 を充電器からとり、切 を押してから 内線/保留 を押す

2 ✜ で「コキ 2」を選び、機能/確定 を押す

コキ 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 コキ 2 を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

コキ 1 とコキ 2 のあいだで通話できます。

電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

3 人で同時に話す（トリプル通話）

子機どうしと外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。
ここでは、「コキ 1 と外線で通話中に、コキ 2 を参加させる場合」を例として説明します。

確認

- 外線の相手2人と同時に通話することはできません。
- いったんトリプル通話をすると、そのあと保留にはできません。
- トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れる子機の 切 を押してください。

1 コキ 1 で外線通話中に 内線/保留 を押す

通話が保留になります。

2 ✜ で「コキ 2」を選び、機能/確定 を押す

コキ 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 コキ 2 を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

4 コキ 2 の相手に 3 人で話すことを伝えて、コキ 1 の 内線/保留 を押す

トリプル通話が始まります。

キャッチホンで電話を受ける

キャッチホン（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合の電話の受けかたです。

確認

- ご利用には別途、電話会社との契約（NTT の場合、「キャッチホン／キャッチホン II」）が必要です。（有料）
- ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。

キャッチホンで電話を受けた場合

1 通話中に「プッップッ」と聞こえたら、子機の［キャッチ／着信履歴］を押す

別途、ナンバーディスプレイ機能をご契約の場合は、かかってきたキャッチホンの相手の電話番号を画面に表示させて、とる前に相手を確認することもできます。
⇒ 70 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

先の相手との通話は保留になり、新しくかかってきた相手との回線がつながります。

2 新しくかかってきた相手と通話する

3 最初の相手に戻るときは、［キャッチ／着信履歴］を押す

最初の相手に戻ります。

［キャッチ／着信履歴］を押すたびに、通話の相手が切り替わります。

キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

親切受信を【スル】（お買い上げ時の設定）に設定していると、キャッチホンで受けた相手がファクスであれば、自動的にファクスを受信します。ただし、お使いの状況によっては、自動的に受信しないことがあります。その場合は、下記手順 4、5 のとおりに手動で受信してください。

1 通話中に「プッップッ」と聞こえたら、子機の［キャッチ／着信履歴］を押す

「ピーピー」という音が聞こえます。
先の相手との通話は保留になります。

2 再度［キャッチ／着信履歴］を押して、いったん最初の相手に戻る

最初の相手につながります。

3 最初の相手との通話を手短に終えて、もう一度［キャッチ／着信履歴］を押す

キャッチの相手（ファクス）につながります。

確認

- 最初の相手との回線がつながったままでは、ファクスを受信できません。ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

4 通信ボックスの ▲⏭ を押す

通信ボックスの画面には、【ジュシン　シマスカ？】と【▼　ハイ　▲　イイエ】が交互に表示されます。

5 ▼⏮（ハイ）を押す

6 通信ボックスの画面に【ジュシンチュウ】と表示されたら、子機を充電器に戻す

迷惑電話を拒否する

かかってきた電話が迷惑電話だったときに、拒否メッセージを再生し、回線を切断します。

1 通話中の電話が迷惑電話の場合、子機の「機能/確定」を長押しする

メッセージが流れ、電話が切れます。

「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

2 子機を充電器に戻す

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

ナンバー・ディスプレイサービス（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合は、本製品でも当サービスの機能をご利用いただくことができます。電話会社と当サービスの契約をしていない場合は、本製品では着信履歴が表示できません。また、本製品をご購入いただいてしばらくご利用いただいたのち、電話会社と当サービスの契約を解除された場合は、本製品の設定も変更する必要があります。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

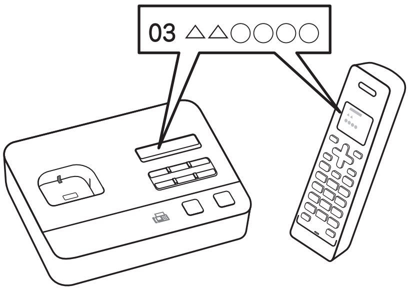
電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示させることができる電話会社の有料サービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

確認

- 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【ナシ】に設定してください。
- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバーディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバーディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバーディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバーディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。
- 本製品は「ネーム・ディスプレイサービス」には対応していません。

電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。



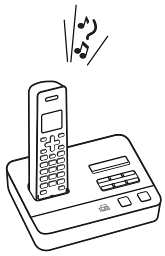
名前表示機能

電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が画面に表示されます。



着信音鳴り分け機能

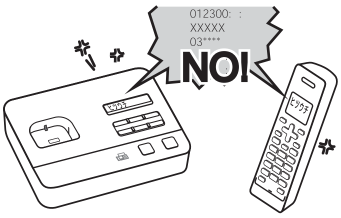
電話帳に登録してある相手の着信音を、通常とは異なるメロディに変更して、区別することができます。



迷惑電話防止／非通知着信拒否／公衆電話拒否機能／表示圏外拒否機能

迷惑電話などの受けたくない電話がかかってきたときに、着信音が鳴らないように設定できます。また、相手の電話番号が非通知、または公衆電話、表示圏外の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

※ISDN 回線でご利用のターミナルアダプターによっては、着信を拒否できない場合があります。



着信履歴機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（着信履歴は 30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に削除されます。）記録した電話番号は次のように活用できます。

- 画面に表示する
- 着信履歴を印刷する
- 電話帳に登録する
- 記録した電話番号に電話をかける / ファクスを送る



ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能

ナンバー・ディスプレイサービスを契約し、本製品の設定を【アリ】に設定しているときは、下記のような機能が利用できます。

- **【アリ】に設定されていれば使える機能**
  - 名前と電話番号を含めた着信履歴を残す
- **【アリ】に設定した上で、更に本製品の設定を必要とする機能**
  - 着信鳴り分け
  - 非通知着信拒否
  - 公衆電話拒否
  - 表示圏外拒否
  - 着信拒否モニター
  - キャッチディスプレイ（電話会社とキャッチホン機能のご契約が必要です）

お買い上げ時は、ナンバーディスプレイは【アリ】に設定されています。設定方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 33 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」

電話がかかってきたときは

着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示されます。



- **その他の表示例**
  - 【ヒツウチ】：
    相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
  - 【コウシュウデンワ】：
    公衆電話からかけてきたとき
  - 【ヒョウジケンガイ】：
    相手がサービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からかけてきたとき

着信履歴を利用する

[着信履歴]

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴を残すことができます。着信履歴は、過去の通話相手を見るだけでなく、見てそのまま電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。また、着信履歴から、迷惑電話の相手として本製品に登録し、その後の着信を拒否することもできます。

着信履歴を見る

複合機本体の場合

(1) 複合機本体の 履歴 を押す

(2) 【着信履歴】を押す

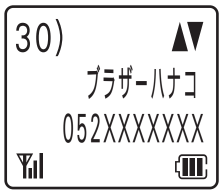
◆最新の着信履歴が表示されます。



子機の場合

(1) 子機の キャッチ/着信履歴 を押す

◆着信履歴が表示されます。



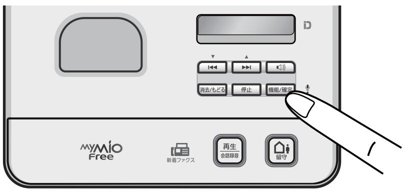
- 着信履歴は最新の 30 件が記録されています。
- 着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
  ⇒ 58 ページ「最近かかってきた相手にかける（着信履歴）」
  ⇒ 108 ページ「電話帳に登録する」

迷惑電話指定する

［メイワク　シテイ］

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴から迷惑先として本製品に登録し、今後着信音を鳴らさないようにできます。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ［▼⏮］/［▲⏭］で【2. ファクス/デンワ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ［▼⏮］/［▲⏭］で【6. メイワク　シテイ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ［▼⏮］/［▲⏭］で【1. チャクシンリレキカラトウロク】を選び、［機能/確定］を押す

迷惑指定を解除する時は【2. ショウキョ】を選んでください。

5 ［▼⏮］/［▲⏭］で迷惑指定（または解除）する電話番号を選び、［機能/確定］を押す

6 ［停止］を押して設定を終了する

> 迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。

着信鳴り分けを設定する

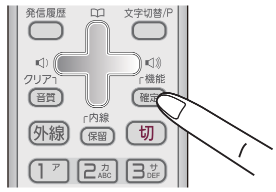
［チャクシン　ナリワケ］

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、電話帳に登録してある相手の着信音を、それ以外の外線着信とは異なるメロディに変更して区別することができます。
登録してある相手先について、子機は個体それぞれで設定できます。

1 通信ボックスの【ナンバーディスプレイ】の設定が【アリ】になっていることを確認する

⇒ 33 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」

2 子機の［機能/確定］を押す



3 ［✥］で【メイドウオンセッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ［✥］で【2. チャクシン　ナリワケ】を選び、［機能/確定］を押す

5 ［✥］で着信音を選び、［機能/確定］を押す

⇒ 49 ページ「保留 / 着信メロディを設定する」

6 ［切］を押して設定を終了する

> 電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
>
> 電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

ナンバーディスプレイの設定が【ナシ】のときは設定できません。

(1) **通信ボックスの 機能/確定 を押す**

(2) **▼/▲ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す**

(3) **▼/▲ で【3. ナンバー　ディスプレイ】を選び、機能/確定 を押す**

(4) **▼/▲ で【2. ヒツウチ　チャクシンキョヒ】または【3. コウシュウデンワキョヒ】、【4. ヒョウジケンガイキョヒ】を選び、機能/確定 を押す**

◆手順 (4) で目的の項目が選べない場合は、【1. ナンバー　ディスプレイ】の設定が【ナシ】になっています。【アリ】にしてください。

(5) **▼/▲ で【スル】を選び、機能/確定 を押す**

(6) **停止 を押して設定を終了する**

- 番号非通知の電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 公衆電話から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 表示圏外から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 着信拒否メッセージは、通信ボックスのスピーカーから聞くことができます。
⇒ 69 ページ「着信拒否モニターを設定する」
- ファクスは受信しません。

着信拒否モニターを設定する

非通知着信拒否または公衆電話拒否、表示圏外拒否のときの着信拒否メッセージを本製品のスピーカーから聞くことができます。
ナンバーディスプレイの設定が【ナシ】のときは設定できません。

(1) **通信ボックスの 機能/確定 を押す**

(2) **▼/▲ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す**

(3) **▼/▲ で【3. ナンバー　ディスプレイ】を選び、機能/確定 を押す**

(4) **▼/▲ で【5. チャクシンキョヒモニター】を選び、機能/確定 を押す**

(5) **▼/▲ で【スル】を選び、機能/確定 を押す**

(6) **停止 を押して設定を終了する**

キャッチディスプレイを設定する

⇒ 34 ページ「キャッチディスプレイ機能を設定する」

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を画面に表示する、NTT のサービスです。本製品はこの機能に対応しています。また、他の電話会社の同様のサービスにも対応しています。それぞれのサービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。
お買い上げ時は、キャッチディスプレイ機能は【ナシ】に設定されています。設定のしかたについては、下記をご覧ください。
⇒ 34 ページ「キャッチディスプレイ機能を設定する」

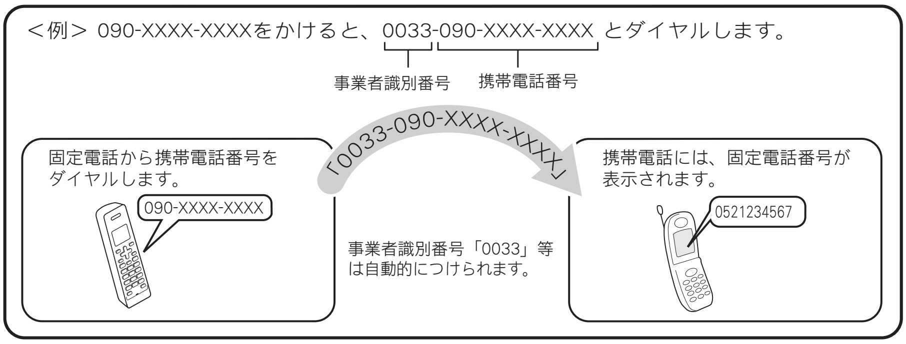
確認

- ■ 本製品の設定だけでは、画面に相手の電話番号は表示できません。キャッチホン・ディスプレイサービスを利用するためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」と「ナンバー・ディスプレイサービス」（それぞれ NTT の場合のサービス名 / 有料）の両方のサービスを、ご利用の電話会社と契約していただく必要があります。
⇒ 62 ページ「キャッチホンで電話を受ける」
⇒ 65 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
- ■ ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- ■ 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- ■ ブランチ接続（並列接続）をすると、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- ■ 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ■ 子機通話中、キャッチホン・ディスプレイされると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が途切れます。
- ■ キャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒です。

ケータイ通話お得サービスを利用する

ケータイ通話お得サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号をダイヤルすると、固定電話の電話会社が設定した料金でご利用できる無料のサービスです。
ケータイ通話お得サービスを利用する設定にすると、本製品から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号を自動的につけてダイヤルできます。
ただし、ひかり電話や直収電話サービスをご利用になっている場合は、この機能はご利用になれません。
お買い上げ時は、【ケータイオトクサービス：シナイ】に設定されています。



確認

- ■ NTT 東日本・西日本の「ひかり電話」や NTT 東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス *1、その他の事業者が提供するすべての光電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用できません。【シナイ】に設定してください。
- ■ ケータイ通話お得サービスは、登録した各事業者によりサービス提供エリアが異なります。サービス提供エリアについては、各事業者にお問い合わせください。
- ■ ケータイ通話お得サービスを利用するときは、携帯電話番号の前に事業者識別番号や IP 電話解除番号 *2 をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料が異なる場合があります。
- ■ 直収電話サービスについては、各サービス事業者へお問い合わせください。
- ■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンに接続している場合は、ケータイ通話お得サービスを利用できません。【シナイ】に設定してください。
- ■ 電話をかけても、しばらく「ツー」という音だけが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- ■ 事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合、電話がつながるまで時間がかかることがありますが故障ではありません。
- ■ 国内の携帯電話会社への通話が対象です。対象となる携帯電話番号は、「090」「080」から始まる番号のみです。PHS への通話は利用できません。
- ■ マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なく利用できます。
- ■ 通話先、通話時間や発信事業者の料金体系により、料金は安くならない場合があります。サービスについては、各事業者へお問い合わせください。

*1 直収電話サービスとは、NTT 東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。(例 ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDI のメタルプラスなど)

*2 IP 電話サービスを利用時、一時的に IP 電話を利用しないための番号です。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

NTT コミュニケーションズの 0033 モバイルサービスのご案内

- お申し込み手続きは不要です。定額料もかかりません。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、フリーアクセス（「0800」で始まる番号）など一部サービスを利用できない場合があります。
- 携帯電話への通話料金はNTTコミュニケーションズご利用分として請求されます。
- NTT コミュニケーションズが提供する「固定電話から携帯電話への通話サービス (0033 モバイル)」詳細については、NTT コミュニケーションズのカスタマーズフロントにお問い合わせください。

> NTT コミュニケーションズ
> カスタマーズフロント
> 0120-506506
> 受付時間：午前 9:00 ～午後 9:00（年末年始除く）
> ※本製品の機能・設定については、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。

確認

■ NTT 東日本・西日本の「ひかり電話」や NTT 東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス*、その他の事業者が提供するすべての光電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用できません。【シナイ】に設定してください。

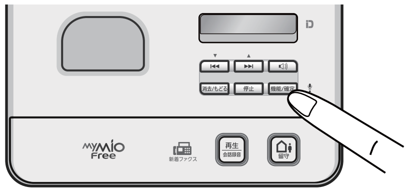
* 直収電話サービスとは、NTT 東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。（例：ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDI のメタルプラスなど）

ケータイ通話お得サービスを設定する

［ケータイ　オトクサービス］

ひかり電話や直収電話サービスをご利用になっている場合は、ケータイ通話お得サービスはご利用になれません。IP 電話ご利用の場合は、ケータイ通話お得サービスのご利用は可能です。この場合は、IP 電話解除番号の設定が必要です。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ▼⏮/▲⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

3 ▼⏮/▲⏭ で【8. ソノタ】を選び、機能/確定 を押す

4 ▼⏮/▲⏭ で【5. ケータイ　オトクサービス】を選び、機能/確定 を押す

5 ▼⏮/▲⏭ で【ケータイオトクサービス：スル】を選び、機能/確定 を押す

ｹｰﾀｲｵﾄｸｻｰﾋﾞｽ:ｽﾙ

ケータイ通話お得サービスを利用しない場合は【ケータイオトクサービス：シナイ】を選びます。

6 ▼⏮/▲⏭ で電話回線を選び、機能/確定 を押す

- 【カイセン：ヒカリ　デンワ】：ケータイ通話お得サービスを利用できません。
  ⇒手順 9 へ
- 【カイセン：IP　デンワ】：IP 電話をお使いの場合に選びます。⇒手順 7 へ
- 【カイセン：イッパン】：一般回線をお使いの場合に選びます。⇒手順 9 へ
- 【カイセン：ソノタ　／　ワカラナイ】：ケータイ通話お得サービスの設定を取りやめます。
  ⇒手順 9 へ

7 IP 電話解除番号を入力する

IPｶｲｼﾞｮNo:

IP 電話解除番号は、▼⏮/▲⏭と機能/確定で各桁の数値の選択と確定を繰り返して入力します。

⇒ 73 ページ「IP 解除番号の入れかた（入力例）」

また、各 IP 電話事業者の具体的な解除番号については、下表を参照してください。

IP 電話解除番号とは、携帯電話に発信するときなどに、IP 電話を使わずに NTT などの一般回線で発信するための番号です。

確認

■ 携帯電話への発信ができなくなる場合がありますので、IP 電話解除番号が正しく入力されていることを確認してください。

8 手順 7 ですべての数値を入力できたら 機能/確定 を押す

【ウケツケマシタ .】と表示されます。

9 停止 を押して設定を終了する

「0033」（NTT コミュニケーションズ）以外の事業者をご利用の場合は、引き続き事業者識別番号を変更してください。

IP 解除番号の入れかた（入力例）

例：「ケータイ通話お得サービスを設定する」の手順 7 で「0005p」と入力する場合

1 ▼⏮/▲⏭で【0】を選び、機能/確定を押す

数値を間違えて確定した場合は、消去/もどるを押して、入力し直します。

2 手順 1 をあと 2 回繰り返す

3 ▼⏮/▲⏭で【5】を選び、機能/確定を押す

4 ▼⏮/▲⏭で【p】を選び、機能/確定を押す

IP 電話をご利用の方がケータイ通話お得サービスを設定すると、携帯電話への発信のみ IP 回線利用ではなくなります。

ケータイ通話お得サービスは、次の場合も利用できます。

- 「184」「186」などの番号を付けたとき（「184」をつけて非通知で電話をかけると、携帯電話に電話番号は表示されません。）
- 再ダイヤル（発信履歴からかけ直す）時（事業者識別番号は画面に表示されません）
- 電話帳からかけるとき
- 着信履歴からかけ直すとき（ナンバーディスプレイ機能利用時のみ）

IP 電話解除番号の例（2011 年 5 月 1 日現在）

事業者名	サービス名	IP 電話解除番号 *2
Yahoo! BB（ソフトバンク BB） *1	Yahoo! BB フォン	0000p 最後に必ず「p」（ポーズ）を入力してください。
OCN（NTT コミュニケーションズ） *1	OCN ドットフォン	0000
KDDI（DION） *1 NTT 東日本・西日本の IP 電話対応機器をご利用の場合	KDDI − IP 電話	0000
KDDI（DION） *1 NTT 東日本・西日本以外の IP 電話対応機器をご利用の場合	KDDI − IP 電話	0009

*1 Yahoo! BB 光、OCN 光サービス、KDDI メタルプラスは、ケータイ通話お得サービスをご利用になれません。

*2 IP 電話解除番号は予告なく変更されることがあります。正しく設定してもサービスが利用できない場合は、ご契約中の IP 電話事業者にお問い合わせください。

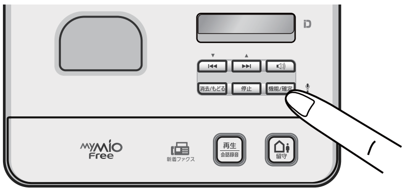
上記にないIP電話サービスをご利用の場合は、ご契約中のIP電話事業者に、IP電話解除番号と「p」（ポーズ）入力が必要かどうかをお問い合わせください。

事業者識別番号を変更する

［ジギョウシャバンゴウ］

「0033」（NTT コミュニケーションズ）以外のケータイ通話お得サービスをご利用のときは、事業者識別番号を変更します。
お買い上げ時は、「0033」に設定されています。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 [▼⏮]/[▲⏭]で【0. ショキ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

3 [▼⏮]/[▲⏭]で【8. ソノタ】を選び、［機能/確定］を押す

4 [▼⏮]/[▲⏭]で【6. ジギョウシャバンゴウ】を選び、［機能/確定］を押す

```
6.ジギョウシャバンゴウ
```

5 事業者識別番号を入力して、［機能/確定］を押す

```
バンゴウ:0033
```

事業者識別番号は、[▼⏮]/[▲⏭]と［機能/確定］で各桁の数値の選択と確定を繰り返して入力します。数値を間違えて確定した場合は、［消去/もどる］を押して、入力し直します。

6 ［停止］を押して設定を終了する

一時的にケータイ通話お得サービスを利用せずに発信したいときは

ケータイ通話お得サービスを【スル】に設定していても、サービスを利用したくない場合は、下記のように操作すると、一時的にサービスをキャンセルできます。

(1) 子機を通信ボックス（子機充電器）からとる

※通信ボックス（子機充電器）に子機を置いていない場合はそのままで可

(2) ［外線］を押す

(3) ［キャッチ/着信履歴］を押した上でダイヤルする

第３章

ファクス

送信

本製品のファクス送信のしくみ 76
通信ボックスとの接続を確認する 76

ファクスの送りかた 77
ファクスを送る 77
内容を確認してからファクスを送る 79
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る 81
電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る 82

ファクスの便利な送りかた 83
設定を変えてファクスするには 83
画質や濃度を変更する 83
海外へ送る 85
複数の相手先に同じ原稿を送る 86

受信

本製品のファクス受信のしくみ 88

ファクスの受けかた 89
本製品に自動で受信させる 89
電話に出てから受ける 90
電話に出ると自動的に受ける（親切受信） 91
親切受信を設定する 92

ファクスの見かた 93
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する 93
すべてのファクスを印刷する 94
すべてのファクスを消去する 94
ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する） 95
みるだけ受信を設定する 96

ファクスの便利な受けかた 97
自動的に縮小して受ける 97
受信したファクスをパソコンに送る 98
ファクスをメモリーで受信する 99
メモリー受信したファクスを印刷する 99
ファクスメッセージをメモリーから消去する 100

通信管理

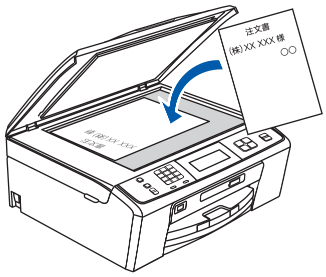
発信元登録 101
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 101

通信状態を確かめる 102
通信管理レポートを印刷する 102
通信記録をすぐに確認したいとき 102
通信管理レポートを印刷しない 102
送信結果レポートを印刷する 103
送信結果をすぐに確認したいとき 103
送信後必ず送信結果レポートを印刷する 103
着信履歴リストを印刷する 104
送信待ちファクスを確認・解除する 104
複合機本体で通信待ちを確認する 104
通信ボックスで通信待ちを確認する 105

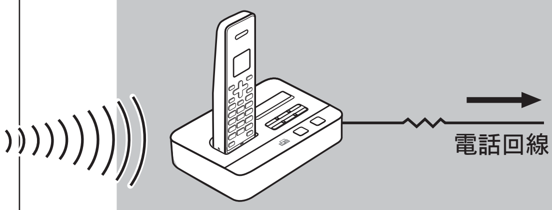
本製品のファクス送信のしくみ

送信

ファクス原稿を複合機本体にセットして送信先を設定すると、複合機本体のメモリーにいったん保存されたのち、自動的に通信ボックスに転送されます。



通信ボックスは、原稿データと送信先情報を受け取り、電話回線を使って送信します。



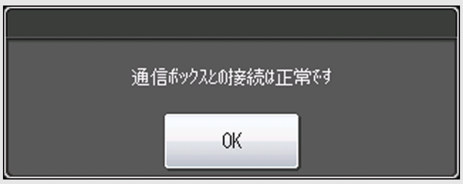
通信ボックスとの接続を確認する

ファクスを送信する前に、離れたところにある通信ボックスとの通信状態が良好かどうか、子機が使用中でないかどうかなどが確認できます。

1 複合機本体の [接続確認] を押す



通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。「通信ボックスとの接続は正常です」と表示されれば問題ありません。



正常に接続できていない場合は、下記をご覧ください。

⇒ 219 ページ「複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは」

2 [停止/終了] を押して確認を終了する

ファクスの送りかた

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質などを変更することもできます。

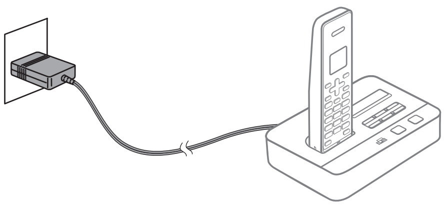
確認

- ■ 相手先のファクシミリがモノクロ専用で、カラーファクスを受信できない場合は、カラー送信しないでください。カラーで送ると送信エラーになります。自動的にモノクロに変換されることもありません。
- ■ モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。
- ■ ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くかかります。
- ■ カラーファクスには、発信元情報が付きません。

ファクスを送る

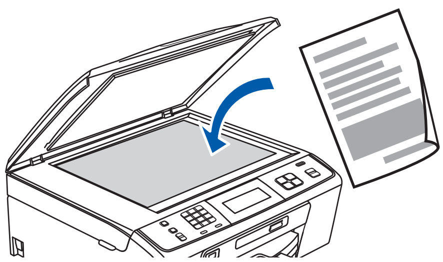
すべての原稿は、メモリーに蓄積してから送信します。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



1）1 枚目の原稿を読み込む

2 複合機本体に 1 枚目の原稿をセットする



⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

確認

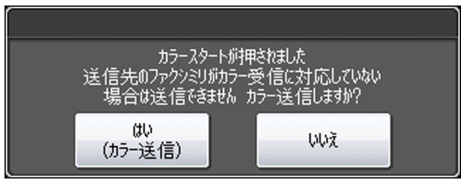
- ■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 ファクス を押す

4 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

5 モノクロで送る場合は、モノクロスタート を、カラーで送る場合は、カラースタート を押す

カラースタート を押した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロスタート を押してモノクロで送信してください。

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 2 枚目の原稿がある場合⇒手順 6 へ
- これで送信する場合⇒手順 9 へ

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

6 【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

2）2 枚目の原稿を読み込む

7 原稿台に 2 枚目の原稿をセットして、モノクロスタート または スタートカラー を押す

2 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 3 枚目の原稿がある場合⇒手順 8 へ
- これで送信する場合⇒手順 9 へ

3）3 枚目の原稿を読み込む

8 【はい】を押し、3 枚目の原稿をセットして、モノクロスタート または スタートカラー を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 6、7 を繰り返します。

9 最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】または モノクロスタート または スタートカラー を押す

ファクスが送られます。

確認

■ スタートボタンを押してもファクスが送れない場合は、複合機本体と通信ボックスが接続できていない可能性があります。接続状態を確認してください。
⇒ 76 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

送信する前にファクスをキャンセルするには

ダイヤル中または送信中に、停止/終了 を押してください。
※【停止しますか ? ／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

ダイヤル中に通信ボックスでもキャンセルすることができます。その場合は、「ダイヤル　チュウ」と表示されているときに 停止 を押してください。
※【テイシ ▼ スル ▲ シナイ】と表示されたら、▼ ⏮（スル）を押します。

再ダイヤル待機中にファクスをキャンセルするには

相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、通信待ちデータを削除します。
⇒ 104 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」
再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。

送信・印刷中の次の原稿の読み取り（デュアルアクセス）について

本製品は、ファクス送信中やパソコンからの印刷実行中に、次に送りたい原稿を読み取ることができます。
これを「デュアルアクセス」といいます。画面には、新しいジョブ番号とメモリー残量が表示されます。

内容を確認してからファクスを送る

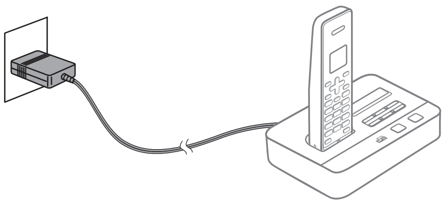
[みてから送信]

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 84 ページ「変更した設定を保持する」

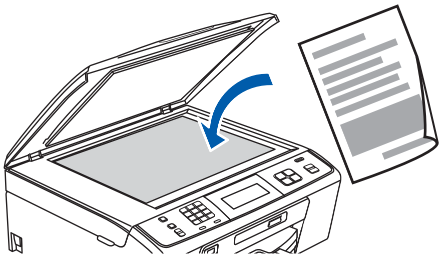
確認

■【みてから送信】するときは、カラーでの送信はできません。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

確認

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 ファクス を押す

4 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

5 みてから送信 を押す

ファクスモードのメニューからも【みてから送信】が行えます。手順 4 のあと、【◀】/【▶】で画面をスクロールさせ、【みてから送信】、【する】の順に選び、モノクロ スタート を押してください。

【次の原稿はありますか?／はい／いいえ】と表示されます。

- 2 枚目の原稿がある場合⇒手順 6 へ
- これで送信する場合⇒手順 7 へ

6 【はい】を押し、2 枚目の原稿をセットして、モノクロ スタート を押す

3 枚以上原稿がある場合は、この手順を繰り返します。

7 【いいえ】を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

8 画面で、ファクスの内容を確認する

【メニュー】を押すと、以下のボタンが表示されます。

ボタン	操作内容
【▲】/【▼】	縦方向にスクロールします。
【◀】/【▶】	横方向にスクロールします。
/	拡大／縮小表示します。
/	前のページ／次のページを表示します。
	90° ずつ右回転します。

A）ファクスを送る場合

9 モノクロ スタート を押す

ファクスが送られます。

B）ファクス送信を中止する場合

9 **停止/終了 を押す**

画面に【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

10 **【はい】を押す**

送信が中止されます。

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

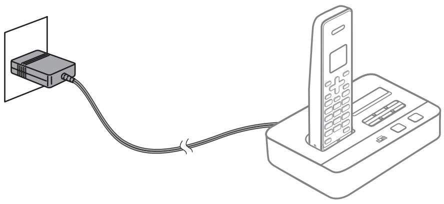
[履歴]

過去 20 件のうちに発信した相手なら、発信履歴を使ってファクスを送ることができます。また、ナンバーディスプレイ機能をご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

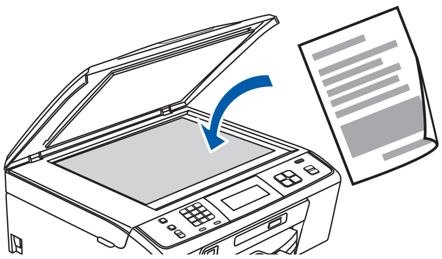
確認

■ ナンバーディスプレイ機能をご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 65 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

3 複合機本体の 履歴 を押す

ファクスモードのメニューからも履歴発信できます。ファクス を押して、【履歴】を選んでください。

4 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

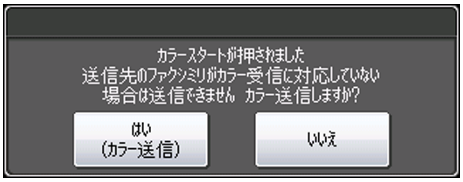
5 ファクスを送る相手先を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます。

6 【ファクス送信】を押す

7 モノクロで送る場合は、モノクロスタート を、カラーで送る場合は、カラースタート を押す

カラースタート を押した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロスタート を押してモノクロで送信してください。

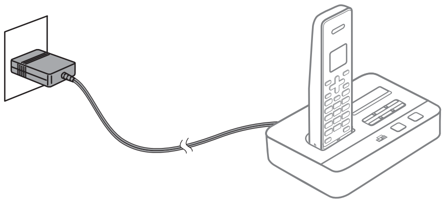
ファクスが送られます。

電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る

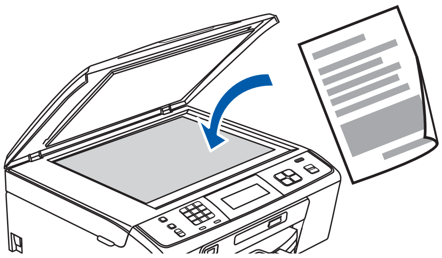
[電話帳]

あらかじめ電話帳に短縮ダイヤルなどを登録しておくと、簡単な操作でダイヤルできます。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

3 複合機本体の 電話帳 を押す

ファクスモードのメニューからも電話帳からの発信ができます。ファクス を押して、【電話帳 / 短縮】を選んでください。

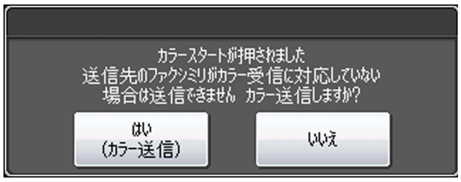
4 ファクスを送る相手を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます。

5 【ファクス送信】を押す

6 モノクロで送る場合は、モノクロスタート を、カラーで送る場合は、カラースタート を押す

カラースタート を押した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロスタート を押してモノクロで送信してください。

ファクスが送られます。

*01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。*01 あ のときは五十音順に、*01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

ファクスの便利な送りかた

設定を変えてファクスするには

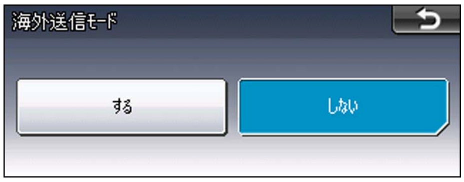
[ファクス] を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。

例：海外通信モード

【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ【海外送信モード】を押す



設定値を選ぶ

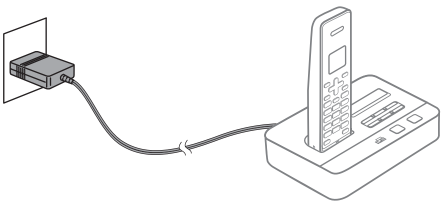


画質や濃度を変更する

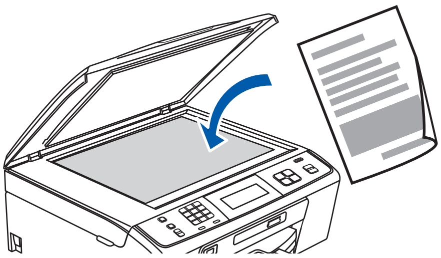
［ファクス画質／原稿濃度］

[ファクス] を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 84 ページ「変更した設定を保持する」

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

3 [ファクス] を押す

4 【ファクス画質】または【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【原稿濃度】を選ぶ

5 設定を選ぶ

画質は以下から選びます。

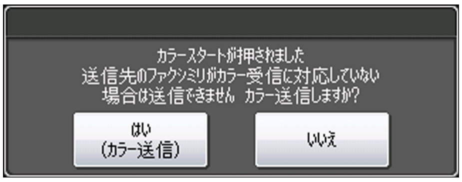
- 【標準】：
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】：
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】：
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】：
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

濃度は以下から選びます。

- 【自動】：
  読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】：
  原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】：
  原稿が濃いときに選びます。

6 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは [モノクロスタート] を、カラーで送るときは [カラースタート] を押す

[カラースタート] を押した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、[モノクロスタート] を押してモノクロで送信してください。

ファクスが送られます。

- ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準に比べて送信時間がかかります。
- 写真モードで送っても、相手のファクシミリが標準モードで受け取ると、画質が劣化します。
- 原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。
- カラーファクスを送信するときや、ファクス画質で【写真】を選択したときは、原稿濃度は【自動】で送信されます。
- カラーファクスを送信するときは、画質を【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【ファイン】で送信されます。

変更した設定を保持する

(1) [ファクス] を押す

(2) **初期値にしたい設定に変更する**

保持できる設定項目は以下のとおりです。

- ファクス画質
- 原稿濃度
- みてから送信

(3) **【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【設定を保持する】を押す**

◆【設定を保持しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(4) **【はい】を押す**

◆変更した設定内容が初期値になります。

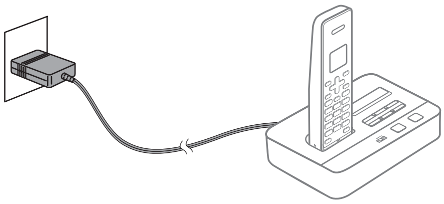
※手順 (1) のあと、手順 (3) に進み【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

海外へ送る

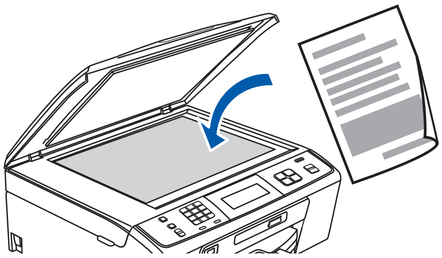
［海外送信モード］

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

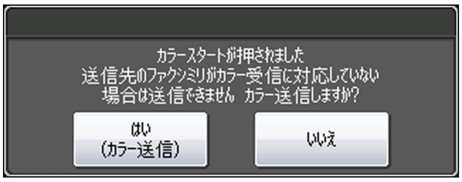
3 ファクス を押す

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【海外送信モード】を押す

5 【する】を押す

> 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
> ⇒ 83 ページ「画質や濃度を変更する」

6 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロ スタート または スタート カラー を押す

> スタート カラー を押した場合のみ、次の画面が表示されます。
>
> 
>
>
> 送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロ スタート を押してモノクロで送信してください。

画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして モノクロ スタート または スタート カラー を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】または モノクロ スタート または スタート カラー を押す

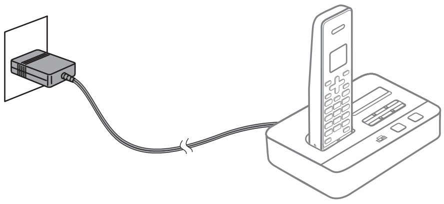
ファクスが送られます。

複数の相手先に同じ原稿を送る

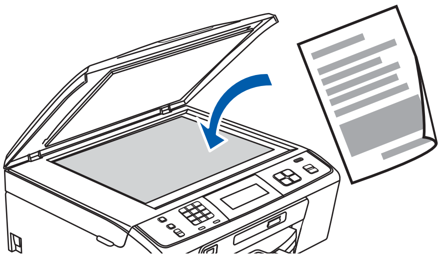
[同報送信]

1 回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、ダイヤルボタン・電話帳 / 短縮ダイヤル・グループダイヤルから、合わせて最大 50 箇所まで指定できます。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

3 を押す

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【同報送信】を押す

5 【番号追加】または【電話帳検索】を選ぶ

6 【番号追加】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで、相手先のファクス番号をダイヤルして、【OK】を押す

【電話帳検索】を選んだ場合は、リストから相手先を選び【OK】を押す

目的の相手先が表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます。

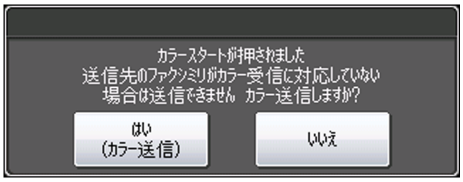
> グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
> ⇒ 111 ページ「グループダイヤルを登録する」

> を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
> のときは五十音順に、
> のときは短縮番号順に並べ替えられます。

7 手順 6 を繰り返し、2 件目以降の相手先を選ぶ

8 すべての相手先を選び終わったら、【OK】を押す

9 またはを押す

> を押した場合のみ、次の画面が表示されます。
>
> 
>
>
> 送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、を押してモノクロで送信してください。

画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 11 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ

10 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして モノクロ スタート または スタート カラー を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

11 【いいえ】または モノクロ スタート または スタート カラー を押す

指定した相手先にファクスが送られます。すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

> 同報送信レポートでは、指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できます。エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。

送るのをやめるときは

(1) 停止/終了 を押す

◆【同報送信をキャンセルします　現在のあて先のみか　全ての送信先かを選択してください／XXX（現在の番号または電話帳に登録してあるなら名前）／全ての同報送信】と表示されます。

(2) 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブをキャンセルする場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※キャンセルを中止する場合は、停止/終了 を押します。

(3) 【はい】を押す

すべての同報送信をキャンセルした場合は、同報送信レポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。送信中のジョブをキャンセルした場合は、次の番号のダイヤルが開始されます。続けてキャンセルする場合は（1）～（3）を繰り返します。

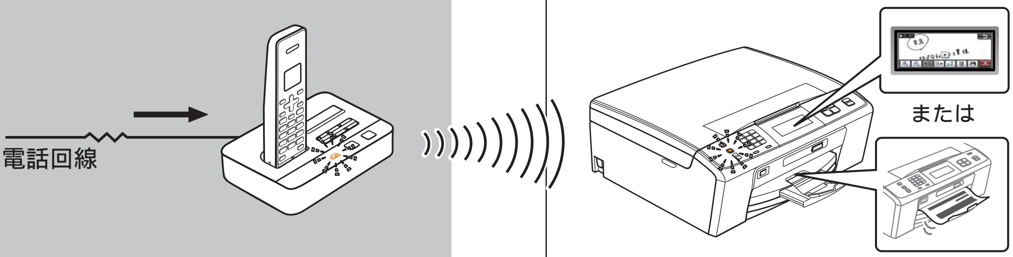
※キャンセルを中止する場合は、【いいえ】または 停止/終了 を押します。

> 相手先を重複して指定したときは、重複した相手先を自動的に削除します。
>
> 送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。
>
> 原稿読み込み中に【メモリーがいっぱいです】と表示されたら、停止/終了 を押して送信を中止するか、スタートボタンを押して読み込まれた分だけ送ります。

本製品のファクス受信のしくみ

外部から届いたファクスは、通信ボックスのメモリーにいったん保存され、自動的に複合機本体に転送されます。

複合機本体がファクスデータを受け取ります。
受け取ったファクスは、画面で（みるだけ受信）または印刷して確認します。*



* 確認方法：「みるだけ受信」がお買い上げ時の設定です。

確認

- ■ ファクス送受信時には、通信ボックスと複合機本体の両方の電源が入っている必要があります。頻繁にファクスを受信するかたは、通信ボックスだけでなく、複合機本体も常に電源をオン（電源プラグが接続されているだけでなく、On/Off でオンにしてある状態）にして本製品をご利用ください。複合機本体の電源がオンになっていない場合、ファクスデータを通信ボックスから転送できないため受信を完了させられず、通信ボックスの の点滅も止めることができません。

ファクスの受けかた

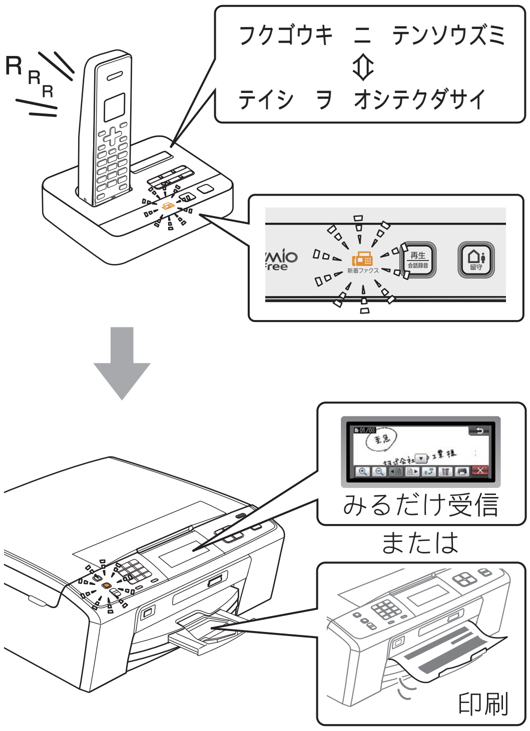
本製品に自動で受信させる

［自動受信］

設定した回数（お買い上げ時は 7 回 *1）の着信音が鳴り終わって相手がファクスであれば、本製品は自動で受信を開始します。
自動受信する前に電話をとって相手がファクスだった場合の「手動受信」のしかたは、下記をご覧ください。
⇒ 90 ページ「電話に出てから受ける」
⇒ 91 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

回線がつながると、ファクスはまず通信ボックスのメモリーに保存され、その後複合機本体に転送されて一連の受信動作を完了します。
受信したファクスは、画面または記録紙のいずれかで確認できます。お買い上げ時は、「みるだけ受信」が設定されているため、画面で確認します。ただし、カラーファクスが送られてきた場合は、みるだけ受信が設定されていてもメモリーには保存されず印刷されます。

*1 かかってきた電話がファクスかどうかを判定するために、本製品の回線が自動的につながるまでの時間（回数）は、自由に変更できます。
⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」



届いたファクスは複合機本体で確認してください。
⇒ 93 ページ「ファクスの見かた」

通信ボックスのメッセージ表示、の点滅はともに、停止 を押すと止めることができます。

巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

電話に出てから受ける

［手動受信］

電話に出たあとでファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら、子機をとる

2 「ポーポー」と音がしていたら、通信ボックスの ▲(⏭) を押す

相手と通話したあとにファクスを受信したいときは、相手へファクスに切り替えることを伝えて ▲(⏭) を押します。

通信ボックスの画面に【ジュシン　シマスカ？】と【▼　ハイ　▲　イイエ】が交互に表示されます。

3 ▼(⏮)（ハイ）を押す

ファクスの受信が始まります。

4 通信ボックスの画面に【ジュシン チュウ】と表示されたら、子機を充電器に戻す

届いたファクスは複合機本体で確認してください。
⇒ 93 ページ「ファクスの見かた」

通信ボックスのメッセージ表示、（ファクスアイコン）の点滅はともに、［停止］を押すと止めることができます。

- キャッチホンでファクスを受ける場合の操作方法については、下記をご覧ください。
⇒ 62 ページ「キャッチホンでファクスを受けた場合」
- 巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

［シンセツ　ジュシン］

親切受信が設定されている場合（お買い上げ時の設定）、電話をとったときにファクスであれば、子機を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら、子機をとる

ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。

2 そのまま 7 秒待つ

約 7 秒後に、自動的にファクスの受信が始まります。

3 通信ボックスの画面に【ジュシンチュウ】と表示されたら、子機を充電器に戻す

届いたファクスは複合機本体で確認してください。
⇒ 93 ページ「ファクスの見かた」

通信ボックスのメッセージ表示、[ファクスアイコン] の点滅はともに、[停止] を押すと止めることができます。

確認

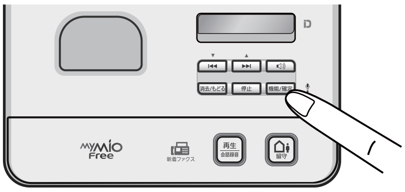
■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【シナイ】にしてください。相手側から発せられる音や外部からの雑音が、ファクス信号音と似ているために起きる現象です。頻繁に起きる場合は、【シナイ】にすることをお勧めします。

- ファクスの受信が始まったら子機を置いてください。
- 本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
⇒ 90 ページ「電話に出てから受ける」
- 回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、手動で受信してください。
⇒ 90 ページ「電話に出てから受ける」
- 親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、手動で受信してください。
⇒ 90 ページ「電話に出てから受ける」

親切受信を設定する

お買い上げ時は、【スル】に設定されています。

1 通信ボックスの[機能/確定]を押す



2 [▼⏮]/[▲⏭]で【2. ファクス/デンワ】を選び、[機能/確定]を押す

3 [▼⏮]/[▲⏭]で【1. ジュシン　セッテイ】を選び、[機能/確定]を押す

4 [▼⏮]/[▲⏭]で【4. シンセツ　ジュシン】を選び、[機能/確定]を押す

5 [▼⏮]/[▲⏭]で【シンセツジュシン：スル】または【シンセツジュシン：シナイ】を選び、[機能/確定]を押す

- 【シンセツジュシン：スル】：
  親切受信をする
- 【シンセツジュシン：シナイ】：
  親切受信をしない

6 [停止]を押して設定を終了する

ファクスの見かた

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する

[みるだけ受信]

「みるだけ受信」は届いたファクスの内容を画面で確認できる機能です。届いたファクスはメモリーに記憶し、保存します。お買い上げ時は、「みるだけ受信」が設定されています。もし、受信したファクスを自動的に印刷して記録紙で確認したいときは、「みるだけ受信」は解除してください。(⇒ 95 ページ)

確認

■「みるだけ受信」を設定していても、カラーファクスはメモリーに保存されずに自動的に印刷されます。

1 複合機本体の が点滅したら、を押す

ファクスを受信すると、通信ボックスの が点滅を始めます。複合機本体への転送が終わると通信ボックスの画面に、「フクゴウキ　ニ　テンソウズミ」と「テイシヲ　オシテクダサイ」というメッセージが交互に表示されます。一方、複合機本体の も点滅して、ファクスの受信を知らせています。



新着ファクスの一覧が表示されます。

新着ファクスがないときは、既読ファクスの一覧が表示されます。

2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、確認したいファクスを選んで押す

既読ファクスが見たいときは、【既読ファクス】を押してください。



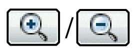
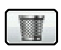
ファクスの内容が表示されます。



表示されたファクスは、既読ファクスの一覧に移動します。

すべての新着ファクスについて 2 の操作をすると、通信ボックスの の点滅やメッセージ表示は自動的に終了します。メッセージ表示をすぐに止めたいときは、通信ボックスの 停止 を押してください。

3 下表を参考にして操作を行う

ボタン	操作内容
	リスト画面に戻ります。
【▲】/【▼】	縦方向にスクロールします。
【◀】/【▶】	横方向にスクロールします。
	拡大／縮小表示します。
	前のページ／次のページを表示します。
	90°ずつ右回転します。
	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 94 ページ「ファクスをメモリーから消去する」
	ファクスを印刷します。 ⇒ 94 ページ「ファクスを印刷する」
【×】	プレビュー画面のメニューバーを閉じます。
【メニュー】	プレビュー画面でメニューバーを表示します。

受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。

メモリーに保存できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

ファクスを印刷する

(1) 印刷したいファクスが画面に表示された状態で［印刷］を押す

◆見ているファクスが1ページだけであればすぐに印刷されます。(3) に進んでください。

◆見ているファクスが複数ページあるときは、(2) に進んでください。

(2) 次のいずれかを行って、ファクスを印刷する

◆すべてのページを印刷する場合は、【すべてのページをプリント】を押して、(3) に進みます。

◆見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、(4) に進みます。

◆見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、(4) に進みます。

(3) ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す

(4) 停止/終了 を押して操作を終了する

ファクスをメモリーから消去する

複合機本体と通信ボックスが接続不良の場合や電話中は消去できません。下記の操作をしてもエラーになる場合は接続状態を確認してください。
⇒ 76 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

(1) 消去したいファクスが画面に表示された状態で、［消去］を押す

◆【すべてのページを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

◆ファクスのデータが消去されます。

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

1 複合機本体の みるだけ受信 を押す

新着ファクスまたは既読ファクスの一覧が表示されます。

2 【メニュー】を押す

3 【すべてプリント】を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて印刷されます。

4 停止/終了 を押して操作を終了する

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。複合機本体と通信ボックスが接続不良の場合や電話中は消去できません。下記の操作をしてもエラーになる場合は接続状態を確認してください。
⇒ 76 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

1 複合機本体の みるだけ受信 を押す

新着ファクスまたは既読ファクスの一覧が表示されます。

2 【メニュー】を押す

3 【すべて消去】を押す

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて消去されます。

5 停止/終了 を押して操作を終了する

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する/設定する）

[みるだけ受信]

みるだけ受信を解除すると以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

確認

- ■ みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたい場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。
⇒ 94 ページ「ファクスを印刷する」
⇒ 94 ページ「すべてのファクスを印刷する」
- ■ メモリー内のファクスデータを残したまま、みるだけ受信を解除したいときは、下記をご覧ください。
⇒ 95 ページ「メモリーにファクスデータを残して、みるだけ受信を解除する」

1 複合機本体の［みるだけ受信］を押す

2 【メニュー】を押す

3 【みるだけ受信をしない（受信したら印刷）】を押す

【みるだけ受信をしないにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。
【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 【はい】を押す

- メモリー内にファクスデータがない場合：操作は終了です。
- メモリー内にファクスデータがある場合：【みるだけ受信をしないにすると受信ファクスが消去されます／消去する／全て印刷してから消去／キャンセル】と表示されます。

5 【消去する】または【全て印刷してから消去】を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

メモリーにファクスデータを残して、みるだけ受信を解除する

次の方法でみるだけ受信を解除すると、既読のファクスデータをメモリーに残しておくことができます。
※メモリー内のファクスをあとで確認するときは、再度、みるだけ受信を設定することになります。

(1) 待ち受け画面の【メニュー】を押す
(2) 【ファクス / 電話】を押す
(3) 【受信設定】を押す
(4) 【みるだけ受信】を押す
(5) 【しない（受信したら印刷）】を押す
(6) ［停止/終了］を押す

みるだけ受信を設定する

「みるだけ受信」をお買い上げ時と同じ設定に戻すときの操作です。

1 複合機本体の [みるだけ受信] を押す

【みるだけ受信を［する（画面で確認）］にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

3 メッセージを確認し、【はい】を押す

みるだけ受信が設定されます。

4 [停止/終了] を押して設定を終了する

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信をしない（受信したら印刷）】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 記録紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 記録紙が詰まったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

※通信ボックスの電源プラグを抜いたときや停電のときは、数時間以上たつとメモリーに記憶された受信ファクスメッセージが消去されます。

※メモリー代行受信できるのは約 400 枚です。

ファクスの便利な受けかた

自動的に縮小して受ける

[自動縮小]

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【自動縮小】を押す

5 【する】を押す

- 【する】:
  自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】:
  自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

6 停止/終了 を押して設定を終了する

自動縮小を【しない】に設定し、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、縮小せず等倍のままで複数枚の記録紙に分割して印刷します。

受信したファクスをパソコンに送る

[PC ファクス受信]

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

確認

- ■ カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- ■【PC ファクス受信】は、【メモリ保持のみ】と同時に設定することはできません。
- ■【PC ファクス受信】は Windows® でのみ使用できます。
- ■「みるだけ受信」を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【メモリー受信】を押す

5 【PC ファクス受信】を押す

6 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

7 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
(MFC-J855DN/J855DWN のみ)
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

確認

- ■ このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

8 【OK】を押す

- 「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
  ⇒手順 10 へ
- 「みるだけ受信」が設定されていない場合
  ⇒手順 9 へ

9 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

10 停止/終了 を押して設定を終了する

- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」
- 手順 9 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。
- 手順 9 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

ファクスをメモリーで受信する

［メモリー受信］

メモリー受信を設定すると、みるだけ受信する / しないにかかわらず、受信したファクスを本製品のメモリーに保存できます。
お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

確認

- 【メモリー受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。
- 【メモリ保持のみ】は、【PC ファクス受信】と同時に設定できません。
- 保存されたファクスデータは画面で確認できます。ただし、みるだけ受信が設定されていないときは、一時的にみるだけ受信に変更する必要があります。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【メモリー受信】を押す

5 【メモリ保持のみ】を押す

6 停止/終了 を押して設定を終了する

- メモリー受信は最大 99 件で 400 ページまでできます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。
- メモリーに受信データが残っていて、みるだけ受信を設定していない場合は、手順 5 で【オフ】を選択すると【ファクスを消去しますか？ はい／いいえ】と表示されます。消去する場合は【はい】を押してください。

メモリー受信したファクスを印刷する

［ファクス出力］

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【ファクス出力】を押す

4 モノクロ スタート または スタート カラー を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。
印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

5 停止/終了 を押して操作を終了する

ファクスメッセージをメモリーから消去する

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【メモリー受信】を押す

5 【オフ】を押す

以下のメッセージが表示されます。
- 【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定している場合に、未転送のファクスがあるとき：
【すべてのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 上記以外の設定にしている場合：
【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。

メモリー受信の設定が解除されます。

7 停止/終了を押して操作を終了する

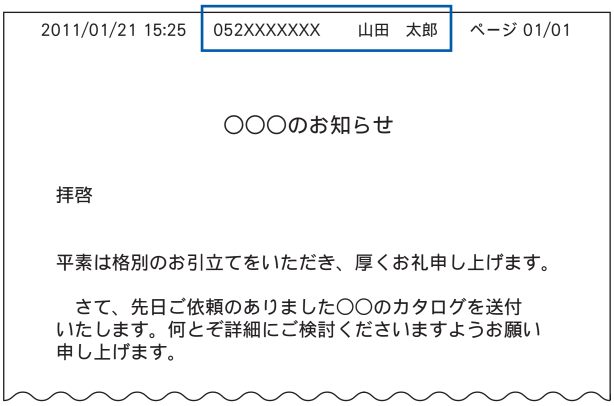
発信元登録

通信管理

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

［発信元登録］

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。



2011/01/21 15:25　052XXXXXXXX　山田　太郎　ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

確認

- 発信元情報は、ファクスをモノクロで送信するときにのみ付けることができます。カラーで送信する場合は付けられません。
- 発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に、日時も印刷されません。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【発信元登録】を押す

ファクス番号の入力画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力し、【OK】を押す

20 桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

> ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

名前の入力画面が表示されます。

5 名前を入力し、【OK】を押す

⇒ 244 ページ「文字の入力方法」

16 文字まで入力できます。

設定が有効になります。

6 停止/終了を押して設定を終了する

発信元登録を削除するときは

(1) 「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」（101 ページ）の手順 3 までを行う

(2) 【×】を 1 秒以上押して、ファクス番号を削除し、【OK】を押す

(3) 停止/終了を押す

通信状態を確かめる

本製品では、ファクスの送受信についてのレポートを印刷したり、画面で送信待ちファクスを確認したりできます。

通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

通信記録は200件まで残り、200件を超えると古い記録から消去されていきます。お買い上げ時は50件ごとに印刷されるように設定されています。

確認

■ 通信管理レポートは、モノクロでしか印刷できません。

通信記録をすぐに確認したいとき

50件ごとに印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

1 記録紙をセットする

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【通信管理レポート】を押す

5 モノクロ スタート を押す

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

6 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

通信管理レポートを印刷しない

通信管理レポートが不要であれば、印刷されないように設定することができます。お買い上げ時は50件ごとに印刷されるように設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス/電話】を押す

3 【レポート設定】を押す

4 【通信管理レポート】を押す

5 【レポート出力しない】を押す

- 【レポート出力しない】：
  通信記録は最大で200件残りますが、通信管理レポートは印刷されません。
- 【50件ごと】：
  通信50件ごとに、通信管理レポートが印刷されます。

通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

6 停止/終了 を押して設定を終了する

送信結果レポートを印刷する

[送信結果レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、【オフ】（送信エラーになった場合のみレポートを印刷）に設定されています。

確認

■ 送信結果レポートは、モノクロでしか印刷できません。

送信結果をすぐに確認したいとき

1 記録紙をセットする

⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

4 【送信結果レポート】を押す

5 [モノクロ スタート] を押す

送信レポートが印刷されます。

6 印刷が終了したら、[停止/終了] を押す

送信後必ず送信結果レポートを印刷する

お買い上げ時は、正常に送信が完了すれば送信結果レポートは印刷されない設定になっています。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【レポート設定】を押す

4 【送信結果レポート】を押す

5 【オン】を選ぶ

- 【オン】：
  ファクス送信後に、毎回送信結果レポートを印刷します。
- 【オフ】：
  送信エラーがあるときだけ、送信結果レポートを印刷します。

6 [停止/終了] を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

[着信履歴リスト]

着信履歴を印刷します。

確認

■ 着信履歴リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【着信履歴リスト】を押す

5 モノクロスタートを押す

着信履歴リストが印刷されます。

6 印刷が終了したら、停止/終了を押す

送信待ちファクスを確認・解除する

[通信待ち確認]

ファクスを送りたい相手が通信中で送信できないと、本製品は通信待機します。待機しているこれらの通信を確認したり、確認後、送信を中止したりできます。

複合機本体で通信待ちを確認する

待機しているファクスは、複合機本体で次のように確認できます。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【通信待ち一覧】を押す

保留されている通信の一覧が表示されます。
- 確認を終了するとき⇒手順 6 へ
- 再ダイヤル中のファクスの送信を取りやめたいとき⇒手順 4 へ

4 取りやめる通信を選び、【OK】を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

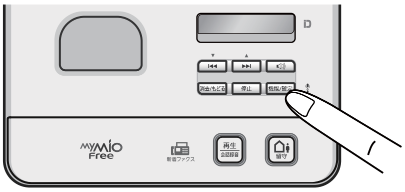
通信が中止されます。

6 停止/終了を押して確認 / 解除を終了する

通信ボックスで通信待ちを確認する

待機しているファクスは、通信ボックスで次のように確認できます。

1 通信ボックスの[機能/確定]を押す



2 [▼⏮]/[▲⏭]で【2. ファクス/デンワ】を選び、[機能/確定]を押す

3 [▼⏮]/[▲⏭]で【3. ツウシン　マチ　カクニン】を選び、[機能/確定]を押す

通信待機しているファクス情報が表示されます。複数ある場合は、[▼⏮]/[▲⏭]で確認できます。

- 確認を終了する場合⇒手順6へ
- 取りやめる通信がある場合⇒手順4へ

4 [機能/確定]を押す

通信待ちが複数ある場合は、[▼⏮]/[▲⏭]で取りやめたいファクスを選びます。

通信ボックスの画面には、【テイシ　▼スル　▲　シナイ】と選んだファクス情報が交互に表示されます。

5 [▼⏮]（スル）を押す

6 [停止]を押して確認/解除を終了する

巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

Memo

第４章

電話帳

複合機本体電話帳［ファクス専用］

複合機本体の電話帳に登録する 108
電話帳に登録する 108
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する 110
グループダイヤルを登録する 111
電話帳リストを印刷する 112

パソコンを使って電話帳に登録する
（リモートセットアップ） 113

子機電話帳［電話専用］

子機の電話帳に登録する 114
電話帳に登録する 114
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する 115

複合機本体の電話帳に登録する

複合機本体電話帳［ファクス専用]

よくファクスする相手のファクシミリ番号は電話帳に登録しておくと便利です。また、複数の相手先をグループダイヤルに登録すると、ひとつのグループ番号を指定するだけで複数の相手先にファクスを送ることができます。

> 「リモートセットアップ」を使用して、パソコンからも簡単に電話帳に登録することができます。
> ⇒ 113 ページ「パソコンを使って電話帳に登録する（リモートセットアップ）」
>
> 複合機本体の電話帳に登録できるのはファクス番号のみです。また、複合機本体から子機へ電話帳の内容を転送することはできません。子機へは別途、電話帳登録を行ってください。
> ⇒ 114 ページ「子機の電話帳に登録する」

電話帳に登録する

［電話帳に登録］

相手先のファクシミリ番号と名称を、2 桁の短縮番号 00 ～ 99（最大 100 件× 2 番号）に登録します。

1. **複合機本体の 電話帳 を押す**

2. **【メニュー】を押す**

3. **【電話帳登録】を押す**

   名前を入力する画面が表示されます。

4. **画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す**

   名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

   ⇒ 244 ページ「文字の入力方法」

   > 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5. **画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す**

   読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
   読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

   > 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

6. **画面に表示されているテンキーで番号を入力し、【OK】を押す**

   電話・ファクス番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。
   - 数字（0 ～ 9）
   - 記号（＊、＃）
   - スペース

     【▶】を押す
   - ポーズ（p）

   ※電話番号にハイフンは入力できません。

7. **同様の手順で、2 つめとして登録したい番号を入力し、【OK】を押す**

   2 つめを登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

8. **画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、【OK】を押す**

   短縮番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

9. **登録内容を確認し、【OK】を押す**

   短縮ダイヤルが電話帳に登録されます。

10. **停止/終了 を押して登録を終了する**

確認

■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 112 ページ「電話帳リストを印刷する」

短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リスト（⇒ 112 ページ「電話帳リストを印刷する」）を印刷すると確認できます。

こんなときは～電話番号を登録するとき～

(A)「186」または「184」を付ける場合

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。
例）
○ 186 XXX XXX XXXX
（市外局番）（市内局番）（相手先番号）
× 186 XXX XXXX
（市内局番）（相手先番号）

(B) 構内交換機（PBX）で“0”発信の場合

“0”のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

(C) 国際電話の場合

国番号のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
  010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号
- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
  （国際電話サービス会社指定の番号）
  +010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号

※入力したポーズは「p」で表示されます。

電話帳の内容を変更するには

(1)「電話帳に登録する」の手順 ❸ で、【変更】を押す

(2) 変更したい相手先を選ぶ

(3) 変更したい項目を選ぶ

(4) 名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す

複数の項目を変更する場合は、手順（3）（4）を繰り返します。

(5)【OK】を押す

◆変更した内容が反映されます。

(6) 停止/終了 を押す

電話帳の内容を削除するには

(1)「電話帳に登録する」の手順 ❸ で【消去】を押す

(2) 消去したい相手先を選び、【OK】を押す

【消去しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(3)【はい】を押す

◆選んだ番号が削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示されるファクシミリの発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 104 ページ「着信履歴リストを印刷する」

確認

- ナンバーディスプレイ機能をご利用でないときは、「着信履歴」は使えません。
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 複合機本体の 履歴 を押す

2 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

最新の履歴が表示されます。

履歴は最新の 20 件が記録されています。

3 電話帳に登録したい番号を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます。

4 【メニュー】を押す

5 【電話帳に登録】を押す

名前の画面が表示されます。

6 画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
⇒ 244 ページ「文字の入力方法」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

7 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

8 番号が入力されていることを確認して、【OK】を押す

変更したい場合は、画面に表示されているテンキーで変更します。

9 画面に表示されているテンキーで、2 つめとして登録したい番号を入力し、【OK】を押す

2 つめを登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

10 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、【OK】を押す

11 登録内容を確認し、【OK】を押す

12 停止/終了 を押して登録を終了する

選択した番号が電話帳に登録されます。

グループダイヤルを登録する

［グループ登録］

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ 86 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループには、50 件まで登録できます。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

確認

■ グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 112 ページ「電話帳リストを印刷する」

1 複合機本体の［電話帳］を押す

2 【メニュー】を押す

3 【グループ登録】を押す

グループ名を入力する画面が表示されます。

4 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 244 ページ「文字の入力方法」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 画面に表示されているテンキーでグループ番号を入力し、【OK】を押す

グループ番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

6 グループに登録する相手先を選ぶ

［*01 あ］を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
［*01 あ］のときは五十音順に、
［*01 あ］のときは短縮番号順に並べ替えられます。

7 登録する番号をすべて選んだら、【OK】を押す

8 登録内容を確認し、【OK】を押す

9 ［停止/終了］を押して登録を終了する

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

確認

■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 112 ページ「電話帳リストを印刷する」

グループダイヤルに登録されている相手先を変更するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❸ で、【変更】を押す

(2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ

(3) 【追加 / 消去】を押す

(4) 追加 / 削除する相手先を選び、【OK】を押す

追加したい相手を押してチェックマークをつけます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。

(5) 【OK】を押す

◆変更内容が反映されます。

(6) 停止/終了 を押す

グループダイヤルを削除するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❸ で、【消去】を押す

(2) 削除するグループダイヤルを選び、【OK】を押す

【消去しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(3) 【はい】を押す

(4) 停止/終了 を押す

電話帳リストを印刷する

［電話帳リスト］

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

確認

■ 電話帳リストは、モノクロでしか印刷できません。

❶ 記録紙をセットする

⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」

❷ 【メニュー】を押す



❸ 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

❹ 【電話帳リスト】を押す

❺ 【あいうえお順】または【番号順】を選ぶ

❻ モノクロ スタート を押す

電話帳リストが印刷されます。

❼ 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

パソコンを使って電話帳に登録する（リモートセットアップ）

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。
「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド　パソコン活用編」をご覧ください。

リモートセットアップ画面例



確認

■「リモートセットアップ」を使用してパソコンから登録 / 編集できるのは、複合機本体の電話帳（ファクス専用）のみです。子機の電話帳（電話専用）には登録できません。

子機の電話帳に登録する

子機電話帳［電話専用］

子機電話帳には 1 個体につき 100 件まで登録できます。

電話帳に登録する

1 を押す

2 で「デンワチョウトウロク」を選び、機能確定を押す

3 名前を入力し、機能確定を押す

11 文字まで入力できます。
⇒ 246 ページ「子機」

4 電話番号を入力し、機能確定を押す

電話番号は 20 桁まで入力できます。
（数字、＊、＃、P（ポーズ）のみ。）

電話番号が登録されます。

5 切を押して登録を終了する

ナンバーディスプレイ機能をご利用の場合は、電話帳に登録した相手先からの着信音を変更できます。
⇒ 68 ページ「着信鳴り分けを設定する」

「186」または「184」を付けて登録する場合、国際電話、構内交換機をお使いの場合は、以下のページをご覧ください。
⇒ 109 ページ「こんなときは～電話番号を登録するとき～」

電話帳から電話をかける

⇒ 57 ページ「電話帳からかける」

電話帳の内容を変更するには

(1) を押す

(2) で変更したい電話帳データを選び、機能確定を押す

(3) で「ヘンコウ」を選び、機能確定を押す

(4) 「電話帳に登録する」の手順 3 以降の手順で登録内容を変更する

※ 変更しない項目は、機能確定を押すと次の手順へ進むことができます。

(5) 切を押して操作を終了する

電話帳の内容を削除するには

(1) を押す

(2) で削除したい電話帳データを選び、機能確定を押す

(3) で「ショウキョ」を選び、機能確定を押す

(4) 1ア を押す

◆選んだ電話帳データが削除されます。

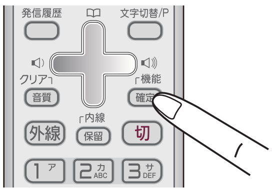
(5) 切を押して操作を終了する

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

確認

■ ナンバーディスプレイ機能をご利用でないときは、着信履歴は使えません。

1 子機の[機能確定]を押す



2 ✚で「ハッシンリレキ」または「チャクシンリレキ」を選び、[機能確定]を押す

3 ✚で登録する番号を選び、[機能確定]を押す

4 ✚で「デンワチョウトウロク」を選び、[機能確定]を押す

5 名前を入力し、[機能確定]を押す

名前は 11 文字まで入力できます。
⇒ 246 ページ「子機」

登録したい番号が表示されます。

6 [機能確定]を押す

電話番号が登録されます。

7 [切]を押して登録を終了する

発信履歴から登録した場合は、自動的に待ち受け画面に戻るため、[切]を押す必要はありません。

履歴を削除する

1 件のみ削除する場合

(1) 子機の[機能確定]を押し、✚で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、[機能確定]を押す

(2) ✚で削除したい履歴を選び、[機能確定]を押す

(3) ✚で「1 ケン　ショウキョ」を選び、[機能確定]を押す

(4) [1ア]を押す

◆選択した履歴が削除されます。

(5) [切]を押して操作を終了する

すべての履歴を削除する場合

(1) 子機の[機能確定]を押し、✚で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、[機能確定]を押す

(2) [機能確定]を押す

(3) ✚で「ゼンケン　ショウキョ」を選び、[機能確定]を押す

(4) [1ア]を押す

◆子機の着信履歴または発信履歴がすべて削除されます。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付　録

Memo

第５章

留守番機能

留守録機能

留守番機能を設定する 118
　留守番機能で設定できること 118
　メッセージの録音時間を設定する 119
　応答メッセージを録音する 120
　留守録モニターを設定する 121

出かけるとき 122
　留守番機能をセットする 122
　留守応答メッセージを選ぶ 122

帰ってきたとき 123
　留守番機能を解除する 123
　　メモリー内のメッセージを一括再生する 123

リモコンアクセス

外出先から本製品を操作する 125
　暗証番号を設定する 125
　外出先から本製品を操作する 126
　　リモコンコード 127

留守録転送

外出先に転送する 128
　留守録転送を設定する 128

留守番機能を設定する

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。
留守番機能では、以下のような設定ができます。

留守番機能で設定できること

● **メッセージの録音時間**
留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの 1 回あたりの録音時間を設定できます。
⇒ 119 ページ「メッセージの録音時間を設定する」

> メッセージは最大で 99 件（録音総時間 29 分）保存されます。1 件あたりの録音時間が長くなれば保存できるメッセージ件数は減少します。

● **留守応答メッセージ**
本製品にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、2 種類の留守応答メッセージを自分の声で録音できます。
⇒ 120 ページ「応答メッセージを録音する」
また、録音した留守応答メッセージは、留守モードにしたあとで選ぶことができます。状況に応じて使いわけてください。
⇒ 122 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

> お買い上げ時の留守応答メッセージは「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」と録音されています。
>
> 在宅時の応答メッセージは、再呼出設定時、再呼出音を【アイテニ　メッセージ】に設定すると、あらかじめ録音されている在宅応答メッセージが再生されます。お買い上げ時の在宅応答メッセージは「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

● **呼出回数**
着信してから本製品が自動的に応答するまでの呼出回数を設定できます。
⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」

● **留守録モニター**
留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。
⇒ 121 ページ「留守録モニターを設定する」

> 留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
> ⇒ 46 ページ「通信ボックスの音量を設定する」

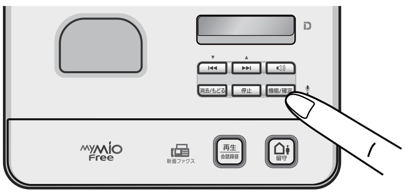
メッセージの録音時間を設定する

［ロクオン　ジカン］

留守モード時に、相手がメッセージを録音するときの 1 回あたりの時間を設定します。

1 回の最大録音時間は約 3 分、最大件数は 99 件、合計で 29 分まで録音可能です。お買い上げ時は、【60 ビョウ】に設定されています。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ［⏮］/［⏭］で【2. ファクス／デンワ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ［⏮］/［⏭］で【5. ルスバンデンワ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ［⏮］/［⏭］で【2. ロクオン　ジカン】を選び、［機能/確定］を押す

5 ［⏮］/［⏭］で録音時間を選び、［機能/確定］を押す

【0 ビョウ（オウトウノミ）／ロクオン 30 ビョウ／ロクオン 60 ビョウ／ロクオン 120 ビョウ／ロクオン 180 ビョウ】から選択します。

> 【0 ビョウ（オウトウノミ）】に設定すると、本製品から応答メッセージが流れたあと、すぐに回線が切れます。そのため、必ず専用の応答メッセージを録音する必要があります。
> ⇒ 119 ページ「メッセージの録音時間【0 ビョウ（オウトウノミ）】を選んだときの注意」

6 ［停止］を押して設定を終了する

メッセージの録音時間【0 ビョウ（オウトウノミ）】を選んだときの注意

【0 ビョウ（オウトウノミ）】に設定したときに流れるのは、「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」という応答メッセージです（お買い上げ時）。この設定では、録音（ファクス送信）する時間は設けられていないので、応答メッセージの内容と矛盾が生じてしまいます。

録音時間【0 ビョウ（オウトウノミ）】を選んだ場合は、あわせて専用の応答メッセージ（例：「ただいま留守にしています。のちほどおかけなおしください。」など）を録音した上で、そのメッセージが留守モード時に流れるように、必ずメッセージ選択をしておいてください。

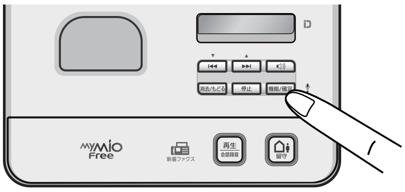
⇒ 120 ページ「応答メッセージを録音する」
⇒ 122 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

応答メッセージを録音する

［オウトウ　メッセージ］

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて 2 種類の留守応答メッセージと 1 種類の在宅応答メッセージを、それぞれ 20 秒まで自分の声で録音できます。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ［⏮］/［⏭］で【2. ファクス／デンワ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ［⏮］/［⏭］で【5. ルスバンデンワ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ［⏮］/［⏭］で【1. オウトウ　メッセージ】を選び、［機能/確定］を押す

5 ［⏮］/［⏭］で設定したい応答メッセージを選び、［機能/確定］を押す

録音したいメッセージの種類を【ルス　オウトウ 1 ／ルス　オウトウ 2 ／ザイタク　オウトウ】から選びます。

6 ［⏮］/［⏭］で【オウトウ　ロクオン】を選び、［機能/確定］を押す

7 通信ボックスのマイク（🎙）に向かってメッセージを録音する

20 秒以内に収めてください。20 秒を待たずに終了するときは、［停止］を押してください。ただし、録音開始から 5 秒間は停止できません。

> 今録音した内容が自動的に再生されます。最後まで聞かずに再生を終了するときは、［停止］を押してください。

8 別の録音を続ける場合は、手順 5 ～ 7 を繰り返す

9 録音が終わったら［停止］を押して設定を終了する

応答メッセージを削除する

(1) 「応答メッセージを録音する」の手順 6 で、【オウトウ　ショウキョ】を選び、［機能/確定］を押す

(2) ［⏮］（スル）を押す

(3) ［停止］を押して操作を終了する

◆応答メッセージが消去されます。

※本製品にあらかじめ録音されている応答メッセージは消去できません。

応答メッセージを確認する

(1) 「応答メッセージを録音する」の手順 6 で、【オウトウ　サイセイ】を選び、［機能/確定］を押す

◆応答メッセージが再生されます。

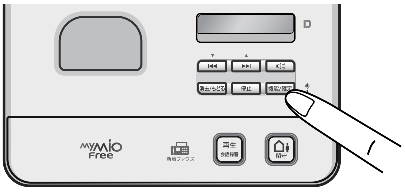
(2) ［停止］を押して確認を終了する

留守録モニターを設定する

[ルスロク　モニター]

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、通信ボックスのスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は【オン】に設定されています。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ［▼⏮］/［▲⏭］で【2. ファクス／デンワ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ［▼⏮］/［▲⏭］で【5. ルスバンデンワ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ［▼⏮］/［▲⏭］で【3. ルスロク　モニター】を選び、［機能/確定］を押す

5 ［▼⏮］/［▲⏭］で【オン】または【オフ】を選び、［機能/確定］を押す

6 ［停止］を押して設定を終了する

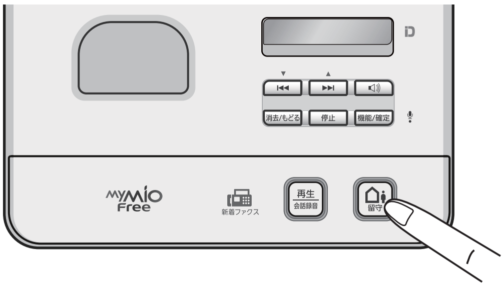
> 留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
> ⇒ 46 ページ「通信ボックスの音量を設定する」

出かけるとき

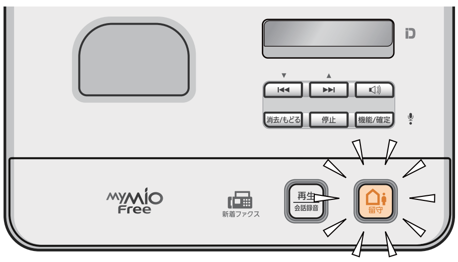
お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番機能をセットする

1 通信ボックスの [留守] を押す



[留守] が点灯し、留守モードになります。



留守番機能を解除するときは、もう一度 [留守] を押します。

留守応答メッセージを選ぶ

自分の声で留守応答メッセージが録音してあるとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1 [留守] を押す

ボタンが点灯しているときは、[留守] を押し、ボタンを消灯させてから再度 [留守] を押してください。

2 メッセージ再生中に、[▼ ⏮] または [▲ ⏭] で留守応答メッセージを選ぶ

応答メッセージは、【オウトウ　サイセイ／オウトウ　サイセイ 1／オウトウ　サイセイ 2】から選択します。

- 【オウトウ　サイセイ】：
  あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
- 【オウトウ　サイセイ 1】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 1
- 【オウトウ　サイセイ 2】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 2

メッセージを再生後、選んだメッセージで、留守モードにセットされます。
いったん選ばれたメッセージは、そのあと選び直さない限り有効です。

メッセージ再生中に [停止] を押すと、再生を中止し、前回選んだメッセージで留守モードにセットされます。

巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

帰ってきたとき

電話やファクスがあったときは、以下の手順で確認します。

留守番機能を解除する

新しく録音された音声メッセージがあるときは、[留守] が点滅しています。



1 [留守] **を押す**

[留守] が消灯し、留守モードが解除されます。

新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。

> 巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

メモリー内のメッセージを一括再生する

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生できます。

1 [再生 会話録音] **を押す**

メモリー内のメッセージが次のように再生されます。

- 未再生メッセージがあるとき：「未再生の留守録メッセージ」→「未再生の通話録音内容」の順に再生されます。
- 未再生メッセージがないとき：「メモリー内の全留守録メッセージ」→「メモリー内の全通話録音内容」の順に再生されます。

音声メッセージを確認する

(A) 再生中のメッセージを聞き直すとき

[▼ ⏮] を押す。

◆再生中のメッセージの最初に戻ります。

※ [▼ ⏮] を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージが再生されます。

(B) 次のメッセージを聞くとき

[▲ ⏭] を押す。

(C) 途中でメッセージの再生をやめるとき

再生中に [停止] を押す。

(D) メッセージを 1 件消去するとき

再生中に [消去/もどる] を押し、【モウイチドオスト ショウキョ】と表示されたら、もう一度 [消去/もどる] を押す。

◆再生中のメッセージが消去されます。

(E) すべてのメッセージを消去するとき

再生中以外のときに [消去/もどる] を押し、【オンセイ ショウキョ？／▼ スル ▲ シナイ】と表示されたら、[▼ ⏮]（スル）を押す。

◆すべてのメッセージが消去されます。

ファクスが届いているとき

が点滅しているときは、ファクスを受信しています。複合機本体で確認してください。
⇒ 93 ページ「ファクスの見かた」

外出先から本製品を操作する リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

[暗証番号]

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

確認

■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

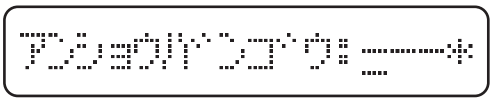
1 通信ボックスの [機能/確定] を押す



2 [▼⏮] / [▲⏭] で【2. ファクス／デンワ】を選び、[機能/確定] を押す

3 [▼⏮] / [▲⏭] で【2. アンショウバンゴウ】を選び、[機能/確定] を押す

4 [▼⏮] / [▲⏭] と [機能/確定] で各桁の数値（＊、＃記号を含む）の選択と確定を繰り返して、頭の 3 桁の数字を入力する



⇒ 246 ページ「入力例」
4 桁目は強制的に「＊」が付きます。

> 暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

5 [停止] を押して設定を終了する

暗証番号を削除するときは

(1) 「暗証番号を設定する」の手順 3 までの操作を行う

(2) [消去/もどる] を押す

(3) [機能/確定] を押す

◆暗証番号が削除されます。

(4) [停止] を押して設定を終了する

外出先から本製品を操作する

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。在宅モードでも操作できます。

確認

- ■ リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。
  ⇒ 125 ページ「暗証番号を設定する」
- ■ ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- ■ 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- ■ 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

1 外出先から本製品に電話する

本製品の応答メッセージが再生されます。

在宅モードで呼出回数を【ムセイゲン】に設定している場合は、約 100 秒間呼出音を鳴らし続けると本製品が応答します。この場合は、「ピー」という音が鳴るのみで、応答メッセージは再生されません。

2 「#」、「＊」を押す

「暗証番号を入れてください」というメッセージが再生されます。

3 暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポーポー」：
  音声メッセージが記憶されています。

4 リモコンコードを入力する

次のページの「リモコンコード」を入力します。

例）録音されている音声メッセージを再生するときは「9」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ 281 ページ「リモコンアクセスカード」

5 終了するときは「9」「0」を続けて押す

間違った操作をしたときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。このときはもう一度操作してください。

リモコンコード

コード	操作内容	
音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に「1」：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で「1」：前のメッセージを再生 再生中に「2」：次のメッセージを再生 再生中に「9」：再生を中止
93	録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
メモリー操作		
972	音声メッセージが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

外出先に転送する

留守録転送

留守録転送を設定する

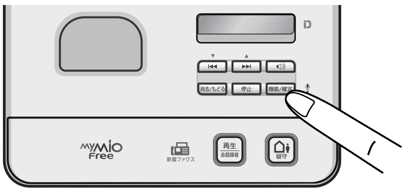
[ルスロク　テンソウ]

「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送することができます。

確認

- ■ 留守モードのときのみ転送できます。
- ■ 留守録転送するためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。
  ⇒ 125 ページ「暗証番号を設定する」
- ■ 通信管理レポートや発信履歴に留守録転送の履歴は残りません。
- ■ NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープは、留守モードに設定されている / いないにかかわらず、かかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。
- ■ 転送先の電話が話し中のときは、10 分おきに 5 回まで再ダイヤルされます。

1 **通信ボックスの［機能/確定］を押す**



2 **［◀◀］/［▶▶］で【2. ファクス／デンワ】を選び、［機能/確定］を押す**

3 **［◀◀］/［▶▶］で【5. ルスバンデンワ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す**

4 **［◀◀］/［▶▶］で【4. ルスロク　テンソウ】を選び、［機能/確定］を押す**

5 **［◀◀］/［▶▶］で【オン】を選び、［機能/確定］を押す**

【バンゴウヲ　ニュウリョク】と【カクテイボタンヲ　オス】が交互に表示されます。

6 **［機能/確定］を押す**

暗証番号が設定されていないときは、［停止］を押していったん留守録転送設定を中止し、暗証番号を設定してください。
⇒ 125 ページ「暗証番号を設定する」

転送先の電話番号がすでに登録されているときは、登録済みの電話番号が表示されます。
- 電話番号を変更する場合は、
  ［◀◀］を押します。⇒手順 7 へ
- 電話番号を変更しない場合は、
  ［▶▶］を押します。⇒手順 8 へ

7 **［◀◀］/［▶▶］と［機能/確定］で各桁の数値の選択と確定を繰り返して、転送先の電話番号を入力し、最後にもう一度［機能/確定］を押す**

8 **［停止］を押して設定を終了する**

転送先で確認する

(1) **電話を受けたあと、音声ガイダンスに従って暗証番号を入力する**

(2) **メッセージを聞く**

◆2 件以上あるときは連続して再生されます。

◆再生終了後に電話は自動的に切れます。

留守録転送を解除する

(1) **「留守録転送を設定する」の手順 5 で【オフ】を選び、機能/確定 押す**

(2) **停止 を押して設定を終了する**

◆留守録転送が解除されます。

Memo

第６章

コピー

基本

コピーに関するご注意 132

コピーする 133

1 部コピーする 133

複数部コピーする 133

設定を変えてコピーするには 135

L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例） 137

応用

いろいろなコピー 138

2in1 コピー /4in1 コピー / ポスターコピーする（レイアウト コピー） 138

インクを節約してコピーする 140

ブックコピーする 141

コピーに文字や画像を重ねる 142

テンプレートを重ねてコピーする 143

メディアの画像を重ねてコピーする 144

スキャンした画像を重ねてコピーする 145

コピーに関するご注意

基本

コピーを行うときは、以下の点にご注意ください。

● **法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）**
- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手やはがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

● **著作権のあるもの**
- 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

● **その他注意を要するもの**
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

● **記録紙について**
- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
- コピーをする場合（特にカラーの場合）は、記録紙の選択が印刷品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。

● **原稿について**
- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。スキャナー（読み取り部）が汚れて、印刷品質が悪くなることがあります。

● **スキャナー（読み取り部）について**
- スキャナー（読み取り部）は常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーできません。
⇒171 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

原稿の読み取り範囲について
⇒45 ページ「原稿の読み取り範囲」

コピーする

カラーまたはモノクロでコピーします。

確認

■ スキャナー（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。スキャナー（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 171 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

1 部コピーする

1枚の原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

3 画面で設定を確認する



画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。
⇒ 135 ページ「設定を変えてコピーするには」

4 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

途中でコピーを中止したいときは、停止/終了 を押してください。

原稿がコピーされます。

複数部コピーする

1～99部までコピーする枚数を指定してコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

3 操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

1 ～ 99 部まで設定できます。



①を押して表示されるテンキーを押したり、②でも部数の入力ができます。

入力した部数を取り消すには①を押して表示される画面で【クリア】を押します。

4 モノクロでコピーするときは [モノクロ スタート] を、カラーでコピーするときは [カラー スタート] を押す

途中でコピーを中止したいときは、[停止/終了] を押してください。

原稿がコピーされます。

設定を変えてコピーするには

［コピー］を押して表示される画面で、コピーの設定を変更できます。ここで変更した内容は、待機画面に戻った時点で初期値（お買い上げ時の状態）に戻ります。

例：記録紙タイプ

【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ【記録紙タイプ】を押す



→

設定値を選ぶ



(1) コピー画質

コピーの画質を設定します。
- 【高速】
  速くコピーしたい場合に選びます。
- 【標準】
  通常のコピーを行う場合に選びます。
- 【高画質】
  写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。

※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。
※【高速】に設定していても、「便利なコピー設定」(⇒ 136 ページ）では、時間がかかることがあります。

(2) 記録紙サイズ

使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。
【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】

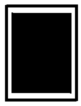
(3) 拡大 / 縮小

倍率を変更してコピーします。
拡大 / 縮小と、レイアウト コピーは同時に設定できません。
【等倍 100%】
【拡大】
- 【240% L 判 ⇒ A4】
- 【204% ハガキ ⇒ A4】
- 【142% A5 ⇒ A4】
- 【115% B5 ⇒ A4】
- 【113% L 判 ⇒ ハガキ】*1

【縮小】
- 【86% A4 ⇒ B5】
- 【69% A4 ⇒ A5】
- 【46% A4 ⇒ ハガキ】
- 【40% A4 ⇒ L 判】

【用紙に合わせる】*2
【カスタム（25-400%)】*3

*1 L 判タテ向きの写真（127mm × 89mm）をハガキにフィットさせます。



*2 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。「用紙に合わせる」は次のような制約があります。
- 原稿を読み取るときに 3° 以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。
- レイアウトコピー、ブックコピー、透かしコピーと同時に設定できません。

*3 画面に表示されているテンキーや操作パネルのダイヤルボタンで倍率を入力し、【OK】を押します。

(4) 記録紙タイプ

使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】

(5) コピー濃度

コピーの濃度を 5 段階で調整します。【▶】を押すと濃くなり、【◀】を押すと薄くなります。

(6) レイアウト コピー

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。
⇒ 138 ページ「2in1 コピー /4in1 コピー / ポスターコピーする（レイアウト コピー）」

(7) 便利なコピー設定

その他の便利なコピーができます。

- インク節約モード
  文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。
  ⇒ 140 ページ「インクを節約してコピーする」
- ブックコピー
  本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。
  ⇒ 141 ページ「ブックコピーする」
- 透かしコピー
  コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。
  ⇒ 142 ページ「コピーに文字や画像を重ねる」

(8) お気に入り設定

コピーのいろいろな設定を、組み合わせを変えるなどして 3 つまで名前をつけて登録しておくことができます。

(1)  **を押して表示される画面で、初期値にしたい設定に変更する**

(2) **【お気に入り設定】を押す**

(3) **【保存】を押す**

(4) **お気に入り設定の保存先を選ぶ**
保存先は【お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3】から選びます。

(5) **画面に表示されているキーボードでお気に入り設定の名前を入力して【OK】を押す**
6 文字まで入力できます。
お気に入り設定の名前を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。
◆変更した設定がお気に入りに登録されます。

※登録したお気に入りの名前を変更するには、【お気に入り設定】、【名前の変更】、変更したいお気に入りのボタンの順に押し、表示されているキーボードで名前を入力して、【OK】を押します。

(9) お気に入り

「お気に入り設定」で登録した設定値を呼び出します。

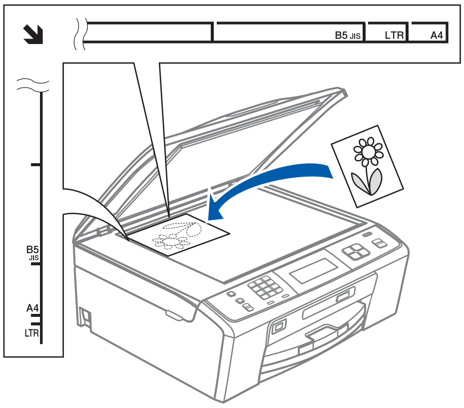
L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）

L 判の写真を、写真用光沢はがきにコピーする手順を例にして説明します。

1 スライドトレイに写真用光沢はがきをセットする

⇒ 41 ページ「スライドトレイにセットする」

2 原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドの左奥に合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする



3 原稿台カバーを閉じる

4 [コピー]を押す

5 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ 133 ページ「複数部コピーする」

1）コピー画質を設定する

6 【コピー画質】を押す

7 【高画質】を押す

2）記録紙サイズを設定する

8 【記録紙サイズ】を押す

9 【ハガキ】を押す

3）拡大・縮小率を設定する

10 【拡大 / 縮小】を押す

11 【拡大】を押す

12 【113% L 判⇒ハガキ】を押す

4）記録紙タイプを設定する

13 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【記録紙タイプ】を押す

14 【その他光沢】を押す

15 [スタート カラー]を押す

写真が写真用光沢はがきにコピーされます。

いろいろなコピー

応用

2in1 コピー/4in1 コピー/ ポスターコピーする(レイアウト コピー)

[レイアウト コピー]

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を 9 枚の A4 記録紙に拡大コピーして、ポスターを作ったりできます。

確認

- 「レイアウト コピー」では、記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- 「拡大 / 縮小」、「インク節約モード」、「ブックコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

1 原稿をセットする

⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ 133 ページ「複数部コピーする」

※部数設定は、2in1、4in1 のモノクロコピーのみ有効です。

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【レイアウト コピー】を押す

5 レイアウトを選ぶ

レイアウトは【オフ（1in1）／2in1（タテ長）／2in1（ヨコ長）／4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）／ポスター（3 x 3)】から選びます。

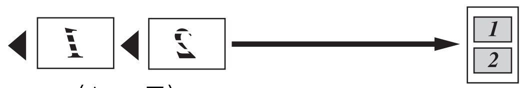
> コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

※A4 サイズの原稿を使った場合のイメージです。

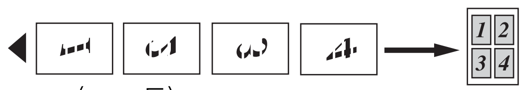
- 2in1（タテ長）



- 2in1（ヨコ長）



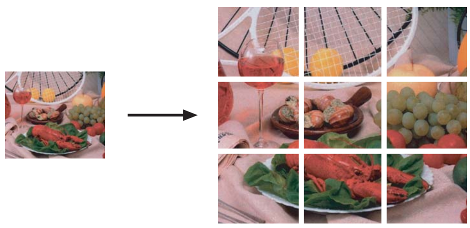
- 4in1（タテ長）



- 4in1（ヨコ長）



- ポスター（3 x 3)



> ポスターコピーは、原稿をポスターサイズに拡大し、9 枚の記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーをする場合は、あらかじめ記録紙トレイに記録紙を分割される枚数以上セットしてください。

6 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

【オフ】または【ポスター（3 x 3)】を選んだときは、コピーが開始されます。

【2in1】または【4in1】を選んだときは、原稿の読み取りが開始され、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

7 【はい】を押す

8 次の原稿をセットし、モノクロ スタート または スタート カラー を押す

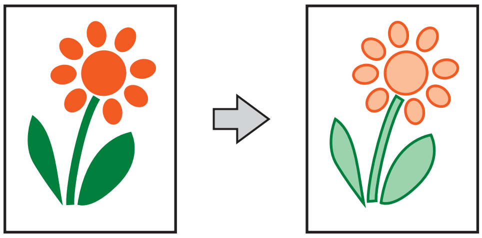
コピーするすべての原稿に対して、手順 7、8 を繰り返し行います。

9 すべての原稿を読み取ったら、【いいえ】を押してコピーを終了する

インクを節約してコピーする

［インク節約モード］

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



確認

- 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
- 「レイアウトコピー」、「ブックコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ 133 ページ「複数部コピーする」

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

5 【インク節約モード】を押す

6 モノクロでコピーするときは [モノクロ スタート] を、カラーでコピーするときは [スタート カラー] を押す

ブックコピーする

[ブックコピー]

本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。

確認

■「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」、「インク節約モード」、「レイアウトコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1. **原稿をセットする**

   ⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

2. **［コピー］を押す**

3. **複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する**

   ⇒ 133 ページ「複数部コピーする」

4. **【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す**

5. **【ブックコピー】を押す**

6. **モノクロでコピーするときは［モノクロ スタート］を、カラーでコピーするときは［スタート カラー］を押す**

コピーに文字や画像を重ねる

[透かしコピー]

コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。追加する透かしには以下の種類があります。

- テンプレート

【COPY】【CONFIDENTIAL】【重要】のいずれかの文字を挿入します。位置、サイズ、回転、透過度、色を設定できます。

- メディア

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーなどに保存されているデータから画像を選択して追加できます。位置、サイズ、回転、透過度を設定できます。

- スキャン

スキャンした画像を追加できます。透過度を設定できます。

確認

■「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」、「インク節約モード」、「レイアウトコピー」、「ブックコピー」と同時に設定することはできません。

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

■ 使用できないデータは、? と表示されます。

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

テンプレートを重ねてコピーする

1 原稿をセットする

⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

2 （コピー）を押す

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ 133 ページ「複数部コピーする」

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

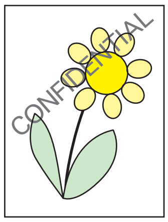
5 【透かしコピー】を押す

6 【テンプレートを使う】を押す

7 透かしの設定を行う

次の 6 項目を設定します。それぞれ設定値を選び、【OK】を押してください。

- 【テキスト】：
【COPY ／ CONFIDENTIAL ／重要】から選びます。
- 【位置】：
【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面】から選びます。【全面】を選ぶと、紙面全体に文字が繰り返されます。
- 【サイズ】：
【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
【-90° ／ -45° ／ 0° ／ +45° ／ +90° 】から選びます。
- 【透過度】：
【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。
- 【色】：
【黒／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄】から選びます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：－45°
透過度：＋2
色：黒

右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

8 モノクロでコピーするときは （モノクロ スタート）を、カラーでコピーするときは （スタート カラー）を押す

メディアの画像を重ねてコピーする

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーをセットして、保存されている画像を透かしとして追加します。

確認

■ デジカメプリント が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

1 原稿をセットする

⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ 133 ページ「複数部コピーする」

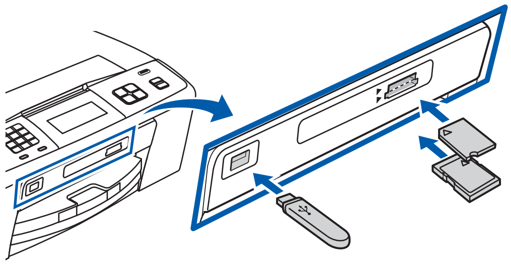
4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

5 【透かしコピー】を押す

6 【スキャン / メディアの画像を使う】を押す

7 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にしっかりと差し込んでください。



⇒ 149 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

8 デジカメプリント が点灯してから、【メディア】を押す

確認

■ デジカメプリント が点滅している間は、押さないでください。

9 画像を選ぶ

確認

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

■ 使用できないデータは、? と表示されます。

10 透かしの設定を行う

次の 4 項目を設定します。それぞれ設定値を選び、【OK】を押してください。

- 【位置】：
  【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面】から選びます。【全面】を選ぶと、紙面全体に選んだ画像が繰り返されます。
- 【サイズ】：
  【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  【-90°／ -45°／ 0°／ +45°／ +90°】から選びます。
- 【透過度】：
  【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 モノクロでコピーするときは を、カラーでコピーするときは を押す

スキャンした画像を重ねてコピーする

1 を押す

2 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ 133 ページ「複数部コピーする」

3 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

4 【透かしコピー】を押す

5 【スキャン / メディアの画像を使う】を押す

6 【スキャン】を押す

7 透かしに使用する原稿をセットする

⇒ 45 ページ「原稿をセットする」



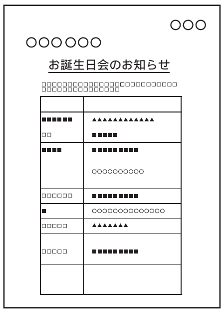
透かしに使用する原稿

8 を押して原稿をスキャンする

スキャンが始まります。

9 スキャンした原稿を取り除き、コピーする原稿をセットする

⇒ 45 ページ「原稿をセットする」



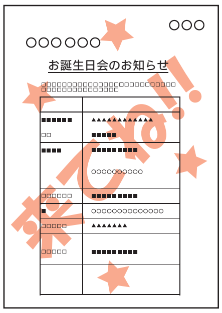
コピーする原稿

10 透かしの透過度を選び、【OK】を押す

【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 モノクロでコピーするときは

モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す



仕上がりイメージ

> スキャンした透かしは拡大 / 縮小できません。

第 7 章

デジカメプリント

デジカメプリント

写真をプリントする前に 148
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする 149
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況 150
動画プリントについて 151

写真をプリントする 152
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真を見る／プリントする 152
設定を変えてプリントするには 154
L 判、2L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例） 156

いろいろなプリント方法 157
インデックスシートをプリントする 157
番号を指定してプリントする 158
色や明るさを補正してプリントする 159
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする 161
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する 162
スライドショーの途中でプリントする 162
写真の一部をプリントする 163

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする 164
PictBridge とは 164
デジタルカメラで行う設定について 164
写真をプリントする 165

その他の機能

スキャン to メディア 166
スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する 166

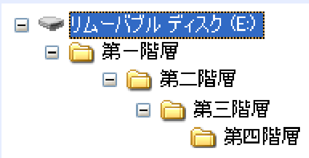
写真をプリントする前に

デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。パソコンに取り込んだり、中継させる必要がありません。

確認

- L 判サイズの記録紙および写真用光沢はがきは、必ずスライドトレイにセットしてください。
  ⇒ 41 ページ「スライドトレイにセットする」
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- 写真のフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式のフォーマットには対応していません。）
- 拡張子が「.JPEG」「.JPE」のファイルは認識しません。拡張子を「.JPG」に変えてください。（拡張子の大文字と小文字は区別せず、どちらも認識します。ただし、インデックスシートにはすべて大文字で表示されます。）
- 動画のフォーマットは「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG をお使いください。
- 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ (横幅が 8192 ピクセル以内) を超えた場合は、印刷できません。
- 日本語のファイル名が付けられたファイルは、インデックスプリント（⇒ 157 ページ「インデックスシートをプリントする」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。ファイル名を英数字に変えてください。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像は、4 階層までしか認識されません。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにパソコン上から書き込んだ場合、5 階層以上のフォルダーに保存しないでください。

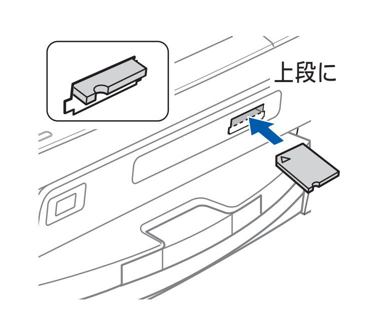
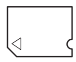
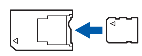
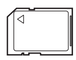
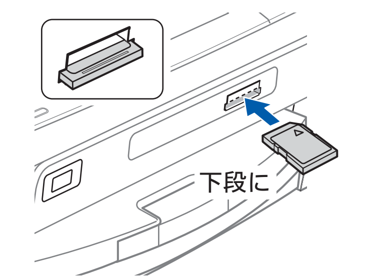
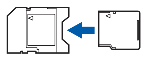
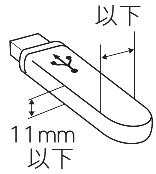
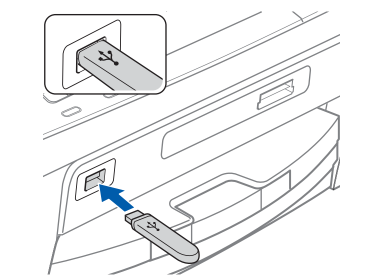


- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、フォルダーとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
- デジカメプリントとパソコンからのメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。
- Macintosh では、デスクトップ上にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されていると、デジカメプリントの操作ができません。この場合は、デスクトップ上のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをいったんゴミ箱に移動させたあと、デジカメプリントの操作をしてください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

1 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ差し込む

下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーを使用できます。

種類		セットする位置
• メモリースティック™（最大 128MB） • メモリースティック PRO™（最大 16GB）		
• メモリースティック デュオ™（最大 128MB） • メモリースティック PRO デュオ™（最大 16GB）		
• メモリースティック マイクロ™（M2™）（最大 16GB）		
• SD メモリーカード（最大 2GB） • SDHC メモリーカード（最大 16GB）		
• miniSD カード（最大 2GB） • microSD カード（最大 2GB）		
• USB フラッシュメモリー（最大 32GB）		



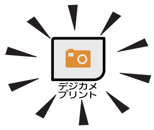
が点灯します。

確認

- ■ 著作権保護機能には対応していません。
- ■ カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。
- ■ 2 つのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。
- ■  が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況

の表示で、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況がわかります。

点灯 	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれています。このときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すことができます。
点滅 	読み取りまたは書き込みが行われています。このときはメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにさわらないでください。
消灯 	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていません。または、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていないため、本製品に認識されていません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは

が点滅していないことを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、が点滅していないことを確認して、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを引き抜いてください。

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、接続しているパソコンからもアクセスできます。
詳しくは、下記をご覧ください。

- Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」
- Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

動画プリントについて

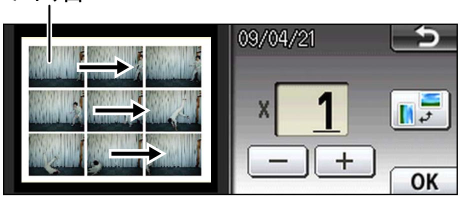
本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1 枚の記録紙にプリントすることができます。

動画　写真



写真と共に保存されている動画も表示されます

1コマ目



印刷設定画面



出力例

プリント方法は通常の写真と同様です。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 152 ページ「写真をプリントする」

確認

- ■ 動画の特定のシーンを指定することはできません。
- ■ 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG です。ただし、1 ファイルのサイズが 1GB（撮影時間およそ 30 分）以上の AVI ファイル、2GB（撮影時間およそ 60 分）以上の MOV ファイルはプリントできません。
使用できないデータは、? と表示されます。

写真をプリントする

デジタルカメラで撮影した画像が保存されているメモリーカードまたはUSB フラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。

> パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスしている間は、デジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真を見る／プリントする

[かんたんプリント]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像を画面で確認・プリントできます。

1 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

⇒ 149 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

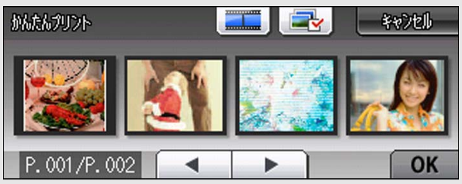
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[デジカメプリント]を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

[デジカメプリント]が点灯し、画面にデジカメプリントメニューが表示されます。



2 【かんたんプリント】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像が表示されます。



> ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

> 画面上部の[スライドショー]を押すとスライドショーが始まります。
> ⇒ 162 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する」

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

> メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントしたいときは、[まとめてプリント]を押します。100 枚目までの画像をすべて 1 枚プリントするように設定できます。
> ⇒ 161 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする」

4 【－】/【＋】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す



プリント枚数表示の［x 1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

［回転アイコン］を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

5 手順 3、4 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び、【OK】を押す

6 画面で設定を確認する



［自動補正アイコン］を押すと、自動で色や明るさを補正することができます。

画質や記録紙のサイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 154 ページ「設定を変えてプリントするには」

7 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

選択した画像がプリントされます。

DPOF を使用する場合

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）[*1] を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットすると、【DPOF で印刷しますか？／はい／いいえ】というメッセージが表示されます。
DPOF でプリントする場合は、以下の手順で操作してください。

(1) 【はい】を押す

(2) 【印刷設定】を押す
◆デジカメプリントの設定画面が表示されます。

(3) 【記録紙サイズ】を押す

(4) 記録紙のサイズを選ぶ
◆他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。

(5) ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す
◆DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

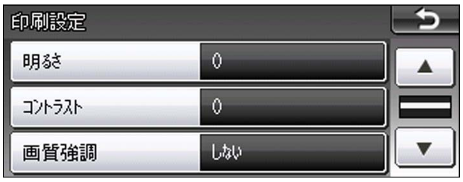
*1 デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した写真のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。
※DPOF から動画のプリントはできません。

設定を変えてプリントするには

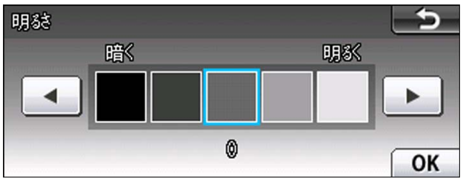
デジカメプリントの設定画面で、プリントする際の設定を変更できます。

例：明るさ

【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ【明るさ】を押す



【◀】/【▶】で設定値を選ぶ



(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。
- 【標準】
  速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
  よりきれいにプリントする場合に選びます。

※DPOF を使用していない場合に設定できます。

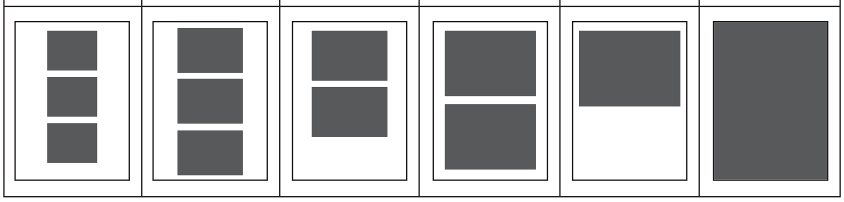
(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。
【L 判／ 2L 判／ハガキ／ A4】
【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8×10cm	9×13cm	10×15cm	13×18cm	15×20cm	用紙全体に印刷



(4) 明るさ（こだわりプリントでは、【トリミング】を設定した場合のみ調整可能です）

プリントする際の明るさを調整します。5 段階の調整ができます。【▶】を押すと明るくなり、【◀】を押すと暗くなります。

(5) コントラスト（こだわりプリントでは、【トリミング】を設定した場合のみ調整可能です）

プリントする際のコントラストを調整します。5 段階の調整ができます。【▶】を押すとコントラストが強くなり、【◀】を押すとコントラストが弱くなります。

(6) 画質強調（こだわりプリントでは、【トリミング】を設定した場合のみ調整可能です）

(1) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【画質強調】を押す

(2) 【する】を押す

(3) 設定する項目を選ぶ

- 【ホワイトバランス】
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 【シャープネス】
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) 【◀】/【▶】でレベルを調整し、【OK】を押す

(5) 手順 (3)、(4) を繰り返して、3 つの項目を調整する

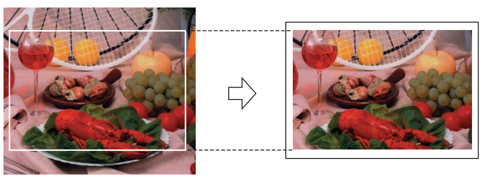
(6) 調整が終わったら、設定確認画面に戻るまで ⮌ を押す

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効に働きます。
　メガピクセルクラスのカメラで撮影した写真は、そのままプリントしてください。
　なお、画素数の多い画像データに画質強調を行うと、処理に数十分以上かかる場合があります。

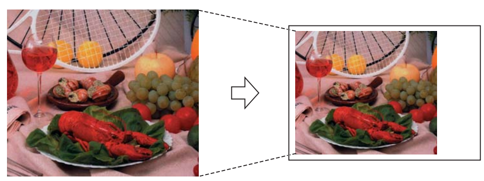
(7) 画像トリミング

プリント領域いっぱいにプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。



- 【しない】
  画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(8) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいに画像をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(9) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※DPOF を使用していない場合にプリントできます。
※動画は、【する】に設定しても日付はプリントされません。

(10) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(11) 設定をリセットする

印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

L 判、2L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）

写真を L 判サイズやはがきサイズの記録紙にプリントする手順を説明します。

1 記録紙をセットする

記録紙は光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
⇒ 41 ページ「スライドトレイにセットする」

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 149 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

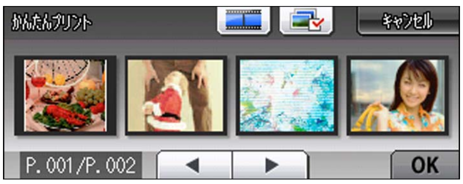
［デジカメプリント］が点灯し、画面にデジカメプリントメニューが表示されます。



3 【かんたんプリント】を押す

ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

4 プリントしたい写真を選ぶ



目的の写真が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

【◀】/【▶】を長押しすると画面を速くスクロールできます。

［回転］を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

5 【−】/【+】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

プリント枚数表示の［1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

6 【OK】を押す

デジカメプリントの設定確認画面が表示されます。

7 【印刷設定】を押す

8 【記録紙タイプ】を押す

9 セットした記録紙の種類を選ぶ

セットした記録紙の種類に合わせて、【普通紙】【インクジェット紙】【ブラザー BP71 光沢】【ブラザー BP61 光沢】【その他光沢】のいずれかを選びます。

10 【記録紙サイズ】を押す

11 セットした記録紙のサイズを選ぶ

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L 判】【2L 判】【ハガキ】のいずれかを選びます。

12 設定確認画面に戻るまで［戻る］を押す

13 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

選択した写真がプリントされます。

いろいろなプリント方法

インデックスシートをプリントする

[インデックスプリント]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像データを、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個印刷】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個印刷】の場合は最大 30 個の画像がプリントされます。

確認

■ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

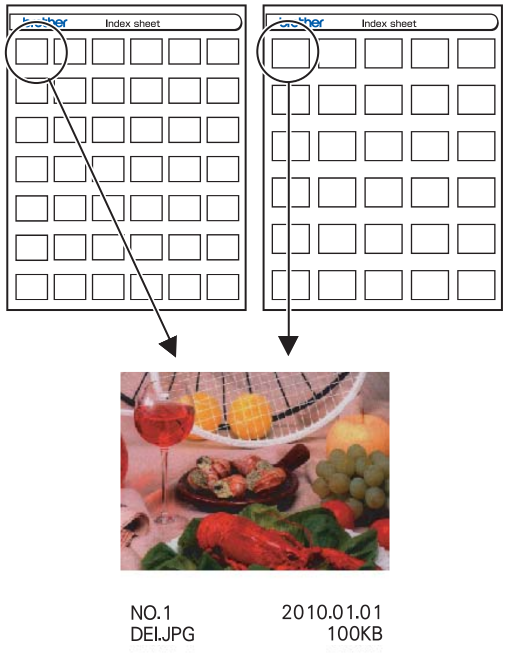
2 【インデックスプリント】を押す

3 【インデックスシート】を押す

4 インデックスのタイプを選ぶ

インデックスのタイプは、【速い /1 行 6 個印刷】【きれい /1 行 5 個印刷】から選びます。

【速い / 1 行 6 個印刷】　【きれい / 1 行 5 個印刷】



5 スタート カラー を押す

記録紙のタイプを変えることもできます。
⇒ 154 ページ「設定を変えてプリントするには」

インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。ファイル名が認識されない場合は、順番に、1、2、3 のように番号が割り振られます。
- インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
- プリントされるのは、JPEG（.JPG）および MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）形式の画像です。

番号を指定してプリントする

［番号指定プリント］

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】を押す

3 【番号指定プリント】を押す

4 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像の番号を入力し、【OK】を押す

例 1：1 ～ 5 番をプリントしたいとき
「1-5」と入力する
例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき
「1,3,5」と入力する

> 区切り記号も含めて 12 文字まで入力できます。

5 画面で設定を確認する

プリント枚数



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 154 ページ「設定を変えてプリントするには」

6 【−】/【+】でプリント枚数を設定する

> プリント枚数表示の［x 1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

7 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

指定した番号の画像がプリントされます。

色や明るさを補正してプリントする

[こだわりプリント]

本製品には、下記 7 つの写真補正機能があります。写真に合わせた補正で、悪条件のもとで撮影された写真などを自然で美しい色合いにプリントできます。

メニュー	解説	再補正 [*1] の有無
自動色補正	人物と風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
肌色あかるさ補正	人物の肌を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
色あざやか補正	風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
赤目補正	フラッシュ撮影時の赤目を補正したいときに選びます。	あり
モノクロ	カラーで撮影した写真をモノクロでプリントしたいときに選びます。	なし
セピア	写真をセピア色でプリントしたいときに選びます。	なし
自動色補正＆赤目補正	人物、風景と同時に赤目を補正したいときに選びます。	あり

[*1] 再補正とは、赤目の検出が一度でできなかったときに、再度「赤目検出」を試み、補正する機能です。

- 「こだわりプリント」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

- 赤目補正は付属のソフトウェア「FaceFilter Studio」でも行うことができます。パソコンに保存されている写真の赤目を修正するときは「FaceFilter Studio」を使用してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「FaceFilter Studio で写真をプリントする」
- フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[デジカメプリント] を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

> を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、【OK】を押す

5 目的に合った補正メニューを選ぶ

補正後の画像が表示されます。

> を押すと拡大表示されます。このとき、【▲】/【▼】/【◀】/【▶】でスクロールすることができます。
> を押すと、元に戻ります。

> 「肌色明るさ補正」と「色あざやか補正」では、【◀】/【▶】で補正量が 3 段階で調節できます。

> 赤目を補正する場合は、補正できると顔が赤枠で囲まれます。補正できなかったときは、【赤目を検出できません】と表示されます。【もう一度やり直す】を押すと、再度、赤目検出を試みます。それでも【赤目を検出できません】と表示される場合は、それ以上の補正はできません。

6 【OK】を押す

7 【−】/【+】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

> プリント枚数表示の [x 1] を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

8 画面で設定を確認する



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 154 ページ「設定を変えてプリントするには」

9 [モノクロ スタート] または [スタート カラー] を押す

選択した画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像をまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。
ただし、一度にプリント設定できるのは 100 枚までです。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

> デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】を押す

3 ［アイコン］を押す

> 【すべての写真枚数を 1 枚にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

> 100 枚目までの画像のプリント枚数がすべて 1 枚に設定されます。

> 個別にプリント枚数を増減させることもできます。この場合は手順 4 のあとで、対象の画像を選び、表示される【−】/【+】で枚数を設定して【OK】を押します。

5 【OK】を押す

6 画面で設定を確認する

プリント枚数



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 154 ページ「設定を変えてプリントするには」
>
> ［アイコン］を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

7 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

> 選択されたすべての画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

[スライドショー]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を画面上で一定間隔に送り、順番に見ることができます。プリントしたい画像が表示されたら、途中でもプリント設定に進めます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】または【こだわりプリント】を押す

3 ［スライドショー］を押す

スライドショーが始まります。

4 終了するには［停止/終了］を押す

スライドショーが終了します。

スライドショーの途中でプリントする

1 プリントしたい画像が表示されている間に【OK】を押す

- かんたんプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 4 へ
- こだわりプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 2 へ

2 【お好み色補正】または【トリミング】、または両方を押した上で【OK】を押す

【お好み色補正】または【トリミング】で写真を補正しない場合はプリント設定に進めません。［戻る］を押して、スライドショーを終了してください。

3 選んだ画像を補正する

- お好み色補正
  ⇒ 159 ページ「色や明るさを補正してプリントする」手順 5、6
- トリミング
  ⇒ 163 ページ「写真の一部をプリントする」手順 5 ～ 7

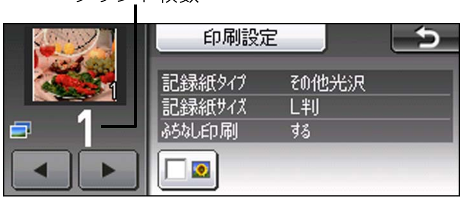
4 【−】/【+】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

プリント枚数表示の［1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

5 【OK】を押す

6 画面で設定を確認する

プリント枚数



画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 154 ページ「設定を変えてプリントするには」

かんたんプリントからスライドショーを開始した場合は、上記画面の［自動補正］を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

7 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

選択した画像がプリントされます。

写真の一部をプリントする

［トリミング］

画像の中から必要な部分だけを切り出してプリントできます。画像を回転させることもできます。

> 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 トリミングしたい画像を選ぶ

4 【トリミング】を押し、【OK】を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

5 枠の位置とサイズを選ぶ

【▲】【▼】【◀】【▶】で移動します。
【+】で拡大、【−】で縮小します。
［回転］を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

6 【OK】を押す

7 トリミングを確認し、【OK】を押す

8 【−】/【+】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

> プリント枚数表示の［x 1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

9 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 154 ページ「設定を変えてプリントするには」

10 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

トリミングした画像がプリントされます。

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した写真を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。

確認

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。
- PictBridge使用中はメモリーカードの使用はできません。
- 本製品は、動画を 9 分割画像にしてプリントすることができますが、PictBridge ではこの機能は使用できません。

デジタルカメラで行う設定について

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A4、10 × 15cm、L 判、2L 判、はがき
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOFプリント[*1]	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

[*1] DPOF とは、デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。

設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
デジタルカメラから設定ができない場合、またはデジタルカメラでプリンター設定を選んだ場合は、以下の設定でプリントされます。

- 記録紙サイズ：L 判
- ふちなし印刷：する
- 記録紙タイプ：その他光沢紙
- プリント画質：きれい
- 日付印刷：しない

写真をプリントする

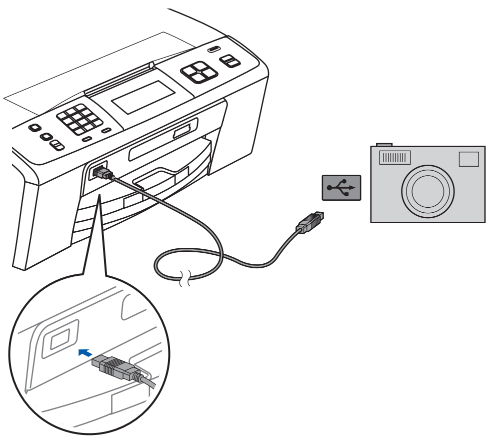
確認

- ■ PictBridge 使用中は、ファクスの送信ができません。
- ■ PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にある、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



確認

- ■ PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

> デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。詳しくは、⇒ 164 ページ「デジタルカメラで行う設定について」をご覧ください。

4 デジタルカメラからプリントを実行する

設定した内容で写真がプリントされます。

確認

- ■ プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。
操作方法について詳しくは、⇒ 153 ページ「DPOF を使用する場合」をご覧ください。

スキャン to メディア

その他の機能

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンした画像をメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する

［メディア：メディア保存］

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

2 原稿をセットする

⇒ 45 ページ「原稿をセットする」

3 スキャン を押す

スキャンメニューが表示されます。



4 【メディア：メディア保存】を押す

5 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

画質は以下から選びます。
【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100 dpi ／モノクロ 200 dpi】

6 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

ファイル形式は以下から選びます。

- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
  【PDF ／ JPEG】
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
  【TIFF ／ PDF】

7 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力する

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

※あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
例）2011 年 5 月 3 日にスキャンすると、ファイル名は「110503XX」（「XX」は通し番号）になります。

※ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。アルファベット、数字、記号で付けてください。

※間違って入力した場合は、【×】を押して消去します。

8 【OK】を押す

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

【メディアを抜かないで下さい　次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 読み取る原稿が 1 枚の場合⇒手順 12 へ
- 読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ

10 【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

確認

■【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されたあと、停止/終了 を押したり、操作しないで放置すると、それまでに読み取ったスキャンデータは保存されません。

11 次の原稿をセットして、モノクロ スタート または スタート カラー を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 10、11 を繰り返します。

12 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押してスキャンを終了する

確認

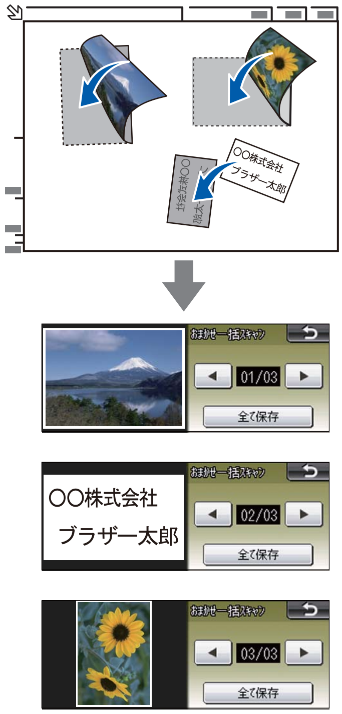
■ デジカメプリント が点滅しているときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

本製品をスキャナーとして使う操作については、下記をご覧ください。
- Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「スキャナーとして使う前に」
- Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「スキャナーとして使う前に」

パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

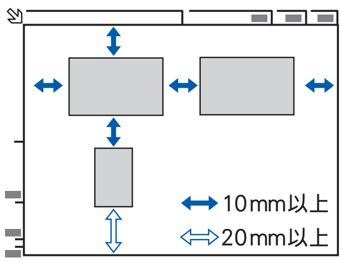
複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。



(1) **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

(2) **原稿をセットする**

下記に注意して原稿をセットしてください。
- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 原稿台ガラスの端から 10mm 以上（手前部分のみ20mm以上）空けてセットしてください。
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10° 以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。



(3) スキャン **を押す**

(4) **【メディア：メディア保存】を押す**

(5) **【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ**

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

(6)【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 【PDF ／ TIFF】：
  複数のページで構成される 1 つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】：
  個別のファイルとして保存します。

(7)【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【おまかせ一括スキャン】を押す

(8)【オン】を押す

(9) モノクロスタート または カラースタート を押す

◆スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(10)【OK】を押す

◆スキャン結果が画面に表示されます。

※【◀】/【▶】で前後の画像を確認できます。

(11)【全て保存】を押す

◆メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに画像が保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

設定を保持する

(1) スキャン を押す

(2)【メディア：メディア保存】を押す

(3) 初期値にしたい設定に変更する

(4)【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【設定を保持する】を押す

◆【設定を保持しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(5)【はい】を押す

◆変更した設定が初期値として登録されます。

※手順 (1)、(2) のあと、手順 (4) に進み【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

第 8 章

こんなときは

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 170
複合機本体 170
タッチパネルを清掃する 170
外側を清掃する 170
スキャナー（読み取り部）を清掃する 171
給紙ローラーを清掃する 172
本体内部を清掃する 173
子機 / 通信ボックス / 子機充電器 174

インクがなくなったときは 175
インクカートリッジを交換する 176
インク残量を確認する 178

印刷が汚いときは 179
定期メンテナンスについて 179
プリントヘッドをクリーニングする 179
記録紙のうら面が汚れるときは 179
印刷テストを行う 180
印刷品質をチェックする 180
印刷位置のズレをチェックする 181

子機のバッテリーを交換するときは 182

困ったときは

紙が詰まったときは 184
記録紙が詰まったときは 184

画面にメッセージが表示されたときは 187
複合機本体のメッセージ 187
通信ボックスのメッセージ 194
エラーが発生したときのファクスの転送方法 196
別のファクシミリを利用する 196
パソコンを利用する 197
子機のメッセージ 198

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に） 199

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に） 218

複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは 219
通信ボックスとの接続を確認する 219
無線 LAN レポートを印刷する（MFC-J855DN/J855DWN のみ） 219
接続確認メッセージ一覧 220

通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する 221
特別な回線に合わせて設定する 221
回線状況に応じて通話音質を設定する 221
安心通信モードに設定する 222
ダイヤルトーン検出の設定をする 223
子機の通信状況を改善する 224
ステップ 1 無線 LAN の使用チャンネルを確認する 224
ステップ 2 内線用の通信チャンネルを確認する 224
ステップ 3 無線 LAN と内線用のチャンネルが干渉しないよう設定を変更する 225
通話パワーの設定を変更する 225
通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する 226

初期状態に戻す 227
目的別に初期化する 228
初期化内容一覧 229
初期化のしかた 230
通信ボックス 230
複合機本体 231
子機の電話帳 / 履歴を消去する 231

こんなときは 232
インターネット上のサポートの案内を見るときは 232
Windows® の場合 232
Macintosh の場合 232
最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは 233
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の URL 233
ドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードするときは 233
ドライバーをインストールするときの注意 233
ファームウェアをインストールするときの注意 233
はがき（年賀状）に印刷するには 234
子機を増設する / 登録抹消する 235
子機が使用できないときは（臨時着信） 236
臨時着信準備 236
電話を受ける 236
臨時着信解除 237
停電になったときは 238
本製品のシリアルナンバーを確認する 238
複合機本体 238
通信ボックス 238
本製品の設定内容や機能を確認する 239
複合機本体 239
通信ボックス 239
本製品を輸送するときは 240
本製品を廃棄するときは 241
通信ボックスのバッテリーを取り外す 241

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

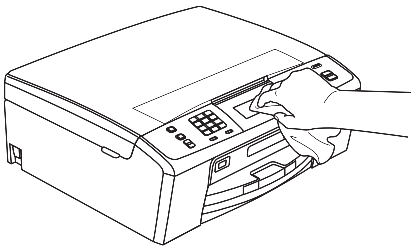
複合機本体

タッチパネルを清掃する

確認

- タッチパネルを清掃するときは、本製品の電源をオフしてください。
- 液体の洗浄剤は使用しないでください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

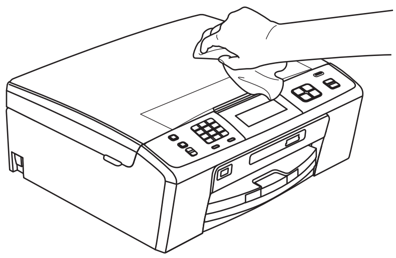


外側を清掃する

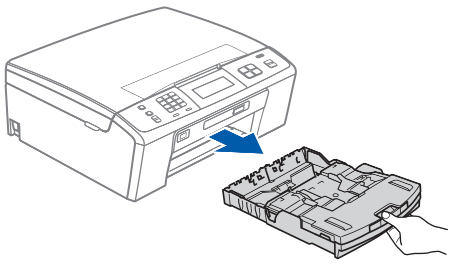
確認

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。本製品の操作パネルの文字が消えることがあります。

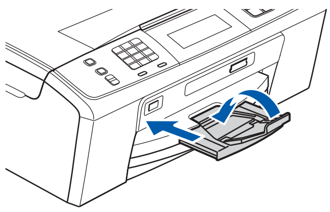
1 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で複合機本体を軽く拭く



2 記録紙トレイを引き出す



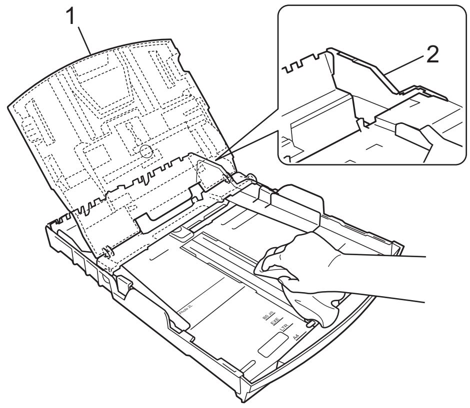
記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてから記録紙トレイを引き出してください。



❸ トレイカバー（1）を開けて記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側、外側および右側の枠の上（2）を軽く拭く

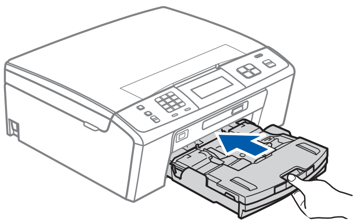
⚠ 注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



❹ トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。



スキャナー（読み取り部）を清掃する

スキャナー（読み取り部）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー（読み取り部）を清掃してください。

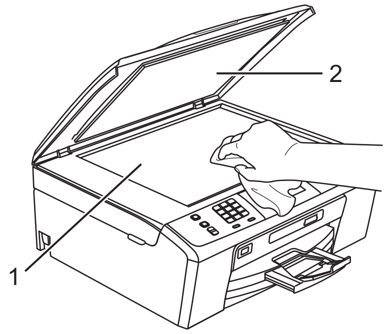
確認

■ 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

❶ 電源プラグをコンセントから抜く

❷ 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス（1）、原稿台カバーのプラスチック面（2）を拭いてください。



❸ 電源プラグをコンセントに差し込む

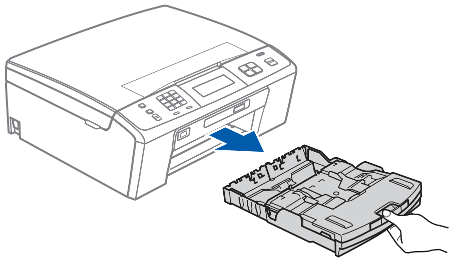
清掃には、無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーも使用できます。

給紙ローラーを清掃する

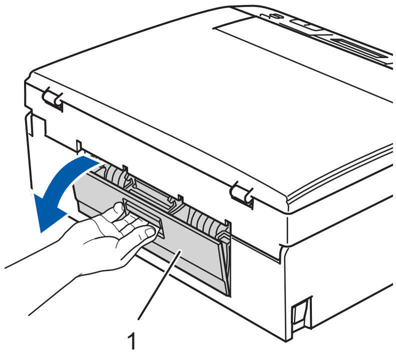
給紙ローラーが汚れていると、記録紙の汚れが発生したり給紙しにくくなったりします。

1 電源プラグをコンセントから抜く

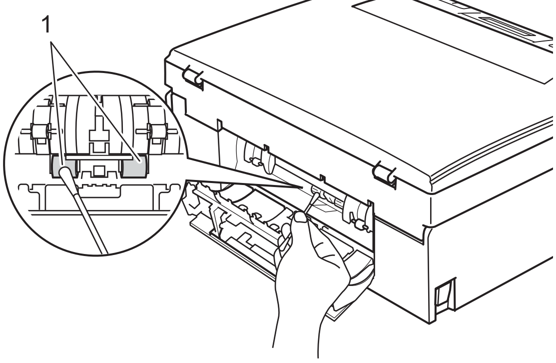
2 記録紙トレイを引き出す



3 複合機本体の背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

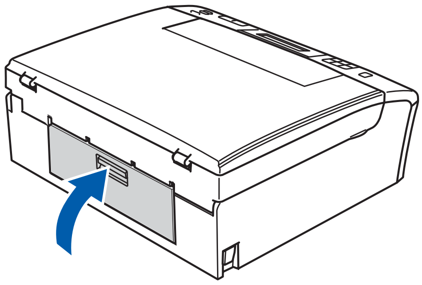


4 オーディオ用クリーニング液（イソプロピルアルコール）などを含ませた綿棒で給紙ローラー（1）を拭く

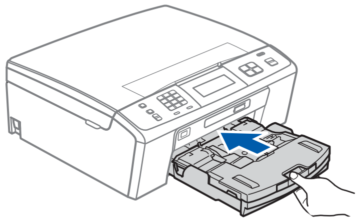


5 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



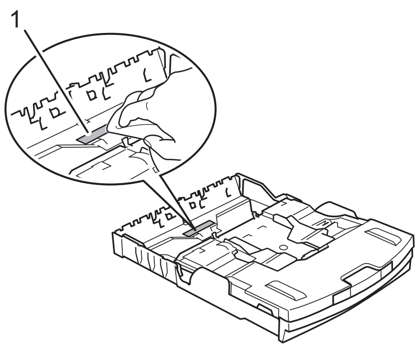
6 記録紙トレイを元に戻す



7 電源プラグをコンセントに差し込む

記録紙が重なって給紙されてしまうときは

記録紙の残りが少なくなってきたときに、記録紙が重なって給紙されてしまうときは、水にぬらして固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、記録紙トレイのコルク部分（1）を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分をよく拭き取ります。



本体内部を清掃する

記録紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で記録紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れている可能性があります。

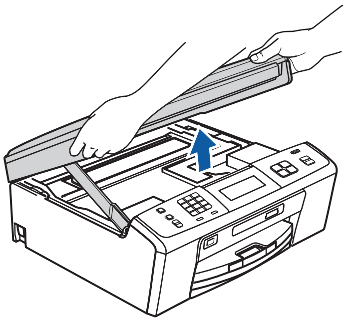
警告

● 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

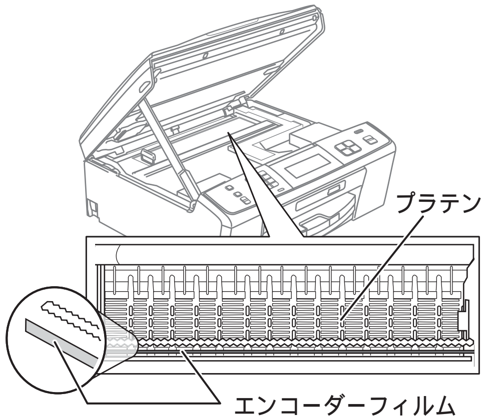
2 両手で本体カバーを開く

本体カバーはしっかりと固定される位置まで上げてください。



3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテンを軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、乾いた柔らかい布でていねいに拭き取ってください。



確認

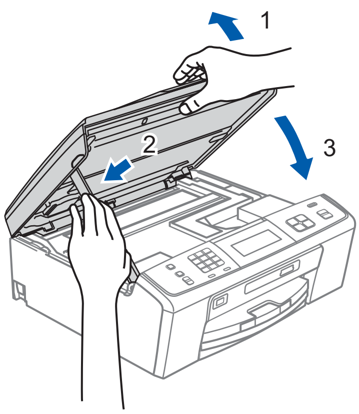
■ エンコーダーフィルム（半透明なフィルム）に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着すると新たな問題を引き起こす原因になります。

4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

注意

● 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

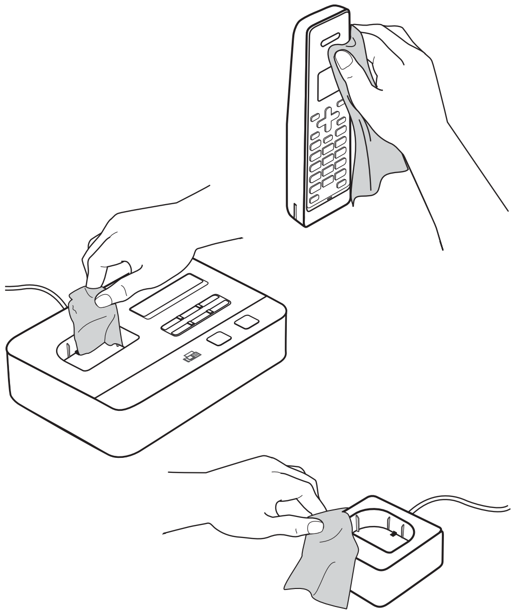
本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し（1）、本体カバーサポートをゆっくり押して（2）、本体カバーを両手で閉めます（3）。



5 電源プラグをコンセントに差し込む

子機 / 通信ボックス / 子機充電器

1. **子機を外す**
2. **通信ボックスまたは子機充電器の電源プラグを抜く**
3. **それぞれを乾いた柔らかい布で拭く**



4. **通信ボックスまたは子機充電器の電源プラグをコンセントに差し込む**
5. **子機を戻す**

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなると、文字のカスレなどが発生しやすくなります。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき（ブラックが少なくなったとき）：【まもなくインク切れ BK】
- インクがなくなったとき：【印刷できません　インク交換 BK】

確認

■【モノクロ印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、「印刷設定」をモノクロに設定する必要があります。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」ー「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」ー「印刷の設定を変更する」
- コピーの場合は【記録紙タイプ】が【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができなくなりますので、速やかにインクカートリッジを交換してください。

- 電源プラグを抜いたり、空のインクカートリッジを取り外した場合
- ブラックインクがなくなったとき
- 記録紙タイプを【ブラザー BP71 光沢】、【ブラザー BP61 光沢】、【その他光沢】、【OHP フィルム】に設定している場合
- 印刷設定の［プロパティ］にて、［基本設定］項目の中の［乾きにくい紙］にチェックをしている場合

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

必要なときに、インク残量を確認することもできます。⇒ 178 ページ「インク残量を確認する」

インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。
⇒ 280 ページ「消耗品」
⇒ 285 ページ「消耗品などのご注文について」

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません　インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

注意

● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

確認

■ インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。

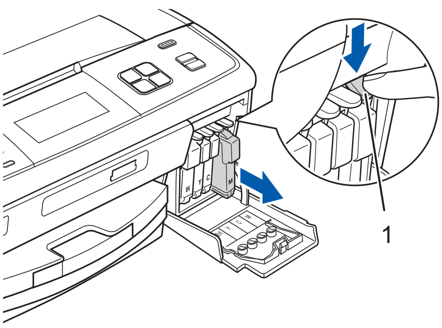
■ 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。
（6ヶ月を超えてのご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。）

■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

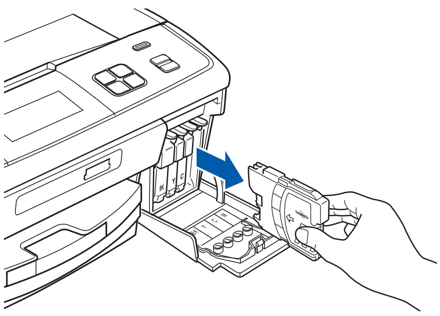
■ インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバー（1）を押し下げる

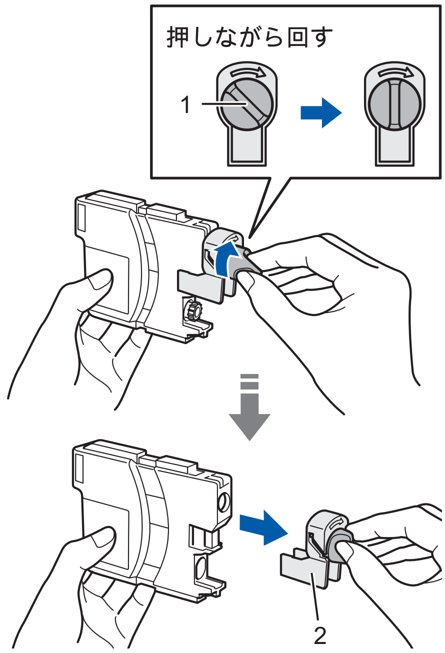


3 インクカートリッジを取り出す



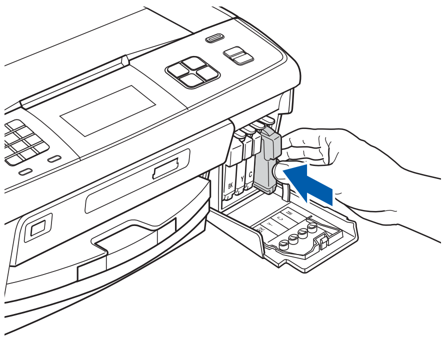
4 新しいインクカートリッジを準備する

インクカートリッジの緑色のつまみ（1）を右に最後まで回して封印を開放し、黄色いキャップ（2）を引き抜きます。

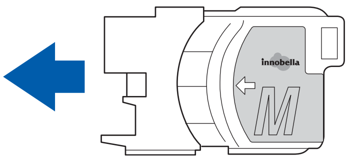


5 新しいインクカートリッジを取り付ける

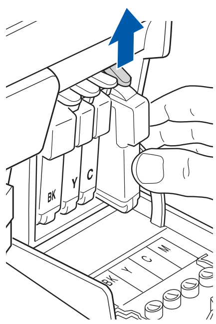
「カチッ」と音がするまで確実に押し込みます。



インクカートリッジは、複合機本体に向かって左の面にラベルがあるように、垂直にして差し込みます。



セットしたカートリッジの色のリリースレバーが上がっているかを確認します。



確認

■ 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直したあと、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。
⇒ 179 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」

6 インクカバーを閉じる

- インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／BK ブラック／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

確認

■ 画面に【インクを交換しましたか／BK ブラック／はい／いいえ】と表示されたときは、必ず、【はい】を押してください。【いいえ】を押すと本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。

■ 【インクカートリッジがありません】【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。

■ インクカートリッジはリリースレバーの色に合わせて正しい位置にセットしてください。間違った位置にセットすると正しい色で印刷されません。

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）
また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ 285 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

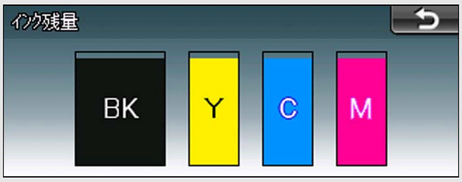
[インク残量]

以下の手順でインク残量を確認できます。

1 複合機本体の インク を押す

2 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。



3 停止/終了 を押して確認を終了する

パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、下記をご覧ください。

- Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）」
- Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「本製品の設定を確認・変更する」

印刷が汚いときは

横縞が目立つときなど、印刷画質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングや、印刷ズレを補正する必要があります。

> 印刷したものに横縞が目立つときは、ヘッドクリーニングが効果的です。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は自動的にプリントヘッドをクリーニングしています。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用いただくために以下の点にご注意ください。

確認

- ■ ヘッドクリーニングをしない状態で長く放置すると目詰まりをおこします。ヘッドクリーニングが定期的に行われるように、複合機本体の電源プラグはコンセントに差したままご利用になることをお勧めします。
- ■ On/Off で電源を切ることにより、本製品を使用しないときの消費電力を極力抑えることができます。
- ■ 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

プリントヘッドをクリーニングする

[ヘッドクリーニング]

プリントヘッドをクリーニングします。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。



目詰まり時　　　正常

> ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 複合機本体の インク を押す

2 【ヘッドクリーニング】を押す

3 クリーニングする色を選ぶ

【ブラック／カラー／全色】から選びます。

ヘッドクリーニングが開始されます。

> 【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約 1、2 分かかります。【全色】を選んだときは、約 3 分かかります。

記録紙のうら面が汚れるときは

印刷したあと、記録紙のうら面に汚れが付く場合は、プリンター内部（プラテン、給紙 / 排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

1 本体内部のプラテンを清掃する

⇒ 173 ページ「本体内部を清掃する」

2 紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 172 ページ「給紙ローラーを清掃する」

3 原稿をセットせずに、コピー、モノクロスタートの順に押してコピーを行う

記録紙が排紙され、それによって本製品の内部がクリーニングされます。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付　録

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 複合機本体の インク を押す

3 【テストプリント】を押す

4 【印刷品質チェックシート】を押す

5 スタート カラー を押す

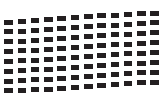
「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

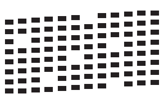
6 きれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、【いいえ】を押します。

＜良い例＞



＜悪い例＞



【はい】を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。手順 11 へ進みます。

【いいえ】を押した場合は、【ブラックは OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。手順 7 へ進みます。

7 黒色がきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【カラーは OK ですか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

8 カラーがきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【クリーニングを開始しますか？スタートボタンを押す】と表示されます。

9 スタート カラー を押す

プリントヘッドがクリーニングされます。

クリーニングが終わると、【スタートボタンを押す】と表示されます。

10 スタート カラー を押す

もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。きれいに印刷されていたら、【はい】を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、【いいえ】を押して手順 7 に戻ります。

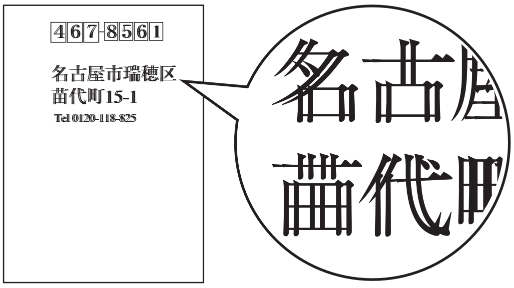
11 停止/終了 を押してチェックを終了する

確認

■ 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

印刷位置のズレをチェックする

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。



1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 複合機本体の インク を押す

3 【テストプリント】を押す

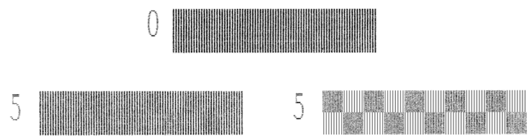
4 【印刷位置チェックシート】を押す

5 スタート カラー を押す

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷位置は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 600dpi、1200dpi とも「No.0」と最も似ている印字パターンが「No.5」のときは【はい】を、「No.5」以外のときは【いいえ】を押す

「No.0」と最も似ているのが「No.5」であれば正常です。



＜良い例＞　＜悪い例＞

【はい】を押した場合は、印刷位置チェックが終了します。手順 9 へ進みます。
【いいえ】を押した場合は、【600DPI の補正】と表示されます。

7 600dpi について、「No.0」と最も似ている印字パターンの番号を選ぶ

番号が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

【1200DPI の補正】と表示されます。

8 1200dpi について、「No.0」と最も似ている印字パターンの番号を選ぶ

番号が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

9 停止/終了 を押してチェックを終了する

子機のバッテリーを交換するときは

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換の目安は約 1 年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本製品をお買い上げの販売店でお買い求めください。

⚠危険

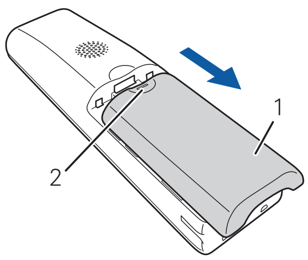
バッテリーの取り扱いは、充分にご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

確認

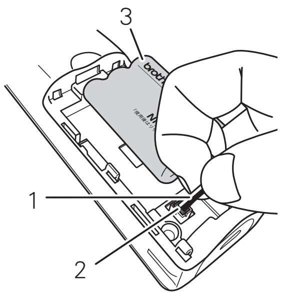
- バッテリーを交換したら必ず 12 時間以上充電してください。
- バッテリーを覆っている白色のビニールカバーは、はがさないでください。

1 バッテリーカバー（1）を外す

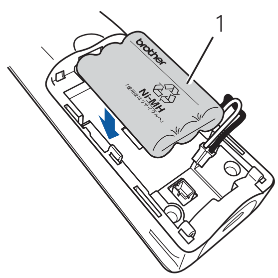
バッテリーカバーのくぼみ部分（2）を押しながら、矢印の方向へずらします。後端部を持ち上げて、バッテリーカバーを外します。



2 バッテリーコード（1）の根元を持ってコネクタ（2）を引き抜き、バッテリー（3）を取り出す

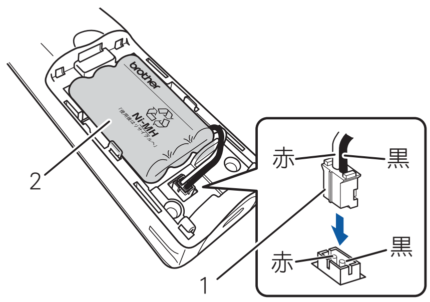


3 新しいバッテリー（1）を子機に入れる



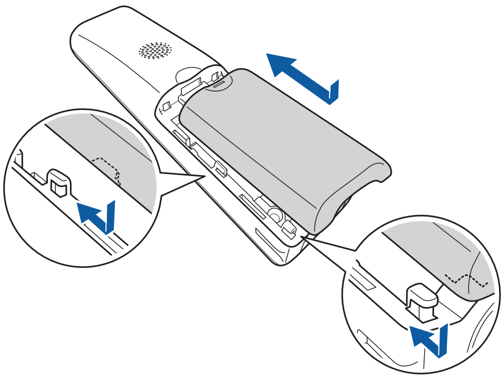
4 バッテリーのコネクタ（1）を差し込む

バッテリーのビニールカバー（2）を傷付けないように注意して、コネクタを下図の向きに奥まで完全に差し込みます。向きを間違えないように注意してください。



5 バッテリーカバーを閉める

コードをはさまないように注意してください。



確認

- ■ バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。
  - ビニールカバーは、はがさないでリサイクル箱へ
  - 分解しないでリサイクル箱へ
- ■ 使用済み電池の届け出先は、242 ページをご覧ください。

Ni-MH

紙が詰まったときは

記録紙が詰まったときは

記録紙が詰まると、ブザーが鳴って、画面に【記録紙が詰まっています】と表示されます。

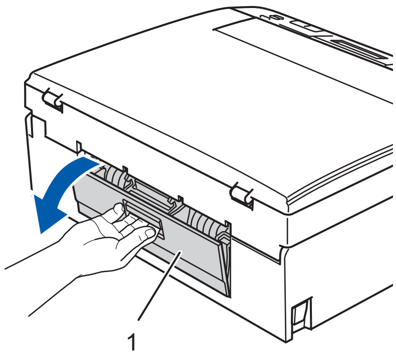
確認

- ■ 紙づまりが解消されても複合機の本体カバーの開け閉めは必ず行ってください。
- ■ プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- ■ 何度も紙が詰まるときは…。
  - 紙の曲がりやそりを直して使用してください。⇒ 36 ページ「カールしている記録紙について」
  - 給紙ローラーを清掃してください。⇒ 172 ページ「給紙ローラーを清掃する」
  - 紙づまり解除カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」手順 4
  - 紙の切れ端、クリップなどの異物が内部に残っていないかどうか、記録紙トレイを抜いて確認してください。
  - 記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。⇒ 36 ページ「専用紙・推奨紙」
  - それでもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグの抜き差しを行ってください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

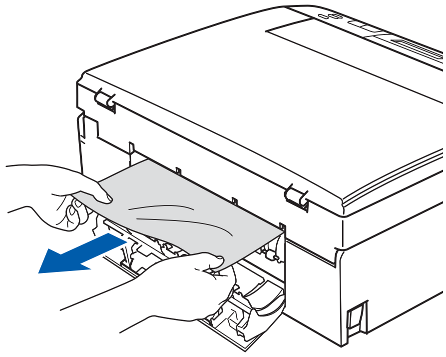
2 複合機本体の背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

中央のつまみをつまんで、手前に引いて開きます。



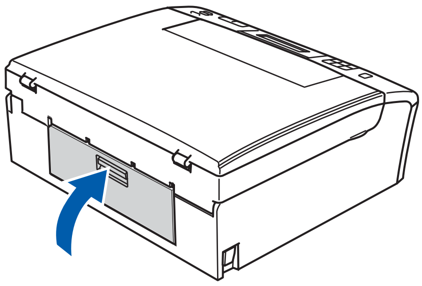
3 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

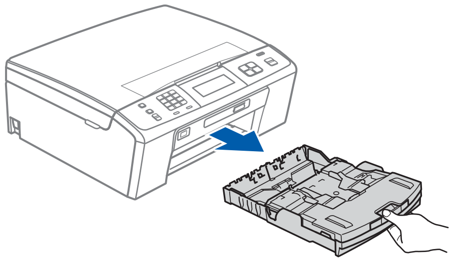


4 紙づまり解除カバーを閉じる

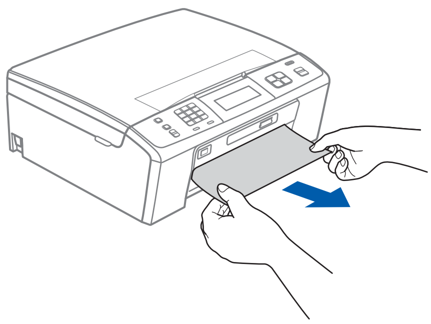
カバーを押して確実に閉じてください。



5 記録紙トレイを引き出す



6 記録紙挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く



確認

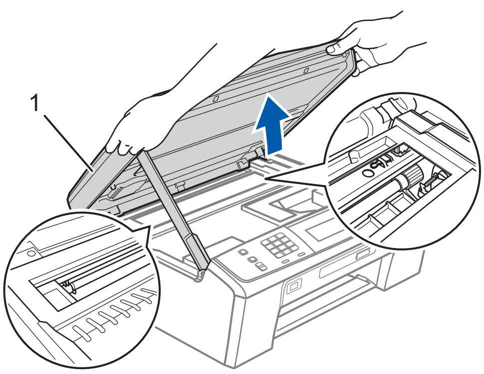
■ 記録紙挿入口に繰り込まれている記録紙は、無理に引き抜かないでください。

7 両手で複合機の本体カバー（1）を開いて、内部に記録紙が残っていないかを確認する

複合機の本体カバーはしっかりと固定される位置まで上げてください。

残っている記録紙があれば取り除いてください。

紙が破れないように静かに抜き取ります。

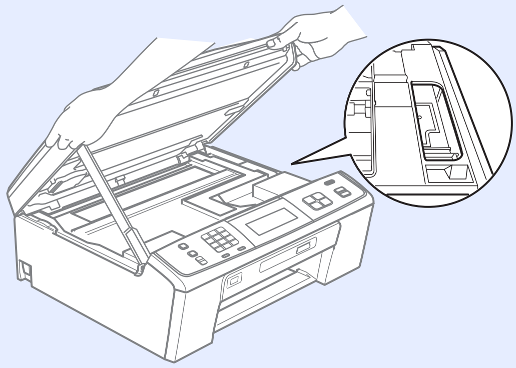


確認

■ プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

■ 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、複合機本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、複合機本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。

■ プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



(1)電源プラグが差し込まれたままの状態で、停止/終了を長押しする

プリントヘッドが中央に移動します。

(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

(3)複合機の本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む

複合機本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

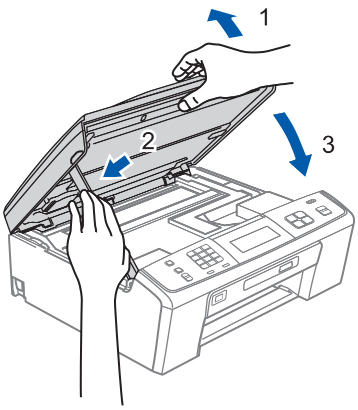
■ 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

8 複合機の本体カバーを閉める

⚠注意

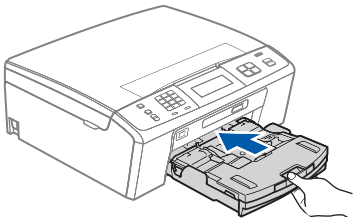
● 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

複合機の本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し（1）、カバーサポートをゆっくり押して（2）、本体カバーを両手で閉めます（3）。

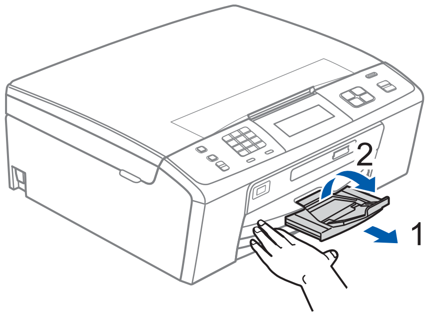


9 記録紙トレイを元に戻す

複合機本体から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。



10 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



確認

■ 記録紙ストッパーは確実に引き出してください。

11 電源プラグをコンセントに差し込む

12 エラーメッセージが消えていることを確認する

画面にメッセージが表示されたときは

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行っても問題が解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、メッセージを控えた上でお客様相談窓口にご連絡ください。

複合機本体のメッセージ

メッセージ	原因	対処
インクカートリッジがありません	インクカートリッジがセットされていない。	インクカートリッジをセットしてください。 ⇒ 176 ページ「インクカートリッジを交換する」
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいインクカートリッジを取り外し、もう一度取り付けてください。
	検知できないインクカートリッジが取り付けられているか、検知部が破損している。	検知可能なインクカートリッジをセットしてください。検知可能なインクカートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	カチッと音がするまでインクカートリッジを確実に押してセットします。
印刷できません インク交換 BK Y C M	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になった。 ファクスメッセージはメモリーに記憶されます。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 176 ページ「インクカートリッジを交換する」
印刷できません　XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 196 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
画像が小さすぎます	画像が小さすぎて、画像の補正やトリミングができない。	この解像度ではご利用いただけません。一辺が 640pixel 以上となる解像度でご利用ください。
画像が長すぎます	画像が長すぎて、画像の補正やトリミングができない。	縦横比が、8：3 より小さい比率でご利用ください。カメラ側で変更できない場合は、パソコン等をご利用ください。また、パノラマ合成写真などのプリントはサポートしておりません。
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを再度閉め直してください。
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	複合機の本体カバーが完全に閉まっていない。	複合機の本体カバーを再度閉め直してください。
カラー送信できません	送信先のファクシミリがカラーファクスを受信できない。	モノクロで送信し直してください。

メッセージ	原因	対処
記録紙を送れません トレイに記録紙を入れ直してください スライドトレイを正しい位置にセットしスタート を押してください	記録紙がないか、正しくセットされていない。	トレイに記録紙を入れなおしてください。スライドトレイを使用する場合は、スライドトレイを正しい位置に セットして、スタート（カラー） または モノクロ（スタート） を押してください。 ⇒ 35 ページ「記録紙のセット」
	スライドトレイが奥にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に奥にずらしてください。 ⇒ 41 ページ「スライドトレイにセットする」
	スライドトレイが手前にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に手前に引いてください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」
	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」
	紙づまり解除カバーが開いている。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 172 ページ「給紙ローラーを清掃する」
記録紙が詰まっています	記録紙が記録部に詰まっている。	詰まった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。紙づまりが解消されてもカバーの開け閉めは必ず行ってください。⇒ 184 ページ「紙が詰まったときは」
記録紙サイズが違います 正しいサイズの記録紙をセットしてスタート を押してください	記録紙トレイに設定したサイズ以外の記録紙がセットされている。	設定したサイズの記録紙をセットして スタート（カラー） または モノクロ（スタート） を押してください。 ⇒ 35 ページ「記録紙のセット」
記録紙を送れません	記録紙がセットされていない	複合機本体に記録紙をセットしてください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 179 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
クリーニングできません　XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 196 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
室温が高すぎます 室温を下げてください	室温が高くなっている。	室温を下げてお使いください。
室温が低すぎます 室温を上げてください	室温が低くなっている。	室温を上げてお使いください。

メッセージ	原因	対処
使用不能な USB 機器です USB 機器を抜いてください	USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。または、壊れている。	USB フラッシュメモリーを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。 または、正常に動作する USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外して On/Off ボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから画像をプリントすることもできます。 ⇒ 149 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
使用不能なUSBハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。 ※使用可能な USB 機器の詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）にある「よくあるご質問（Q&A）」の「USB フラッシュメモリーの他社製品動作確認情報」をご覧ください。
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 196 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 196 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
接続できません エラー No.E1 ユーザーズガイド＜こんなときは＞をご覧ください	何らかの異常が発生したために、通信ボックスと複合機本体が接続できません。	コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡いただき、オペレーターの誘導に従って保守操作を行ってください。
送信できません 子機使用中	子機通話中または通話終了直後はファクス送信できない。	子機の通話中はファクス送信できません。また、通話終了直後も複合機本体と通信ボックスとの接続確認を自動で行うため、すぐにはファクスできません。しばらく待ってファクス送信し直してください。

メッセージ	原因	対処
送信できません 通信ボックスとの接続状態を確認しもう一度送信してください 停止/終了を押してください	ファクスデータ転送中に、複合機本体と通信ボックス間の接続が確立できなくなった。	複合機本体と通信ボックスの接続状態を確認してください。 ⇒ 76 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本機の電源をオフにします。タッチパネルに何も乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本機の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている。	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを指し込み、異物を取り除いてください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用している。（相手側を含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
通信ボックスと接続できません 通信ボックスの電源を入れてください もしくは本体の「通信ボックス接続リセット」を行ってください	通信ボックスの電源が入っていない。	通信ボックスの AC アダプターの両端が、おのおの通信ボックスと壁側のコンセントに確実に差し込まれているかを確認してください。
	通信ボックスと複合機本体が離れすぎている。	通信ボックスと複合機本体を近づけて再度接続状態をお確かめください。 それでも、接続ができない場合は複合機本体で、「通信ボックス接続リセット」を行ってください。 ⇒ 230 ページ「初期化のしかた」
通信ボックスと接続できません 通信ボックスの電源を入れてください	通信ボックスの電源が入っていない。	通信ボックスの AC アダプターの両端が、おのおの通信ボックスと壁側のコンセントに確実に差し込まれているかを確認してください。
	通信ボックスと複合機本体が離れすぎている。	通信ボックスと複合機本体を近づけて再度接続状態をお確かめください。
通信ボックスと接続できません 無線LAN レポートを実行してください	無線 LAN が正しく接続されていません。	複合機本体で「無線 LAN レポート」を印刷してください。無線 LAN 情報および解決法が記載されています。 ⇒ 219 ページ「無線 LAN レポートを印刷する（MFC-J855DN/J855DWN のみ）」
	無線 LAN アクセスポイントを交換した。	ネットワーク設定リセットを行った上で、無線 LAN の設定をし直してください。 ⇒ 227 ページ「初期状態に戻す」 ⇒かんたん設置ガイド
通信ボックスの登録が間違っています ユーザーズガイド<こんなときは>をご覧ください	通信ボックスの認証に誤りがある。	コールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。
データが残っています	印刷データがメモリーに残っている。	停止/終了 を押してください。 （印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。）
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。

メッセージ	原因	対処
廃インク吸収パッド満杯です	廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に達した。 *1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
話し中／応答がありません	相手先が話し中か、応答がなかった。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。相手がファクスではない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、【話し中／応答がありません】になります。
ファイルがありません	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
ファクスメモリーが少なくなりました	みるだけ受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを一部またはすべて消去してメモリーを確保してください。 ⇒94ページ「ファクスをメモリーから消去する」(一部) ⇒94ページ「すべてのファクスを消去する」(すべて)
	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	メモリー受信でメモリーに記憶されたファクスデータを印刷または消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 99 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 100 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 ただし、印刷せずに直接メモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ 99 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
プリンタ使用中	本製品のプリンターが動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。
まもなくインク切れ BK Y C M	いずれかのインクが残り少なくなった。	【印刷できません】と表示されるまでは使用できますが、足りないインクを確認して、新しいインクカートリッジを準備してください。 ⇒ 178 ページ「インク残量を確認する」 弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 285 ページ「消耗品などのご注文について」
まもなく廃インク吸収パッド満杯	廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に近づいている。 *1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
メディアがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、合わせて 999 個以上のフォルダーとファイルが保存されている。	本製品からメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存できるフォルダーとファイルの数は最大 999 個までです。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダーとファイルの数を 999 個より少なくしてください。 もし、フォルダーとファイルの数が 999 個より少ない場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。

メッセージ	原因	対処
メモリーがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。
	複合機本体の空きメモリーが不足している。	メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 94 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 94 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 99 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 100 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」
メモリーがいっぱいです ■ を押してください	複合機本体の空きメモリーが不足している。	停止/終了 を押して、送信またはコピーをキャンセルします。 メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 94 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 94 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 99 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 100 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」
メモリーがいっぱいです 読み取り分送信⇒ ■ ■ 中止⇒ ■	複合機本体の空きメモリーが不足している。	すでに読み取りが終わっているファクス原稿は、スタート カラー または モノクロ スタート を押すと送信されます。 停止/終了 を押すと送信をキャンセルします。 メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 94 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 94 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 99 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 100 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」
	• 記録紙がセットされていない • インクが不足している 上記の理由で、ファクスの受信方法がメモリー代行受信に切り替わり、ファクスが印刷されずにメモリーに蓄積され、データ量が保存できる限界に近づいている。	複合機本体に記録紙をセットし、インクに不足があればインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 176 ページ「インクカートリッジを交換する」
メモリカードエラー	メモリーカードがフォーマットされていない。または、壊れている。	メモリーカードを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。 または、正常に動作するメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードが正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。

メッセージ	原因	対処
モノクロ印刷のみ可能です	1 色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 印刷設定時、［プロパティ］、［拡張機能］タブ、［モノクロ］の順にクリックして、強制的にモノクロ印刷をすれば、引き続きモノクロでの印刷が可能です。通常の使用頻度で約 1ヶ月間使用できます。 • コピー 記録紙タイプを【普通紙】または【インクジェット紙】に設定している場合のみ、モノクロでコピーできます。 ただし、次の場合は新しいインクカートリッジを取り付けるまで、モノクロでも印刷できません。 • ブラックインクがなくなった • 電源プラグを抜いたり、空のインクカートリッジを取り外した • 印刷設定の［プロパティ］にて、［基本設定］項目の中の［乾きにくい紙］をチェックしている	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 176 ページ「インクカートリッジを交換する」

通信ボックスのメッセージ

メッセージ	原因	対処
カイセンニ　モンダイアリ カイセンギョウシャ　トイアワセ	回線種別が判定できない。	ご利用の電話会社にお問い合わせください。
カイセンシュベツ　ヲ　セッテイ シテクダサイ	回線種別が判定できない。	ダイヤル 10PPS 回線やひかり電話などをご利用ではありませんか。回線種別の自動設定ができない回線については、⇒かんたん設置ガイド「回線種別を確認する（通信ボックス）」でご確認ください。このような場合は回線種別を手動で設定してください。 ⇒ 23 ページ「回線種別を設定する」
カラー　ソウシン　デキマセン	送信先のファクシミリがカラーファクスを受信できない。	モノクロで送信し直してください。
セツゾク　エラー　No.E1 ショキカ　デキマセン　E1	通信ボックスの認証に誤りがある。	コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡いただき、オペレーターの誘導に従って保守操作を行ってください。
セツダン　サレマシタ	通信中に相手機から回線が切断された。	相手に連絡し原因を解決してもらって、再度送信してください。
ゾウセツ　デキマセン	電子レンジや無線 LAN から出ている電波が干渉している。	電子レンジや無線 LAN アクセスポイント（MFC-J855DN/J855DWN のみ）から離して再度増設を行なってください。
デンワキ　コード　ヲ セツゾク　シテクダサイ	電話機コードが接続されていない。	電話機コードを接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
ファクス　メモリガ　タリマセン	複合機本体の電源が入っていないため、ファクスデータが転送できない。	複合機本体の On/Off を押して電源をオンにし、転送されたファクスを確認してください。
	留守録メッセージが蓄積されている。	不要な留守録メッセージを消去してください。 ⇒ 123 ページ「音声メッセージを確認する」
	みるだけ受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを一部またはすべて消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 94 ページ「ファクスをメモリーから消去する」（一部） ⇒ 94 ページ「すべてのファクスを消去する」（すべて）
	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 99 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 100 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 ただし、印刷せずに直接メモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ 99 ページ「ファクスをメモリーで受信する」

メッセージ	原因	対処
	• 記録紙がセットされていない • インクが不足している 上記の理由で、ファクスの受信方法がメモリー代行受信に切り替わり、ファクスが印刷されずにメモリーに蓄積され、データ量が保存できる限界に近づいている。	複合機本体に記録紙をセットし、インクに不足があればインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 176 ページ「インクカートリッジを交換する」
ファクス　ヲ　ジュシンシマシタ フクゴウキ　ヲ　カクニン	複合機本体の電源が入っていないため、ファクスが転送できない。	複合機本体の電源を入れて、画面下部の【接続確認】を押し、接続を確立させてください。

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決されない場合は、複合機本体でファクスを印刷できません。インクや記録紙がなかったり、その他の理由により複合機本体で印刷できないファクスは、以下の方法で別のファクシミリかパソコンに転送できます。

別のファクシミリを利用する

通信ボックスで操作します。

別のファクシミリに転送する場合

(1) 通信ボックスの 機能/確定 を押す

(2) ▼⏮/▲⏭ で【6（5）. サービス】を選び、機能/確定 を押す

(3) ▼⏮/▲⏭ で【0. データ　テンソウ】を選び、機能/確定 を押す

(4) ▼⏮/▲⏭ で【1. ファクス　テンソウ】を選び、機能/確定 を押す

◆【ジュシンデータハ　アリマセン】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。停止 を押して操作を終了してください。

◆【ダイヤル　シテクダサイ】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (5) に進んでください。

(5) 機能/確定 を押す

(6) ▼⏮/▲⏭ と 機能/確定 で数値の選択と確定を繰り返して、転送先のファクス番号を入力し、最後にもう一度 機能/確定 を押す

◆【ダイヤル　シマスカ？／▼　スル　▲　シナイ】と表示されます。

(7) ▼⏮（スル）を押す

通信管理レポートを別のファクシミリに転送する場合

(1) 通信ボックスの 機能/確定 を押す

(2) ▼⏮/▲⏭ で【6（5）. サービス】を選び、機能/確定 を押す

(3) ▼⏮/▲⏭ で【0. データ　テンソウ】を選び、機能/確定 を押す

(4) ▼⏮/▲⏭ で【2. レポート　テンソウ】を選び、機能/確定 を押す

◆【ダイヤル　シテクダサイ】と表示されます。

(5) 機能/確定 を押す

(6) ▼⏮/▲⏭ と 機能/確定 で数値の選択と確定を繰り返して、転送先のファクス番号を入力し、最後にもう一度を 機能/確定 押す

◆【ダイヤル　シマスカ？／▼　スル　▲　シナイ】と表示されます。

(7) ▼⏮（スル）を押す

パソコンを利用する

複合機本体で操作します。

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

(1) 複合機本体の停止/終了を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【ファクス / 電話】を押す

(4) 【受信設定】を押す

(5) 【メモリー受信】を押す

(6) 【PC ファクス受信】を押す

(7) メッセージを確認して、【OK】を押す

◆パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

(8) PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
(MFC-J855DN/J855DWN のみ)
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

(9) 【OK】を押す

◆メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(10)【はい】を押す

◆現在「みるだけ受信」が設定されていない場合は、このあと、本体で印刷するかどうかを選択する画面が表示されます。【本体では印刷しない】を選んでください。

(11) 停止/終了を押して操作を終了する

※この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【メモリー受信】の設定を当初の状態（オフ / メモリ保持のみ）に戻してください。（⇒ 256 ページ）

子機のメッセージ

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>原因</th><th>対処</th></tr>
<tr><td>ガイセン　シヨウチュウ</td><td>別の子機が使用中。</td><td>使い終わるのを待ってください。</td></tr>
<tr><td>オヤキヲ
サガシテイマス</td><td>子機の使用圏内（通信ボックス（親機）から、障害物のない直線距離で約 100m 以内）を越えた。</td><td>通信ボックス（親機）から 100m 以内に移動してください。</td></tr>
<tr><td>ツウワ　ケンガイ</td><td>電波状態が悪い、通信ボックス（親機）の電源プラグが抜けている。</td><td>通信ボックス（親機）の状態を確認してください。
子機の 外線 を押してください。</td></tr>
<tr><td>＜デンチノコリナシ＞
ジュウデン
シテクダサイ</td><td>バッテリーがなくなった。</td><td>通信ボックス（充電器）に置いて充電してください。</td></tr>
<tr><td>ガイセンボタンヲ
オシテクダサイ</td><td rowspan="2">子機または通信ボックス（充電器）が汚れている。（ただし、通信ボックス（充電器）から子機をとり、何も操作しないまま約60秒経過したときも表示されます。）</td><td rowspan="2">子機および通信ボックス（充電器）は定期的に掃除してください。
⇒ 174 ページ「子機 / 通信ボックス / 子機充電器」
子機を通信ボックス（充電器）に戻す、または 切 を押すと表示が消えます。</td></tr>
<tr><td>コキガ
ハズレテイマス</td></tr>
<tr><td>デンワチョウガ
イッパイデス　！</td><td>電話帳に登録できる件数を超えている。</td><td>不要な電話番号があれば消去してください。</td></tr>
<tr><td>デンワチョウトウロク
トウロクガ　アリマセン</td><td>電話帳に登録がない。</td><td>電話帳を登録してください。
⇒ 114 ページ「子機の電話帳に登録する」</td></tr>
<tr><td>ハッシンリレキ　ナシ</td><td>発信履歴がない。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ジュウデン　デキマセン。モウイチド
セット　シテクダサイ。</td><td>通信ボックス（充電器）に異物が付着している、または設置不良。（すき間がある。）</td><td>異物を取り除いて、子機をセットし直してください。</td></tr>
</table>

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは（トラブル対処方法）」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかけられない／電話を受けられない。	モジュラージャックから本製品の電話機コードを外した状態で本製品に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。
		ADSL 回線の場合、スプリッターを含む ADSL 機器を外して本製品をモジュラージャック（電話線コンセント）に直接接続して、改善されるかを確認してください。	改善された場合は、ADSL 機器に問題がある可能性があります。ADSL 事業者にお問い合わせください。
		通信ボックスの電源は入っていますか。	通信ボックスの電源が入っていなければ電話はかけられません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
	電話がかけられない。（受話口から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。）	回線種別が正しく設定されていますか。	手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 23 ページ「回線種別を設定する」
	電話をかけられない場合がある。（インターネット電話や IP フォンなどの IP 網を使用している場合）	回線種別が正しく設定されていますか。	本製品を IP 網で使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 23 ページ「回線種別を設定する」
		電話帳機能を利用して、電話をかけていませんか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに 文字切替/P を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」または「P」が入っていませんか。	「－」または「P」を削除して登録してください。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい。	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ⇒ 48 ページ「着信音量を設定する」
	電話の着信音が小さい。	着信音量の設定が小さくないですか。	🔊 を押して着信音量を大きくしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	通信ボックスの が点滅している、または点滅を止められない。	複合機本体の電源はオンになっていますか。	複合機本体の On/Off を押して、電源をオンにしてください。
		ファクスを受信し、通信ボックスで新着のお知らせをしています。	通信ボックスの 停止 を押すと、点滅は終了します。複合機本体でファクスを確認してください。 ⇒ 93 ページ「ファクスの見かた」 点滅が終了しない場合は、通信ボックスと複合機本体の接続状態を確認してください。 ⇒ 76 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」 それでも点滅が終了しない場合は、複合機本体の電源を入れ直してください。
	通信ボックスの画面に「フクゴウキ　ニ　テンソウズミ」と表示されている。	ファクスを受信しています。	表示は 停止 を押すと消すことができます。 複合機本体でファクスを確認してください。
	相手の声が聞き取りにくい。	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 48 ページ「受話音量を設定する」
	相手に声が聞こえないと言われる。	送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	スピーカーホン通話がうまくできない。	まわりの音がうるさくないですか。	スピーカーホン を押して子機を持って話してください。
	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない。	呼出回数が0回になっていませんか。	呼出回数を確認してください。⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、ナンバーディスプレイの設定が【アリ】になっていませんか。	ナンバーディスプレイの設定を【ナシ】にしてください。 ⇒ 33 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」
	携帯電話に電話がかけられない。	ひかり電話サービス、直収電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用していて、ケータイ通話お得サービスを【スル】に設定していませんか。	ケータイ通話お得サービスを【シナイ】に設定してください。 ⇒ 72 ページ「ケータイ通話お得サービスを設定する」
	受話口から「ツー」という音が聞こえない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているかを確認してください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、親切受信の設定を【シナイ】にしてください。 ⇒ 91 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	通話が切れる。	ナンバーディスプレイ機能の契約をしているのに、ナンバーディスプレイの設定が【ナシ】になっていませんか。	ナンバーディスプレイの設定を【アリ】にしてください。 ⇒ 33 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」
	画面に電話番号が表示されない。	電話会社（NTT など）との、ナンバーディスプレイ機能の契約（有料）はお済みですか。	番号表示をするためには、電話会社とナンバーディスプレイ機能の契約をする必要があります。契約の有無を確認してください。また、本製品では電話会社との契約の有無に合わせて、ナンバーディスプレイについて正しく設定する必要があります。 ⇒ 33 ページ「電話会社の有料サービス利用の有無を設定する」
	自分の声が響く。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 221 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」	
	ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。	
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
ナンバーディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		ナンバーディスプレイ機能の契約をしていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒ 33 ページ「電話会社の有料サービス利用の有無を設定する」
ISDN	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい。	ISDN 回線のターミナルアダプターに接続していませんか。	ターミナルアダプターに受話音量の設定がある場合は、受話音量【小】に設定してください。また、本製品の受話音量を小さくしてください。 ⇒ 46 ページ「音量を設定する」
	電話がかけられない。	回線種別が【プッシュ　カイセン】に設定されていますか。	回線種別を【プッシュ　カイセン】に設定してください。 ⇒ 23 ページ「回線種別を設定する」
		本製品が接続されているアナログポート（ターミナルアダプターの接続口）を「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているかを確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているかを確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	本製品が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。（初期値のままで使用可能です。）
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
		相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDN の交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【ISDN】にしてください。 ⇒ 221 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。 （電話も使えない）	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口にご連絡ください。
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
ひかり電話	電話がかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を「プッシュ」に設定してください。 ⇒ 23 ページ「回線種別を設定する」
	携帯電話にかけられない。	ケータイ通話お得サービスを【スル】に設定していませんか。	ケータイ通話お得サービスを【シナイ】に設定してください。 ⇒ 72 ページ「ケータイ通話お得サービスを設定する」
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ひかり電話	ナンバーディスプレイ機能が動作しない。	VoIP アダプター側が、ナンバーディスプレイ機能を使用しない設定になっていませんか。	VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信ができない。	VoIP アダプター側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	
子機	動作しない／着信音が鳴らない。	通信ボックス（親機）の電源は入っていますか。	通信ボックス（親機）の電源が入っていなければ子機を使用することはできません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 ⇒ 182 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		バッテリーの残量がなくなっていませんか。	バッテリーを充電してください。
			バッテリーを交換してください。 ⇒ 182 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 23 ページ「回線種別を設定する」
		着信音量がオフ【□□□□】になっていませんか。	着信音量を【■□□□】以上に設定してください。 ⇒ 46 ページ「通信ボックスの音量を設定する」
		通信ボックス（親機）の呼出回数が1回に設定されていませんか。	呼出回数を 2 回以上に設定してください。
		通信ボックス（親機）から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、子機を通信ボックス（親機）に近づけてください。
		近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。 ⇒ 226 ページ「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」
		通信ボックス（親機）で機能の設定、登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
		子機通信チャンネルの設定を変更しましたか。	変更した場合は、すべての子機のバッテリーコネクタを抜き差ししてください。
		別の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		子機のアンテナ表示が 0 本～2本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		携帯電話の充電器や、AC アダプターが近くにあったり、電源が一緒になっていませんか。	通信ボックス（親機）や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		2.4GHz 帯の無線機器の影響を受けていませんか。	無線機器を本製品から遠ざけてください。 ⇒ 226 ページ「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、親切受信の設定を【シナイ】にしてください。 ⇒ 91 ページ「電話に出ると自動的に受ける(親切受信)」 このときは、ファクスは手動で受信します。 ⇒ 91 ページ「電話に出ると自動的に受ける(親切受信)」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバーディスプレイ機能の契約をしているのに、ナンバーディスプレイの設定が【ナシ】になっていませんか。	通信ボックス（親機）で、ナンバーディスプレイの設定を【アリ】にしてください。 ⇒ 33 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」
	雑音が入りやすい。	近くに電気製品や障害物はありませんか。	設置環境を確認してください。 ⇒ 226 ページ「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」
			置き場所や向きを変えてみてください。
			本製品と電気製品の電源プラグを別々のコンセントに接続してみてください。
		移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。または子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		通話音質を調整すると改善される場合があります。	通話音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒ 221 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」
	雑音が入りやすい。 通話が切れる。	子機のアンテナ表示が0本～ 2 本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
			子機の通話パワーを「ツヨイ」に設定してください。 ⇒225ページ「通話パワーの設定を変更する」
	相手の声が聞こえにくい。	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
		受話音量の設定が小さくありませんか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 48 ページ「受話音量を設定する」
	相手から聞こえないと言われる。	送話口（マイク）に向かって話していますか。 また、送話口を髪でふさいだり、顔に押し付けたりして話していませんか。	送話口（マイク）は、できるだけ口の正面にくるようにし、ふさがないようにして話してください。
		通話音質を変更していませんか。	【ツウワ　オンシツ　チョウセイ】の設定値を小さくすると、相手にこちらの声が聞こえやすくなります。双方の聞こえかたを試しながら調整してください。 ⇒ 221 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」
	通話中・トリプル通話中・スピーカーホン通話中に自分の声が響く、相手の声が聞き取りにくい。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 221 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	充電を始めても「ジュウデンチュウ」と表示されない。	通信ボックス（充電器）の電源プラグは確実に差し込まれていますか。	通信ボックス（充電器）の電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
		通信ボックス（充電器）に正しく置かれていますか。	画面が正面に見える方向に、子機を置いてください。
		バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されていないことがあります。その場合は、子機を通信ボックス（充電器）に置いて約 2 分後に「ジュウデンチュウ」と表示されます。そのまま約 12 時間充電をしてください。
	子機が温かい。	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	そのままお使いください。
	充電できない。 電源が入らない。 何も表示されない。	バッテリーが寿命ではありませんか。	バッテリーを外して、通信ボックス（充電器）にセットしてください。 • 表示する場合 バッテリーの寿命もしくはバッテリーコードを確認してください。 • 表示しない場合 電源プラグを確認してください。
	充電器からとったり、外線を押すと、「ピッピッピッ」と鳴る。	別の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		通信ボックスから離れすぎていませんか。	通話圏内に戻ってください。
		電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
	充電してもバッテリー警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴り、画面に「<デンチノコリナシ>ジュウデンシテクダサイ」と表示される。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 ⇒ 182 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
			バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、通信ボックス（充電器）の電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
	警告音（ピーピーピー）が鳴り、画面に「コキガ　ハズレテイマス」と表示される。	充電器から子機を取り、ダイヤル操作なしで 60 秒経過していませんか。	子機を通信ボックス（充電器）に戻してください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る。	子機で通話中に電波の届かない所に出ていませんか。	通話圏内に戻ってください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ）が鳴る。	バッテリーが少なくなっていませんか。	通話を終了して子機を通信ボックス（充電器）に戻してください。
			通話を保留にして子機を通信ボックス（充電器）に戻し、別の子機で通話を続けてください。
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		携帯電話からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。
留守番機能	メッセージが録音の途中で切れている。	録音中に8秒以上無音が続きませんでしたか。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
	メッセージが録音できない。	空きメモリーが不足していませんか。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ファクス送信/受信ができない。	通信ボックスの電源は入っていますか。	通信ボックスの電源が入っていなければファクスの送受信はできません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		受信する前に子機を戻していませんか。	親切受信が【スル】に設定されていれば（お買い上げ時の設定）、子機を持ったまま 7 秒待つと受信できます。親切受信されない場合は、手動で受信してください。 ⇒ 90 ページ「電話に出てから受ける」
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 23 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードを設定してください。このとき、【ヒョウジュン】→【アンシン（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 222 ページ「安心通信モードに設定する」
		複合機本体と通信ボックスの接続は良好ですか。	接続状態を確認してください。 ⇒ 76 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
		ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【ヒョウジュン】→【アンシン（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 222 ページ「安心通信モードに設定する」
		みるだけ受信が設定されていませんか。	みるだけ受信が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 93 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷したいときは「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 95 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
	ファクス送信／受信ができない。	通信ボックスの電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
		ファクス送受信テストをしていただくことができます。 テストしたい原稿を下記番号に送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスを送信します。 テスト用ファクス番号：052-824-4773	
	ファクスが送信できない。	カラーで送信しようとしていますか。	本製品はカラーファクスに対応していないファクシミリにカラーで送ると送信エラーになります。自動的にモノクロに変換されることもありません。送信先のファクシミリがカラーに対応しているかどうかをお聞きいただいて、対応していなければモノクロで送信してください。また、相手のファクシミリがカラー対応であっても、インクが準備されていないときは本製品からの送信ができません。この場合もモノクロで送信してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ファクスを受信できない。	転送電話（ボイスワープ）の契約をしていませんか。	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	印刷されていませんか。	みるだけ受信に設定されていても、カラーファクスの場合はメモリーに記憶されず、自動的に印刷されます。
		メモリー受信を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【PC ファクス受信】にしていませんか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		安心通信モードを【アンシン（VoIP）】にしていませんか。	カラーファクスを受信することはできません。 カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【ヒョウジュン】にしてください。 ⇒ 222 ページ「安心通信モードに設定する」
	みるだけ受信が設定されているのにファクスが印刷される。	ファクスがカラーではありませんか。	みるだけ受信に設定されていても、カラーファクスの場合はメモリーに記憶されず、自動的に印刷されます。
	ファクスを送信できない場合がある。（IP 網を使用している場合）	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに 履歴 を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。
	送信後、相手から画像が乱れている（黒い縦の線が入る）と連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒ 171 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認してください。または、別のファクスから相手先に送信してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒ 83 ページ「画質や濃度を変更する」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。 ⇒かんたん設置ガイド
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本製品の読み取り部分、または受信側ファクシミリのプリンターのヘッドが汚れていませんか。	読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒ 171 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【アンシン（VoIP）】に設定していませんか。	安心通信モードを【ヒョウジュン】に設定してください。 ⇒ 222 ページ「安心通信モードに設定する」
	受信したファクスに白抜けした所がある。		
	受信／コピーしても、記録紙が出てこない。	複合機本体の電源は入っていますか。	複合機本体の電源プラグをコンセントに差し、On/Off を押して電源を入れてください。
		記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットして、複合機の本体カバーやインクカバーを確実に閉めてください。 ⇒ 35 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がなくなっていませんか。	
		複合機の本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙が詰まっていませんか。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」
		インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。 ⇒ 178 ページ「インク残量を確認する」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 93 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 「みるだけ受信」の設定を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 95 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 172 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる。	相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるかを確認してください。 ⇒ 133 ページ「コピーする」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手に送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 171 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 181 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿が A4 より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ 97 ページ「自動的に縮小して受ける」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	自動受信できない。	呼出回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出回数を6回以下に、留守モードのときは呼出回数を 2 回以下に設定してください。 ⇒ 31 ページ「呼出回数を設定する」 または、手動で受信してください。 ⇒ 90 ページ「電話に出てから受ける」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスは印刷されません。画面で確認してください。 ⇒ 93 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 「みるだけ受信」の設定を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 95 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない。	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認します。	特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ 221 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	記録紙が何度も詰まる	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 172 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 35 ページ「記録紙のセット」
	拡大 / 縮小で［用紙に合わせる］が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が 3°以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、「用紙に合わせる」が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。
	印刷面の下部が汚れる。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 171 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 9
プリント（印刷）	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	記録紙トレイのコルクの部分を清掃してください。 ⇒ 172 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	パソコンから印刷できない。（①～⑪の順番に試してください。）	（MFC-J855DN/J855DWN のみ）①本製品とパソコンの接続方式（USB、無線 LAN）を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバーを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド
		② 本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 187 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」
		③ USB ケーブルはパソコンと複合機本体側にしっかりと接続されていますか。	複合機本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差し直してください。 ※USBハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合は、⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは（トラブル対処方法）」をご覧ください。
		④ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ 176 ページ「インクカートリッジを交換する」
		⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。［プリンター］アイコンを開き、［プリンタ］から［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。 < Windows® 7 > ［スタート］－［デバイスとプリンター］－［プリンターと FAX］の順にクリックします。 < Windows Vista® > ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。 < Windows® XP > ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。 < Windows® 2000 > ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
		⑥ ［通常使用するプリンタ］の設定になっていますか。	プリンターアイコンにチェックマークがついているかを確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、［通常使うプリンターに設定］をクリックしてチェックをつけます。
		⑦ ［一時停止］の状態になっていませんか。	プリンターアイコンを右クリックして、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。
		⑧ ［オフライン］の状態になっていませんか。	プリンターアイコンを右クリックして、［プリンタをオンラインで使用する］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインで使用する］をクリックしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。（①～⑪の順番に試してください。）	⑨ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか。	プリンターアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして印刷先のポートが正しく設定されているかを確認してください。
		⑩ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してみてください。	
		⑪ ①～⑩までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、別冊の「かんたん設置ガイド」に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法（Windows®） ［スタート］－［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX*1］－［アンインストール］の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。 *1 XXXX はモデルの型式名です。	
	斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」手順 ❹
	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ❾
		記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」手順 ❹
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	記録紙トレイのコルクの部分を清掃してください。 ⇒ 172 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 172 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 35 ページ「記録紙のセット」
	印刷された画像に規則的に横縞が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしてください。
	文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が記録紙トレイまたはスライドトレイに正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 41 ページ「スライドトレイにセットする」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」手順 ❹

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷速度が極端に遅い。	［画質強調］が設定されていませんか。	画質強調して印刷すると、通常より印刷速度が落ちます。もし、画質強調する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［プロパティ］、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［画質強調］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 カラー設定画面で［カラー詳細設定］から［画質強調］のチェックを外す。
		［ふちなし印刷］の設定になっていませんか。	ふちなし印刷をすると、通常より印刷速度が落ちます。もし、ふちなし印刷する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［プロパティ］、［基本設定］タブの順にクリックし、［ふちなし印刷］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 ［ファイル］、［ページ設定］をクリックし、［用紙サイズ］のプルダウンメニューから「（ふちなし）」の記載のないサイズを選ぶ。
	［画質強調］が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では［画質強調］は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも24ビットカラー以上をご使用ください。Windows® の［スタート］メニューから（［設定］－）［コントロールパネル］－［画面］－［設定］を選び、画面の色を 24 ビット以上に設定してください。
		画素数の多いカメラで撮影した画像ですか。	メガピクセルのカメラで撮影した画像は［画質強調］に設定する必要はありません。画素数の少ないカメラで撮影した画像に対して有効です。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていないですか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内でご利用ください。
	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」 カールしていない記録紙をご利用ください。
	印刷面の下部が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 9

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷面のうら側が汚れたり、給紙ローラーのあとが残る。	プラテンが汚れていませんか。	プラテンを清掃してください。 ⇒ 173 ページ「本体内部を清掃する」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 172 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	印刷された記録紙にしわがよる。	［双方向印刷］の設定になっていませんか。	お買い上げ時は、［双方向印刷］に設定されています。［双方向印刷］では、薄い記録紙をご利用の場合など、記録紙の種類によってはしわがよることがあります。［双方向印刷］を解除して印刷をお試しください。ただし、［双方向印刷］を解除すると、印刷速度は落ちます。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［プロパティ］、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［双方向印刷］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 印刷設定画面で［拡張設定］タブをクリックし、［双方向印刷］のチェックを外す。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 181 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 179 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 35 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 36 ページ「専用紙・推奨紙」
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品は、平らで水平な場所に置かれていますか。	平らで水平な場所に置かれているなら、ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。 ⇒ 179 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 もし、印刷し直しても変化がみられない場合はインクカートリッジを交換してください。それでもまだ、印刷の質に問題がある場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒ 176 ページ「インクカートリッジを交換する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷の質が悪い。	プリントヘッドがずれていませんか。	印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 181 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
		インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。
		純正以外のインクを使用していませんか。	4 色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 35 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 36 ページ「専用紙・推奨紙」
		室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20 ～ 33 ℃の状態でご利用になることをお勧めします。 ⇒ 268 ページ「電源その他」
	写真用光沢紙で印刷したときに、インクがにじんだり、流れたりする。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。 ⇒ 44 ページ「記録紙の種類を設定する」
	写真プリントでインクが乾くのに時間がかかる。	記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブの用紙種類で設定します。
	［2 ページ］印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで［2 ページ］を設定している場合は、プリンタードライバーの［2 ページ］の設定を解除してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 184 ページ「記録紙が詰まったときは」
	はがきに印刷できない。	スライドトレイが正しくセットされていますか。	スライドトレイが奥にセットされているかを確認してください。 ⇒41ページ「スライドトレイにセットする」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
デジカメプリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	本体側とカメラ側の両方のUSBケーブルを差し直してください。USBケーブルは、本製品前面のPictBridgeケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridgeに対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridgeのロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
スキャナー	スキャン開始時にTWAINエラーが表示される。	ブラザーTWAINドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで［ファイル］－［TWAIN対応機器の選択］の選択をして、ブラザーTWAINドライバーを選択し、［選択］をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
ソフトWindows®	［本製品接続エラー］か［本製品はビジー状態です。］というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USBケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USBケーブルは他の周辺機器（Zipドライブ、外付けCD-ROMドライブ、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	BRUSB: USBXXX: への書き込みエラーが表示される。	本製品の画面に【印刷できません インク交換：XX*1】と表示されていませんか。 *1XX は BK など、インクのカラー表示です。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。 （MFC-J855DN/J855DWNをお使いのかたへ） ※リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenterを使います。 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows®編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスする」	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	パソコン上で［取り出し］操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、［取り出し］操作はできません。）
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Windows®	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバーのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、［カスタム］をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 • IP 取得方法の変更 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「有線 LAN/ 無線 LAN の設定」－「IP 取得方法」 • ネットワーク設定リストの印刷 ⇒ 239 ページ「本製品の設定内容や機能を確認する」	
ソフト Macintosh	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバーを正しくインストールしてください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバーがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	再度設定を行い、使用する機器（本製品）を検出してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
その他	複合機本体の電源が入らない。	On/Off を押して電源をオンにしましたか。	操作パネル上の On/Off を押して、電源をオンにしてください。
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、もう一度確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
		コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。
	複合機本体の時計表示がおかしい。	通信ボックスの日付および時刻と同じではありませんか。	複合機本体の日付と時刻は 2 分半に 1 回、通信ボックスの時計に合わせる同期機能が働きます。通信ボックスで時計を設定してください。 ⇒ 24 ページ「日付と時刻を設定する」
	複合機本体の日付/時刻が変わってしまう。		
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	出力された記録紙の下端が汚れる。	記録紙ストッパーを閉じたままにしていませんか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。記録紙ストッパーを開いてください。 ⇒ 38 ページ「記録紙トレイにセットする」
	出力された記録紙がそろわない。		
	電話中にキーンと不快な音（ハウリング）がする。	通信ボックスから着信音が鳴るように設定されていませんか。	通信ボックスの着信音を【オフ】に設定してください。 ⇒ 237 ページ「臨時着信解除」
	モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷していなくてもインクが消費されます。	
	記録紙トレイが抜けない。	記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	
	記録紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
		記録紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。	記録紙トレイを清掃してください。記録紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。 ⇒ 170 ページ「外側を清掃する」
	プリントヘッドの下に詰まった記録紙を取り除きたいが、プリントヘッドが動かない。	プリントヘッドが右端で止まっていませんか。	以下の手順で操作してください。 ①停止/終了を長押しする プリントヘッドが中央に移動します。 ②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く ③複合機の本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む 複合機本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。
	ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、下記をご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは（トラブル対処方法）」	
	操作パネルのダイヤルボタンを押しても数字などが入力されない。	画面にテンキーなどが表示されていませんか。	画面にテンキーなどが表示されている場合、画面上のテンキーから入力してください。
	使用中にタッチパネルが反応しなくなった。	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っていませんか。	複合機本体の電源プラグを 1 回抜き差ししてください。「タッチパネルエラー」というエラーメッセージが表示される場合は、タッチパネルの下部と枠の間に異物が入った可能性があります。 タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。 本製品の電源プラグを抜き差ししても、エラーメッセージが表示されない場合は、複合機本体に問題がある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。
	通信ボックスの画面が暗い。	待機状態（スリープモード）に入っています。 ⇒ 54 ページ「通信ボックスのスリープモードについて」	
	画面の文字が読みにくい。	複合機本体： 画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ 51 ページ「複合機本体の画面設定を変更する」
		通信ボックス / 子機： 画面のコントラストが弱くありませんか。	画面のコントラストを上げてください。 ⇒ 51 ページ「通信ボックスの画面のコントラストを変更する」 ⇒ 52 ページ「子機の画面のコントラストを変更する」

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動している恐れがあります。

- 画面に正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**
これによって、改善される場合があります。
上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは

ファクス送受信時には、複合機本体と通信ボックスの両方の電源が入っている必要があります。2 台のあいだの通信がうまくいかないときや、ファクスが送れないときは、次の項目を確認してください。

- 複合機本体の電源プラグがコンセントに差し込まれ、On/Off で電源が入っていますか？
- 通信ボックスの電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
- 通信ボックスから電話機コードがはずれていませんか？
- 電話機コードは壁側の電話機コード差し込み口にしっかり差し込まれていますか？
- （MFC-J855DN/J855DWN で、無線 LAN 接続している場合のみ）無線 LAN アクセスポイントの電源は入っていますか？

通信ボックスとの接続を確認する

上記を確認しても通信できない場合は、次の手順で、複合機本体と通信ボックスの接続状況およびメッセージ内容を確認してください。

1 複合機本体の 接続確認 を押す



通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。メッセージの詳細については、⇒ 220 ページ「接続確認メッセージ一覧」をご覧ください。

2 停止/終了 を押して確認を終了する

無線 LAN レポートを印刷する（MFC-J855DN/J855DWN のみ）

複合機本体と通信ボックスの接続状態を確認して、「通信ボックスと接続できません「無線 LAN レポート」を実行してください」と表示された場合に、無線 LAN レポートを印刷してエラー番号や無線 LAN 情報などを確認します。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【無線 LAN レポート】を押す

4 モノクロ スタート を押す

無線 LAN レポートが印刷されます。

5 停止/終了 を押して操作を終了する

接続確認メッセージ一覧

メッセージ	状態および対処
通信ボックスとの接続は正常です	通信ボックスとの接続が正常に完了しました。
通話中です 通話終了後　接続を再開します	通話中です。通話終了後にファクスできます。ただし通話終了直後は通信ボックスとの接続確認を自動で行うためすぐに接続できないことがあります。
接続できません　エラー No.XX ユーザーズガイド＜こんなときは＞を ご覧ください	コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡いただき、オペレーターの誘導に従って保守操作を行ってください。
通信ボックスの登録が間違っています ユーザーズガイド＜こんなときは＞を ご覧ください	通信ボックスの認証に誤りがあります。コールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。
● MFC-J855DN/J855DWN のみに表示されるメッセージ	
接続準備中です しばらくお待ちください	しばらく待ってからもう一度接続確認を行ってください。
通信ボックスと接続できません 通信ボックスの電源を入れてください　もしくは 本体の「通信ボックス接続リセット」を行ってください	• 通信ボックスのACアダプターの両端が、おのおの通信ボックスと壁側のコンセントに確実に差し込まれているかを確認してください。 • 通信ボックスと複合機本体のあいだを鉄筋コンクリート、アルミサッシ、その他金属製の壁、扉などでさえぎっていませんか。これらは通信の妨げになる可能性があります。 • 通信ボックスと複合機本体が離れすぎている可能性があります。2 台を近づけて再度接続状態をお確かめください。 • 複合機本体で、「通信ボックス接続リセット」を行ってください。 ⇒ 230 ページ「初期化のしかた」
通信ボックスと接続できません 「無線 LAN レポート」を実行してください	• 複合機本体で「無線 LAN レポート」を印刷してください。無線 LAN 情報および解決法が記載されています。 ⇒ 219 ページ「無線 LAN レポートを印刷する（MFC-J855DN/J855DWN のみ）」 • 無線 LAN アクセスポイントを交換した場合は、ネットワーク設定リセットを行った上で、無線 LAN の設定をし直してください。 ⇒ 227 ページ「初期状態に戻す」 ⇒かんたん設置ガイド
● MFC-J805D/J805DW のみに表示されるメッセージ	
通信ボックスと接続できません 通信ボックスの電源を入れてください	• 通信ボックスのACアダプターの両端が、おのおの通信ボックスと壁側のコンセントに確実に差し込まれているかを確認してください。 • 通信ボックスと複合機本体のあいだを鉄筋コンクリート、アルミサッシ、その他金属製の壁、扉などでさえぎっていませんか。これらは通信の妨げになる可能性があります。 • 通信ボックスと複合機本体が離れすぎている可能性があります。2 台を近づけて再度接続状態をお確かめください。

通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する

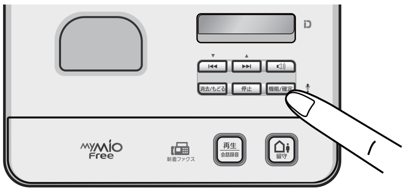
通話や通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試しください。

特別な回線に合わせて設定する

［トクベツカイセンタイオウ］

ファクスがうまく送信／受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。お買い上げ時は【イッパン】に設定されています。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ▼⏮ / ▲⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ▼⏮ / ▲⏭ で【8. ソノタ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ▼⏮ / ▲⏭ で【2. トクベツカイセン　タイオウ】を選び、［機能/確定］を押す

5 ▼⏮ / ▲⏭ で回線種別を選び、［機能/確定］を押す

お使いの環境に合わせて、【イッパン／ISDN ／ PBX】から選びます。

6 ［停止］を押して操作を終了する

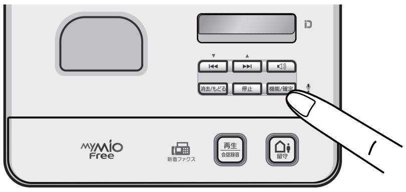
> 【PBX】に設定すると、ナンバーディスプレイの設定が自動的に【ナシ】になります。ナンバーディスプレイの設定を【アリ】にするときは、特別回線対応の設定を【イッパン】にしてください。

回線状況に応じて通話音質を設定する

［ツウワオンシツチョウセイ］

トリプル通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整の設定を変更することで改善されることがあります。
お買い上げ時は、「セッテイ 1」に設定されています。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ▼⏮ / ▲⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ▼⏮ / ▲⏭ で【8. ソノタ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ▼⏮ / ▲⏭ で【3. ツウワ　オンシツ　チョウセイ】を選び、［機能/確定］を押す

5 ▼⏮ / ▲⏭ で現在とは異なる設定値を選び、［機能/確定］を押す

手順 6 のあとで声の響きかたを確認してください。
【セッテイ 1】、【セッテイ 2】、【セッテイ 3】、【セッテイ 4】の順に設定を試みてください。

> 【セッテイ 1】→【セッテイ 2】→【セッテイ 3】→【セッテイ 4】へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声がはっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感じることがあります。

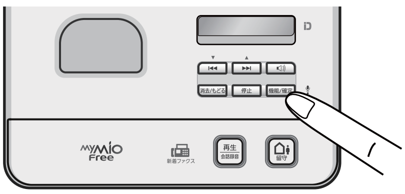
6 ［停止］を押して操作を終了する

安心通信モードに設定する

［アンシンツウシン　モード］

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、「アンシンツウシン　モード」の設定を変えます。お買い上げ時は【ヒョウジュン】に設定されているので、一時的に【アンシン（VoIP)】に設定してお試しください。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ▼⏮ / ▲⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

3 ▼⏮ / ▲⏭ で【6. アンシン　ツウシン　モード】を選び、機能/確定 を押す

4 ▼⏮ / ▲⏭ で【アンシン（VoIP)】を選び、機能/確定 を押す

設定を戻すときは、【ヒョウジュン】を選びます。

確認

■【アンシン（VoIP)】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。（相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。）

5 停止 を押して設定を終了する

- ファクスの送信・受信にかかる時間は、【ヒョウジュン】→【アンシン（VoIP)】の順に、長くなります。
- IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ 4 つ）を付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。
  ひかり電話をご利用の場合は、「0000」（ゼロ 4 つ）を付けてかけることができません。
- 【アンシン（VoIP)】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常は【ヒョウジュン】に設定して使用します。
- ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

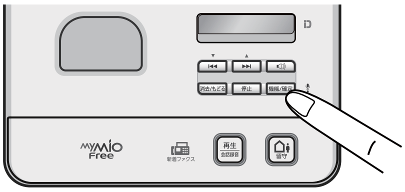
［ダイヤルトーン　セッテイ］

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく送信ができない場合は、ダイヤルトーンを【ケンチ　スル】に変更して、ダイヤルトーンの検出が行われるように設定してください。お買い上げ時は【ケンチ　シナイ】に設定されています。

確認

■ 使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、【ケンチ　スル】に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は【ケンチ　シナイ】のままお使いください。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ［▼⏮］/［▲⏭］で【0. ショキ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ［▼⏮］/［▲⏭］で【8. ソノタ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ［▼⏮］/［▲⏭］で【1. ダイヤルトーン　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

5 ［▼⏮］/［▲⏭］で【ケンチ　スル】を選び、［機能/確定］を押す

設定を戻すときは、【ケンチ　シナイ】を選びます。

6 ［停止］を押して設定を終了する

ダイヤルトーンの設定を【ケンチ　スル】にするのは、はじめに述べた状況のみに限定してください。通常は【ケンチ　シナイ】に設定して使用します。

子機の通信状況を改善する

［コキ　ツウシン　チャンネル］

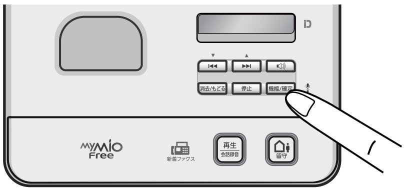
ネットワーク [*1] の通信速度が低下しがちであったり、子機どうしの内線通話状況がよくない場合、無線 LAN で使用している電波と、内線で使用している電波が干渉しあっている可能性があります。この場合、内線用の通信チャンネルを切り替えると、改善されることがあります。

[*1] 通信ボックスと複合機本体間におけるファクス通信用無線LANまたは無線LAN（MFC-J855DN/J855DWNのみ）環境

ステップ 1 無線 LAN の使用チャンネルを確認する

無線 LAN が使用しているチャンネルを確認するには、ネットワーク設定リストを出力します。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ⏮ / ⏭ で【4（3）. レポート　インサツ】を選び、機能/確定 を押す

3 ⏮ / ⏭ で【3. ネットワークセッテイリスト】を選び、機能/確定 を押す

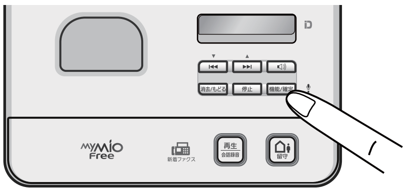
4 もう一度 機能/確定 を押す

> ネットワーク設定リストが複合機本体から出力されます。
> <Wireless Link Status> の「Operating Ch=」で使用チャンネルを確認してください。

ステップ 2 内線用の通信チャンネルを確認する

内線用の通信チャンネルは、以下の手順で確認します。お買い上げ時は【セッテイ 3】に設定されています。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ⏮ / ⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

3 ⏮ / ⏭ で【8. ソノタ】を選び、機能/確定 を押す

4 ⏮ / ⏭ で【4. コキ　ツウシン　チャンネル】を選び、機能/確定 を押す

5 表示されている通信チャンネルを確認する

【セッテイ 1】、【セッテイ 2】、【セッテイ 3】のいずれかが表示されています。

> - このまま通信チャンネルを変更する場合⇒ステップ 3 の手順 2 へ
> - 確認をいったん終了する場合⇒手順 6 へ

6 停止 を押して確認を終了する

ステップ 3 無線 LAN と内線用のチャンネルが干渉しないよう設定を変更する

無線 LAN が使用しているチャンネルと、内線用の通信チャンネルで、干渉が起きているかどうかを次の表で確認します。

ステップ 1 のチャンネルが下記の値の場合	ステップ 2 の通信チャンネルが下記の値であれば干渉しあう可能性があります	下記の値に変更してください（干渉しあわない設定値）
1 ～ 4	セッテイ 2、セッテイ 3	セッテイ 1
5 ～ 8	セッテイ 1、セッテイ 3	セッテイ 2
9 ～ 14	セッテイ 1、セッテイ 2	セッテイ 3

たとえば、ステップ 1 が 7 チャンネル、ステップ 2 がセッテイ 3 の場合は、干渉しあう可能性があります。設定の変更が必要です。

1 ステップ 2 の 4 までを行う

2 ▼⏮ / ▲⏭ で、上表で示された干渉しあわない設定値を選び、機能/確定 を押す

3 停止 を押して設定を終了する

他の無線 LAN 機器からの干渉により、子機の通話状況が悪化することもあります。この場合は、本製品をこれらの機器から遠ざけてください。
（MFC-J855DN/J855DWN のみ）
本製品が認識している無線ネットワークは、複合機本体の【メニュー】を押し、【ネットワーク】－【無線接続ウィザード】を選択して表示される画面で確認できます。



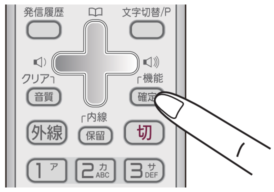
通話パワーの設定を変更する

子機の電波状況がよくないとき、通話パワーを「ツヨイ」にすると、通話品質が改善されることがあります。お買い上げ時は、「ヒョウジュン」に設定されています。

確認

■ 通話パワーを「ツヨイ」に設定したときは、「ヒョウジュン」の設定に比べ連続通話時間が短くなることがあります。

1 子機の 機能/確定 を押す



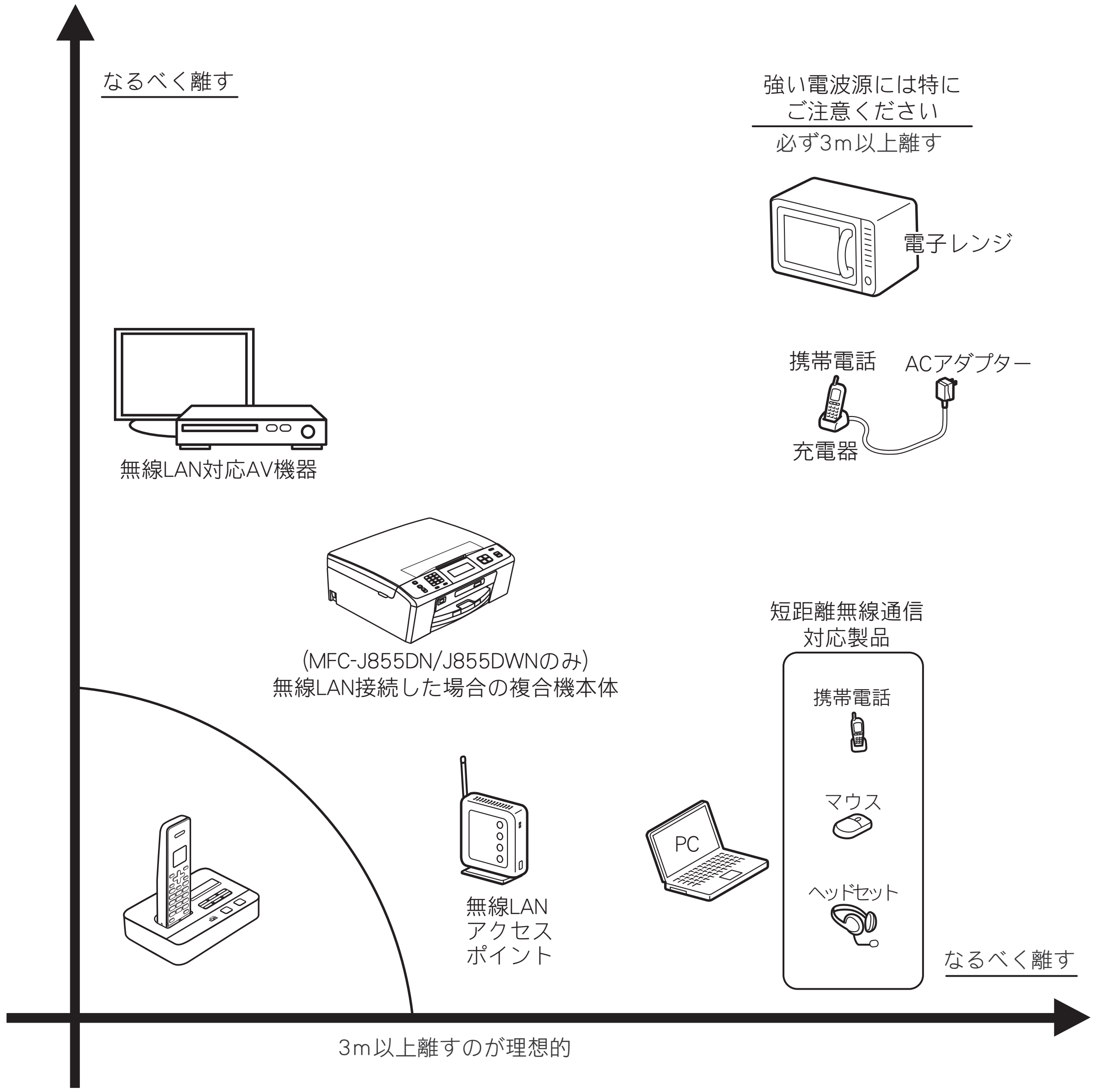
2 ✥ で「ツウワパワー」を選び、機能/確定 を押す

3 ✥ で「ツヨイ」を選び、機能/確定 を押す

4 切 を押して設定を終了する

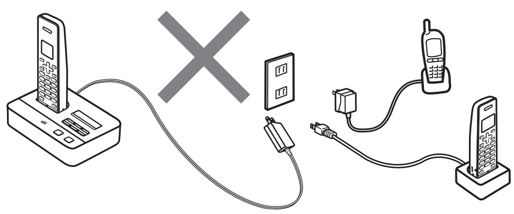
通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する

通信ボックスや子機の近くに微弱な電波を発する電気製品がある場合は、通話や子機の使用に影響を受けることがあります。通話状況が良くないときは、下図を参考に本製品の設置場所を調整してください。また、別冊の「安全にお使いいただくために」の「子機の使用について」を必ずご確認ください。



接続するコンセントも確認

右図にあるような電気製品などと同じコンセントに接続すると、通話や子機の使用に不具合が起こる場合があります。



初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりできます。本製品には次の初期化メニューが用意されています。

- 機能設定リセット
- ネットワーク設定リセット（MFC-J855DN/J855DWN のみ）
- 通信ボックス接続リセット（MFC-J855DN/J855DWN のみ）
- 電話帳＆ファクスリセット
- 全設定リセット

確認

■ 外線使用中は、初期化機能は実行できません。

■「電話帳 ＆ ファクスリセット」と「全設定リセット」を実行すると、メモリー内のファクスデータは消去されます。実行前に未読のファクスがないかを確認してください。

⇒ 93 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

⇒ 99 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」

■「電話帳 ＆ ファクスリセット」と「全設定リセット」を実行すると、複合機本体電話帳の内容は初期化されます。あらかじめ、電話帳リストを印刷しておくことをお勧めします。リモートセットアップ機能を使うと、パソコンに電話帳の内容をデータとして保存しておくこともできます。

⇒ 112 ページ「電話帳リストを印刷する」

⇒ 113 ページ「パソコンを使って電話帳に登録する（リモートセットアップ）」

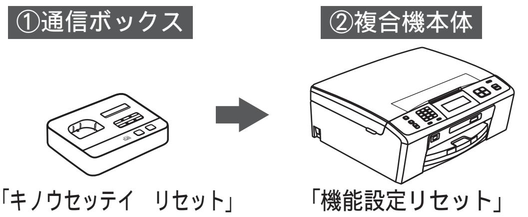
■ 子機電話帳の内容は、いったん初期化すると元に戻すことはできません。リストの印刷、データの保存もできません。

目的別に初期化する

初期化を実行する前に、次ページの「初期化内容一覧」で、それぞれのメニューによって、どのような内容が初期化されるのかを確認してください。不用意に初期化を行うと、登録した電話帳の内容や、保存してあるファクスデータなど、大切なデータを意図せず失うことがあります。目的に合った初期化を正しく行ってください。
操作のしかたについては下記をご覧ください。
⇒ 230 ページ「初期化のしかた」

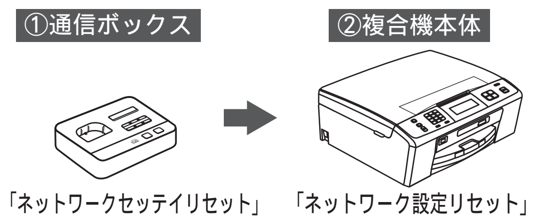
● 各種機能の設定内容を初期化する

主に、「基本設定」や「初期設定」メニューから変更した設定の内容を、お買い上げ時の状態に戻します。



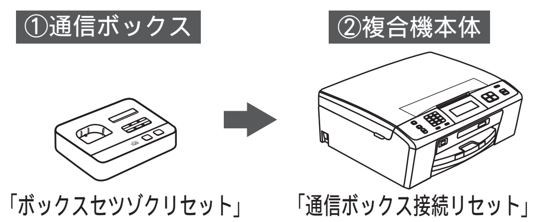
● ネットワークの設定内容を初期化する（MFC-J855DN/J855DWN のみ）

無線LANアクセスポイントに接続して本製品を無線 LAN 端末として使用している状態から、お買い上げ時の状態に戻します。無線 LAN 情報が初期化されます。



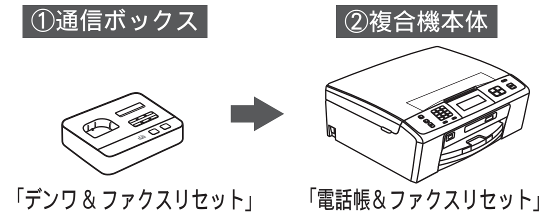
● 通信ボックスと複合機本体を接続し直す（MFC-J855DN/J855DWN のみ）

通信ボックスと複合機本体の接続を、お買い上げ時の状態に戻します。このメニューから初期化を行うと、ネットワーク（無線 LAN）情報も消去されるためご注意ください。



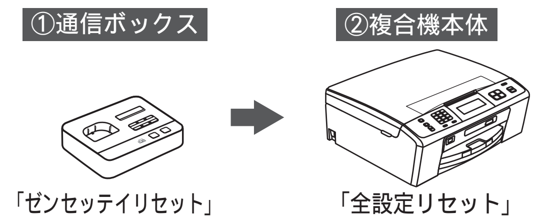
● 電話 / ファクスの通信記録および内容、電話帳情報を消去する

通信に関わる情報を、お買い上げ時の状態に戻します。



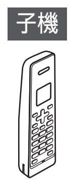
● すべての機能を初期化する

通信ボックスと複合機本体をお買い上げ時の状態に戻します。



● 電話の発信記録を消去する

子機で初期化します。



初期化内容一覧

ー表の見かたー

通＆複：通信ボックスで初期化を実行後、複合機本体で初期化を実行する

初期化機能（メニュー）／初期化される内容	機能設定リセット	ネットワーク設定リセット	通信ボックス接続リセット	電話帳＆ファクスリセット	全設定リセット
通信ボックスの各種機能の設定内容	通＆複				通＆複
複合機本体の各種機能の設定内容	通＆複				通＆複
ネットワークの設定内容		通＆複	通＆複		通＆複
複合機本体と通信ボックスとの接続方法		通＆複	通＆複		通＆複
ファクスの発信元情報（登録した名前 / 電話番号）				通＆複	通＆複
複合機本体電話帳の内容（グループダイヤルを含む）				通＆複	通＆複
電話の発信履歴（再ダイヤル機能を含む）*1					
電話の着信履歴 *2				通＆複	通＆複
ファクスの発信履歴、着信履歴				通＆複	通＆複
留守録転送の設定				通＆複	通＆複
通信管理レポートの内容				通＆複	通＆複
メモリーに保存されている音声データ				通＆複	通＆複
メモリーに保存されているファクスデータ				通＆複	通＆複
通信待ちのファクスデータ	通＆複			通＆複	通＆複
録音した応答メッセージ	通＆複			通＆複	通＆複
録音した通話内容				通＆複	通＆複
子機電話帳の内容 *1					

*1 通信ボックスや複合機本体の操作では初期化できません。子機単体で初期化する必要があります。
*2 電話の着信履歴は、通信ボックスや複合機本体で消去しても子機には残ります。

初期化のしかた

先に通信ボックスを初期化し、次に複合機本体を初期化します。同じ初期化メニューを、両機で順序どおりに行わなければお買い上げ時の状態に戻らないため、順序は必ずお守りください。

確認

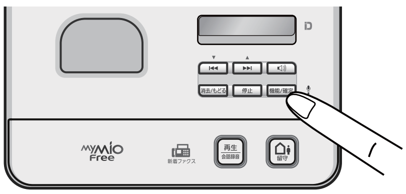
■ （MFC-J855DN/J855DWN のみ）
本製品をパソコンに無線 LAN 接続している場合は、次の初期化メニューを実行すると、無線 LAN の設定がすべてリセットされます（⇒ 229 ページ）。

- ネットワークセッテイリセット / ネットワーク設定リセット
- ボックスセツゾクリセット / 通信ボックス接続リセット
- ゼンセッテイリセット / 全設定リセット

この場合は、初期化後、無線 LAN の設定を再度行ってください。
⇒かんたん設置ガイド「パソコンに接続する」

通信ボックス

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ▼⏮/▲⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

3 ▼⏮/▲⏭ で【7. セッテイリセット】を選び、機能/確定 を押す

4 ▼⏮/▲⏭ で初期化メニューを選び、機能/確定 を押す

MFC-J805D/J805DW：

- 1. キノウセッテイ　リセット
- 2. デンワ＆ファクスリセット
- 3. ゼンセッテイリセット

MFC-J855DN/J855DWN：

- 1. キノウセッテイ　リセット
- 2. ネットワークセッテイリセット
- 3. ボックスセツゾクリセット
- 4. デンワ＆ファクスリセット
- 5. ゼンセッテイリセット

確認のメッセージ（選んだメニューによって相違）と【▼　リセット　▲　キャンセル】が交互に表示されます。

5 ▼⏮（リセット）を押す

▲⏭（キャンセル）を押すと、初期化されずに 1 階層前に戻ります。

【サイキドウ　シマスカ ?】と【▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。

6 ▼⏮（スル）を押す

▲⏭（シナイ）を押すと、初期化されずに 2 階層前に戻ります。

- 【1. キノウセッテイ　リセット】と【5（3）. ゼンセッテイリセット】を実行した場合：初期化されます。そのあと画面に従って「時計設定」および「電話回線設定」を行ってください。
- 【1. キノウセッテイ　リセット】と【5（3）. ゼンセッテイリセット】以外を実行した場合：自動的に待機状態に戻ります。待機状態になるまで触らずにお待ちください。

通信ボックスの初期化が終わったら、引き続き、複合機本体で同じ初期化メニューを実行してください。

複合機本体

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【設定リセット】を押す

4 初期化メニューを選ぶ

MFC-J805D/J805DW：
- 機能設定リセット
- 電話帳＆ファクスリセット
- 全設定リセット

MFC-J855DN/J855DWN：
- 機能設定リセット
- ネットワーク設定リセット
- 通信ボックス接続リセット
- 電話帳＆ファクスリセット
- 全設定リセット

先に通信ボックスでリセット操作が実行済みであるかどうかを確認するメッセージが表示されます。また、通信ボックスで実行していない場合は【リセットをやめます】を選びます。その場合、いったん初期化は打ち切られます。先に通信ボックスで初期化を実行してください。

5 【はい　実行しました】を押す

【再起動しますか？実行する場合は［はい］を2秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

初期化が終わると、複合機本体が自動的に再起動します。待機画面になるまで触らずにお待ちください。

子機の電話帳 / 履歴を消去する

子機電話帳の内容、発信履歴、着信履歴を消去します。

確認

■ 子機で変更した各種設定の値や日付などは初期化できません。

1 子機の 機能/確定 ＊記号1 機能/確定 ＊記号1 を続けて押す

「コジンジョウホウ ショウキョ？ ／ 1. スル　2. シナイ」と表示されます。

2 1ア（スル）を押す

「スベテショウキョ？／1. スル　2. シナイ バンゴウニュウリョク」と表示されます。

3 1ア（スル）を押す

情報が消去されます。

4 切 を押して操作を終了する

子機の電話帳や履歴を削除しても、複合機本体には反映されません。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

こんなときは

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属の CD-ROM から、サポートサイトなどの案内メニューを表示させることができます。

Windows® の場合

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

> トップメニューの画面が表示されないときは、「マイ コンピュータ（コンピューター）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 [サービスとサポート] をクリックする

3 見たい項目をクリックする



- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
  サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  インクカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。
- マイミーオ・オープンテラス
  マイミーオのスペシャルサイトを表示します。

Macintosh の場合

1 付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 [サービスとサポート] をダブルクリックする

3 見たい項目をクリックする



- Presto! PageManager
  Presto! PageManager のインストーラーをダウンロードします。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- サポート情報
  サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは

最新のドライバーやファームウェアのダウンロードは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の「ソフトウェアダウンロード」から行ってください。詳しい手順は、サポートサイトに記載されています。

ダウンロードおよびインストールする際は、サポートサイトに記載されている注意や利用規約、制約条項をよくお読みください。また、以下の注意もお守りください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の URL

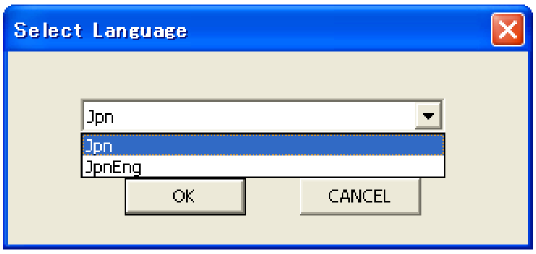
http://solutions.brother.co.jp/

ドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードするときは

- ダウンロードするドライバーやファームウェアの製品名は、本製品の操作パネル中央部で確認して、正しく選択してください。
- ダウンロードするドライバーやファームウェアの対応 OS は、パソコンの取扱説明書などで確認して、正しく選択してください。

ドライバーをインストールするときの注意

- インストールの途中で下記の画面が表示されたときは、［Jpn］を選択し［OK］をクリックしてください。［JpnEng］を選択すると、ドライバーのインストール時、手順を案内する表示言語が英語になったり、印刷設定のプロパティ画面において表示言語が英語に替わったりします。



ファームウェアをインストールするときの注意

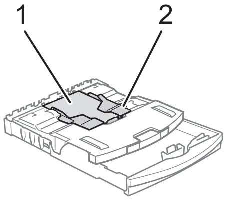
- ファームウェアを更新する際は、通信ボックスと複合機本体が良好に接続している状態で行ってください。
- ファームウェアを更新する際には、製品が動作中でないこと、メモリーに使用中のデータが残っていないことなどの条件や、製品に残されていた履歴が削除されるなどの制約があります。ソフトウェアダウンロードページの「ファームウェア更新時の注意事項」を読んでよくご理解いただいた上で、条件に従って更新作業をお進めください。

はがき（年賀状）に印刷するには

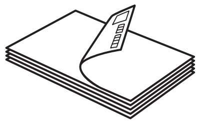
年賀状や暑中見舞いなどのはがきは、スライドトレイ（L 判記録紙やはがき専用のトレイ）にセットします。印刷手順はお使いの OS やアプリケーションソフトによって異なることがありますが、基本的な操作方法を説明します。

1 はがき（1）をスライドトレイ（2）にセットする

⇒ 41 ページ「スライドトレイにセットする」

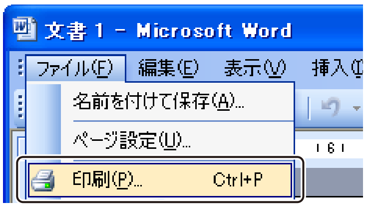


例：宛て先面に印刷する場合

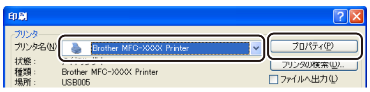


宛て先面を伏せて郵便番号欄を奥に向ける

2 パソコンで、はがき用データを作成したアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

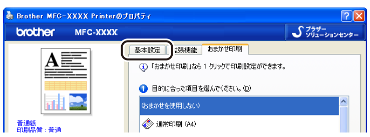


3 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする



［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［基本設定］タブをクリックする

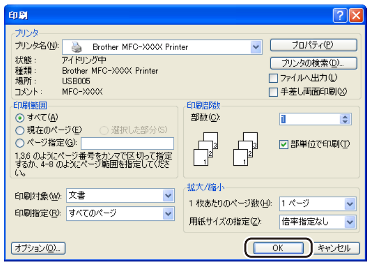


5 ［用紙種類］と［用紙サイズ］を設定し、［OK］をクリックする

例：インクジェット紙のはがきに印刷する場合は、［用紙種類］を［インクジェット紙］、［用紙サイズ］を［ハガキ］に設定します。



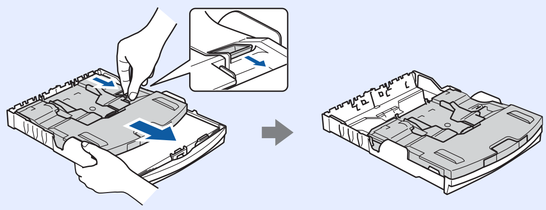
6 ［OK］をクリックする



印刷が始まります。

確認

■ 印刷後、はがき、L 判以外のサイズの記録紙に入れかえるときは、リリースボタンをつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



■ ハガキ印刷のあと、タイプやサイズの違う記録紙に印刷するときは、プリンタードライバーの［用紙種類］および［用紙サイズ］を設定し直してください。

子機を増設する / 登録抹消する

[コキゾウセツ モード]

別売りの増設子機をご使用いただくときに必要な設定です。設定終了後、増設した子機が使えるようになります。MFC-J805DW/J855DWN は 2 台、MFC-J805D/J855DN は 3 台の子機を増設していただけます。本製品で使用できる子機は最大 4 台です。
使用していた子機を廃棄する場合は、本製品でいったんすべての子機の登録を抹消します。その後、残す子機であらためて増設の設定を行ってください。

- 増設子機（BCL-D100WH）は別売りです。本製品をお買い上げの販売店または弊社ダイレクトクラブでお買い求めください。
⇒ 285 ページ「消耗品などのご注文について」
- 登録方法は増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

子機が使用できないときは（臨時着信）

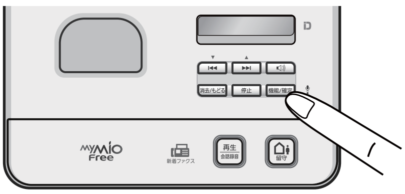
子機のバッテリー切れや紛失、破損などで、一時的に電話が使用できなくなった場合に、本製品には臨時着信機能があります。子機が手元になくても、通信ボックス内蔵のスピーカーとマイクを使って、かかってきた電話に応答することができます。ただし、この機能で電話をかけることはできません。

- 臨時着信には次ページ確認事項のような制約があります。子機を 2 台以上お持ちであれば、別の子機で受けることをお勧めします。
- 巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

臨時着信準備

通常、着信音は子機から鳴るように設定されています。臨時着信機能を使用するときは、電話がかかってきたことがわかるように、まず、通信ボックスから着信音が鳴るように設定を切り替えます。

1 通信ボックスの [機能/確定] を押す



2 [▼⏮]/[▲⏭] で【1. キホン　セッテイ】を選び、[機能/確定] を押す

3 [▼⏮]/[▲⏭] で【1. オンリョウ】を選び、[機能/確定] を押す

4 [▼⏮]/[▲⏭] で【1. チャクシン オンリョウ】を選び、[機能/確定] を押す

5 [▼⏮]/[▲⏭] で音量を選び、[機能/確定] を押す

お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。ここでは、【オフ】以外から選んでください。

6 [▼⏮]/[▲⏭] で【3. スピーカー オンリョウ】を選び、[機能/確定] を押す

7 【オフ】以外であることを確認して、[機能/確定] を押す

8 [停止] を押して設定を終了する

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、通信ボックスの [▼⏮] と [再生/会話録音] を同時に押す

電話がつながります。

確認

■ 再呼出（⇒ 26 ページ）に切り替わると、この方法で（通信ボックスで）電話に出ることはできません。

2 通信ボックスのマイク（🎙）に向かって話す

スピーカーの音量は [🔊] で大きくできます（3 段階）。

3 通話が終了したら、[再生/会話録音] を押す

電話が切れます。

臨時着信解除

子機が使用可能になったら、⇒ 236 ページ「臨時着信準備」と同じ手順で、通信ボックスの着信音を【オフ】に戻しておきます。

確認

- ■ 通信ボックスと子機の両方から着信音を鳴らすと、キーンという不快な音がするハウリングを起こすため、臨時着信するとき以外は、通信ボックスの着信音は、【オフ】にしてください。
- ■ 臨時着信機能は、停電時には使用できません。
- ■ 臨時着信中の会話録音はできません。通話中に [再生/会話録音] を押すと電話が切れますのでご注意ください。
- ■ 臨時着信中に保留にすることはできません。
- ■ 臨時着信機能を使って内線呼び出しに応答することはできません。
- ■ 臨時着信では、手動ファクス受信、親切受信はできません。
- ■ 臨時着信中は、キャッチホンは受けられません。
- ■ 臨時着信中は、子機への取り次ぎはできません。

停電になったときは

本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は複合機本体、通信ボックス、子機のすべてが使用できなくなります。
停電した場合に、保持または消去されるデータは以下のとおりです。

停電になっても消去されないデータ	電話帳（複合機本体 / 子機）、各種登録および設定内容、着信履歴（子機）、発信履歴（複合機本体 / 子機）
停電が数時間続くと消去されるデータ	着信履歴（複合機本体）、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、送信メモリー文書

複合機本体のデータ保持のしくみ

本製品は、通信ボックスと子機にバッテリーを搭載しています。そのため、停電になっても数時間はデータを保持しておくことができます。複合機本体にはバッテリーを搭載していないので、「停電が数時間続くと消去されるデータ」であっても、停電直後に消去されてしまいます。しかし、停電が回復して接続再開後 2 分半で、バッテリーを持つ通信ボックスとデータを共有しあうため、通信ボックスのバッテリーによって保持しているデータは復活します。

確認

- 日付と時刻は設定し直してください。
  ⇒ 24 ページ「日付と時刻を設定する」
- 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。
- 通話中やファクスの送受信中に停電になったときは、通信は切断されます。
- 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。

本製品のシリアルナンバーを確認する

[製品情報]

複合機本体

1 【メニュー】を押す



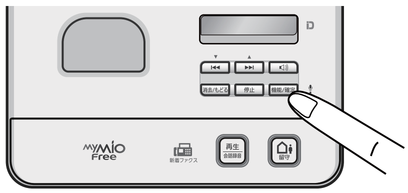
2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【製品情報】を押す

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

3 停止/終了 を押して確認を終了する

通信ボックス

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ▼⏮ / ▲⏭ で【5（4）. セイヒンジョウホウ】を選び、機能/確定 を押す

3 ▼⏮ / ▲⏭ で【1. シリアル No.】を選び、機能/確定 を押す

画面に、通信ボックスのシリアルナンバーが表示されます。

4 停止 を押して確認を終了する

本製品の設定内容や機能を確認する

［レポート印刷］

複合機本体

1 記録紙をセットする

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
  ⇒ 103 ページ「送信結果レポートを印刷する」
- 【機能案内】：
  複合機本体のメニューボタンを押して設定できる項目を一覧にします。
- 【電話帳リスト】：
  ⇒ 112 ページ「電話帳リストを印刷する」
- 【通信管理レポート】：
  ⇒ 102 ページ「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
  複合機本体の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
  (MFC-J855DN/J855DWN のみ)
  複合機本体のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
  (MFC-J855DN/J855DWN のみ)
  複合機本体の無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
  ⇒104ページ「着信履歴リストを印刷する」

5 [モノクロ スタート] を押す

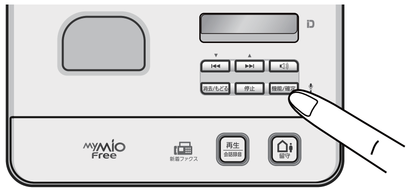
選んだレポートが印刷されます。

6 [停止/終了] を押して操作を終了する

通信ボックス

1 複合機本体に記録紙がセットされていることを確認する

2 通信ボックスの [機能/確定] を押す



3 [▼] / [▲] で【4（3）．レポート インサツ】を選び、[機能/確定] を押す

4 [▼] / [▲] で印刷したいレポートを選び、[機能/確定] を押す

- 【1. メイワク　リスト】
  迷惑指定を設定した電話番号を一覧にします。
- 【2. セッテイナイヨウ　リスト】
  通信ボックスの現在の設定内容を一覧にします。
- 【3. ネットワークセッテイリスト】
  (MFC-J855DN/J855DWN のみ)
  通信ボックスのネットワーク設定状況を一覧にします。

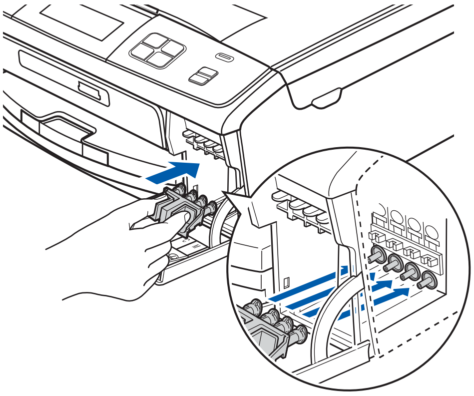
5 [機能/確定] を押す

選んだレポートが、複合機本体で印刷されます。

本製品を輸送するときは

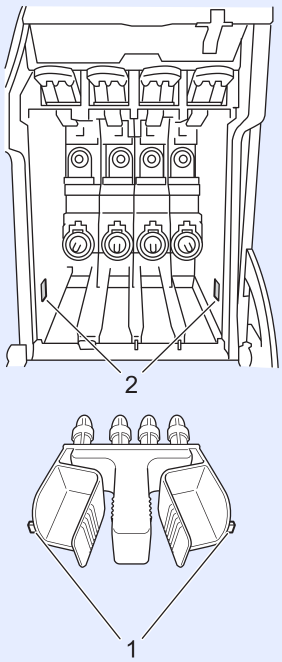
引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、次の点に注意してください。

- インクカートリッジはすべて抜き取り、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。
  保護部材がない場合は、何も装着していない状態で輸送してください。

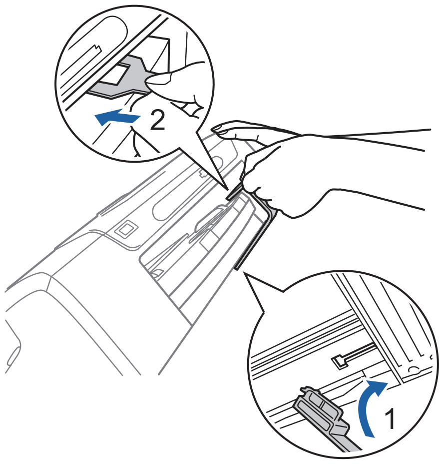


確認

■ 保護部材の突起（1）をカートリッジのセット部内壁の溝（2）にしっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。



- 記録紙トレイには、お買い上げ時にセットされていた保護部材を、（1）（2）の順に取り付けてください。保護部材がない場合は、テープなどで固定してください。

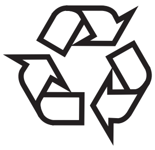


- 電話機コードや USB ケーブルは本製品から取り外してください。

本製品を廃棄するときは

通信ボックスと子機には、充電式ニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれている電池は取り外して、充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。貴重な資源を守るためにご協力ください。
子機のバッテリーの取り外しかたについては、⇒ 182 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」をご覧ください。

- 被覆ははがさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ
- コード先端を 1 本ずつテープなどで絶縁し、袋に入れてリサイクル箱へ



Ni-MH

通信ボックスのバッテリーを取り外す

確認

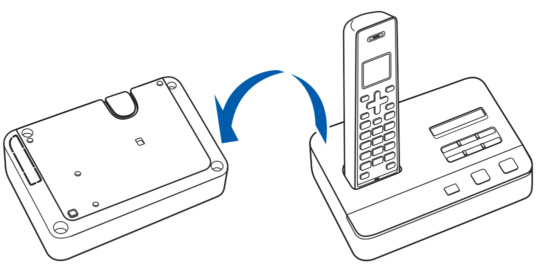
■ 通信ボックスのバッテリーカバー連結部は、切り離すと元に戻せないため、バッテリーの取り外しは廃棄時以外には行わないでください。

1 通信ボックスに保存されているすべての情報を消去する

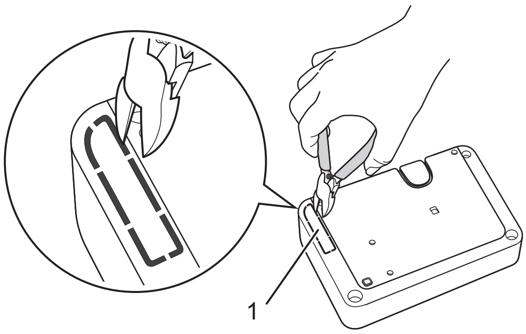
⇒ 230 ページ「通信ボックス」

2 通信ボックスの電源プラグを抜く

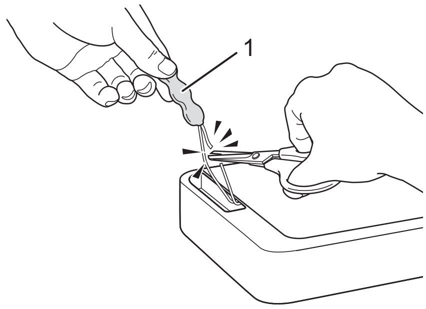
3 子機を外して、通信ボックスを裏返す



4 バッテリーカバー（1）の連結部 6 箇所をニッパーやワイヤーカッターなどを使って切り離す



5 バッテリー（1）を引き出し、コードを 1 本ずつはさみで切る



6 切り離したバッテリーのコードを 1 本ずつテープなどで巻いて絶縁する

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付　録

使用済み電池の届け出

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってからポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

(1) ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
  電話：03-6403-5673
  ホームページ：
  http://www.jbrc.com
- 社団法人 電池工業会
  電話：03-3434-0261
  ホームページ：http://www.baj.or.jp
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

(2) 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所
  〒 104-0031 東京都中央区京橋 3-3-8
  電話：03-3272-0351
- ブラザー販売（株）関西事業所
  〒 564-0045 大阪府吹田市金田町 28-21
  電話：06-6310-8863
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。
- 一般社団法人 JBRC
  電話：03-6403-5673
  ホームページ：
  http://www.jbrc.com

付録

文字の入力方法 244
複合機本体 244
文字の割り当て 244
機能ボタンの使いかた 245
入力制限（入力できる文字の種類や文字数） 245
入力例 245
通信ボックス 246
入力例 246
子機 246
文字の割り当て 246
文字の入れかた（機能ボタンの使いかた） 247
入力制限（入力できる文字の種類や文字数） 247
入力例 247

機能一覧 248
複合機本体 248
みるだけ受信ボタン 248
みてから送信ボタン 248
インクボタン 248
履歴ボタン 248
電話帳ボタン 249
ファクスボタン 249
コピーボタン 250
スキャンボタン 252
デジカメプリントボタン 253
メニューボタン 255
通信ボックス 260
子機 266
電話帳ボタン 266
機能ボタン 266

仕様 267
外形寸法 267
主な仕様 268
ファクス / 電話 268
コピー 268
電源その他 268
プリンター＆スキャナー 269
デジカメプリント 269
子機 270
子機充電器
（MFC-J805DW/J855DWN に付属） 270

使用環境 271

用語解説 272

索引 274

関連製品のご案内 280
innobella 280
消耗品 280
インクカートリッジ 280
専用紙・推奨紙 280
その他 280

リモコンアクセスカード 281

通信ボックス操作早見表 283

文字の入力方法

複合機本体

発信元登録、電話帳の登録では、画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

文字の割り当て

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお ぁぃぅぇぉ	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよゃゅょ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【゛゜】	（濁点、半濁点）
【は】	はひふへほ	【ー】	ー

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ ァィゥェォ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨャュョ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン
【ナ】	ナニヌネノ	【゛゜】	（濁点、半濁点）
【ハ】	ハヒフヘホ	【ー】	ー

● 英字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ABC】	ABCabc	【TUV】	TUVtuv
【DEF】	DEFdef	【WXYZ】	WXYZwxyz
【GHI】	GHIghi	【;】	;
【JKL】	JKLjkl	【:】	:
【MNO】	MNOmno	【@】	@
【PQRS】	PQRSpqrs	【!】	!

● 数字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【1】	1	【7】	7
【2】	2	【8】	8
【3】	3	【9】	9
【4】	4	【0】	0
【5】	5	【＊】	＊
【6】	6	【#】	#

● 記号

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【!?&】	!?&	【,.】	,.
【#$】	#$	【:;】	:;
【+ -】	+ -	【< >】	< >
【=/】	=/	【[ ]】	[ ]
【@% ＊】	@% ＊	【( )】	( )
【” ’】	” ’	【␣^_】	（スペース） ^_

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
【あア A1 @】 【A1 @】	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびに カタカナ→英字→数字→記号→ひらがな、または→数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
【×】	選択中の文字を消去します。 【◀】を押して削除したい文字までカーソルを移動して押します。
【◀】【▶】	カーソルを左右に移動します。 同じボタンを続けて入力する場合には、【▶】を押します。

変換範囲を変更することはできません。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○ *1	20
読み仮名	×	○	○	16
名前 *2	○	○	○	10

*1 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。
発信元登録での電話番号入力時は 0 ～ 9、「＋」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

*2 発信元登録では、16 文字まで入力できます。

漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を 3 回押す	す
【▶】を 1 回押す	す
【さ】を 3 回押す	すす
【゛゜】を 1 回押す	すず
【か】を 2 回押す	すずき
【変換】を 1 回押す	スズキ すずき 鈴木 鱸 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あアA1＠】を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を 4 回押す	鈴木エ
【ラ】を 2 回押す	鈴木エリ

通信ボックス

通信ボックスでは、画面に表示された選択肢を [▼⏮] / [▲⏭] で選び、[機能/確定] で確定するという方法で入力します。任意で入力できるのは数字と記号（p（ポーズ）を含む）のみです。

入力例

例：暗証番号（⇒ 125 ページ）を「210 ＊」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
[▲⏭] を 3 回押す	2−−＊
[機能/確定] を 1 回押す	2−−＊
[▲⏭] を 2 回押す	2 1−＊
[機能/確定] を 1 回押す	2 1−＊
[▲⏭] を 1 回押す	2 1 0＊
[機能/確定] を 1 回押す	ウケツケマシタ .

子機

ダイヤルボタンを使って文字や数字を入力します。子機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

文字の割り当て

ボタン	カタカナ	英・数字
[1 ア]	アイウエオ ァィゥェォ	1
[2 カ ABC]	カキクケコ	abcABC2
[3 サ DEF]	サシスセソ	defDEF3
[4 タ GHI]	タチツテトッ	ghiGHI4
[5 ナ JKL]	ナニヌネノ	jklJKL5
[6 ハ MNO]	ハヒフヘホ	mnoMNO6
[7 マ PQRS]	マミムメモ	pqrsPQRS7
[8 ヤ TUV]	ヤユヨャュョ	tuvTUV8
[9 ラ WXYZ]	ラリルレロ	wxyzWXYZ9
[0 ワ]	ワヲン、。ー	0
[＊ 記号1 ゛゜ トーン]	゛ ゜ ー （）/ &	- ( ) / &
[# 記号2]	（スペース）！ ? @ ＃ ＊ ＋ ＄ ％ . , ｀ ’ : ; _ = < > [ ] ^	

文字の入れかた（機能ボタンの使いかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
カタカナと英数字を切り換える	文字切替/P を押す ※押すたびに カナ（半角カタカナ）、英（アルファベット・数字）が切り替わります。
文字を入れる	0ワ ～ 9ラWXYZ、＊記号1トーン、#記号2 を押す
電話番号に「ポーズ」（約 3 秒の待ち時間）を入れる	文字切替/P を押す
文字を削除する	✚ を押して削除したい文字までカーソルを移動し、クリア 音質 を押す
文字を変更する	✚ を押して変更したい文字までカーソルを移動し、文字を削除して入力し直す
文字の間を空ける（スペースを入れる）	✚ を 2 回押す または #記号2 を 1 回押す
記号を入力する	入力したい記号ボタン（＊記号1 または #記号2）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	✚ を押して、カーソルを 1 文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	機能 確定 を押す

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目		カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	○[*1]	20 文字
	名前	○	○	11 文字

[*1] 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは 文字切替/P で入力します。入力したポーズは画面に「P」で表示されます。

入力例

例：「スズキ　ケイコ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
文字切替/P を押して、カナ 入力モードにする	
3サDEF を 3 回押す	ス
✚ を 1 回押す	ス
3サDEF を 3 回押す	スス
＊記号1トーン を 1 回押す	スズ
2カABC を 2 回押す	スズ キ
✚ を 2 回押す （または #記号2 を 1 回押す）	スズ キ
2カABC を 4 回押す	スズ キ ケ
1ア を 2 回押す	スズ キ ケイ
2カABC を 5 回押す	スズ キ ケイコ

機能一覧

複合機本体の操作パネルやタッチパネル上のボタン、また通信ボックス／子機の操作ボタンを押して設定できる内容や機能は次のとおりです。それぞれ画面のメッセージに従って操作してください。

複合機本体

みるだけ受信ボタン

みるだけ受信設定時に、操作パネル上の[みるだけ受信]を押して表示される【メニュー】から、以下の設定が行えます。みるだけ受信が設定されていないときは、みるだけ受信にするかどうかの設定ができます。

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
メニュー	すべてプリント	メモリー内のすべてのファクスを印刷します。	93 ページ
	すべて消去	メモリー内のすべてのファクスを削除します。	
	みるだけ受信をしない（受信したら印刷）	みるだけ受信を解除します。	

みてから送信ボタン

ファクス原稿をセットしてから、操作パネル上の[みてから送信]を押すと、ファクスの読み取り状態が確認できます。

インクボタン

操作パネル上の[インク]を押して表示される画面で、以下の確認、設定が行えます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照ページ
テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	180 ページ
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	179 ページ
インク残量	インク残量を確認します。		178 ページ

履歴ボタン

操作パネル上の[履歴]を押して表示される画面で、発信 / 着信履歴を確認できます。また、履歴からファクスを送ったり、そのまま電話帳に登録したりすることもできます。

機能	設定項目		機能説明	参照ページ
発信履歴	ファクス送信		選んだ相手先にファクスを送信します。	81 ページ
着信履歴 [*1]	メニュー	電話帳に登録	電話帳に相手先番号と名前を登録します。	110 ページ

[*1] ナンバーディスプレイ機能の契約をしている場合は、電話番号と名前（複合機本体の電話帳に登録されている場合のみ）も表示されます。

電話帳ボタン

操作パネル上の 電話帳 を押して表示される画面で、以下の設定が行えます。

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
ファクス送信		選んだ相手先にファクスを送信します。	82 ページ
メニュー	電話帳登録	電話帳に、相手先番号と名前を登録します。	108 ページ
	グループ登録	複数の相手先を「グループ」として登録します。	111 ページ
	変更	電話帳に登録されている相手先の情報を変更します。	109 ページ、112 ページ
	消去	電話帳に登録されている相手先を消去します。	109 ページ、112 ページ

ファクスボタン

操作パネル上の ファクス を押して表示される画面で、ファクス機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照 ページ
履歴	発信／着信履歴を表示します。 ※ナンバーディスプレイ機能の契約をしている場合は、電話番号と名前（電話帳に登録されている場合）も表示されます。	－	81 ページ
電話帳 / 短縮	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	－	82 ページ
ファクス画質	送信時の画質を一時的に設定します。	**標準**／ファイン／スーパーファイン／写真	83 ページ
原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	**自動**／濃く／薄く	
同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	－	86 ページ
みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する／**しない**	79 ページ
海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する／**しない**	85 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	84 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	

コピーボタン

操作パネル上の 

を押して表示される画面で、コピーに関する設定ができます。

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th colspan="2">設定内容
（太字：初期設定値）</th><th>参照
ページ</th></tr>
<tr><td colspan="2">コピー画質</td><td>印刷品質に合わせて設定します。</td><td colspan="2">高速／標準／高画質</td><td>135 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">記録紙サイズ</td><td>記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。</td><td colspan="2">A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／
2L 判／ L 判</td><td>135 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">拡大 / 縮小</td><td rowspan="5">コピーしたいサイズに合わせて設定します。</td><td>等倍
100%</td><td>－</td><td rowspan="5">135 ページ</td></tr>
<tr><td>拡大</td><td>240% L 判⇒ A4
204%ハガキ⇒ A4
142% A5 ⇒ A4
115% B5 ⇒ A4
113% L 判⇒ハガキ</td></tr>
<tr><td>縮小</td><td>86% A4 ⇒ B5
69% A4 ⇒ A5
46% A4 ⇒ハガキ
40% A4 ⇒ L 判</td></tr>
<tr><td>用紙に合わせる</td><td>－</td></tr>
<tr><td>カスタム</td><td>25% － 400%</td></tr>
<tr><td colspan="2">記録紙タイプ</td><td>記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。</td><td colspan="2">普通紙／インクジェット紙／
ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム</td><td>135 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">コピー濃度</td><td>原稿に合わせて設定します。</td><td colspan="2">－ 2 ／－ 1 ／ 0 ／＋ 1 ／＋ 2</td><td>136 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">レイアウト コピー</td><td>2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。</td><td colspan="2">オフ（1in1）／ 2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）／ポスター（3 x 3）</td><td>138 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">便利なコピー設定</td><td>オフ</td><td>便利なコピー設定を使用しません。</td><td colspan="2">－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>インク節約モード</td><td>文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。</td><td colspan="2">－</td><td>140 ページ</td></tr>
<tr><td>ブックコピー</td><td>本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーします。</td><td colspan="2">－</td><td>141 ページ</td></tr>
</table>

設定項目			機能説明	設定内容(太字：初期設定値)		参照ページ
便利なコピー設定	透かしコピー		コピー画像にロゴマークやテキストなど、設定した画像を重ねます。			142 ページ
		テンプレートを使う	あらかじめ設定されている文字を選択し、位置やサイズなどを設定します。	テキスト：**COPY** ／ CONFIDENTIAL ／重要 位置：A ／ B ／ C ／ D ／ **E** ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面 サイズ：小／**中**／大 回転：-90° ／ **-45°** ／ 0° ／ +45° ／ +90° 透過度：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 色：**黒**／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄		143 ページ
		スキャン / メディアの画像を使う	スキャンした画像、または、USB フラッシュメモリーやカードから画像を選択し、位置やサイズなどを設定します。	スキャン	透過度：-2／-1／**0**／+1／+2	145 ページ
				メディア	位置：A ／ B ／ C ／ D ／ **E** ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面 サイズ：小／**中**／大 回転：-90° ／ **-45°** ／ 0° ／ +45° ／ +90° 透過度：-2／-1／**0**／+1／+2	144 ページ
お気に入り設定			お気に入り設定コピーに関する下記の設定を、組み合わせを変えるなどして 3 つまで名前をつけて登録しておくことができます。 コピー画質・記録紙サイズ・拡大 / 縮小・記録紙タイプ・コピー濃度・レイアウト コピー・インク節約モード・ブックコピー・透かしコピー (「テンプレートを使う」のみ)	保存／名前の変更	お気に入り 1 ／ お気に入り 2 ／ お気に入り 3[*1]	136 ページ
お気に入り			お気に入りに登録した設定値を呼び出します。	お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3[*1]		

[*1] お気に入りとして保存するときに名前を登録すると、その後は登録名が表示されます。

スキャンボタン

操作パネル上の

を押して表示される画面で、スキャン機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	参照ページ
ファイル：フォルダ保存	スキャンしたデータをパソコンの指定したフォルダーに保存します。	⇒パソコン活用編
メディア：メディア保存	スキャンしたデータをメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存します。	166 ページ
E メール：E メール添付	スキャンしたデータを添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	⇒パソコン活用編
OCR：テキストデータ	スキャンしたデータをテキストに変換してパソコンに保存します。	
イメージ：PC 表示	スキャンしたデータをパソコンに保存します。	

【メディア：メディア保存】では、以下の項目の確認および設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照 ページ
スキャン画質	スキャン TO メディア時の画質を設定します。	**カラー 150 dpi** ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100 dpi ／モノクロ 200 dpi	166 ページ
ファイル形式	スキャンするときのファイル形式を設定します。	カラー：**PDF** ／ JPEG モノクロ：TIFF ／ **PDF**	
ファイル名	ファイル名を設定します。	－	
おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	オン／**オフ**	167 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	168 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げの状態に戻します。	－	

デジカメプリントボタン

操作パネル上の［デジカメプリント］を押して表示される画面で、デジカメプリント機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）			参照ページ
かんたんプリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を簡単な操作でプリントします。自動色補正のみ行えます。 スライドショーの途中でプリントしたい画像があれば、【OK】を押して印刷設定に進みます。	（スライドショー　画像個別選択 *1）			162 ページ
		（まとめてプリント）	はい／いいえ 100枚目までの画像のプリント枚数をすべて1枚に設定します。設定後自動色補正を行うとすべての画像を一括で補正できます。		161 ページ
こだわりプリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。 スライドショーの途中でプリントしたい画像があれば、【OK】を押して印刷設定に進みます。	（スライドショー　画像個別選択 *1）	お好み色補正	自動色補正 肌色あかるさ補正：補正しない状態を起点に±1色調 色あざやか補正：補正しない状態を起点に±1色調 赤目補正 モノクロ セピア 自動色補正＆赤目補正	159 ページ
			トリミング	－	163 ページ
インデックスプリント	インデックスシートの印刷または番号を指定して画像のプリントをします。	インデックスシート *2		速い／1行6個印刷 きれい／1行5個印刷	157 ページ
		番号指定プリント		－	158 ページ

*1 画像選択後、プリントする記録紙やサイズなど更に設定が可能です。詳細は次ページに記載しています。
*2 インデックスシートをプリントする記録紙タイプの設定が可能です。詳細は次ページに記載しています。

画像プリント前に表示される確認画面の【印刷設定】では、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照 ページ
プリント画質[*1]	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**	154 ページ
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／**その他光沢**	154 ページ
記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	**L 判**／ 2L 判／ハガキ／ A4	154 ページ
プリントサイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm ／ 9x13cm ／ 10x15cm ／ 13x18cm ／ 15x20cm ／**用紙全体に印刷**	
明るさ[*2]	プリントの明るさを調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	154 ページ
コントラスト[*2]	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	154 ページ
画質強調[*2]	＜ホワイトバランス＞ 画像の白色部分の色合いを調整します。	する：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 **しない**	155 ページ
	＜シャープネス＞ 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。		
	＜カラー調整＞ 画像のカラー全体の濃度を調整します。		
画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	**する**／しない	155 ページ
ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	**する**／しない	155 ページ
日付印刷[*1]	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／**しない**	155 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	155 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	155 ページ

[*1] DPOF 印刷の場合は表示されません。

[*2] こだわりプリントでは、【トリミング】を設定した場合のみ調整可能です。

インデックスシートをプリントするときに【印刷設定】で確認および設定できる内容は以下のとおりです。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照 ページ
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢	154 ページ

メニューボタン

待ち受け画面の【メニュー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

● 基本設定

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th>設定内容
(太字：初期設定値)</th><th>参照
ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="7">基本設定</td><td colspan="2">モードタイマー</td><td>ファクスモードに戻る時間を設定します。「切」を選ぶと最後に使ったモードを保持します。</td><td>切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／
2 分／ 5 分</td><td>53 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">記録紙タイプ</td><td>記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。</td><td>普通紙／インクジェット紙／ブラザーBP71 光沢／ブラザーBP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム</td><td>44 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">記録紙サイズ</td><td>記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。</td><td>A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／
L 判</td><td>44 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボタン確認音量</td><td>操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。</td><td>切／小／中／大</td><td>46 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画面の設定</td><td>画面の明るさ</td><td>画面の明るさを設定します。</td><td>明るく／標準／暗く</td><td rowspan="2">51 ページ</td></tr>
<tr><td>照明ダウンタイマー</td><td>画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。</td><td>切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒</td></tr>
<tr><td colspan="2">スリープモード</td><td>スリープ状態にするまでの時間を設定します。</td><td>1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／
10 分／ 30 分／ 60 分</td><td>54 ページ</td></tr>
</table>

● ファクス / 電話

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
ファクス / 電話	受信設定	自動縮小	【記録紙サイズ】で設定した記録紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかしないかを設定します。	**する**／しない	97 ページ
		メモリー受信	ファクスのメモリー受信の内容を設定します。	**オフ**／メモリ保持のみ／ PC ファクス受信 ※「PC ファクス受信」を選択した場合は、本体で印刷する／しないを設定します。	98 ページ 99 ページ
		みるだけ受信	みるだけ受信するかどうかを設定します。	**する（画面で確認）**／しない（受信したら印刷）	96 ページ
	レポート設定	送信結果レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン／**オフ**	103 ページ
		通信管理レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポート出力しない／ **50 件ごと**	102 ページ
	ファクス出力		みるだけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	−	99 ページ
	通信待ち一覧		送信待ちデータなどを確認したり解除したりできます。	−	104 ページ
	通信ボックス接続状態		通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。	−	76 ページ

● ネットワーク（MFC-J855DN/J855DWN のみ）

本製品をネットワーク環境で使用する場合の設定については、別冊の「かんたん設置ガイド」および付属のCD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド　ネットワーク操作編」をご覧ください。

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）
ネットワーク	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	Auto ／ **Static**[*1] ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
		IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
		サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
		ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
		ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
		WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
		WINS サーバ	WINS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
		DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
	無線接続ウィザード		無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－
	WPS/AOSS		WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－
	WPS（PIN コード）		WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	－
	無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	－
		電波状態	無線 LAN の電波状態を表示します。	－
		SSID	接続先の無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。	－
		通信モード	無線 LAN の通信モードを表示します。	－
	MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－
	ネットワーク設定リセット		ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	－

*1 ネットワーク利用開始時に、自動的に【DHCP】に切り替わります。

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	103 ページ
	機能案内	本製品の機能一覧を印刷します。	239 ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	112 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	102 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	239 ページ
	ネットワーク設定リスト [*1]	現在動作している無線 LAN の設定内容を印刷します。	239 ページ
	無線LANレポート [*1]	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	239 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	104 ページ

[*1] MFC-J855DN/J855DWN のみ

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	238 ページ

● 初期設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
初期設定	時計セット		画面に表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。	ー	24 ページ
	発信元登録		ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。	ファクス：ー 名前：ー	101 ページ
	設定リセット	機能設定リセット	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	227 ページ
		ネットワーク設定リセット[*1]	本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	
		通信ボックス接続リセット[*1]	通信ボックスと複合機本体の接続方法をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	
		電話帳&ファクスリセット	本製品の電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去します。	ー	
		全設定リセット	本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	
	その他	デモ動作設定	デモ画面を表示するかしないかを設定します。	する／**しない**	ー

[*1] MFC-J855DN/J855DWN のみ

通信ボックス

通信ボックスの 機能/確定 を押すと、次のメニューが表示されます。表内「機能」欄の括弧内の数字は、MFC-J805D/J805DW の場合の項目番号です。

● 基本設定

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th>設定内容
(太字：初期設定値)</th><th>参照
ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1. キホン　セッテイ</td><td rowspan="3">1. オンリョウ</td><td>1. チャクシン　オンリョウ</td><td>臨時着信時など、通信ボックスで着信音を鳴らすときに設定します。</td><td>**オフ**／ショウ／チュウ／ダイ</td><td>236 ページ</td></tr>
<tr><td>2. ボタンカクニン　オンリョウ</td><td>ボタンを押したときの音量を設定します。</td><td>オフ／**ショウ**／チュウ／ダイ</td><td>46 ページ</td></tr>
<tr><td>3. スピーカー　オンリョウ</td><td>録音メッセージ再生音量など、通信ボックスのスピーカー音量を設定します。</td><td>オフ／ショウ／**チュウ**／ダイ</td><td>46 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">2. エキショウ　コントラスト</td><td>画面に表示される文字の濃さを調整します。</td><td>5 段階 **(3)**</td><td>51 ページ</td></tr>
</table>

● ファクス / デンワ

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th colspan="2">設定内容
(太字：初期設定値)</th><th>参照
ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="8">2. ファクス/デンワ</td><td rowspan="7">1. ジュシン　セッテイ</td><td>1. ムメイドウ　ジュシン</td><td>電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。</td><td colspan="2">スル／**シナイ**</td><td>30 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2. ヨビダシ　カイスウ</td><td rowspan="2">在宅モード、留守モードのそれぞれの状況において、電話がかかってきてから本製品が自動で着信するまでの呼出回数を設定します。</td><td>ザイタク モード</td><td>00 ～ 15 回／ムセイゲン **(07)**</td><td rowspan="2">31 ページ</td></tr>
<tr><td>ルス モード</td><td>00 ～ 07 回／トールセーバー **(02)**</td></tr>
<tr><td>3. サイ　ヨビダシ　セッテイ</td><td>在宅モード時に電話がかかってきた場合の、本製品の応対動作を設定します。</td><td colspan="2">**オン（デンワ　ヨビダシ）**／オフ（ファクス センヨウ）</td><td rowspan="3">32 ページ</td></tr>
<tr><td>（応答のしかた）</td><td>【3. サイヨビダシ　セッテイ】を【オン（デンワ　ヨビダシ）】に設定したときの応対動作として、ベルかメッセージのどちらかを選びます。</td><td colspan="2">**アイテニ　ベル**／アイテニ　メッセージ</td></tr>
<tr><td>（応答時間）</td><td>【3. サイヨビダシ　セッテイ】を【オン（デンワ　ヨビダシ）】に設定したときの切り替え（再呼び出し）時間を選びます。</td><td colspan="2">20 ビョウ／**30 ビョウ**／40 ビョウ／70 ビョウ</td></tr>
<tr><td>4. シンセツ　ジュシン</td><td>自動受信する前に電話を取った場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。</td><td colspan="2">**スル**／シナイ</td><td>91 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">2. アンショウ　バンゴウ</td><td>外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。</td><td colspan="2">－－－＊</td><td>125 ページ</td></tr>
</table>

機能		設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
2. ファクス/デンワ		3. ツウシン　マチ　カクニン	相手が通信中である場合など、本製品で通信待機しているファクスを確認したり、確認後、送信を中止したりできます。	ー	105 ページ
		4. ホリュウメロディ	電話の保留音を選びます。	メロディ 1 ～ 30 (**ハナノワルツ**)	49 ページ
	5. ルスバンデンワ　セッテイ	1. オウトウ　メッセージ	留守モードのとき、かかってきた電話の相手に対する応答メッセージと、在宅モードでも電話に出られないときの応答メッセージをそれぞれ設定します。新たなメッセージを登録しない場合は、本製品で設定されているメッセージが再生されます。	ルス オウトウ 1／ルス オウトウ 2／ザイタク オウトウ：オウトウ ロクオン／オウトウ ショウキョ／オウトウ サイセイ	120 ページ
		2. ロクオン　ジカン	電話の相手が残せる音声メッセージの、1 通話における録音時間を設定します。	0 ビョウ（オウトウノミ）／ロクオン 30 ビョウ／**ロクオン 60 ビョウ**／ロクオン 120 ビョウ／ロクオン 180 ビョウ	119 ページ
		3. ルスロク　モニター	電話の相手が残している音声メッセージを、スピーカーから聞く（モニターする）かどうかを設定します。	**オン**／オフ	121 ページ
		4. ルスロク　テンソウ	留守モードのときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。	オン／**オフ**	128 ページ
	6. メイワク　シテイ	1. チャクシンリレキカラトウロク	次回同じ番号から電話がかかってきても、着信音を鳴らさないようにできます。着信履歴から設定します。いったん設定してもあとから解除できます。	ー	68 ページ
		2. ショウキョ			

● **ネットワーク（MFC-J855DN/J855DWN のみ）**

本製品をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、別冊の「かんたん設置ガイド」および付属の CD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド　ネットワーク操作編」をご覧ください。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）
3. ネットワーク	1.IP　シュトク ホウホウ	IP の取得先を指定します。	Auto ／ **Static**[*1] ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
	2.IP　アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
	3. サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
	4. ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
	5. ムセン　ジョウタイ／1. セツゾク ジョウタイ	無線 LAN の接続状態を表示します。	―
	5. ムセン　ジョウタイ／2. デンパ ジョウタイ	無線 LAN の電波状態を表示します。	―
	5. ムセン　ジョウタイ／3.SSID	接続先の無線LANのSSID（ネットワーク名）を表示します。	―
	5. ムセン　ジョウタイ／4. ツウシン モード	無線 LAN の通信モードを表示します。	―
	6.MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	―
	0. ネットワーク セッテイリセット	無線LANの設定をすべて初期値に戻します。	―

[*1] ネットワーク利用開始時に、自動的に【DHCP】に切り替わります。

● **レポート印刷**

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
4（3）. レポート　インサツ	1. メイワク　リスト	迷惑指定した電話番号の一覧を印刷します。	239 ページ
	2. セッテイナイヨウ　リスト	通信ボックスの現在の設定内容の一覧を印刷します。	
	3. ネットワークセッテイリスト[*2]	通信ボックスのネットワーク設定内容の一覧を印刷します。	

[*2] MFC-J855DN/J855DWN のみ

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
5（4）.セイヒン　ジョウホウ	1. シリアル　No.	通信ボックスのシリアルナンバーを表示します。	238 ページ

● サービス

機能	設定項目		機能説明	参照ページ
6（5）.サービス	0. データ　テンソウ	1. ファクス　テンソウ	複合機本体でファクスが印刷できない場合に、待機中のファクスを別のファクシミリに転送することができます。	196 ページ
		2. レポート　テンソウ	複合機本体でファクスが印刷できない場合に、通信管理レポートを別のファクシミリで印刷することができます。	196 ページ

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

● 初期設定

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th>設定内容
(太字：初期設定値)</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="16">0. ショキ　セッテイ</td><td colspan="2">1. トケイセット</td><td>通信ボックスの日付/時刻を設定します。</td><td>－（2011/01/01 00:00）</td><td>24 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">2. カイセンシュベツ　セッテイ</td><td>お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。</td><td>プッシュ　カイセン／ダイヤル　10PPS／ダイヤル　20PPS　／ジドウ　セッテイ</td><td>23 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3. ナンバー　ディスプレイ</td><td>1. ナンバー　ディスプレイ</td><td>ナンバーディスプレイ機能の契約状況を設定します。</td><td>アリ／ナシ</td><td>33 ページ</td></tr>
<tr><td>2. ヒツウチ　チャクシンキョヒ</td><td>電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。</td><td>スル／シナイ</td><td rowspan="3">69 ページ</td></tr>
<tr><td>3. コウシュウデンワキョヒ</td><td>公衆電話からの着信を拒否します。</td><td>スル／シナイ</td></tr>
<tr><td>4. ヒョウジケンガイキョヒ</td><td>サービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からの着信を拒否します。</td><td>スル／シナイ</td></tr>
<tr><td>5. チャクシンキョヒモニター</td><td>再生中の着信拒否メッセージを、スピーカーから聞く（モニターする）かどうかを設定します。</td><td>スル／シナイ</td><td>69 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">4. キャッチディスプレイ</td><td>キャッチホン・ディスプレイサービスを使用する／しないを設定します。</td><td>アリ／ナシ</td><td>33 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">5. コキゾウセツ　モード</td><td colspan="2">[機能/確定] にて増設子機（別売り）の ID 登録を開始します。登録後、増設子機が使用できます。</td><td rowspan="2">235 ページ</td></tr>
<tr><td>[消去/もどる] にてすべての子機の登録を抹消します。個別には行えません。</td><td>スル／シナイ</td></tr>
<tr><td colspan="2">6. アンシン　ツウシン　モード</td><td>通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信･受信したい場合に設定を変えます。</td><td>ヒョウジュン／アンシン　(VoIP)</td><td>222 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">7. セッテイリセット</td><td>1. キノウセッテイ　リセット</td><td>通信ボックスの設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>リセット／キャンセル</td><td rowspan="5">230 ページ</td></tr>
<tr><td>2. ネットワーク　セッテイリセット *1</td><td>通信ボックスのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>リセット／キャンセル</td></tr>
<tr><td>3. ボックスセツゾク　リセット *1</td><td>通信ボックスと複合機本体の接続方法をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>リセット／キャンセル</td></tr>
<tr><td>4（2）. デンワ＆ファクスリセット</td><td>発進元情報や通信履歴など、電話とファクスに関する内容をすべて消去します。</td><td>リセット／キャンセル</td></tr>
<tr><td>5（3）. ゼンセッテイ　リセット</td><td>通信ボックスのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>リセット／キャンセル</td></tr>
</table>

*1 MFC-J855DN/J855DWN のみ

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
0. ショキ　セッテイ	8. ソノタ	1. ダイヤルトーン セッテイ	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	ケンチ　スル／**ケンチ　シナイ**	223 ページ
		2. トクベツカイセン タイオウ	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	**イッパン**／ ISDN ／ PBX	221 ページ
		3. ツウワ　オンシツ チョウセイ	外線通話中に相手の声が聞こえにくいときに設定を変えます。	**セッテイ 1** ／セッテイ 2 ／セッテイ3／セッテイ4	221 ページ
		4. コキ　ツウシン チャンネル	使用環境によって、通話状況が良くないときに設定します。	セッテイ 1 ／セッテイ 2 **／セッテイ 3**	224 ページ
		5. ケータイ　オトク サービス	携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けて発信するように設定します。	スル／**シナイ**	72 ページ
		カイセン	【5. ケータイ　オトクサービス】を【スル】に設定したときに選びます。	**ヒカリ　デンワ**／ IP　デンワ／イッパン／ソノタ　／　ワカラナイ	
		IP カイジョ No	【カイセンシュベツ】で【IP デンワ】を選んだときに設定します。	0 ～ 9、＊、#、p（ポーズ）で最大 6 桁	
		6. ジギョウシャバンゴウ	【5．ケータイオトク　サービス】を【スル】に設定している場合に、携帯電話番号の前に付ける事業者識別番号を設定します。	0 ～ 9、＊、# で 4 桁 **(0033)**	74 ページ

子機

電話帳ボタン

を押して表示される画面で、電話帳の登録 / 変更が行えます。

設定項目		機能説明	設定内容	参照ページ
デンワチョウトウロク		子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	(全 100 件)	114 ページ
(ナマエ)	ヘンコウ	電話帳に登録した内容を変更・削除します。	−	114 ページ
	ショウキョ			

機能ボタン

待ち受け状態で 機能確定 を押して表示される画面で、各機能を設定できます。

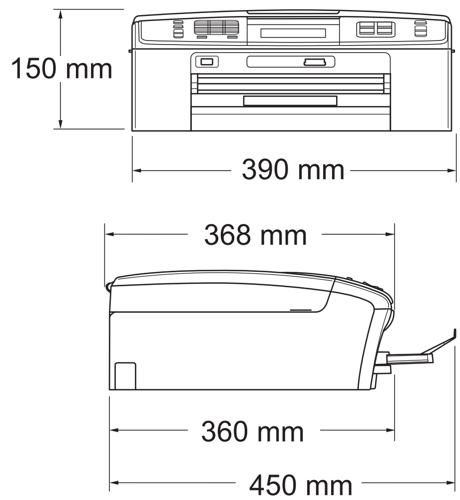
設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
メイドウオンセッテイ	1. チャクシンオン	着信音を選択します。	**ベル**／アヴェ・マリア／オオキナフルドケイ／ガボット／キラキラボシ／シキヨリ［ハル］／ハナノワルツ	50 ページ
	2. チャクシン ナリワケ	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。		68 ページ
	3. ボタンカクニンオン	ボタンを押したときの音を設定します。	**ON** ／ OFF	48 ページ
ハッシンリレキ	1 ケン ショウキョ	発信履歴から 1 件削除します。	−	115 ページ
	ゼンケン ショウキョ	発信履歴の内容をすべて削除します。	−	115 ページ
	デンワチョウトウロク	発信履歴から電話帳に登録します。	−	115 ページ
チャクシンリレキ*1	1 ケン ショウキョ	着信履歴から 1 件削除します。	−	115 ページ
	ゼンケン ショウキョ	着信履歴の内容をすべて削除します。	−	115 ページ
	デンワチョウトウロク	着信履歴から電話帳に登録します。	−	115 ページ
ガメンノコントラスト		子機の画面の明るさを設定します。	1 ～ 7 段階（4）	51 ページ
トケイセッテイ		現在の日付と時刻を登録します。	−	25 ページ
ツウワパワー		子機の電波環境が悪いときに設定します。	**ヒョウジュン**／ツヨイ	225 ページ
コキ ゾウセツ		増設子機の ID 登録をします。	−	235 ページ

*1 ナンバーディスプレイ機能の契約をしていない場合は、着信履歴を残すことはできません。

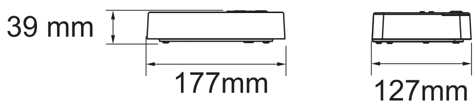
仕様

外形寸法

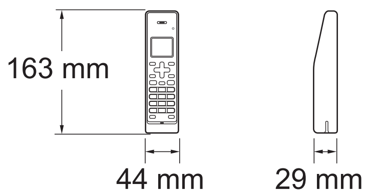
■複合機本体



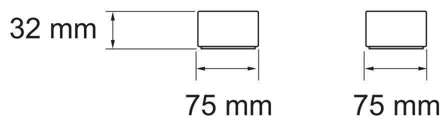
■通信ボックス



■子機



■子機充電器（MFC-J805DW/J855DWNに付属）



※複合機本体：3.3 インチワイドカラー液晶タッチパネル搭載。液晶タッチパネルは非常に精度の高い技術でつくられていますが、画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主な仕様

ファクス / 電話

形式	ITU-T Group3（G3）
圧縮方式	MH/MR/MMR/JPEG
電送時間 *1	約 7 秒
通信速度	14400/12000/9600/7200/4805/2400bps （自動切換）
原稿サイズ	幅：215.9mm 長さ：297mm
記録紙サイズ	A4
最大有効読取幅 *2	204mm
最大有効記録幅	204mm
記録方式	インクジェット式
読取方式	CIS 方式
ハーフトーン	256 階調
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査（モノクロ時） • 標準：3.85 本 /mm • ファイン / 写真：7.7 本 /mm • スーパーファイン：15.4 本 /mm 副走査（カラー時） • 標準：7.7 本 /mm • ファイン：7.7 本 /mm • 「写真」「スーパーファイン」なし
適用回線	一般電話回線、ファクシミリ通信網（16Hz のみ対応）
メモリー記憶枚数 *3	約 400 枚

*1 A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で高速モード（14400bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

*2 A4 サイズの原稿を使用し、A4 記録が可能な相手機種の場合の最大有効読取幅です。

*3 A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

コピースピード	モノクロ：23 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード） カラー：20 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード）
拡大縮小	25 ～ 400（%）
印刷解像度	• モノクロ： 最大 1200（主走査）× 1200（副走査）dpi • カラー： 最大 600（主走査）× 1200（副走査）dpi

電源その他

使用環境	温度：10 ～ 35 ℃、湿度：20 ～ 80% ※印刷品質のためには、20 ～ 33 ℃でご利用になることをお勧めします。
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力 *4	■複合機本体 コピー時：約 19W*5 待機時：約 5.5W スリープモード時：約 2.5W 電源 OFF 時：約 0.5W ■通信ボックス 子機通話時：約 3.4W *6 急速充電時：約 3.9W *7 *8 待機時：約 3W *7 *8
稼働音	動作時：50dB(A) 以下 ※お使いの機能により数値は変わります。
メモリー容量	■複合機本体 48MB ■通信ボックス 32MB
重量	■複合機本体 7.7kg ※インクカートリッジを含む ■通信ボックス 0.4kg

*4 すべてパソコンと USB 接続した状態での計測値

*5 画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターンにおける計測値

*6 電波状況により異なる場合があります。

*7 子機をのせた状態の計測値

*8 バックライト、LCD 消灯時

プリンター＆スキャナー

インターフェイス	USB2.0 ハイスピードインターフェイス対応 以下MFC-J855DN/J855DWNのみ 無線 LAN（IEEE802.11b/g）対応
印刷方式	インクジェット式
印刷解像度	最大 1200（主走査）× 6000（副走査）dpi
印刷速度	モノクロ 35 枚 / 分 カラー 28 枚 / 分 （最高速モード、普通紙、当社基準 A4 原稿） 約 27 秒（L 判）
スキャナー解像度	光学解像度 最大 1200（主走査）dpi × 2400（副走査）dpi

デジカメプリント

対応メディア	• メモリースティック TM/ メモリースティック PROTM/ メモリースティック デュオ TM/ メモリースティック PRO デュオ TM/メモリースティック マイクロ TM（M2TM） メモリースティック マイクロ TM（M2TM）を本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • SD メモリーカード /SDHC メモリーカード /miniSD カード / microSD カード miniSDカード/microSDカードを本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • USB フラッシュメモリー ※MagicGateTM の音楽データには対応していません。 ※著作権保護機能には対応していません。
メディアファイルフォーマット	DPOF 形式、EXIF 形式、DCF 形式
対応画ファイルフォーマット	静止画 • JPEG 形式 拡張子が「.JPG」のファイルに限ります。 プログレッシブ JPEG には対応していません。 動画 • AVI 形式の MotionJPEG • MOV 形式の MotionJPEG ファイルとフォルダーをあわせて 999 個までの対応です。 5階層以上のフォルダーには対応していません。 スキャン TO メディア カラー：JPEG 形式、PDF 形式 モノクロ：TIFF 形式、PDF 形式

子機

使用周波数	2.40GHz ～ 2.4835GHz
変調方式	周波数ホッピング方式
使用可能距離	見通し距離約 100m
充電完了時間	約 12 時間
使用可能時間（充電完了後）*1	待機状態：約 200 時間、連続通話：約 7 時間
使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、湿度：20 ～ 80％
電源	DC3.6V（子機用バッテリー使用）
消費電力	ー
重量	約 150g（子機用バッテリー含む）

*1 子機をお使いの環境によって短くなることがあります。

子機充電器（MFC-J805DW/J855DWN に付属）

使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、湿度：20 ～ 80％
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約 1.4W（充電中）／約 0.5W（待機中）
重量	約 125g

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		サポートしている機能	インターフェイス	CPU/システムメモリー	必要なメモリー	推奨メモリー	必要なディスク容量 ドライバー	必要なディスク容量 その他のソフトウェア
Windows®	Windows® XP Home*1 Windows® XP Professional*1	プリント、PC-FAX 送信*3・受信、スキャン、リムーバブルディスク*4	USB、無線 LAN（IEEE 802.11b/g）*5	Intel® Pentium® II プロセッサ相当	128 MB	256MB	150MB	1GB
	Windows® XP Professional x64 Edition*1			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）	256 MB	512 MB		
	Windows Vista®*1			Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）	512MB	1GB	500MB	1.3GB
	Windows® 7*1				1GB（32 ビット） 2GB（64 ビット）	1GB（32 ビット） 2GB（64 ビット）	650MB	
	Windows Server® 2003*5（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）	プリント	無線 LAN（IEEE 802.11b/g）*5	Intel® Pentium® III プロセッサ相当	256 MB	512 MB	50MB	なし
	Windows Server® 2003 x64 Edition*5（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）				
	Windows Server® 2003 R2*5（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® III プロセッサ相当				
	Windows Server® 2003 R2 x64 Edition*5（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）	512MB	1GB		
	Windows Server® 2008*5（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）		2GB		
	Windows Server® 2008 R2*5（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）				
Macintosh	Mac OS X 10.4.11、10.5.x	プリント、PC-FAX 送信*3、スキャン、リムーバブルディスク*4	USB*2、無線 LAN（IEEE 802.11b/g）*5	PowerPC G4/G5 Intel® プロセッサ	512MB	1GB	80MB	550MB
	Mac OS X 10.6.x			Intel® プロセッサ	1GB	2GB		

*1 WIA を使ったスキャンは、最大 1200x1200dpi の解像度に対応しています。スキャナーユーティリティーを使用すれば、最大 19200x19200dpi の解像度に対応できます。
*2 サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
*3 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。
*4 本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアは、パソコン上で［リムーバブルディスク］として使用できます。
*5 MFC-J805D/J805DW は非対応です。

- 最新のドライバーは http://solutions.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

用語解説

＝あ＝

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェイス**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて電話を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッター**
ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプター**
ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**
Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**
同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

＝な＝

● **ナンバーディスプレイ**
電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **プリンタードライバー**
パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポスターコピー**
1 枚の原稿を分割し、複数の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**
受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**
記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● **ログオン（ログイン）**
パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● **2in1**
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● **4in1**
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

= A to Z =

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信

Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX（構内交換機）

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話どうしの接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard（vcf 形式）

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 で標準サポートされています。

索引

数字

2in1 コピー 138
2 ページ印刷がうまくできない 214
2 枚に分かれて印刷される（ファクス受信） 208
4in1 コピー 138

A

Adobe® Illustrator® で印刷できない 215, 216
ADSL のトラブル 202

B

BRUSB への書き込みエラー 215

C

ControlCenter 14
CPU 271

D

DPOF 153

E

E メール添付 252

F

FaceFilter Studio 14

I

innobella 280
ISDN 70
ISDN のトラブル 201

L

L 判 35

M

Macintosh 271

O

OCR 252
OHP フィルム 35
OS 271

P

PBX 109, 221
PBX 経由でファクス受信できない 209
PC ファクス受信 98
PictBridge 164
PictBridge ケーブル差し込み口 16
PictBridge のトラブル 215
Presto! PageManager のお問い合わせ .... 裏表紙

T

TWAIN エラー 215

U

USBxxx への書き込みエラー 215
USB ケーブル差し込み口 17
USB フラッシュメモリーのアクセス状況 150
USB フラッシュメモリーのセット / 取り出し 149, 150
USB フラッシュメモリー差し込み口 16, 149

W

Windows® 271
Windows® 使用時のトラブル 215

あ

相手に声が聞こえにくい／聞こえない 200
相手に声が聞こえにくい／聞こえない（子機） 204
明るさ（画面） 51
明るさ（コピー） 136
明るさ（写真プリント） 154
明るすぎる（印刷） 212
アクセス状況 150
アナログポートに 1 ～ 2 回おきにしか着信しない（ISDN） 202
アフターサービスのご案内 .... 裏表紙
暗証番号 125
安心通信モード 222

い

イノベラ 280
いろいろなコピー 138
いろいろなプリント 157
インクカートリッジのご注文 285
インクカートリッジの廃棄 177
インクカートリッジを交換 176
インクが乾くのに時間がかかる 214
インクがにじむ（印刷） 213

インクカバー 17
インク残量チェック 178
インクジェット紙 35
インク節約モード 140
印刷が明るすぎる／暗すぎる 212
印刷が汚い 179, 213
印刷が斜めになる 211
印刷できない 210
印刷できない（Adobe® Illustrator®） 215, 216
印刷できない（Macintosh） 216
印刷テスト 180
印刷に規則的な横縞が出る 211
印刷の端や中央がかすむ 213
印刷の汚れ、しみ 212
印刷範囲 37
印刷面の白い筋 213
インデックスカード 35
インデックスプリント 157

え

液晶ディスプレイ（子機） 21
エラーメッセージ 187
エラーメッセージ（通信ボックス） 194
エラーメッセージ（子機） 198

お

応答しない 200
お気に入り設定 136
お客様相談窓口 .... 裏表紙
お手入れ 170
音が割れる（スピーカー） 217
おまかせ一括スキャン 167
音量 46
音量ボタン（子機） 21, 48
音量ボタン（通信ボックス） 20

か

カードスロット 16
海外送信 85
外出先から操作できない 205
外出先からの操作 125
外出先に転送 128
回線種別の設定 23
外線ボタン（子機） 21
会話を録音する 57
拡大 / 縮小コピー 135
各部の名称とはたらき 16
画質が悪い 171
画質強調（写真プリント） 155
画像が明るすぎる／暗すぎる（印刷） 212
画像トリミング 155
画像の一部をプリントする 163
画像の周りに余白ができる（スキャン） 215
画像の乱れ（ファクス通信） 207
画面 18
画面の設定 51
カラー / モノクロスタートボタン 18
カラーコピー 133
カラー調整（写真プリント） 155
カラーファクス受信ができない 207
関連製品のご案内 280

き

記号 1/ トーンボタン（子機） 21
記号 2 ボタン（子機） 21
機能 / 確定ボタン（子機） 21
機能 / 確定ボタン（通信ボックス） 20
機能案内 239
機能一覧 248
キャッチ / 着信履歴ボタン（子機） 21
キャッチホンサービス 62
キャッチホンでファクスを受ける 62
キャッチホンのトラブル 201, 207
キャッチホン・ディスプレイサービス 70
給紙ローラーの清掃 172
強制リセット 218
切ボタン（子機） 21
記録紙 35
記録紙うら面の汚れ 179
記録紙が重なって送られる 209
記録紙が重なって送り込まれる 211
記録紙がしわになる（印刷後） 213
記録紙がそろわない 217
記録紙下端の汚れ 217
記録紙が出てこない（コピー／ファクス受信） 208
記録紙が白紙で排出される（ファクス受信） 208
記録紙サイズの設定（コピー） 135
記録紙サイズの設定（全般） 44
記録紙サイズ（写真プリント） 154
記録紙ストッパー 16, 17
記録紙タイプ 44
記録紙タイプの設定（コピー） 135
記録紙タイプ（写真プリント） 154
記録紙トレイ 16, 17
記録紙トレイにセット 38
記録紙のセット 38

く

暗すぎる（印刷） 212
クリアボタン（子機） 21
クリーニング（プリンター内部） 172
クリーニング（プリントヘッド） 179
グループダイヤル 111
黒い縦線が出る 171
黒い縦線（コピー、ファクス） 207

け

警告音が鳴る（子機） 205
携帯電話にかけられない 202
ケータイ　オトクサービス 72
ケータイ通話お得サービス 71
原稿 45

原稿ガイド 17
原稿台カバー 16, 17
原稿台ガラス 17
原稿のセット 45
原稿の読み取り範囲 45
原稿をセットする 45

こ

公衆電話拒否 66, 69
光沢紙 35
光沢紙が送り込まれない 211
光沢はがき 137, 156
構内交換機経由でファクス受信できない 209
声が大きく聞こえて話しにくい（ISDN）............. 201
声が途切れる 200
声が途切れる（子機）... 203
コールセンター .... 裏表紙
子機が温かい 205
子機が使用できないとき 236
子機通信チャンネルの変更 225
子機通話パワーの変更 225
子機に何も表示されない 205
子機の清掃 174
子機の増設 235
子機通信状況を改善 224
子機のトラブル 203
子機のバッテリー交換 182
子機を置いたまま通話する 59
子機を置いたまま電話をかける 58
故障 199
個人情報の消去（子機）...................................... 231
コピー 133
コピー画質 135
コピーに関するご注意 132
コピーのトラブル 206
コピーの汚れ 208
コピーボタンの機能 250
コントラスト（写真プリント）............................ 154

さ

最近かかってきた相手に電話する 58
最近かけた相手に電話する 58
再生 / 会話録音ボタン 20
再ダイヤル（電話）... 58
再呼出（ベル / メッセージ / 時間）の設定 32
雑音が入る（子機）... 204

し

事業者識別番号 74
自動印刷する 95
自動縮小受信 97
自動受信 89
自動送信 77
自動的に本製品が動き出す（操作なしで）........... 216
自分の声が響く 201
自分の声が響く（子機）...................................... 204
シャープネス（写真プリント）............................155
写真の一部がプリントされない 215
写真番号（インデックスプリント）.....................157
写真をプリントする（PictBridge）......................165
写真をプリントする（デジカメプリント）...........152
写真を見る 152
充電器の清掃 174
「ジュウデンチュウ」と表示されない（子機）......205
充電できない（子機）...205
充電表示ランプ（子機）..21
受信したファクスの汚れ 208
受信できない（構内交換機（PBX）接続）...........209
受信モードの設定 26
手動受信 90
受話音質（子機）...59
受話音量が小さい 200
受話音量（子機）...48
受話口 21
仕様 267
使用環境 271
消去（電話帳・履歴・メモリー・録音データ）....229
消去 / もどるボタン 20
消去（子機の個人情報）.......................................231
消去（ファクスをメモリーから）.........................100
使用済み電池の届出 242
照明ダウンタイマー 51
初期状態に戻す 227
暑中見舞印刷 234
シリアルナンバーの確認 238
白い筋（印刷面）...213
しわ（印刷後）...213
親切受信 91

す

推奨紙 36
透かしコピー 142
スキャナー（読み取り部）の清掃 171
スキャン TO メディア 166
スキャンのトラブル 215
スキャンボタンの機能 252
筋（印刷面）...213
スタートボタン 18
スピーカー音量が小さい 199
スピーカー音量（子機）..48
スピーカーホン通話ができない（子機）...............200
スピーカーホンボタン（子機）...............................21
すべての設定を元に戻す 230
スライドショー 162
スライドトレイ 17, 41
スライドトレイにセット 41
スリープモード 54

せ

清掃 170
接続エラー 215
設定内容リスト 239
設定を保持（デジカメプリント）..........................155
設定を保持（ファクス）..84

セットできる記録紙 35
全設定リセット 230
専用紙 36

そ

操作パネル 16, 18, 19, 20
送受信できない 206
送信結果レポート 103
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 101
送信できない（電話帳） 207
送信のキャンセル 78, 80, 87
送信待ちファクス 104
送話口（子機） 21

た

ダイヤルイン 201
ダイヤルできない 199
ダイヤルトーン設定 223
ダイヤルボタン 18
ダイヤルボタン（子機） 21
ダイレクトクラブ 285
ダウンタイマー（照明） 51
他機器の呼出ベルが鳴る（ISDN） 202
縦の線が入る（ファクス） 207
短縮ダイヤルでファクス送信 82

ち

縮んでいる（ファクス受信） 208
着信音 49
着信音が小さい／鳴らない 199
着信音が鳴らない（ISDN） 201
着信音が鳴らない（子機） 203
着信音量（子機） 48
着信音を鳴らさず受信 27, 29
着信音（子機） 50
着信拒否モニター 69
着信鳴り分け設定 68
着信履歴 67, 81
着信履歴から電話帳に登録 110
着信履歴から電話帳に登録（子機） 115
中央がかすむ（印刷） 213
注文 285

つ

通信エラーが増えた（ADSL） 202
通信エラーの解消（安心通信モード） 222
通信管理レポート 102
通信チャンネルの変更（子機） 225
通話音質調整 221
通話が切れる 200
通話が切れる（子機） 204
通話パワーの変更（子機） 225
通話を録音する 57
「ツー」音が聞こえない 200
つながらない（ISDN） 202

て

定期メンテナンス 179
停止 / 終了ボタン 18
停電 238
デジカメからプリントできない（PictBridge） 215
デジカメプリント 148, 152
デジカメプリントボタンの機能 253
デュアルアクセス 78
電源が入らない 216
電源が入らない（子機） 205
電源ボタン 18
転送 98, 128
電話がかけられない 23, 203
電話帳 108
電話帳 & ファクスリセット 231
電話帳からダイヤルできない 199
電話帳から電話をかける 57
電話帳からファクス送信できない 207
電話帳登録 108
電話帳に登録（子機） 114
電話帳ボタンの機能 249
電話帳ボタン（子機） 21
電話帳ボタン（子機）の機能 266
電話帳リスト 112
電話帳を消去する 231
電話帳を消去する（子機） 231
電話帳・短縮ダイヤルで送信 82
電話取り次ぎ 60
電話に応答しない 200
電話のトラブル 199
電話番号が表示されない（ナンバーディスプレイ） 201
電話をかける／受ける 56

と

動画プリント 151
同報送信 86
同報送信のキャンセル 87
トールセーバー 31
特別回線対応 221
時計セット 24
トリプル通話 61
トリミング 155
トリミング（デジカメプリント） 163
トレイカバー 17

な

内緒話モード 59
内線通話 61
斜めに印刷される 211
ナンバーディスプレイのトラブル 201, 203
ナンバー・ディスプレイサービス 65

に

にじみ（印刷）.. 213
入力方法（通信ボックス）................................... 246
入力方法（複合機本体）....................................... 245
入力方法（子機）.. 247

ね

ネーム・ディスプレイサービス 65
ネットワーク接続でのトラブル 217
ネットワークリモート接続の失敗 216
年賀状印刷 234

は

廃棄（インクカートリッジ）................................ 177
はがき 35, 41
はがき印刷 234
白紙が出る（ファクス受信）................................ 208
端がかすむ（印刷）.. 213
パソコンから設定を変更する 14
パソコンからファクスを送る 14
パソコンで電話帳に登録 113
発信元登録 101
発信履歴 81
発信履歴から電話帳に登録 110
発信履歴から電話帳に登録（子機）..................... 115
発信履歴ボタン（子機）... 21
バッテリー交換（子機）....................................... 182
バッテリー残量（子機）... 22
番号指定プリント 158

ひ

「ピーピーピー」と鳴る（子機）.......................... 205
ひかり電話のトラブル 202, 203
ビジー状態 215
非通知着信拒否 69
非通知の相手からの着信ができない 203
日付印刷 155
日付と時刻の設定 24
「ピッピッピッ」と鳴る（子機）.......................... 205
表示圏外拒否 66, 69

ふ

ファクス画質 83
ファクス原稿濃度 83
ファクス自動送信 77
ファクス受信 88
ファクス受信できない（構内交換機経由）........... 209
ファクス受信のトラブル 207, 208
ファクス送受信できない 206
ファクス送信できない（IP 網使用）.................... 207
ファクス送信できない（電話帳）........................ 207
ファクス送信（電話帳・短縮ダイヤル）................ 82
ファクス通信できない（ISDN）.......................... 202
ファクス転送 98
ファクスに印刷される送信側の名前とファクス
番号を登録する / 削除する 101
ファクスの消去 94, 100
ファクスのトラブル 206
ファクスボタンの機能 249
ファクス無鳴動受信 30
ファクスを印刷する 93, 99
ファクスをメモリーで受信する 99
封筒 35
フォルダー保存 252
ふちなし印刷 155
普通紙 35
ブックコピー 141
プッシュ回線 23
プッシュホンサービスを利用する 59
プリント画質 154
プリントサイズ 254
プリントのトラブル 209
プリントヘッド 179

へ

ヘッドクリーニング 179
ベル（呼び出し回数）..31
ベル（再呼出時間）..32
便利なコピー設定 136

ほ

ボイスワープ 128
ポスターコピー 138
ポストカード 35
ボタン確認音量（子機）..48
保留音 49
保留ボタン（子機）..21
ホワイトバランス（写真プリント）......................155
本製品が表示されない（Macintosh）....................216
「本製品接続エラー」...215
「本製品はビジー状態です」.................................215
本体カバー 17

ま

マイク（子機）...21
マイク（通信ボックス）...20
まとめてプリント 161

み

みてから送信 79
みるだけ受信 93, 95
みるだけ受信ボタンの機能 248

む

無線 LAN レポート 239, 219

め

迷惑指定 68
迷惑電話拒否 64
メッセージが途中で切れている／録音できない ... 205
メッセージの再生／停止／消去 123
メディア保存 252
メニューボタンの機能 255
メモリー 271
メモリーカードのアクセス状況 150
メモリーカードのセット / 取り出し 149
メモリーカードのトラブル 215
メモリー受信 98, 99
メモリー受信したファクスを印刷する 99
メモリー代行受信 96
メンテナンス 170

も

モードタイマー 53
モードボタン 18
文字切替 /P ボタン（子機） 21
文字の入れかた 244
文字の入力方法（通信ボックス） 246
文字の入力方法（複合機本体） 245
文字の入力方法（子機） 247
文字化け、文字欠け、水平方向の線 212
文字や画像のゆがみ 211
元に戻す（すべての設定） 230

ゆ

ゆがみ（文字や画像） 211
輸送（本製品） 240

よ

用語解説 272
用紙に合わせるが使えない 209
横縞が出る 211
横縞が出る（印刷） 211
汚れ（印刷） 212
汚れ（記録紙の下端） 209
汚れ（コピー、受信したファクス） 208
汚れ（本製品） 170
呼出回数 31
読み取り範囲 45

り

リサイクル 241
リセット（本製品の強制リセット） 218
リムーバブルディスクとして利用する 14
リモートセットアップ 113
リモコンアクセス 126
リモコンアクセスカード 281
リモコンコード 127
リリースボタン 17
履歴ボタンの機能 248
履歴を消去する 94
臨時着信 236

る

留守応答メッセージ 122
留守番機能 118
留守番機能のセット 122
留守番電話応答メッセージ 120
留守ボタン 20
留守モード 122
留守録転送 128
留守録モニター 121

れ

レイアウトコピー 138
レポート印刷 239

ろ

録音 57
録音データを消去する 123
録音できない 205
録音途中で切れている 205

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。
名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）と Bella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の 2 つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC11BK
イエロー（黄）	LC11Y
シアン（青）	LC11C
マゼンタ（赤）	LC11M
4 個パック［ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各 1 個］	LC11-4PK
黒 2 個パック［ブラック（黒）2 個］	LC11BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは、住友スリーエム社製 OHP フィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

その他

商品名	型番
子機用バッテリー	BCL-BT30

リモコンアクセスカード

外出先から本製品を操作する場合（⇒ 126 ページ「外出先から本製品を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

＜キリトリ線＞

リモコン アクセス

暗証番号

〇〇〇＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、応答メッセージが再生され場合はそのあとに、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - ・「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - ・無音：音声メッセージはありません。
4. リモコンコード（うら面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときは、もう一度やり直してください。

＜キリトリ線＞

リモコン アクセス

暗証番号

〇〇〇＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、応答メッセージが再生され場合はそのあとに、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - ・「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - ・無音：音声メッセージはありません。
4. リモコンコード（うら面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときは、もう一度やり直してください。

＜キリトリ線＞

リモコン アクセス

暗証番号

〇〇〇＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、応答メッセージが再生され場合はそのあとに、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - ・「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - ・無音：音声メッセージはありません。
4. リモコンコード（うら面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときは、もう一度やり直してください。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※1）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※2）	93

※1：中止するときは 9 を入力してください。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、次のうちどちらかを示しています。
◆すべてのメッセージがまだ再生されていない
◆消去するメッセージがないため、消去ができない

操作内容		ボタン操作
受信状況のチェック（※3）	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※1）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※2）	93

※1：中止するときは 9 を入力してください。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、次のうちどちらかを示しています。
◆すべてのメッセージがまだ再生されていない
◆消去するメッセージがないため、消去ができない

操作内容		ボタン操作
受信状況のチェック（※3）	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※1）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※2）	93

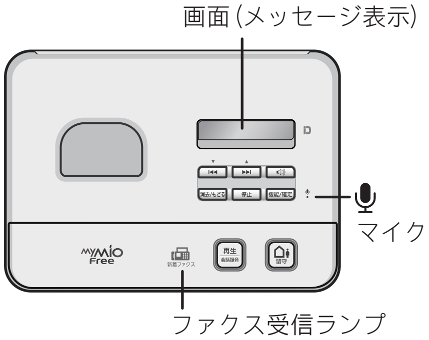
※1：中止するときは 9 を入力してください。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、次のうちどちらかを示しています。
◆すべてのメッセージがまだ再生されていない
◆消去するメッセージがないため、消去ができない

操作内容		ボタン操作
受信状況のチェック（※3）	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

＜キリトリ線＞

通信ボックス操作早見表



[▼ ⏮]	次項目選択・メッセージ頭出しボタン	[▲ ⏭]	前項目選択・メッセージスキップボタン	[🔊]	音量ダイレクト調整ボタン
[消去/もどる]	値消去／前画面バック・音声消去ボタン	[停止]	停止・終了ボタン	[機能/確定]	機能設定開始・確定ボタン
[再生 会話録音]	会話（通話）録音・メッセージ一括再生ボタン	[留守]	留守番機能設定・未再生メッセージ再生ボタン		

ファクス手動受信

画面		ジュシン シマスカ？ ↓↑ ▼ ハイ ▲ イイエ	
操作	・・・電話をとったとき、受話口から「ポーポー」（ファクス通信音）と聞こえる・・・	[▲ ⏭] ➡	[▼ ⏮]

ファクス受信を知らせるメッセージ表示を止める

画面	フクゴウキ ニ テンソウズミ ↓↑ テイシ ヲ オシテクダサイ		
操作	・・・[ファクス受信ランプ] が点滅・・・	[停止]	・ファクスを受信しました。**新着ファクスを複合機本体で確認してください。** ・点滅が終了しないときは、ユーザーズガイド 基本編「故障かな？と思ったときは」で状況を確認してください。

通信待ち確認

画面	2. ファクス／デンワ	3. ツウシン マチ カクニン	選択（確認する）	
操作 [機能/確定] ➡	[▼ ⏮]／[▲ ⏭] ➡ [機能/確定] ➡	[▼ ⏮]／[▲ ⏭] ➡ [機能/確定] ➡	[▼ ⏮]／[▲ ⏭] ➡	[停止]

通信待ち解除

画面	同上	解除する（取りやめる）通信を選択	テイシ ▼ スル ▲ シナイ	
操作	同上	[▼ ⏮]／[▲ ⏭] ➡ [機能/確定] ➡	[▼ ⏮] ➡	[停止]

留守番機能のセット

🔊	留守応答メッセージが再生されます	留守応答メッセージ選択 （自分で録音したものがあるとき）	🔊 選択した留守応答メッセージが再生されます	
操作	[留守]		[留守] セット後、留守応答メッセージ再生中に [▼ ⏮]／[▲ ⏭] で留守応答メッセージを選択	（再生終了を待たずにメッセージ確認を終える場合は [停止]）

留守番機能の解除

🔊 未再生の留守録メッセージ → 未再生の録音通話の順に再生されます

[留守]

[▼ ⏮] で、再生中のメッセージの頭出し　[▼ ⏮] の連続押しで、前のメッセージの頭出し
[▲ ⏭] で、次のメッセージにスキップ　[消去/もどる] で、再生中のメッセージの削除（再確認されるので再度 [消去/もどる]）

留守録メッセージ・録音通話の再生／削除

🔊 未再生メッセージがあるとき：未再生の留守録メッセージ → 未再生の録音通話の順に再生されます
未再生メッセージがないとき：全留守録メッセージ → 全録音通話の順に再生されます

[再生 会話録音]

[▼ ⏮] で、再生中のメッセージの頭出し　[▼ ⏮] の連続押しで、前のメッセージの頭出し
[▲ ⏭] で、次のメッセージにスキップ　[消去/もどる] で、再生中のメッセージの削除（再確認されるので再度 [消去/もどる]）

留守録メッセージ・録音通話の一括削除

画面	オンセイ ショウキョ？ ↓↑ ▼ スル ▲ シナイ	
操作 [消去/もどる] ➡		[▼ ⏮]

通信ボックス操作早見表

通話録音

・・・通話中・・・	再生/会話録音	録音開始（最大 180 秒） ・通話終了とともに録音も停止 ・通話中に 180 秒が経過すると録音は停止 (180 秒を待たずに録音を終える場合は 停止)

臨時着信（子機が使えない）

・・・着信音が鳴っている・・・ ※通信ボックスを使う臨時着信では、再呼出に切り替わると電話に出られません。	▼⏮ ＋ 再生/会話録音 同時に押す	相手と通話 🔊 で、スピーカー音量調整可能	再生/会話録音 (回線切断)

ここからは各種機能の設定です。設定値は、次に設定変更するまで有効です。

上段：画面
下段：操作

音量

	1. キホン　セッテイ	1. オンリョウ	1. チャクシン　オンリョウ 2. ボタンカクニン　オンリョウ 3. スピーカー　オンリョウ	好みの音量を選択	
機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	停止

画面コントラスト

	1. キホン　セッテイ	2. エキショウ　コントラスト	好みのコントラストを選択	
機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	停止

親切受信

	2. ファクス / デンワ	1. ジュシン　セッテイ	4. シンセツ　ジュシン	【シンセツ　ジュシン：スル】 【シンセツ　ジュシン：シナイ】	
機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	停止

保留メロディ

	2. ファクス / デンワ	4. ホリュウメロディ	好みのメロディを選択	
機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	停止

応答メッセージ録音

	2. ファクス / デンワ	5. ルスバンデンワ　セッテイ	1. オウトウ　メッセージ	ルス　オウトウ 1 ルス　オウトウ 2 ザイタク　オウトウ
機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡

オウトウ　ロクオン	録音開始	🔊 今録音したメッセージが再生される	
▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	マイクに向かって 20 秒以内で話す (20 秒を待たずに録音を終える場合は 停止 ➡)	(最後まで再生しなくてもいい場合は 停止 ➡)	停止

留守録メッセージ録音時間

	2. ファクス / デンワ	5. ルスバンデンワ　セッテイ	2. ロクオン　ジカン	相手がメッセージを残せる時間を選択	
機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	停止

時計設定

	0. ショキ　セッテイ	1. トケイセット	ネン：20_ _	ツキ：_ _
機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡

ヒヅケ：_ _	ジコク：_ _：_ _　「時間」と「分」をおのおの設定 (24 時間制)	
▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡ ▼⏮/▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	停止

＜キリトリ線＞

消耗品などのご注文について

- 純正消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、インターネット、電話によるご注文も承っております。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 3,000 円以上の場合は全国無料です。
  3,000 円未満の場合は 350 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞・・・ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
＜お振込み（銀行・郵便）＞・・・・ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
　※代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。）
　※振り込み手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞・・・カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

ご注文先

ブラザー販売（株）	ダイレクトクラブ
インターネット	http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯サイト	右の二次元コードにアクセス
ファクス	052-825-0311
電話	0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時）
振込先	口座名義：ブラザー販売株式会社　ダイレクトクラブ 銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357 ゆうちょ銀行　振替口座　00860 － 1 － 27600

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

消耗品はブラザー純正品をお使いください

ブラザーMyMioシリーズについて、印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収･リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検索

http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からも簡単なサポート情報をみることができます。

サポートサイト

http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

0120-590-381　受付時間：月～金　9:00 ～ 20:00 ／土　9:00 ～ 17:00
日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザーサービスエクスプレス　SERVICE EXPRESS ブラザーサービスエクスプレス　マイミーオ　1年間無償保証

製品ご購入後１年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

● **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。** ※一部地域を除く

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。

※修理の際は故障部位にかかわらず、複合機本体、通信ボックス、子機すべてをいったん回収させていただきます。あらかじめご了承ください。
※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。

● **3日以内に修理品を返送。**

弊社到着後、3日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
電話：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

● お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
● 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後５年です。（印刷物は２年です）

brother

ブラザー工業株式会社
〒 467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1